

---

# 協働のまちづくりに関する 区民意識調査 報告書

---

令和4年11月  
(令和4年6月実施)

豊 島 区



## I 調査の概要

1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 調査内容	3
4. 回収結果	3
5. 報告書を見る際の注意事項	3
6. 回答者の基本属性	4

## II 調査結果

第1章 豊島区の印象について	13
1. 住み心地	13
(1) 住み心地〔問1〕	13
(2) 住み心地の変化〔問2〕	16
(3) 住み心地の変化の理由〔問2-1〕	19
2. 居住の経緯	22
(1) 居住の経緯〔問3〕	22
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか〔問3-1〕	24
(3) 豊島区を選んだ理由〔問3-2〕	27
3. 定住意向	31
(1) 定住意向〔問4〕	31
(2) 住み続けたい理由〔問4-1〕	34
(3) 転居せざるをえない、転居したい理由〔問4-2〕	38
4. 地域への愛着	41
(1) 地域への愛着〔問5〕	41
(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか〔問6〕	44
第2章 地域の生活環境について	49
<<設問設定の考え方>>	49
1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」〔問7〕	52
(1) 参画・協働	52
(2) 平和・人権	53
(3) 福祉	54
(4) 健康・保健	55
(5) 子育て	56
(6) 教育	57
(7) みどり・環境	58
(8) 都市再生・交通	59
(9) 防災・治安	60
(10) 商工・観光	61
(11) 文化	62

# 目次

---

2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」〔問7〕	64
(1) 参画・協働	64
(2) 平和・人権	65
(3) 福祉	66
(4) 健康・保健	67
(5) 子育て	68
(6) 教育	69
(7) みどり・環境	70
(8) 都市再生・交通	71
(9) 防災・治安	72
(10) 商工・観光	73
(11) 文化	74
3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析〔問7〕	75
(1) 参画・協働	76
(2) 平和・人権	78
(3) 福祉	80
(4) 健康・保健	82
(5) 子育て	84
(6) 教育	86
(7) みどり・環境	88
(8) 都市再生・交通	90
(9) 防災・治安	92
(10) 商工・観光	94
(11) 文化	96
4. 総合分析の経年比較〔問7〕	98
(1) 参画・協働	98
(2) 平和・人権	99
(3) 福祉	100
(4) 健康・保健	101
(5) 子育て	102
(6) 教育	103
(7) みどり・環境	104
(8) 都市再生・交通	105
(9) 防災・治安	106
(10) 商工・観光	107
(11) 文化	108

---

<b>第3章 区の情報・区の政策等について</b> .....	111
<b>1. 区の情報・区政への参加について</b> .....	111
(1) 区に関する情報の入手方法〔問8〕 .....	111
(2) 区政情報が伝わっていると思うか〔問9〕 .....	114
(3) 区政への関心〔問10〕 .....	116
(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか〔問11〕 .....	118
(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度〔問12〕 .....	120
(6) 柔軟な区政運営ができているか〔問13〕 .....	122
<b>2. 地域との関わりについて</b> .....	124
(1) 地域のために何か役に立ちたいか〔問14〕 .....	124
(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況〔問15〕 .....	126
<b>3. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について</b> .....	128
(1) SDGsの認知度〔問16〕 .....	128
(2) SDGsの取組意向〔問17〕 .....	130
(3) 生活の中で取り組んでいるSDGs〔問18〕 .....	132
<b>4. 女性にやさしいまちづくりについて</b> .....	134
(1) 女性にやさしいまちだと感じていること〔問19〕 .....	134
<b>5. セーフコミュニティについて</b> .....	137
(1) 心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先の認知度〔問20〕 .....	137
(2) 池袋駅周辺の体感治安〔問21〕 .....	144
(3) 防災訓練や避難訓練への参加〔問22〕 .....	146
(4) 「救援センター」の認知度〔問23〕 .....	148
(5) 地震に備えた家具等の転倒防止対策〔問24〕 .....	150
(6) 自転車の運転ルール遵守状況の実感〔問25〕 .....	152
(7) 交通事故発生場所等の認知度〔問26〕 .....	154
<b>6. 環境保全活動について</b> .....	156
(1) 環境保全活動への参加意向〔問27〕 .....	156
(2) 現在参加している、参加したいグループ〔問27-1〕 .....	158
(3) 参加するつもりがない理由〔問27-2〕 .....	160
<b>7. 公園の利活用について</b> .....	162
(1) 公園が地域交流の場として役立っているか〔問28〕 .....	162
<b>8. スポーツについて</b> .....	164
(1) スポーツの実施頻度〔問29〕 .....	164

## 目 次

---

9. 新型コロナウイルス感染症に関することについて	166
(1) 現在の日常生活での困りごとや不安に思うこと〔問30〕	166
(2) 今後の日常生活での困りごとや不安に思うこと〔問30〕	171
(3) 日常生活での困りごとや不安に思うことの時系列比較〔問30〕	176
10. 区政全般への要望	177
(1) 現在、区が力を入れていると思う施策〔問31〕	177
(2) 特に力を入れてほしいと思う施策〔問31〕	181
(3) 総合分析〔問31〕	185
11. 自由意見	186
<b>Ⅲ 調査票</b>	<b>189</b>

# I 調査の概要





# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、多様な主体との協働によるまちづくりを推進するにあたり、地域の生活環境や身近なまちづくりへの参加・協働のあり方等について、区民の意見や要望を把握し、基本計画が設定する成果指標・重点施策の確認とともに、これからの行政サービスのあり方の検討等に資するための基礎資料とすることを目的とする。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査区域 豊島区全域
- (2) 調査対象 区内に2年以上在住する18歳以上の区民
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から区内を5地域に分割し、各地域より1,000人を無作為抽出
- (5) 調査方法 自記式調査票による郵送配布・郵送回収
- (6) 調査時期 令和4年6月7日(火)～7月1日(金)
- (7) 調査機関 一般社団法人輿論科学協会

## 3. 調査内容

- (1) 豊島区の印象について
- (2) 地域の生活環境の評価と今後の優先度について
- (3) 区の情報・区の政策等について
- (4) 調査対象者の基本属性について

## 4. 回収結果

発送数	回収数	回収率
5,000件	1,884件	37.7%

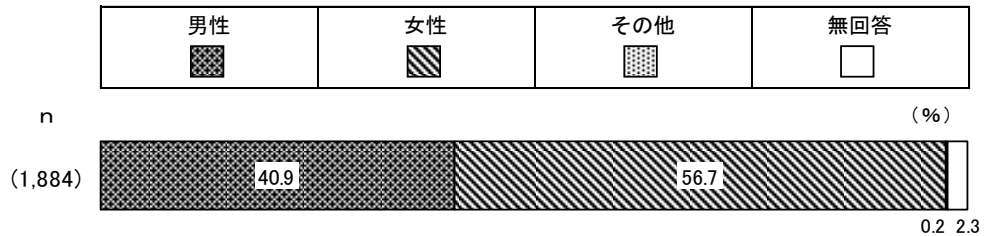
## 5. 報告書を見る際の注意事項

- (1) 図表中の「n」は、設問への回答者数を示している。
- (2) 回答は百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体の示す数値と一致しないことがある。なお、回答者を絞った設問では、設問該当者を100%としている。
- (3) 複数選択ができる設問では、設問該当者を基数として比率を算出している。したがって、回答者比率の合計が100%を超えることがある。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中において簡略化した表現を用いている場合がある。
- (5) 回答者数が小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。

## 6. 回答者の基本属性

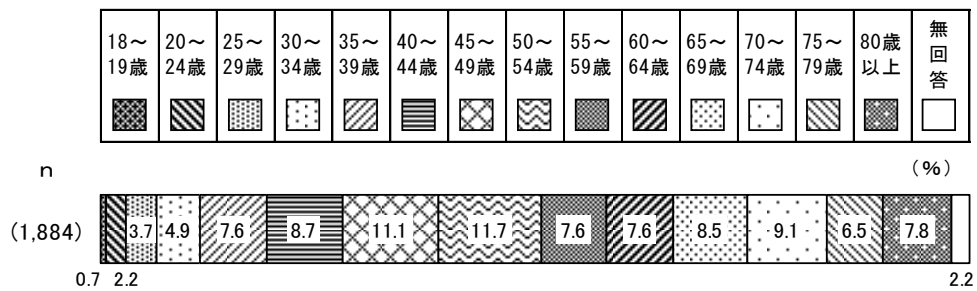
### (1) 性別（自認する性）

「女性」(56.7%)が6割近く、「男性」(40.9%)が約4割となっている。



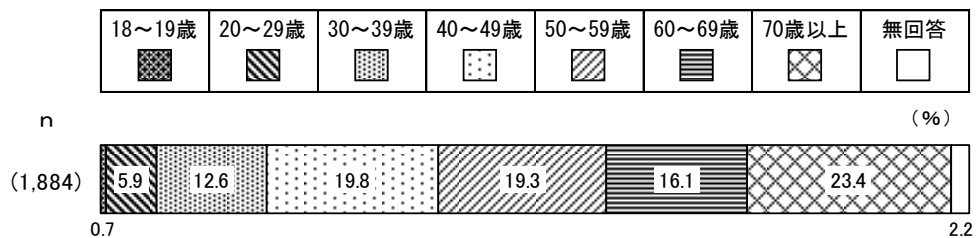
### (2) 年齢

「45～49歳」(11.1%)、「50～54歳」(11.7%)、「70～74歳」(9.1%)が1割前後となっている。



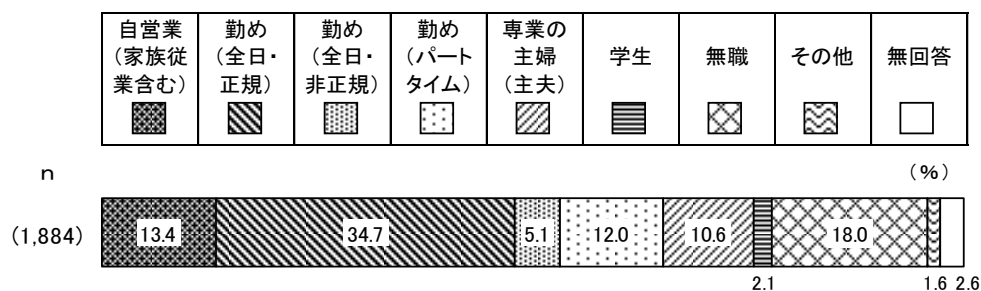
### 【10歳区分】

「70歳以上」(23.4%)が2割を超えている。



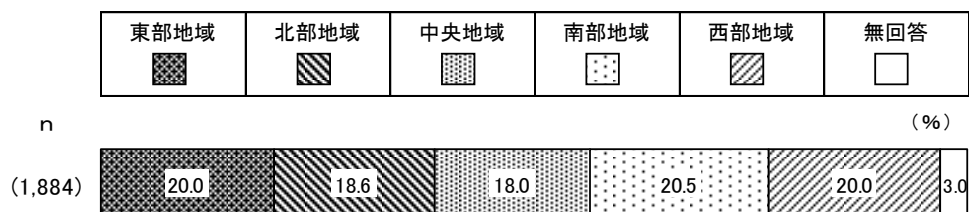
## (3) 職業

「勤め（全日・正規）」(34.7%) が3割半ばで最も高く、次いで「無職」(18.0%)、「自営業（家族従業員含む）」(13.4%)、「勤め（パートタイム）」(12.0%) となっている。



## (4) 居住地域

「東部地域」(20.0%)、「南部地域」(20.5%)、「西部地域」(20.0%) が2割となっている。



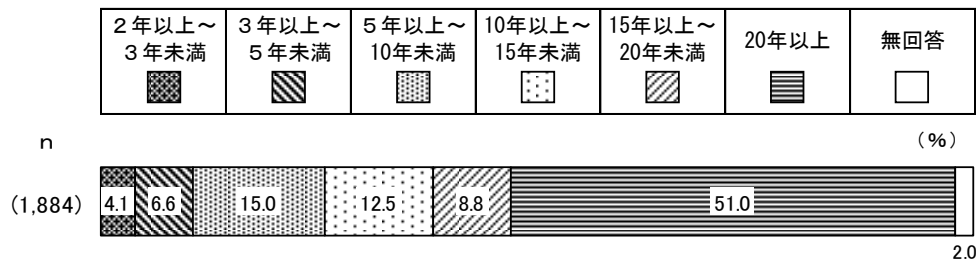
## 注) 5地区の町丁構成

- 東部地域 (駒込、巣鴨、北大塚1・2丁目、南大塚)
- 北部地域 (西巣鴨、北大塚3丁目、上池袋、池袋本町)
- 中央地域 (東池袋、南池袋1・2丁目、西池袋1・3・5丁目、池袋)
- 南部地域 (南池袋3・4丁目、西池袋2・4丁目、雑司が谷、高田、目白)
- 西部地域 (南長崎、長崎、千早、要町、高松、千川)

I 調査の概要

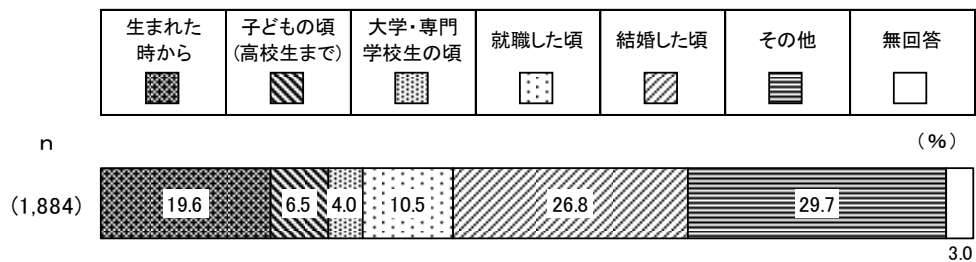
(5) 居住年数

「20年以上」(51.0%) が5割を超えて最も高く、次いで「5年以上～10年未満」(15.0%)、「10年以上～15年未満」(12.5%) となっている。



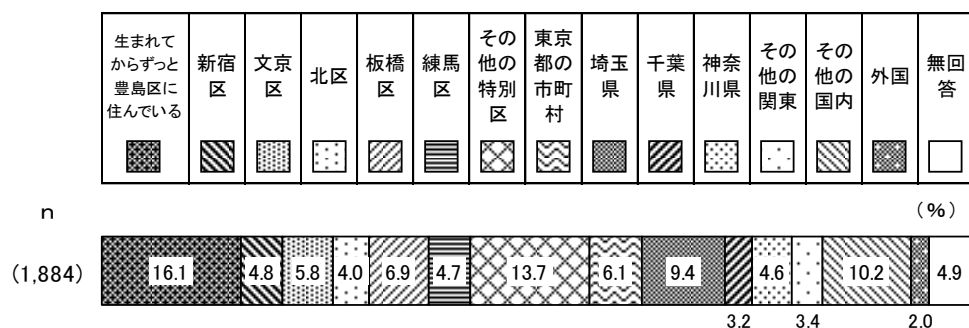
(6) 豊島区に住み始めた時期

「結婚した頃」(26.8%) が3割近くで最も高く、次いで「生まれた時から」(19.6%)、「就職した頃」(10.5%) となっている。また、「その他」の回答として、「転勤」、「転職」、「住宅購入」、「子どもの出産や進学」などが多くあげられている。



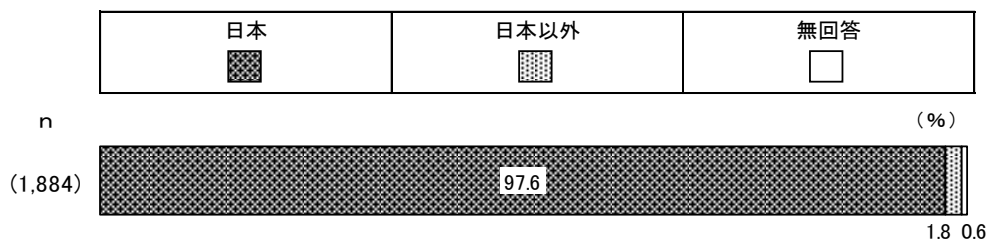
(7) 豊島区に住む前に住んでいた地域

「生まれてからずっと豊島区に住んでいる」(16.1%) と「その他の特別区」(13.7%) が1割半ば、「その他の国内」(10.2%) が1割となっている。



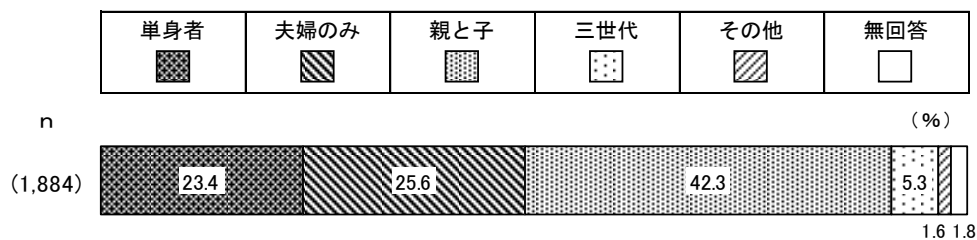
## (8) 国籍

「日本」(97.6%)が10割近く、「日本以外」(1.8%)はわずかとなっている。



## (9) 世帯構成

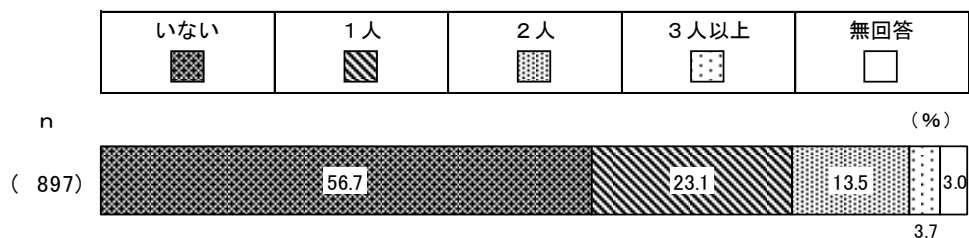
「親と子」(42.3%)が4割を超えて最も高く、次いで「夫婦のみ」(25.6%)、「単身者」(23.4%)、「三世代」(5.3%)となっている。



## (10) 中学生以下の子どもの有無

「親と子」及び「三世代」の世帯構成のうち、「(中学生以下の子どもは) いない」(56.7%)が6割近くとなっている。

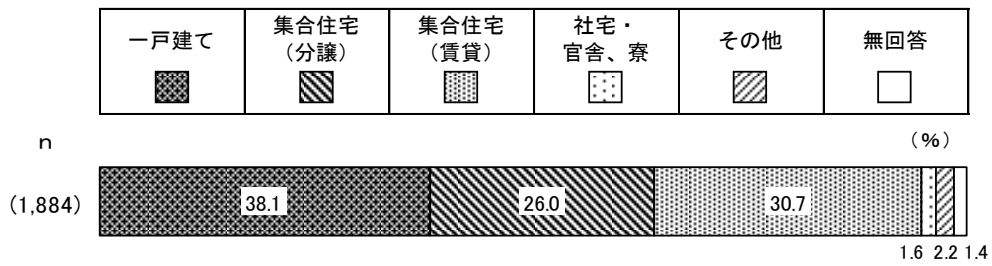
中学生以下の子どもがいる場合の子どもの数は、「1人」(23.1%)が2割を超えて最も高く、次いで「2人」(13.5%)、「3人以上」(3.7%)となっている。



I 調査の概要

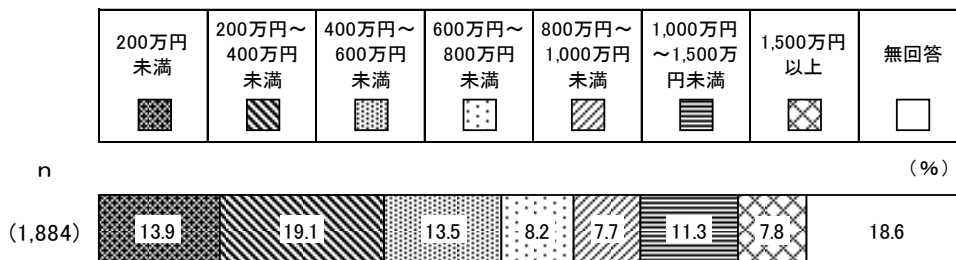
(11) 住まい形態

「一戸建て」(38.1%) が4割近くで最も高く、次いで「集合住宅(賃貸)」(30.7%)、「集合住宅(分譲)」(26.0%) となっている。



(12) 世帯年収

「200万円～400万円未満」(19.1%) が約2割で最も高く、次いで「200万円未満」(13.9%)、「400万円～600万円未満」(13.5%) となっている。



## 《今回調査と過去調査（令和3年度、令和2年度、令和元年度）の回答者の基本属性比較》

		(%)			
		令和4年度 調査（今回） (n=1,884)	令和3年度 調査（前回） (n=2,009)	令和2年度 調査（前々回） (n=2,147)	令和元年度 調査（3前回） (n=1,825)
①性別	男性	40.9	40.7	38.3	37.8
	女性	56.7	56.5	57.4	58.9
	その他	0.2	0.2	0.2	0.1
	無回答	2.3	2.6	4.1	3.3
②年齢	18～19歳	0.7	0.6	0.9	1.2
	20～29歳	5.9	5.9	7.2	6.1
	30～39歳	12.6	14.6	13.6	15.9
	40～49歳	19.8	17.9	18.9	16.9
	50～59歳	19.3	18.8	15.9	16.8
	60～69歳	16.1	17.3	15.6	16.2
	70歳以上	23.4	22.6	24.0	24.5
	無回答	2.2	2.2	3.9	2.5
③職業	自営業（家族従業員含む）	13.4	11.9	11.7	11.2
	勤め（全日・正規）	34.7	37.2	33.1	33.5
	勤め（全日・非正規）	5.1	6.1	5.7	5.6
	勤め（パートタイム）	12.0	10.9	10.9	10.6
	専業の主婦（主夫）	10.6	12.0	11.8	13.6
	学生	2.1	2.1	2.9	3.0
	無職	18.0	15.6	17.0	17.4
	その他	1.6	1.5	2.4	2.2
④居住年数	2年以上～3年未満	4.1	4.5	4.6	4.4
	3年以上～5年未満	6.6	7.6	6.5	7.8
	5年以上～10年未満	15.0	14.4	14.5	15.5
	10年以上～15年未満	12.5	12.2	12.1	13.2
	15年以上～20年未満	8.8	9.4	8.9	8.8
	20年以上	51.0	49.6	49.7	47.9
	無回答	2.0	2.3	3.8	2.3
⑤居住歴	ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）	27.0	25.1	26.2	24.7
	他の地域からきた	72.7	73.9	73.3	74.8
	無回答	0.4	1.0	0.5	0.5
⑥居住地域	東部地域	20.0	20.2	21.9	21.5
	北部地域	18.6	18.9	18.6	20.0
	中央地域	18.0	17.7	16.3	16.5
	南部地域	20.5	19.8	19.1	19.2
	西部地域	20.0	20.4	19.2	19.1
	無回答	3.0	3.0	4.8	3.7
⑦国籍	日本	97.6	96.3	96.7	-
	日本以外	1.8	2.9	2.1	-
⑧世帯構成	単身者	23.4	22.9	23.6	23.1
	夫婦のみ	25.6	25.9	24.4	24.6
	親と子	42.3	42.2	41.9	41.2
	三世帯	5.3	5.3	5.9	6.3
	その他	1.6	2.2	2.5	3.1
	無回答	1.8	1.5	1.7	1.8
⑨中学生以下の子どもの有無	いない	56.7	55.3	57.4	56.2
	1人	23.1	22.3	23.2	25.5
	2人	13.5	15.9	13.9	12.9
	3人以上	3.7	3.2	3.6	2.9
	無回答	3.0	3.2	1.9	2.4
⑩住まい形態	一戸建て	38.1	38.8	37.2	38.8
	集合住宅（分譲）	26.0	24.9	25.5	27.2
	集合住宅（賃貸）	30.7	31.4	30.6	28.8
	社宅・官舎、寮	1.6	1.3	2.1	1.5
	その他	2.2	2.0	2.3	1.9
	無回答	1.4	1.6	2.1	1.9
⑪世帯年収	200万円未満	13.9	13.4	13.2	13.6
	200万円～400万円未満	19.1	20.9	20.6	18.3
	400万円～600万円未満	13.5	12.9	14.5	13.3
	600万円～800万円未満	8.2	9.8	10.2	10.1
	800万円～1,000万円未満	7.7	8.5	8.2	7.5
	1,000万円～1,500万円未満	11.3	10.2	9.5	9.9
	1,500万円以上	7.8	7.5	5.4	6.4
	無回答	18.6	16.9	18.4	21.0

注) ⑨中学生以下の子どもの有無は、⑧世帯構成で「親と子」「三世帯」に回答した人のみが回答。

(該当する回答者数は、令和4年度が897人、令和3年度が955人、令和2年度が1,027人、令和元年度が866人)





## Ⅱ 調査結果

### 第1章 豊島区の印象について



## Ⅱ 調査結果

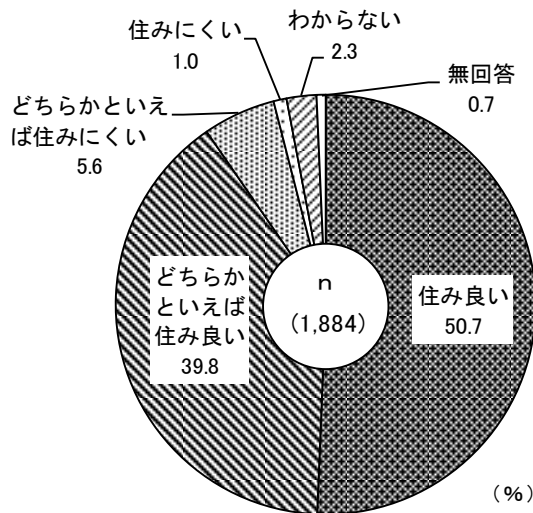
### 第1章 豊島区の印象について

#### 1. 住み心地

##### (1) 住み心地

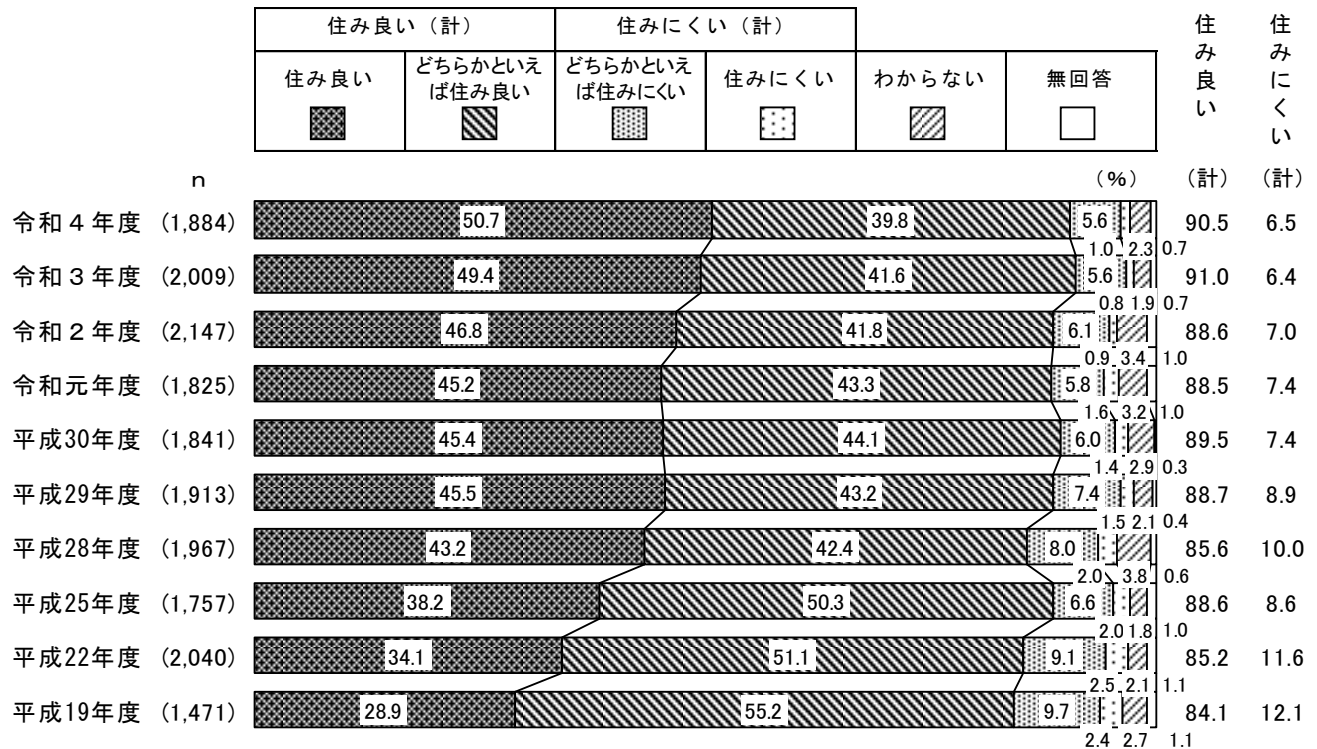
問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地ごこちはどうか。(1つに○)

豊島区の住み心地を聞いたところ、「住み良い」(50.7%)と「どちらかといえば住み良い」(39.8%)を合わせた『住み良い(計)』(90.5%)は約9割となっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.6%)と「住みにくい」(1.0%)を合わせた『住みにくい(計)』(6.5%)は1割近くとなっている。



##### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『住み良い(計)』は令和3年度以降で9割台となっている。

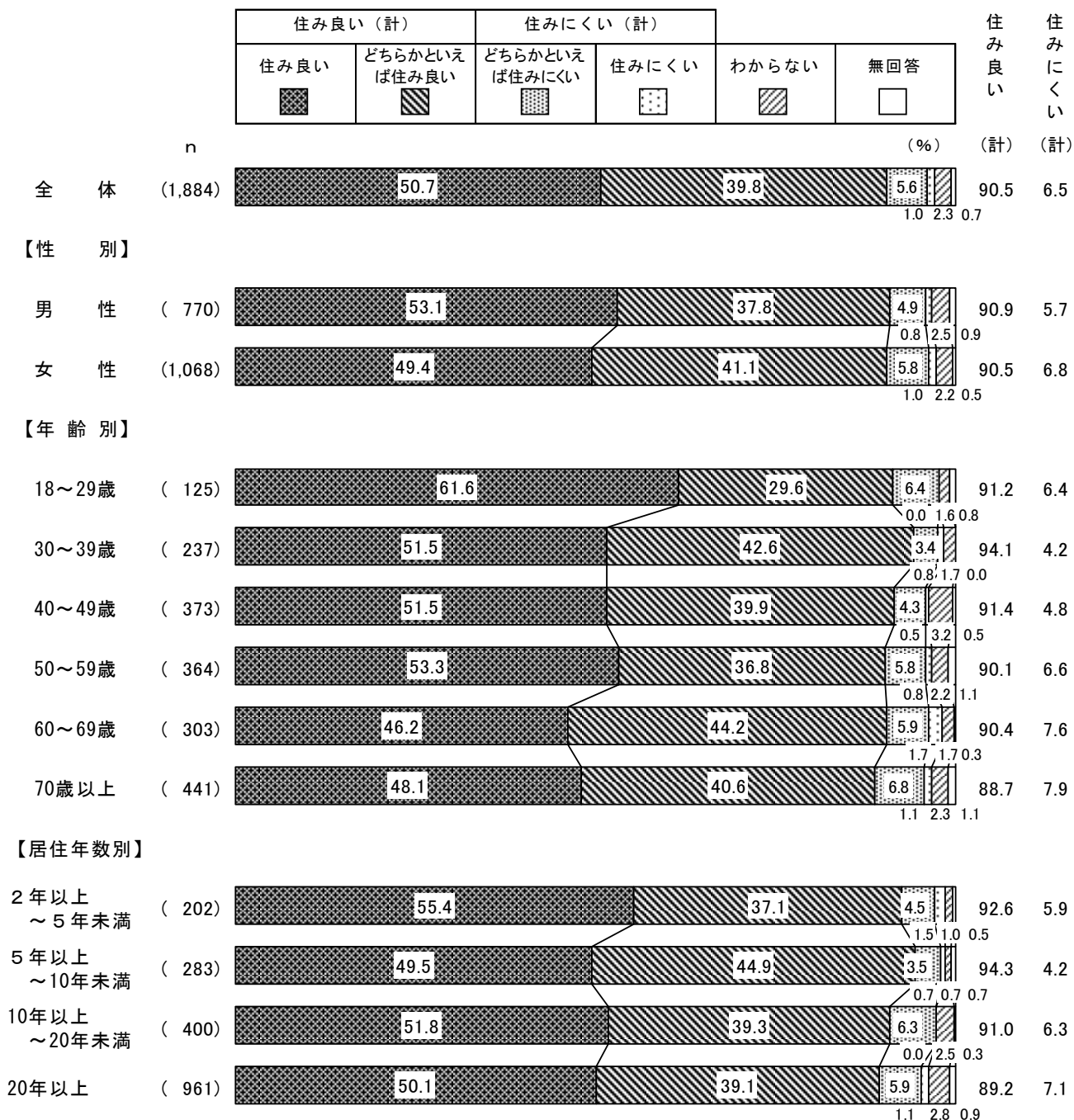


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「住み良い」は男性（53.1%）が女性（49.4%）より3.7ポイント高くなっている。「どちらかといえば住み良い」は女性（41.1%）が男性（37.8%）より3.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『住み良い（計）』は30～39歳（94.1%）で9割半ばと高くなっている。

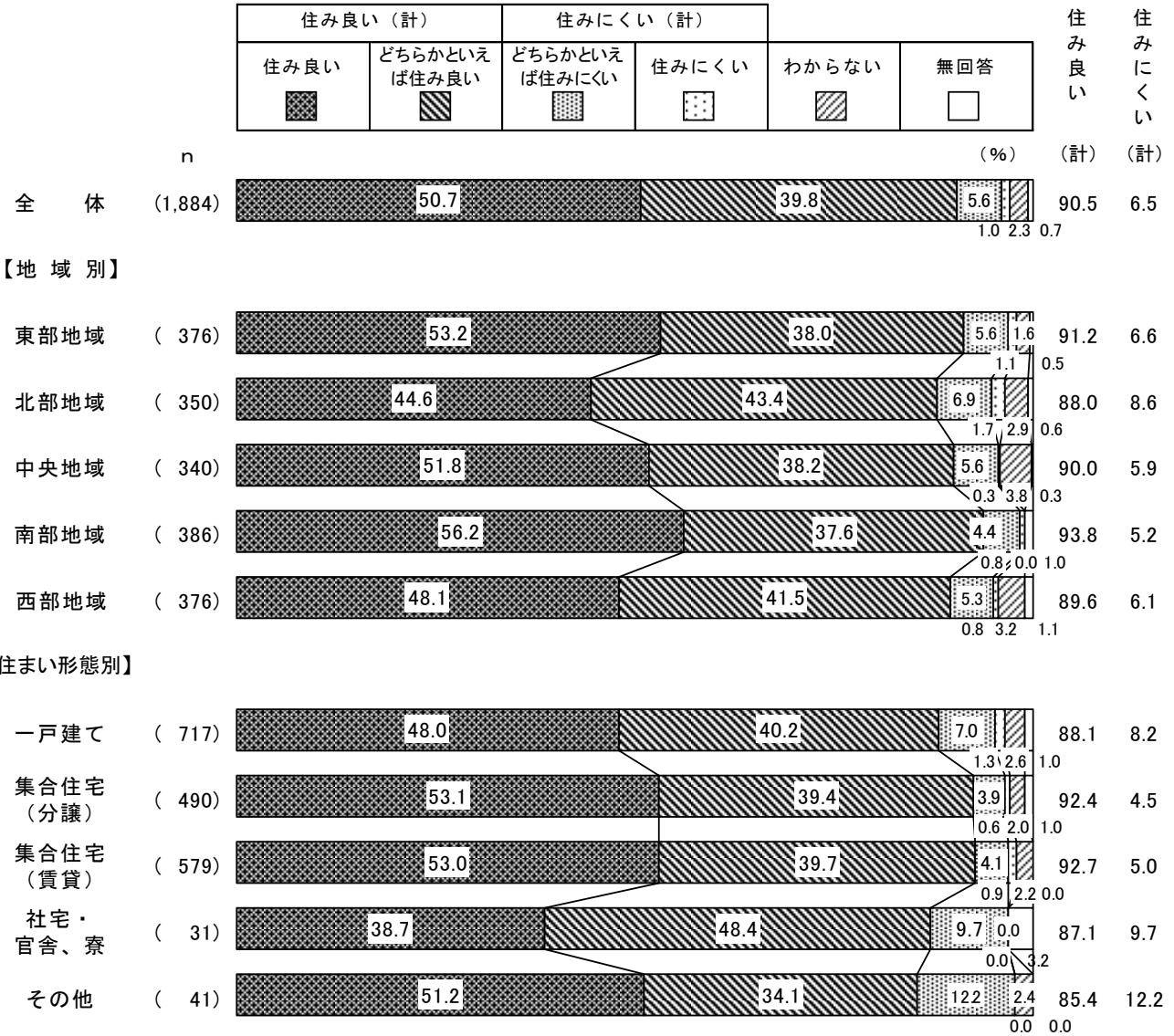
居住年数別でみると、『住み良い（計）』は5年以上～10年未満（94.3%）で9割半ばと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『住み良い（計）』は南部地域（93.8%）で9割半ばと高くなっている。

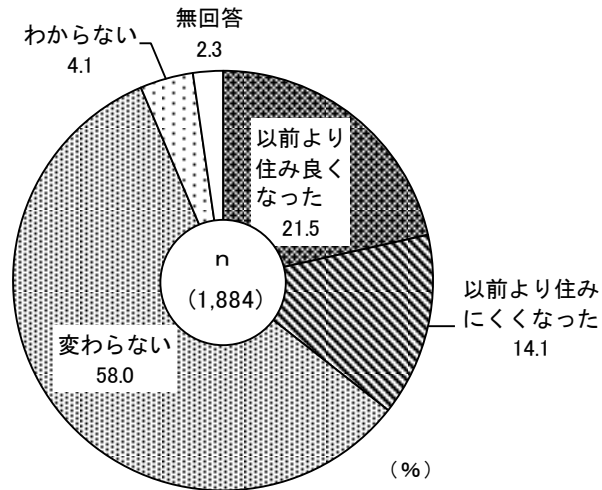
住まい形態別でみると、『住み良い（計）』は集合住宅（分譲）（92.4%）、集合住宅（賃貸）（92.7%）で9割を超えている。



(2) 住み心地の変化

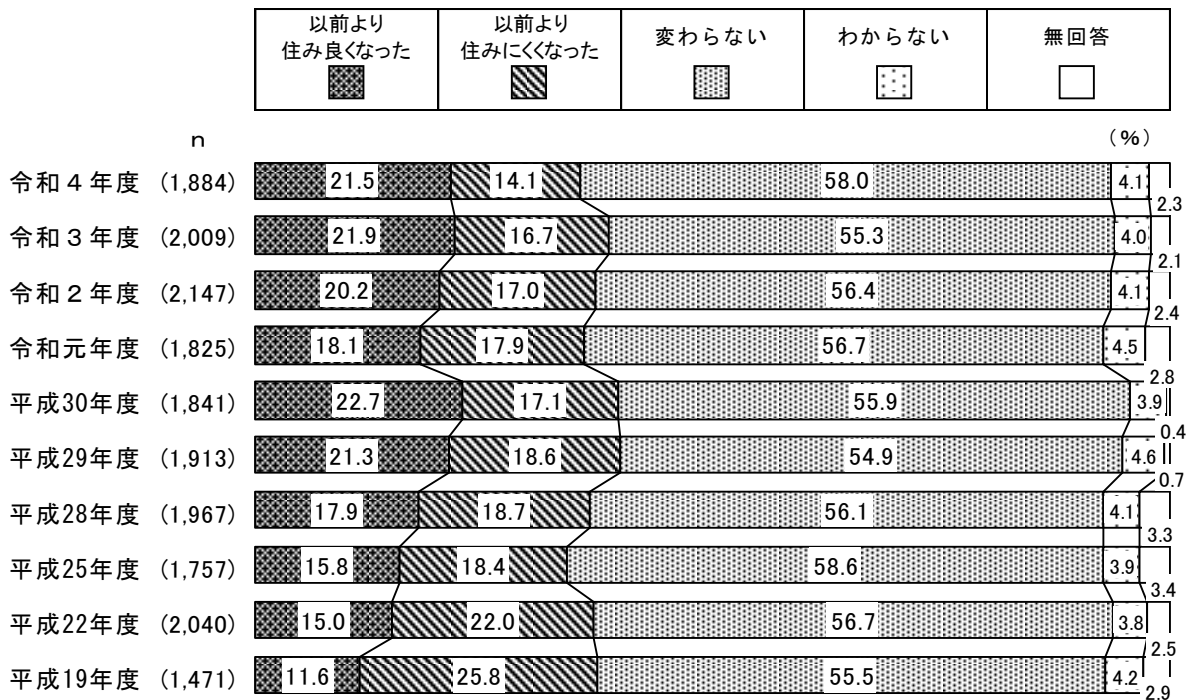
問2 以前と比べて住み心地ごこちに変化はありますか。(1つに○)

以前と比べた住み心地の変化を聞いたところ、「変わらない」(58.0%)が6割近くとなっている。「以前より住み良くなった」(21.5%)が2割を超え、「以前より住みにくくなった」(14.1%)が1割半ばとなっている。



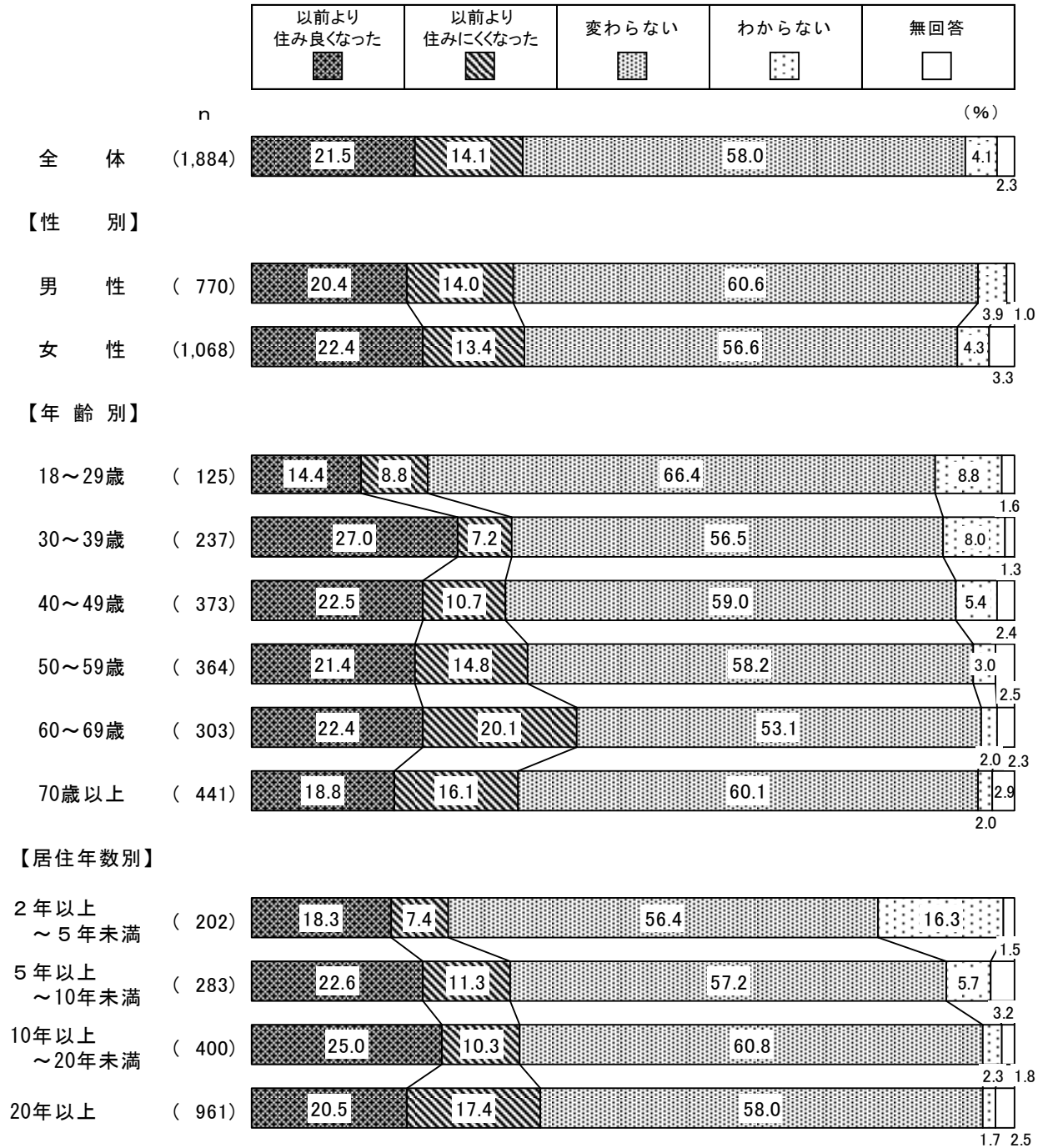
【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「以前より住みにくくなった」は平成19年度以降で最も低い値となっている。



【性別、年齢別、居住年数別】

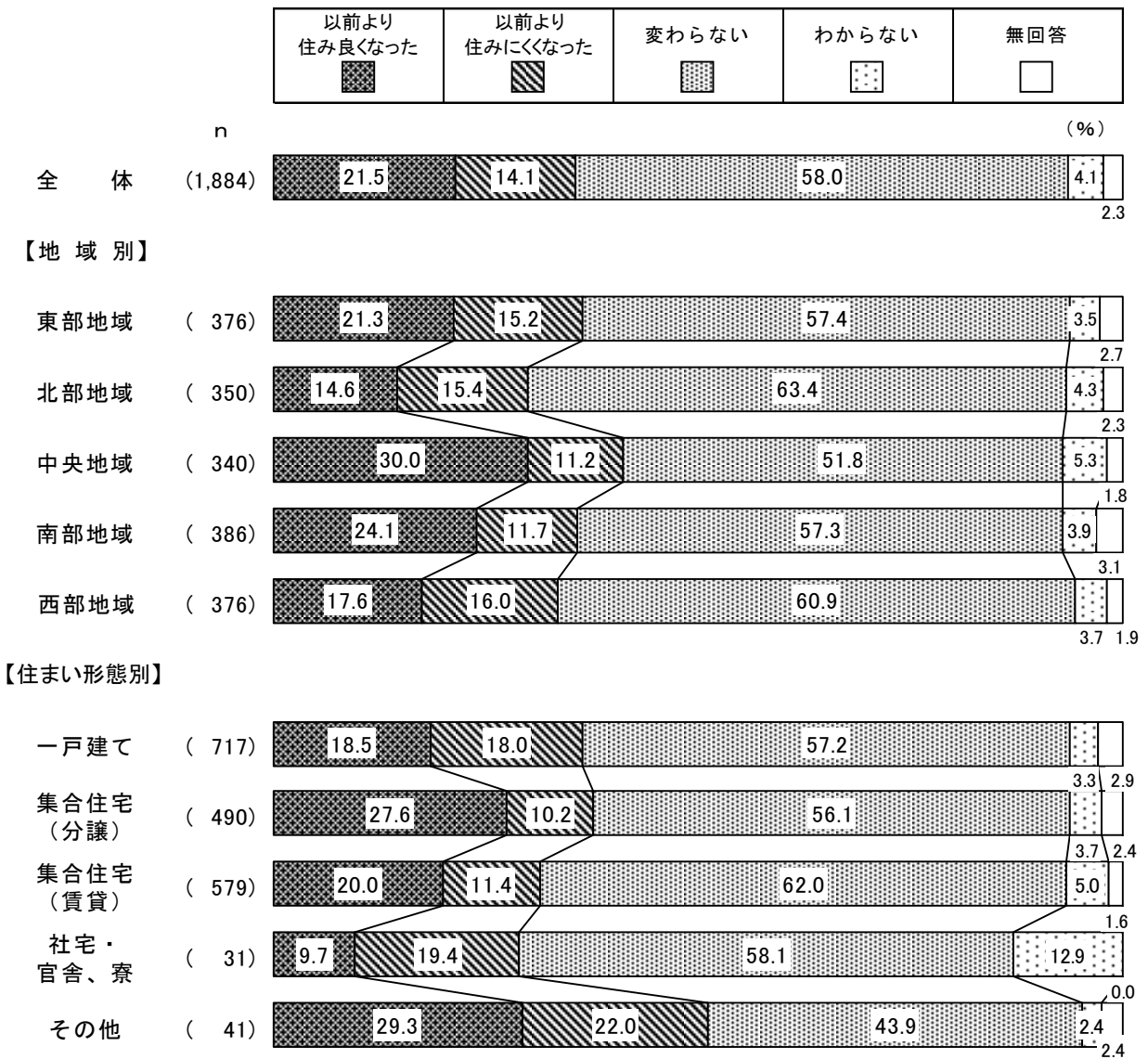
性別でみると、「変わらない」は男性（60.6%）が女性（56.6%）より4.0ポイント高くなっている。  
 年齢別でみると、「以前より住み良くなった」は30～39歳（27.0%）で3割近くと高くなっている。  
 居住年数別でみると、「以前より住み良くなった」は10年以上～20年未満（25.0%）で2割半ばと高くなっている。「以前より住みにくくなった」は20年以上（17.4%）で2割近くとなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、「以前より住み良くなった」は中央地域（30.0%）で3割と高くなっている。

住まい形態別でみると、「以前より住み良くなった」は集合住宅（分譲）（27.6%）で3割近くと高くなっている。





(3) 住み心地の変化の理由

《問2で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》  
 問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

以前と比べた住み心地の変化で、「以前より住み良くなった」または「以前より住みにくくなった」と答えた方に、その代表的な理由を尋ねた。自由回答形式の回答を分類すると、下表のとおりとなった。

【以前より住み良くなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
各種施設について	84	近くに子供を遊ばせる公園が増えた
		公共の施設が充実した
		池袋の再開発をはじめとして親子で安心して出かけられる施設が増えた
		公共施設の整備が進み衛生状況が改善した
街づくり	74	大塚駅の再開発により便利になり雰囲気も明るくなった
		建物や道路が整備され街も明るくなり生き生きとして歩けるようになった
		街路が整備されてきれいになった
		御嶽通りの整備にて電線地中化になり景観も良い
交通について	69	狭い道が減って車とギリギリすれちがう事が減ってきた
		道路が整備され特に自転車道が便利になった
		有楽町線に加え副都心線も開通し電車での移動が便利になった
		西池通りが歩きやすくなり、一時間に1本のバスだが区役所まで行ける
生活環境が改善された	59	ゴミ収集がきれいになった
		池袋という危ないイメージだったが、家族でも安心して過ごせる感じになってきた
		町がきれいになりマナーの良い人が増えた
		路上喫煙が減った
		街が静かになった
飲食店や商業施設について	42	飲食店や駅ビルが増えた
		映画館などの施設が次々に完成された
		駅前に新しいお店が増えた
		1人でも家族でもはいたりやすい、用途に応じたカフェが増えた
買い物について	25	八百屋、肉屋等、食品を購入できる場所が近くに増えた
		駅ビルができて買物が助かっている
		コンビニだけでなく量販店も増え、安価で買い物ができるようになった
安全・治安について	23	街灯が増え痴漢の話を聞かなくなった
		防犯カメラが増えて安心感が増した
		客引きを防止するアナウンスが流れているため、客引きが減った
		水害対策がなされている

分類項目	件数	主な意見（要旨）
福祉・医療が充実している	20	医院がたくさん開院した
		コロナワクチンの接種の対応がよい
		保育園が増えたため、入園についての不安が減った
行政がよくなった	13	新庁舎移転により各種事務がまとめられ効率的になった
		区民に積極的に広報し情報を取得しやすくなった
		中学生までの医療費が無料、土日曜日も区役所があいている
		百貨店で選挙の期日前投票ができる
人間関係がよくなった	11	エレベーター内でも初めて顔を見合わせる人でも話をする人が増えた
		定年のため家にいる時間が多くなり、近所づきあいが増えた
		外国人が増えて言語の幅が増えた
		町会の役員の人と仲よくなり、行動している
その他	20	特に問題がないから
		環境に慣れてきたのも大きいと思う
		池袋は注目されているのでどんどん進化している

【以前より住みにくくなった主な理由】

分類項目	件数	主な意見（要旨）
治安・マナー	63	ゴミ出しルールを守らない方が増えている。溢れたゴミ箱を収集日迄何日も見るのは不快
		指定駐輪所以外にとめてある自転車がが多く、歩道がふさがれている
		家の前に民泊ができ、知らない人が出入りしたり夜中まで大声でさわいだりしている
		道路に犬のフンや嘔吐物がそのまま放置されていることが多い
買い物が不便になった	46	生鮮食品や日用品の買い物をする場所がなく、普通の飲食店がない
		近所の個人商店やコンビニの閉店が続いている
		本屋が減った
		銭湯が少なくなった
外国人との関係	42	仕事の時間は変わらないのに、店舗の営業時間が短くなった
		外国籍の方がかなり増え文化の違いにとまどう
		他国籍の人が年々増えて騒音が前より増えた気がする
		外国の方がすごく多くなって店も増えて行きづらい
騒音	32	言語がちがう人が増えて話かけられない
		頻繁に低空を飛行機が飛行するようになった
		周辺の開発が進んで建設の騒音が絶えない
		大きな車の往来や都電の工事等がうるさい
		近隣の騒音（休日子供たちを道路であそばせている）

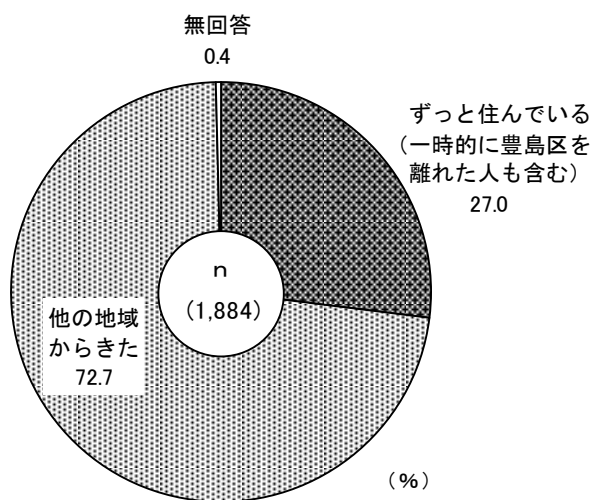
分類項目	件数	主な意見（要旨）
新しくマンションや住宅が建設され住環境が悪化した	29	高い建物が増えて日当たりが悪くなったりビル風が強くなったりした
		家の隣にワンルームマンションが建ってうるさくなった
		集合住宅が多くなり、知らない人が増えて、不安な時がある
コミュニティ・近隣関係	27	賃貸が増え知らない人が多くなった
		住んでいる方の名前がわからない。近所でも口をきかなかったり挨拶をしない人が多くなった
		地域のつながりが少なくなってきた感じがする
		若い人達が住むようになって近所づきあいがなくなった
道路・交通	13	町内の道路が狭い
		池袋駅に行くための交通手段が東口に行くバスしかなく不便である
		工事が多いため、トラックの行き来が多く通りにくい
		西巢鴨橋の工事を早く完了してほしい
街づくり、都市開発	11	再開発が進み高層の建物が増え空の面積が少なくなった
		開発工事が大がかりで町がかわっていき不安を感じる
		タワーマンションありきの区画整理
各種施設	8	喫煙所が少ない
		安心する大病院がない
		公園や開放している校庭ではほとんどサッカーボールで遊べなくなった
		銀行が近くに無くなった
緑・オープンスペース	6	谷端川南緑道が近くにあり不法投棄が多く環境が悪くなった
		空地がなくなり自然が減った
		緑が少なくなった
行政	5	区役所と保健所がすごく遠い
		区役所の役割をする地域センター的なものが少なすぎる
		可燃ごみ週に2回は少ない
		行政サービスが、若者、子育て世代に傾斜しすぎている
その他	19	単身者が増え子供が少なくなった
		物価が高くなっている
		コロナ禍でいろいろな行事がなくなった

## 2. 居住の経緯

### (1) 居住の経緯

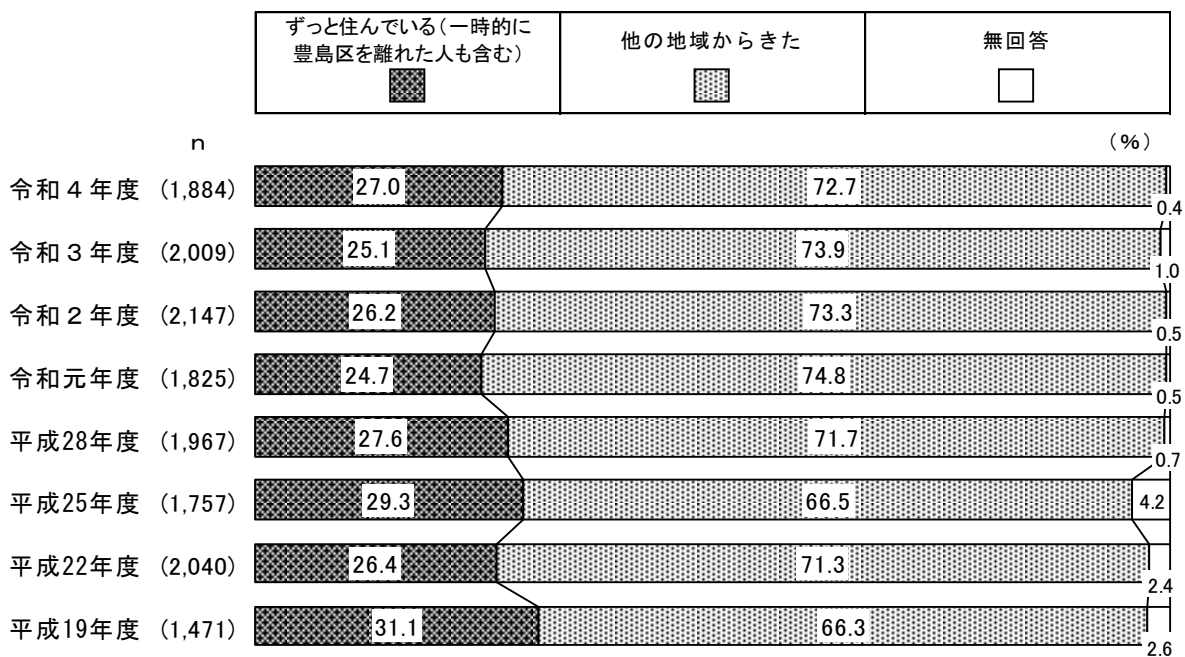
問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

生まれてからずっと豊島区に住んでいるか聞いたところ、「ずっと住んでいる(一時的に豊島区を離れた人も含む)」(27.0%)が3割近く、「他の地域からきた」(72.7%)が7割を超えている。



### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成22年度以降、大きな違いはみられない。

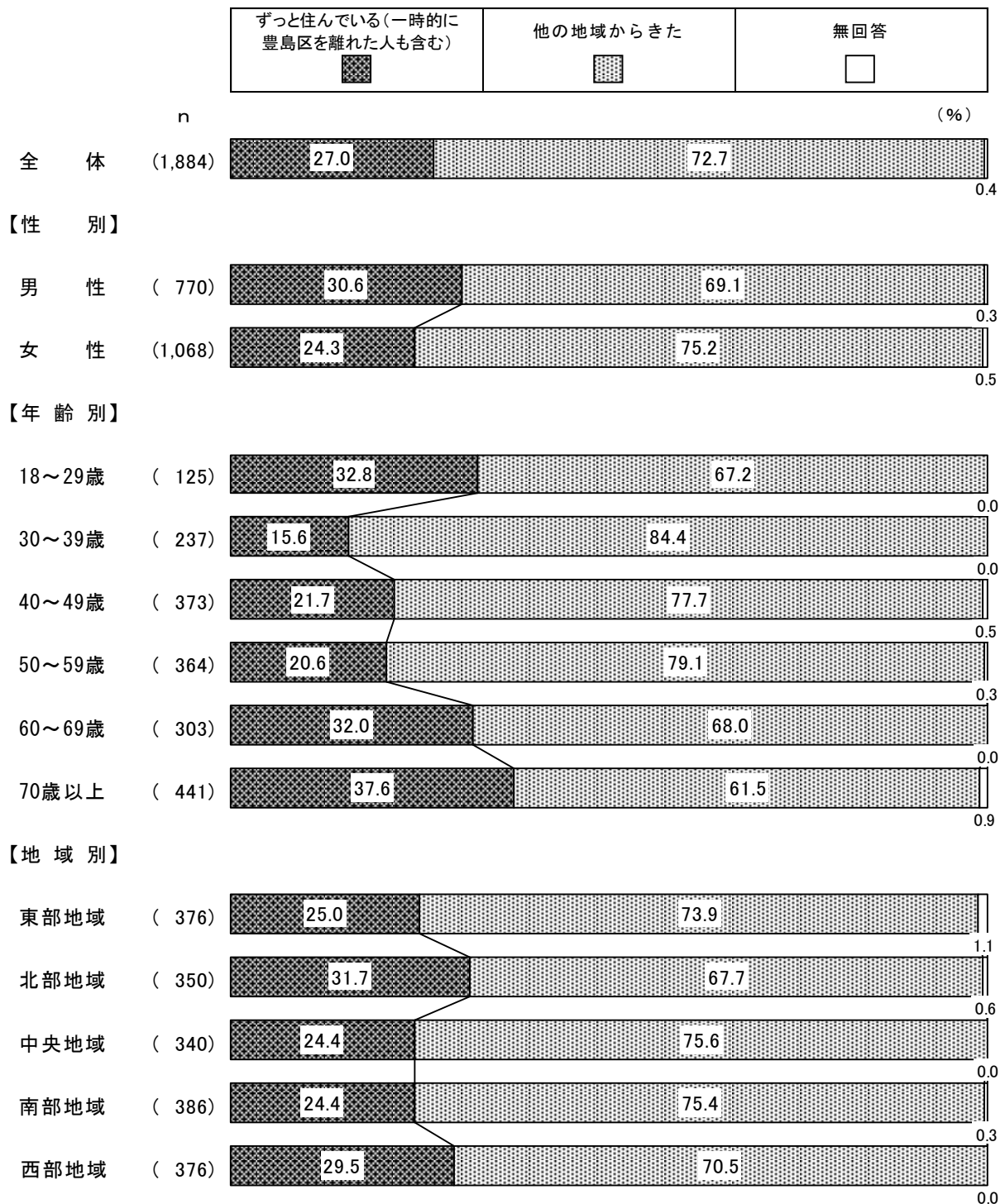


【性別、年齢別、地域別】

性別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は男性(30.6%)が女性(24.3%)より6.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は70歳以上(37.6%)で4割近くと高くなっている。一方、「他の地域からきた」は30～39歳(84.4%)で8割半ば、50～59歳(79.1%)で約8割と高くなっている。

地域別でみると、「ずっと住んでいる（一時的に豊島区を離れた人も含む）」は北部地域(31.7%)で3割を超えて高くなっている。



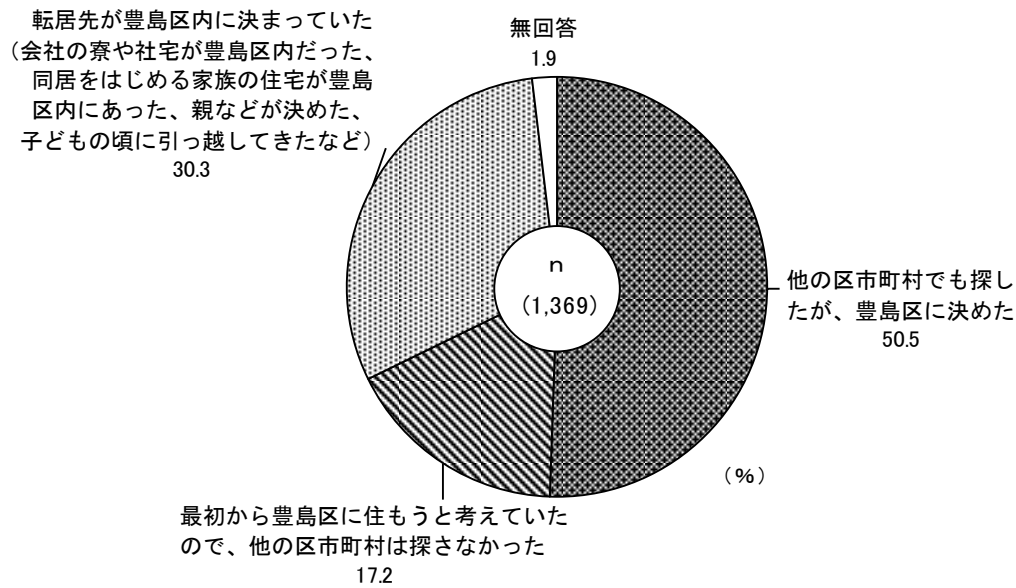
(2) 転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか

《問3で、「他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。

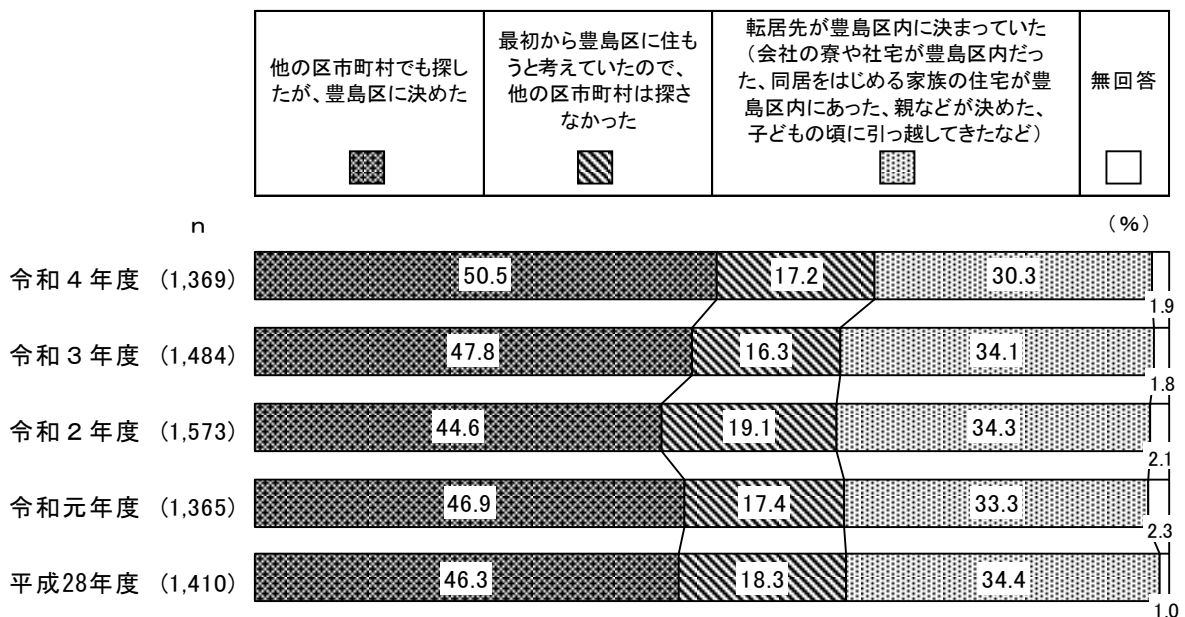
(1つに〇)

居住の経緯で、「他の地域からきた」と答えた方に、転入にあたり豊島区以外の区市町村でも住まいを探したか聞いたところ、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」(50.5%)が約5割で最も高く、次いで「転居先が豊島区内に決まっていた(会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめ家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど)」(30.3%)、「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」(17.2%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は令和3年度より2.7ポイント増加し、平成28年度以降で最も高い値となっている。

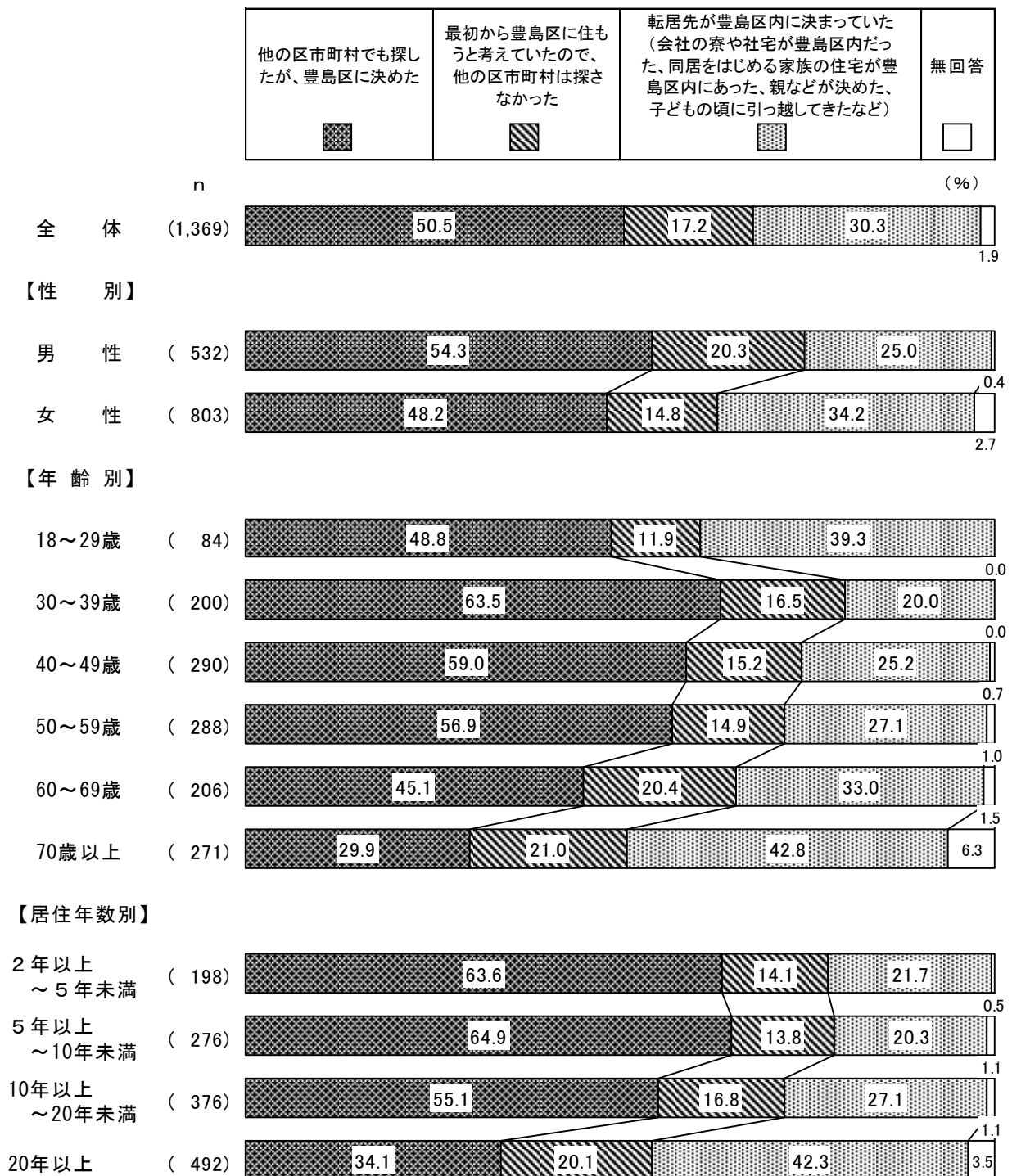


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は男性（54.3%）が女性（48.2%）より 6.1 ポイント高くなっている。一方、「転居先が豊島区内に決まっていた」は女性（34.2%）が男性（25.0%）より 9.2 ポイント高くなっている。

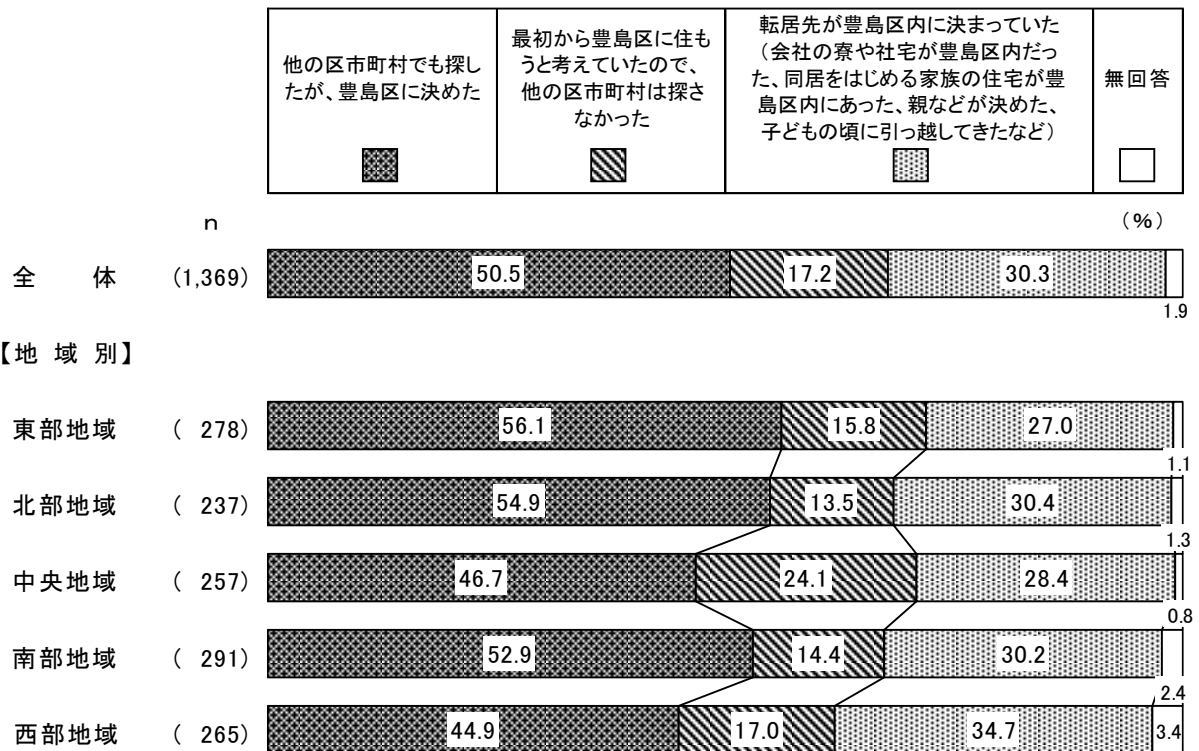
年齢別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は30～39歳（63.5%）で6割半ば、40～49歳（59.0%）で6割近くと高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は70歳以上（42.8%）で4割を超えて高くなっている。

居住年数別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は2年以上～5年未満（63.6%）、5年以上～10年未満（64.9%）で6割半ばと高くなっている。「転居先が豊島区内に決まっていた」は20年以上（42.3%）で4割を超えて高くなっている。



【地域別】

地域別でみると、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」は東部地域（56.1%）で5割半ばと高くなっている。「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」は中央地域（24.1%）で2割半ばとなっている。



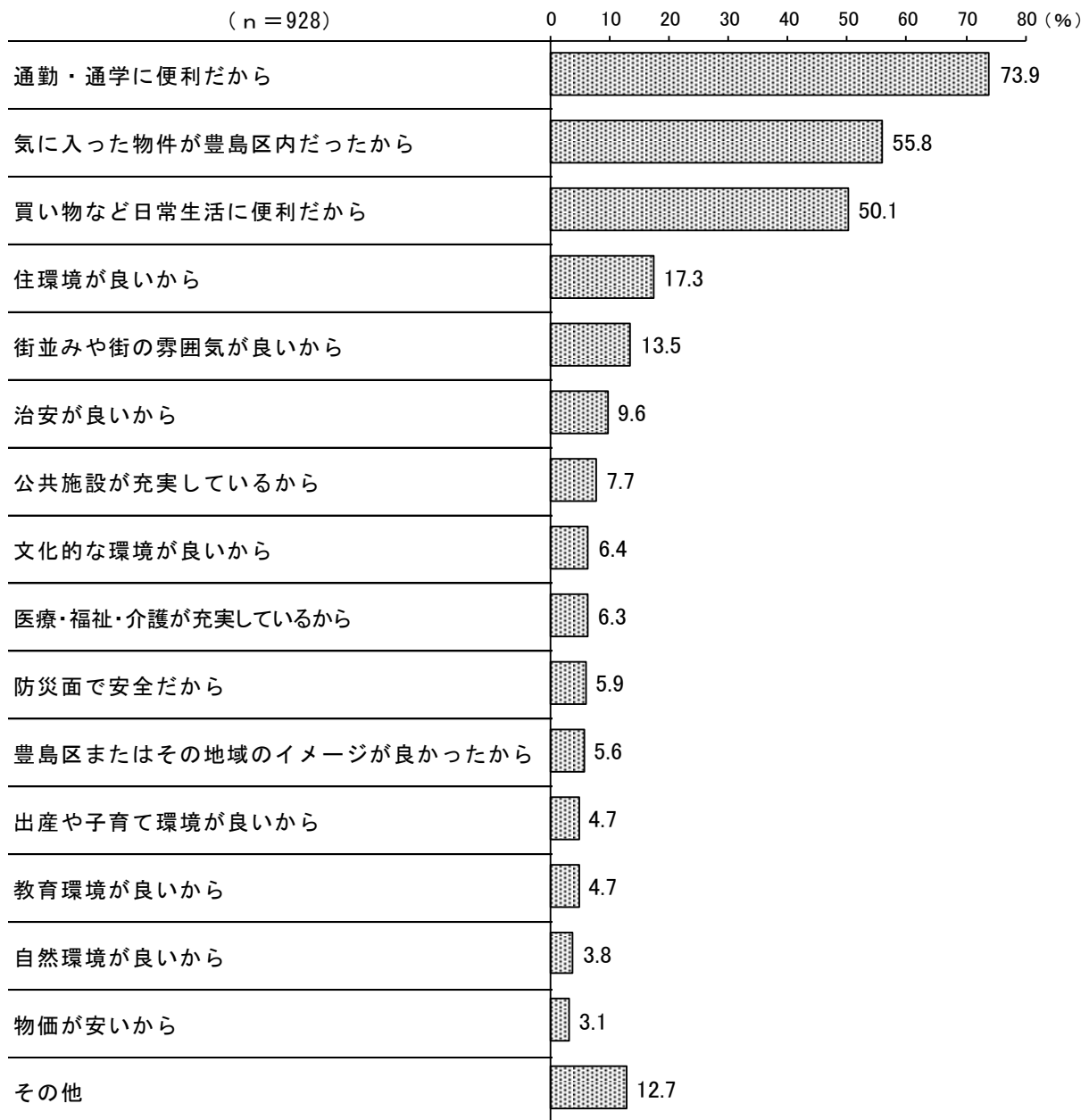


(3) 豊島区を選んだ理由

《問3-1で、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」とお答えの方におたずねします》

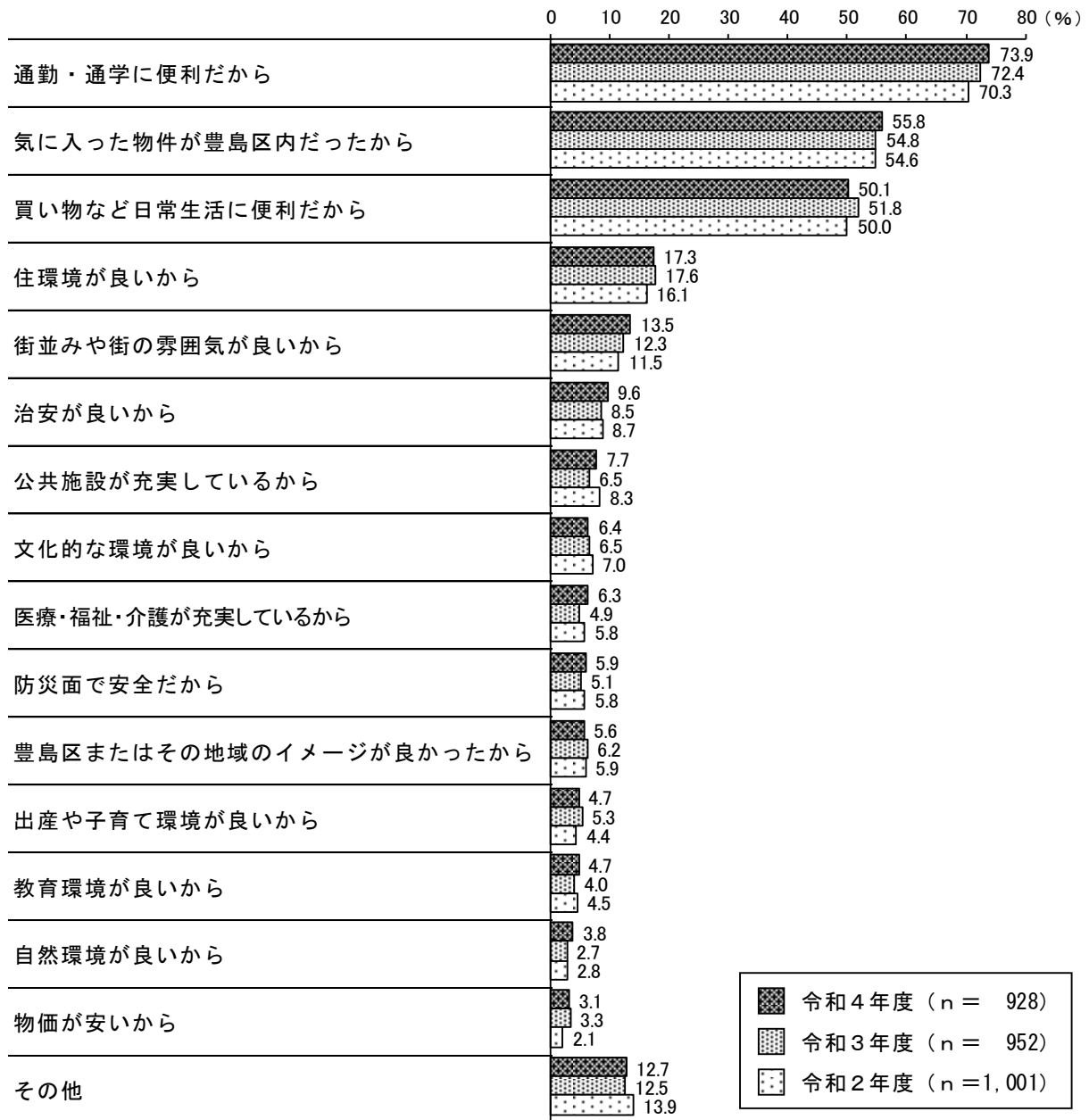
問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

転入するにあたり、「他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた」または「最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった」と答えた方に、豊島区を選んだ理由を聞いたところ、「通勤・通学に便利だから」(73.9%)が7割半ばで最も高く、次いで「気に入った物件が豊島区内だったから」(55.8%)、「買い物など日常生活に便利だから」(50.1%)、「住環境が良いから」(17.3%)となっている。



【経年比較】

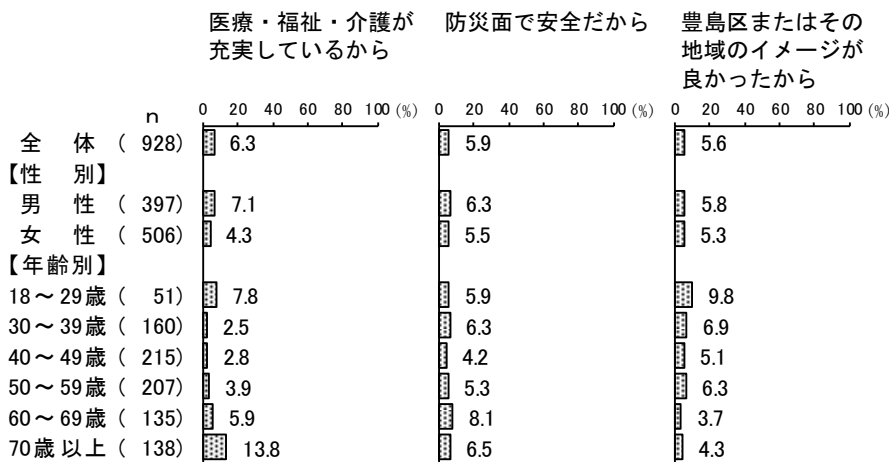
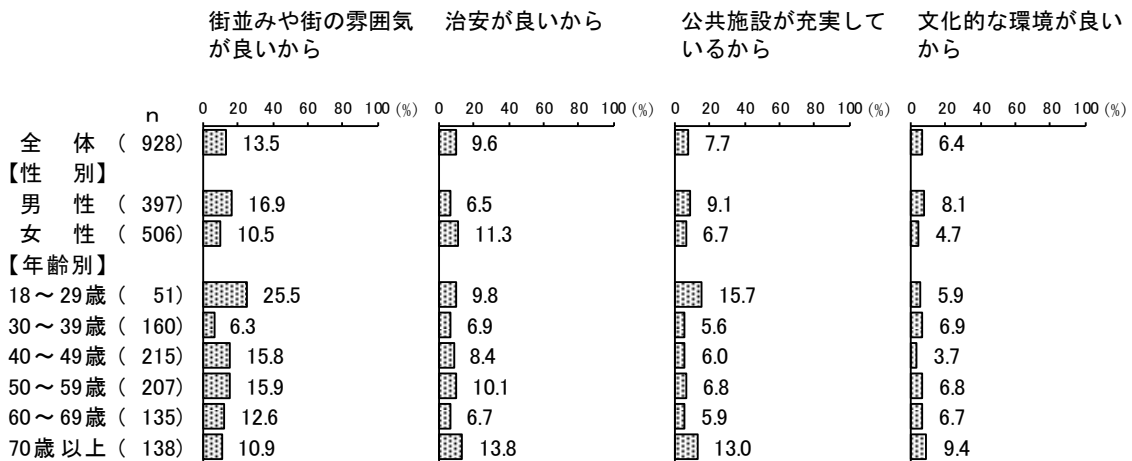
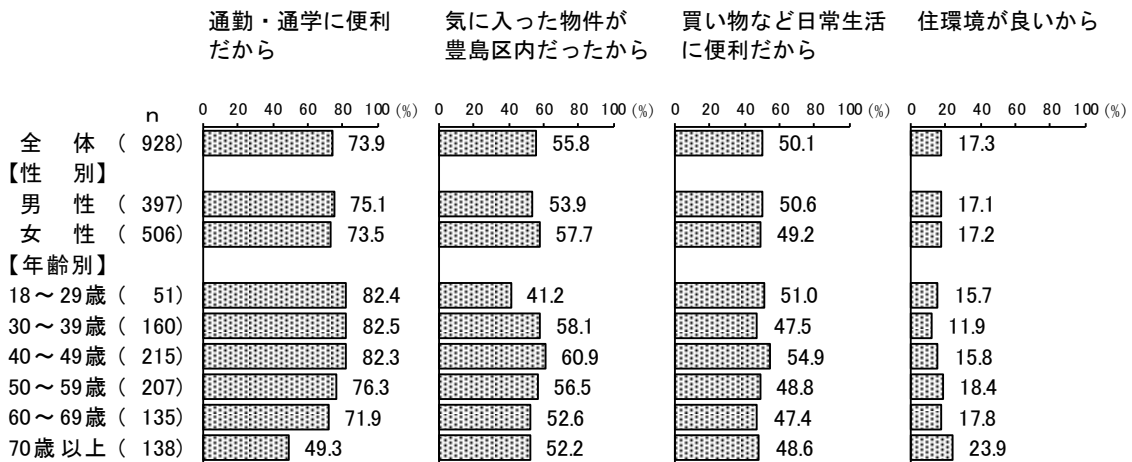
過去の調査結果と比較すると、令和3年度と比べて大きな違いはみられない。



【性別、年齢別】(上位11項目)

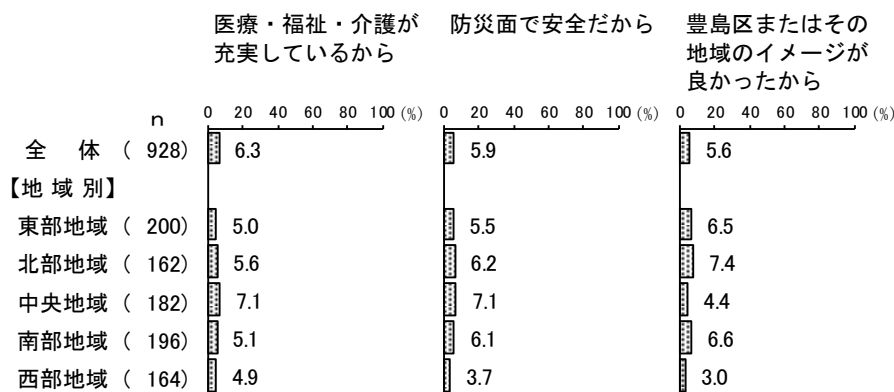
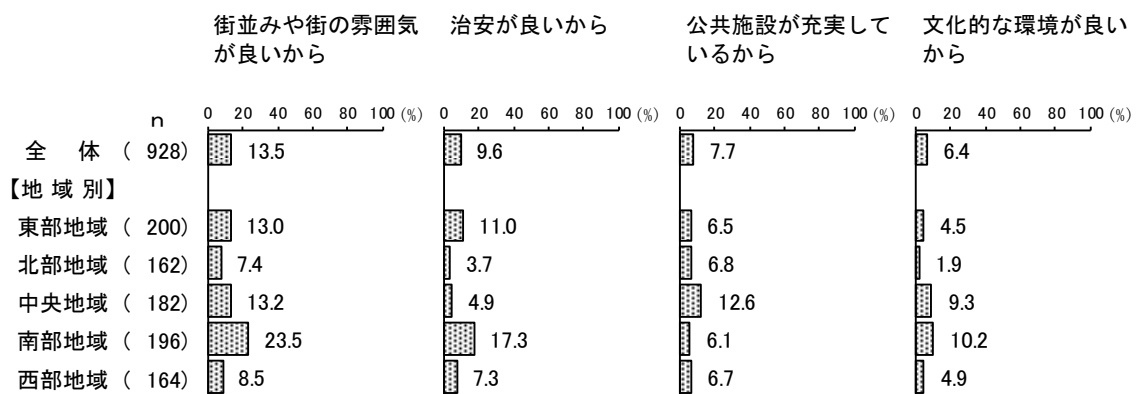
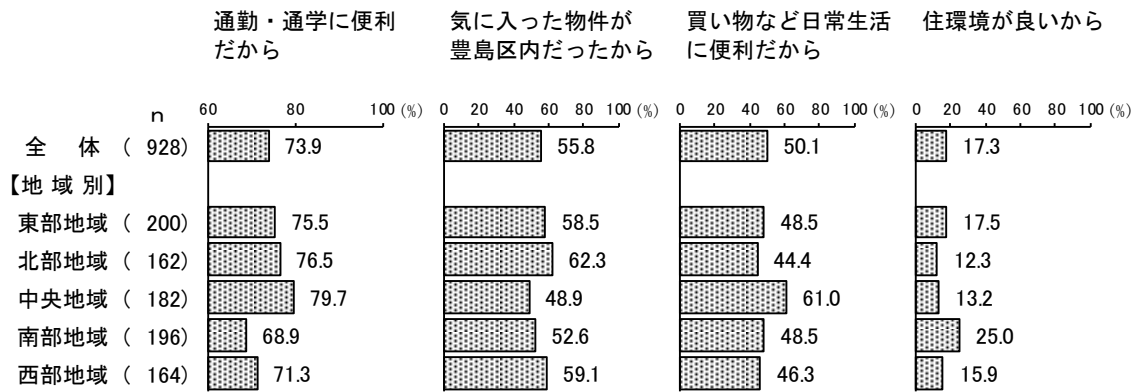
性別でみると、「街並みや街の雰囲気が良いから」は男性(16.9%)が女性(10.5%)より6.4ポイント高くなっている。一方、「治安が良いから」は女性(11.3%)が男性(6.5%)より4.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「通勤・通学に便利だから」は18~29歳(82.4%)、30~39歳(82.5%)、40~49歳(82.3%)で8割を超えて高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は40~49歳(60.9%)で約6割と高くなっている。



【地域別】（上位11項目）

地域別でみると、「通勤・通学に便利だから」は中央地域（79.7%）で8割と高くなっている。「気に入った物件が豊島区内だったから」は北部地域（62.3%）で6割を超えて高くなっている。「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（61.0%）で6割を超えて高くなっている。

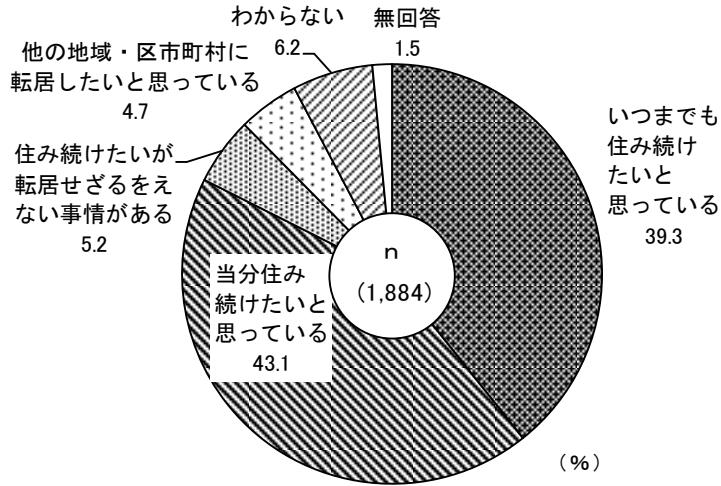


### 3. 定住意向

#### (1) 定住意向

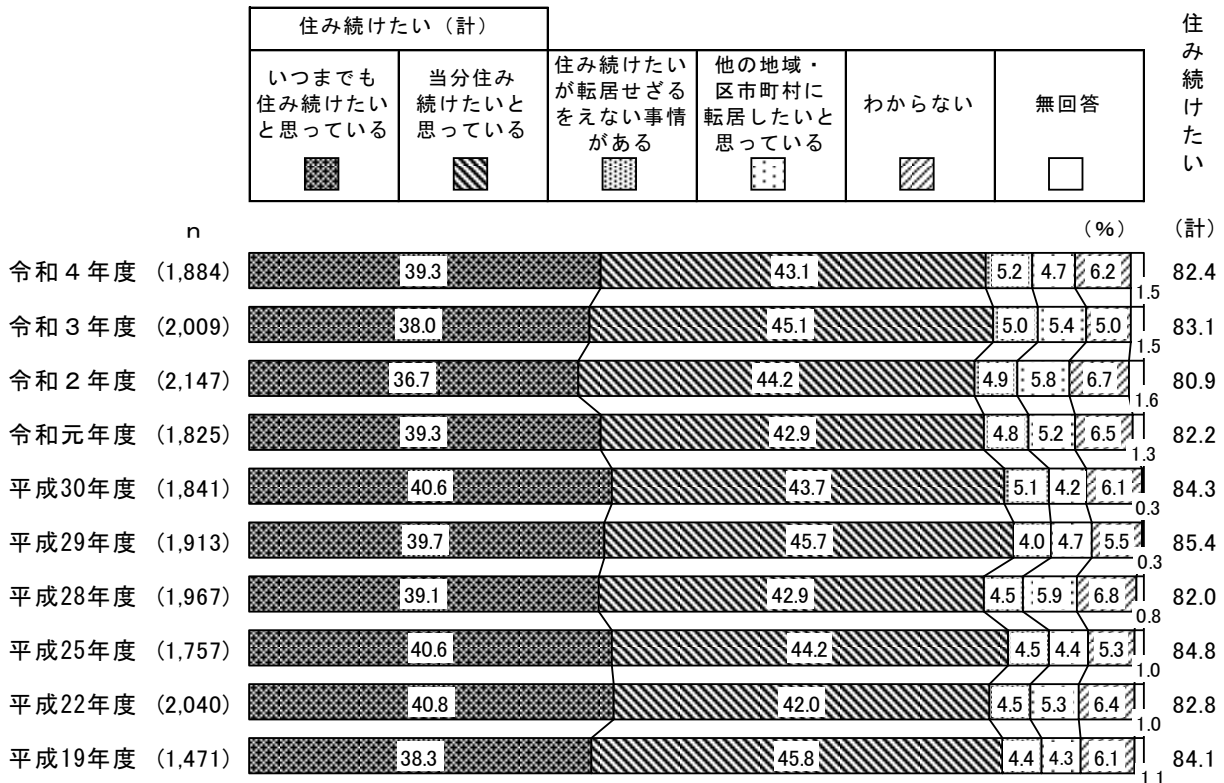
問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

これからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思うか聞いたところ、「いつまでも住み続けたいと思っている」(39.3%)と「当分住み続けたいと思っている」(43.1%)を合わせた『住み続けたい(計)』(82.4%)は8割を超えている。一方、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」(5.2%)と「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」(4.7%)はともに1割未満となっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は平成19年度以降、4割前後で推移している。

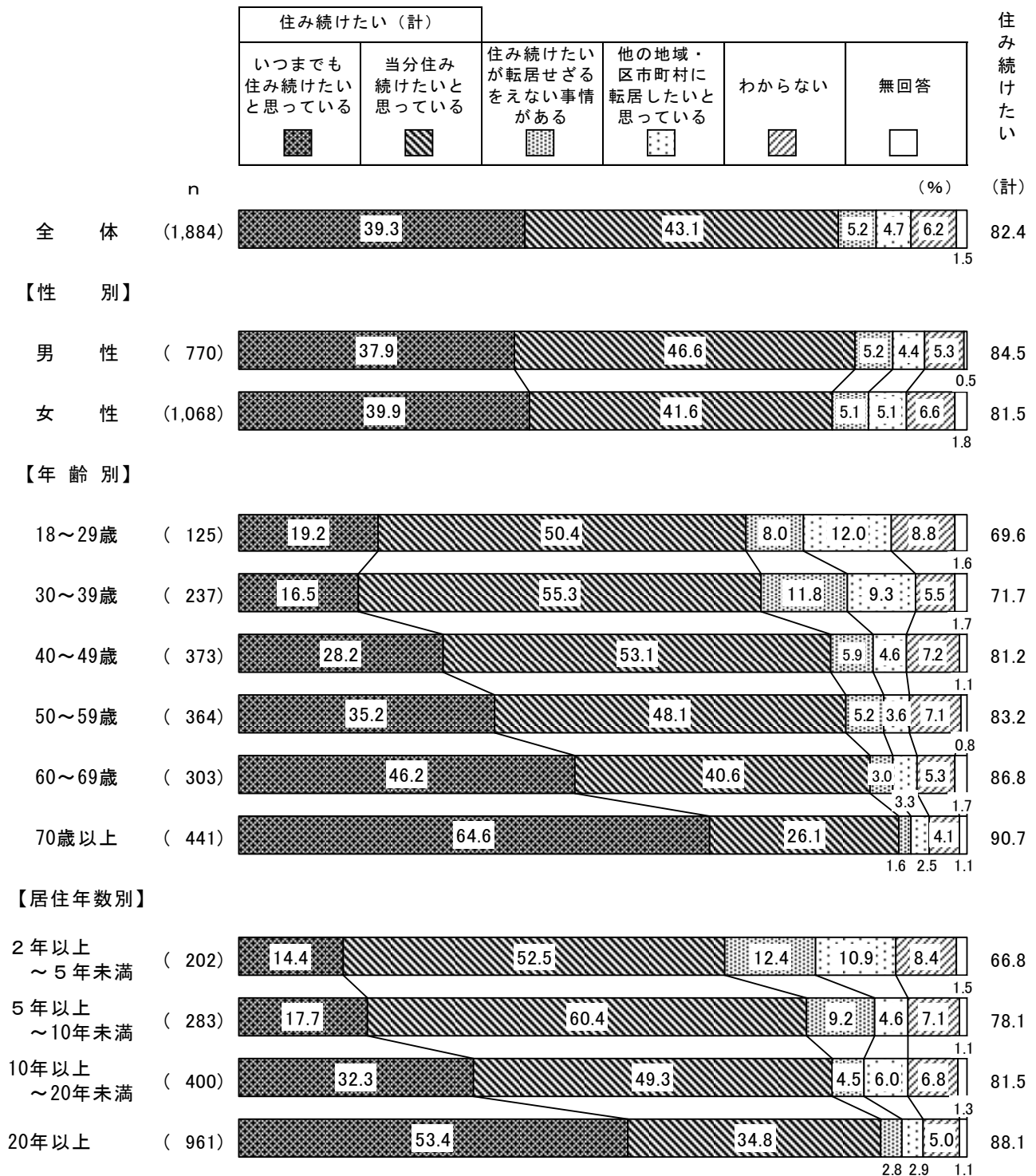


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「当分住み続けたいと思っている」は男性（46.6%）が女性（41.6%）より5.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「いつまでも住み続けたいと思っている」は概ね年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（64.6%）で6割半ばと高くなっている。

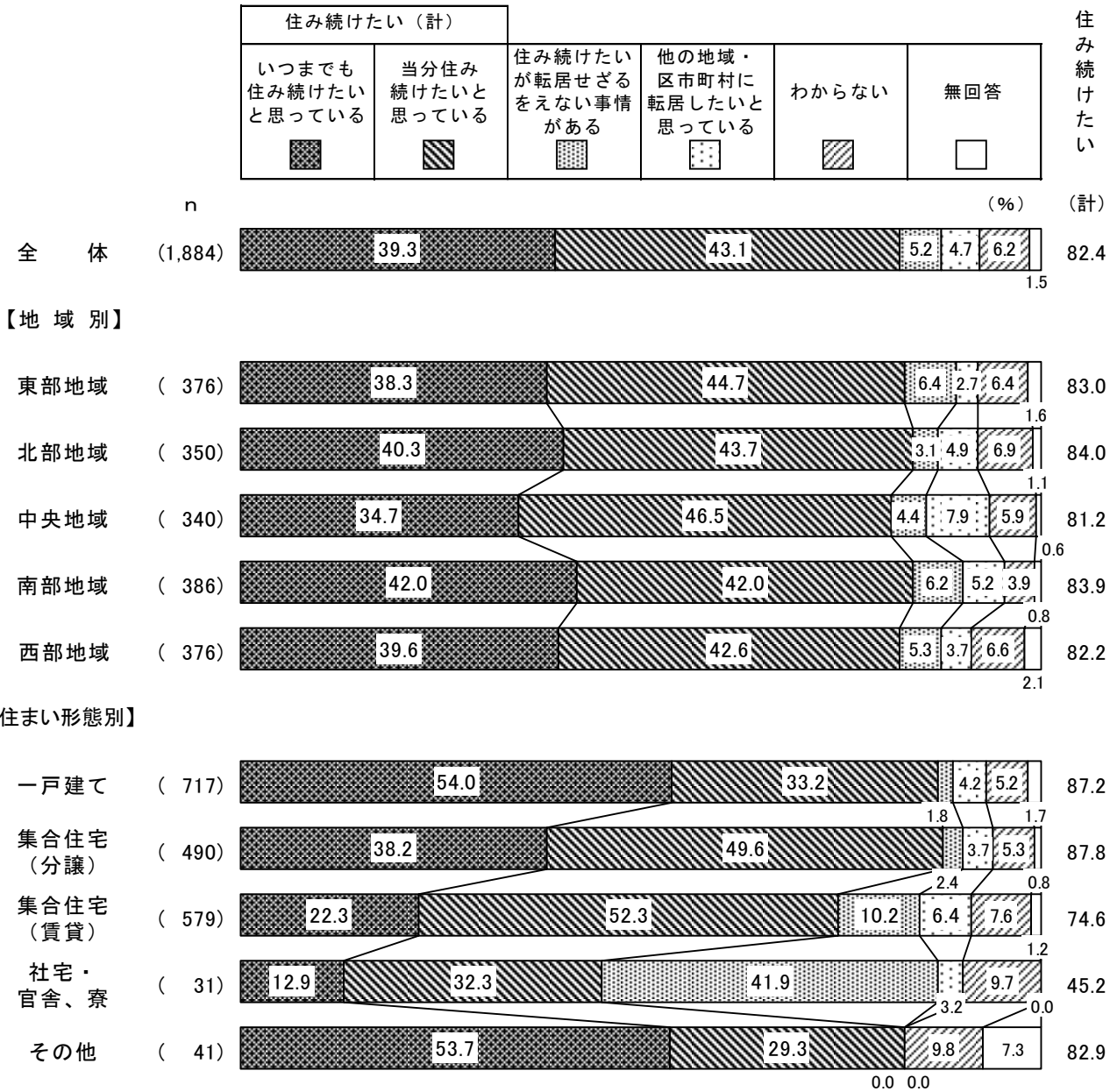
居住年数別でみると、『住み続けたい（計）』は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（88.1%）で9割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、大きな違いはみられない。

住まい形態別でみると、『住み続けたい（計）』は集合住宅（分譲）（87.8%）、一戸建て（87.2%）で9割近くと高くなっている。

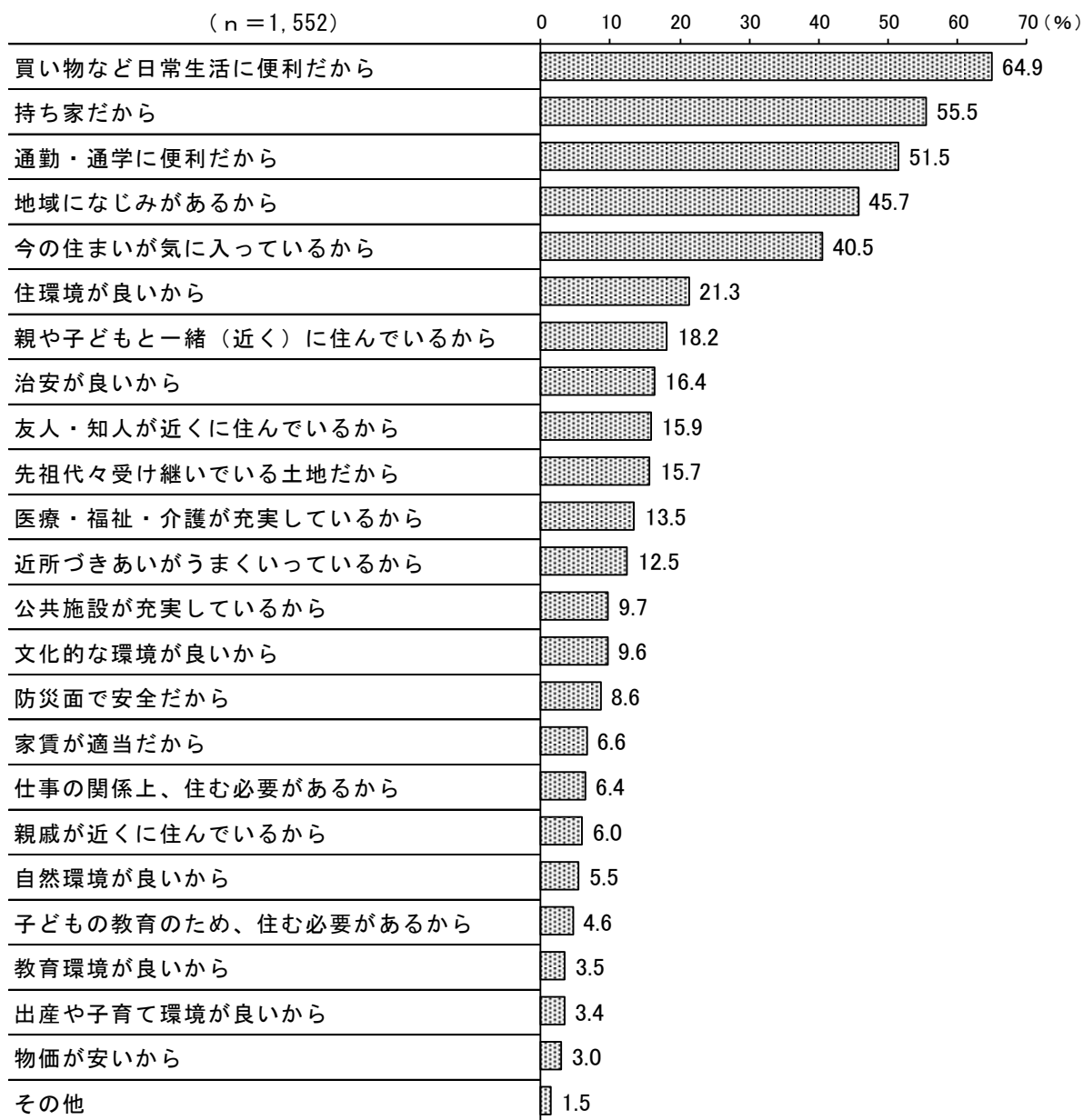


(2) 住み続けたい理由

《問4で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」とお答えの方におたずねします》

問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

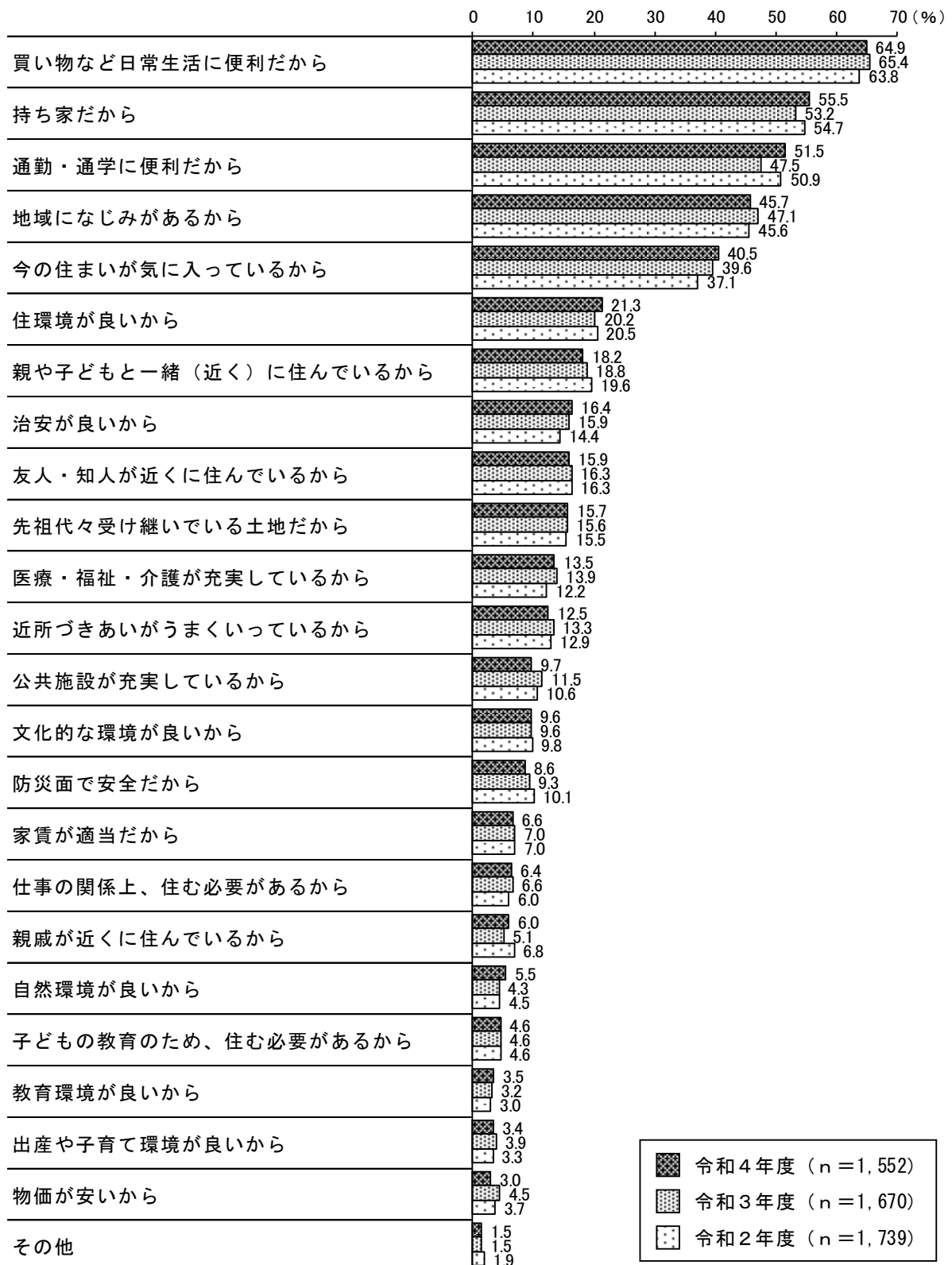
定住意向で、「いつまでも住み続けたいと思っている」または「当分住み続けたいと思っている」と答えた方に、住み続けたい理由を聞いたところ、「買い物など日常生活に便利だから」(64.9%)が6割半ばで最も高く、次いで「持ち家だから」(55.5%)、「通勤・通学に便利だから」(51.5%)、「地域になじみがあるから」(45.7%)となっている。





【経年比較】

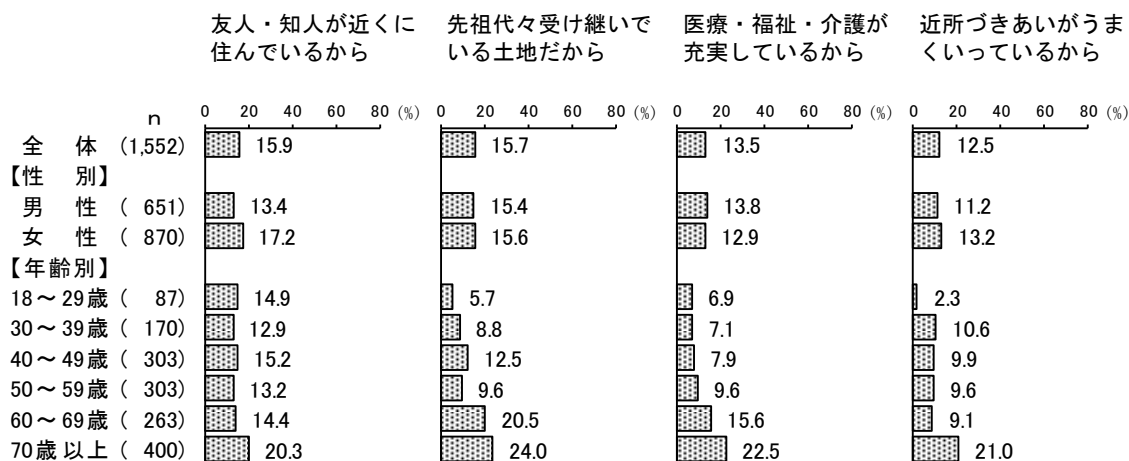
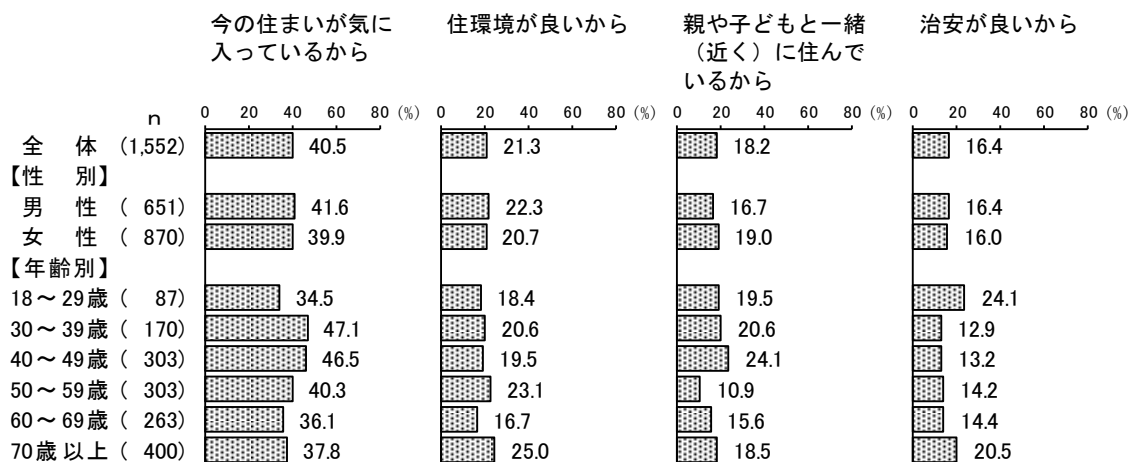
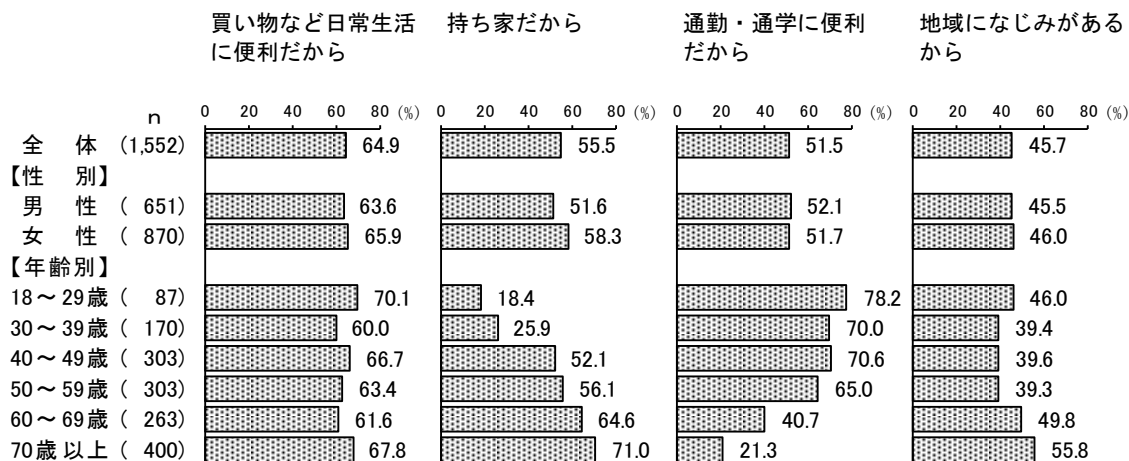
過去の調査結果と比較すると、「通勤・通学に便利だから」は令和3年度より4.0ポイント増加している。



【性別、年齢別】(上位12項目)

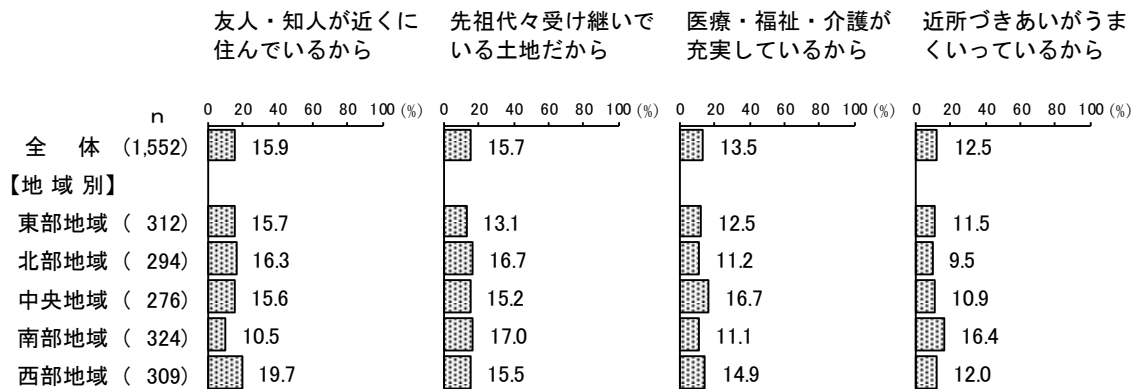
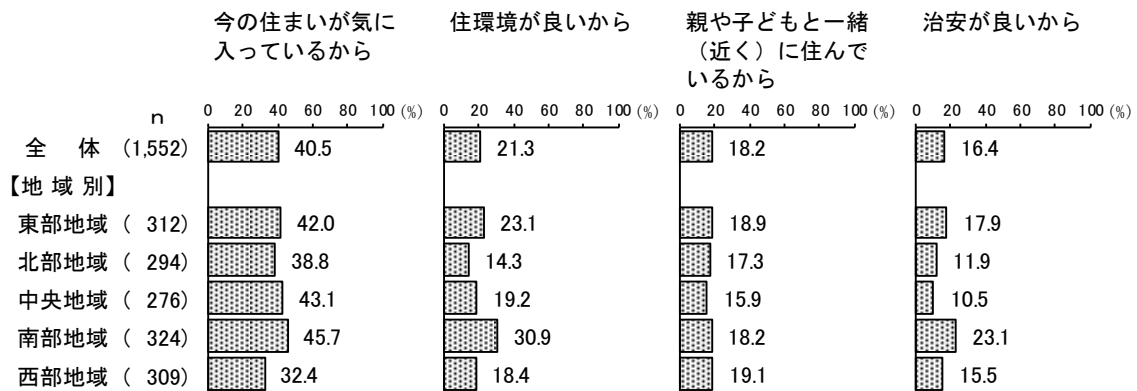
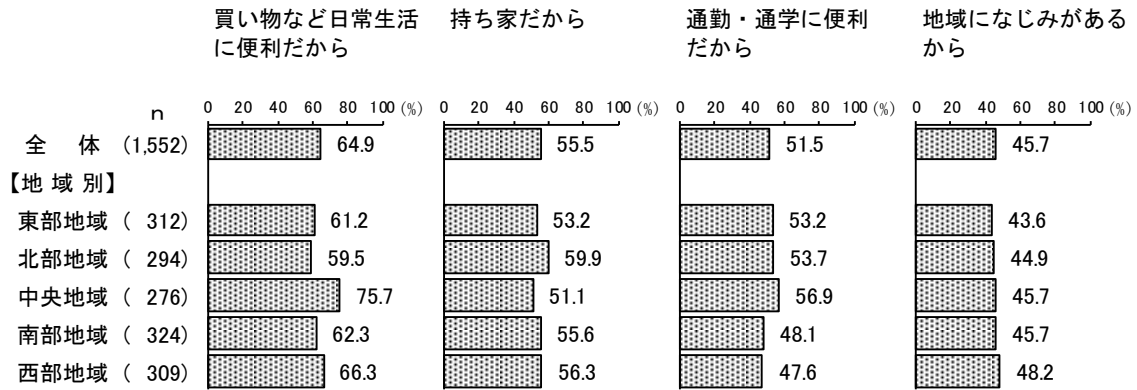
性別でみると、「持ち家だから」は女性(58.3%)が男性(51.6%)より6.7ポイント高くなっている。また、「友人・知人が近くに住んでいるから」は女性(17.2%)が男性(13.4%)より3.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「持ち家だから」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上(71.0%)で7割を超えて高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は18~29歳(78.2%)、30~39歳(70.0%)、40~49歳(70.6%)で7割台と高くなっている。「地域になじみがあるから」は70歳以上(55.8%)で5割半ばと高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

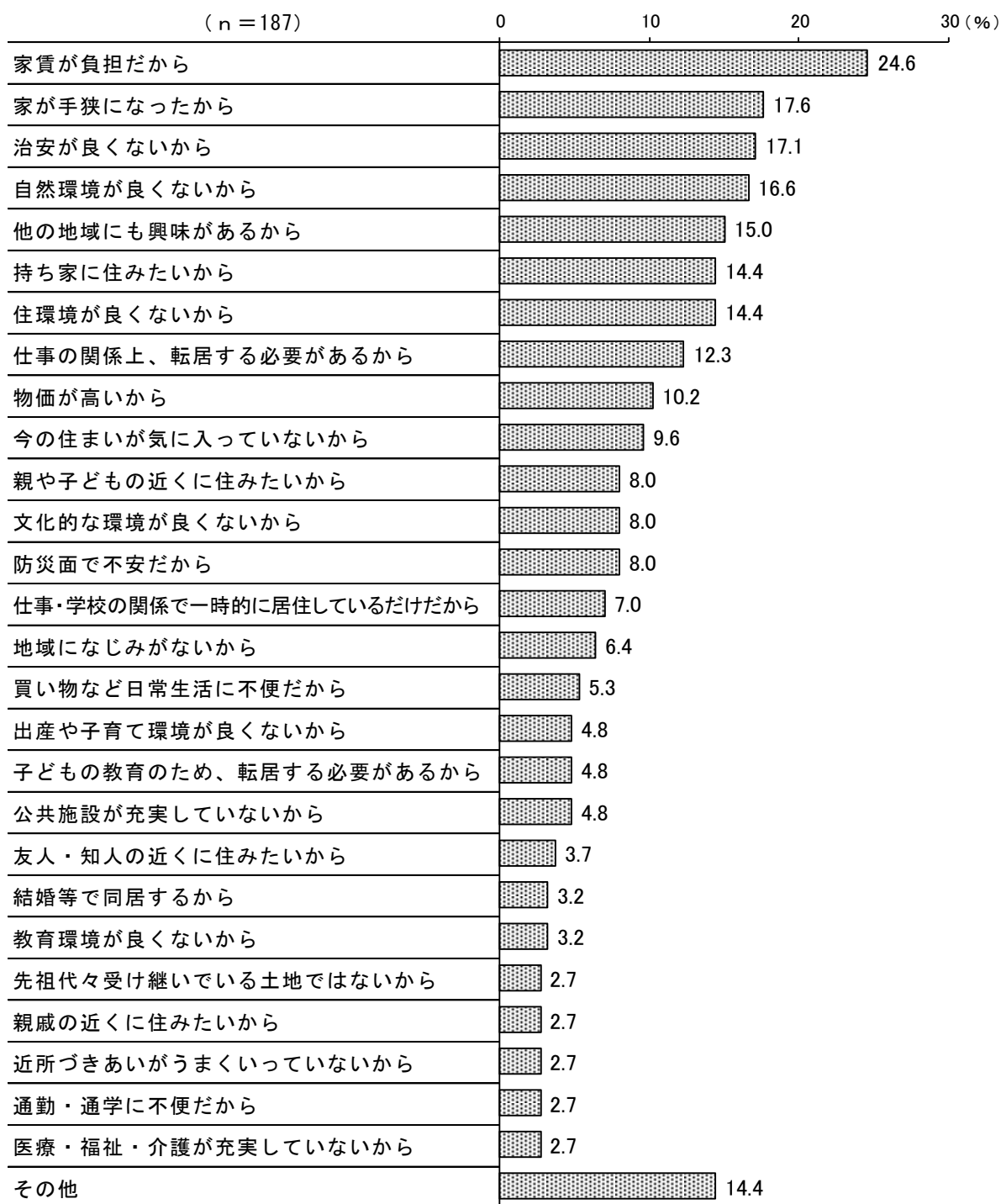
地域別でみると、「買い物など日常生活に便利だから」は中央地域（75.7%）で7割半ばと高くなっている。「持ち家だから」は北部地域（59.9%）で6割と高くなっている。「通勤・通学に便利だから」は中央地域（56.9%）で6割近くと高くなっている。



(3) 転居せざるをえない、転居したい理由

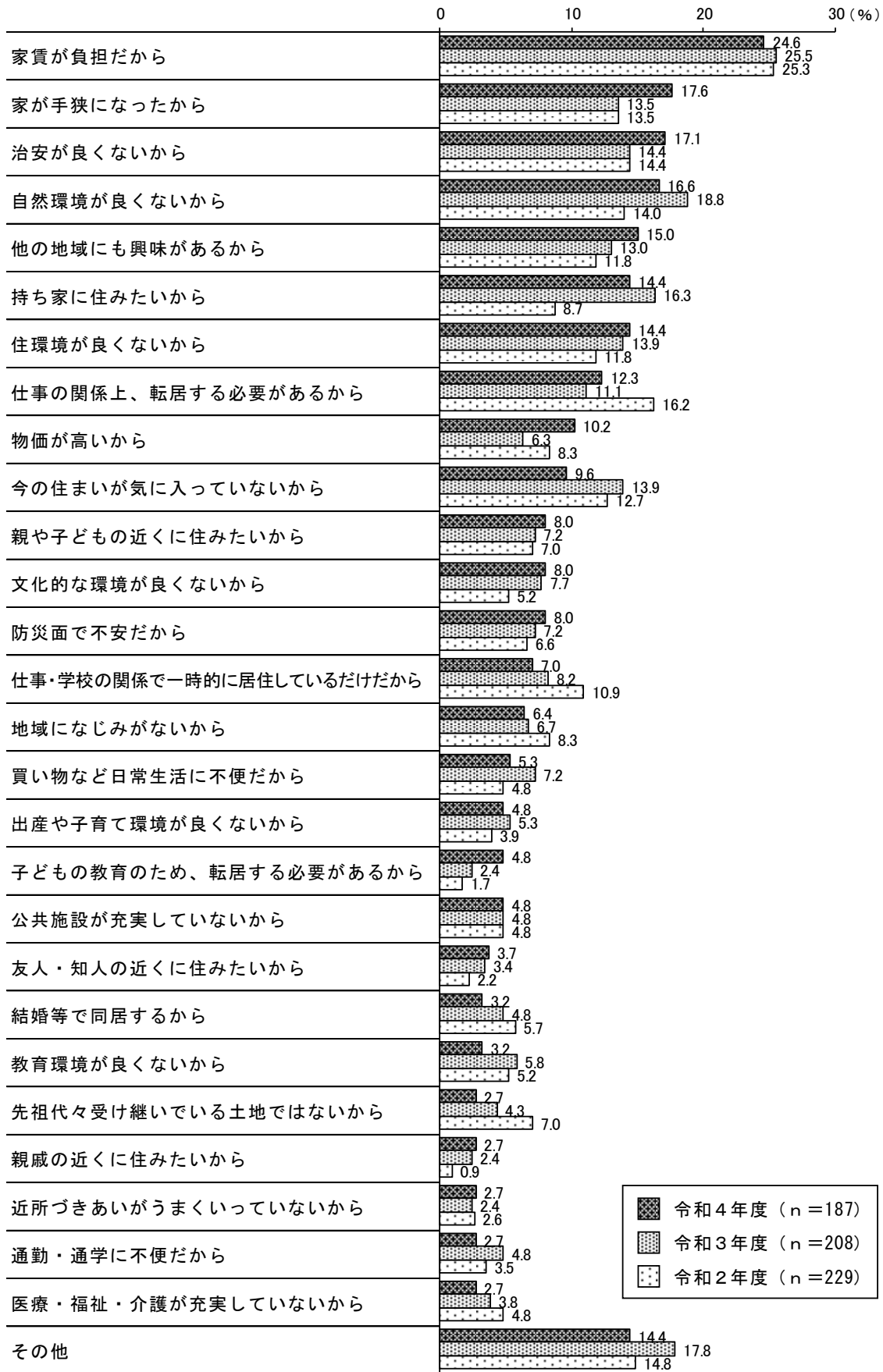
《問4で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」とお答えの方におたずねします》  
 問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

定住意向で、「住み続けたいが転居せざるをえない事情がある」または「他の地域・区市町村に転居したいと思っている」と答えた方に、転居せざるをえない、転居したい理由を聞いたところ、「家賃が負担だから」(24.6%)が2割半ばで最も高く、次いで「家が手狭になったから」(17.6%)、「治安が良くないから」(17.1%)、「自然環境が良くないから」(16.6%)となっている。



【経年比較】

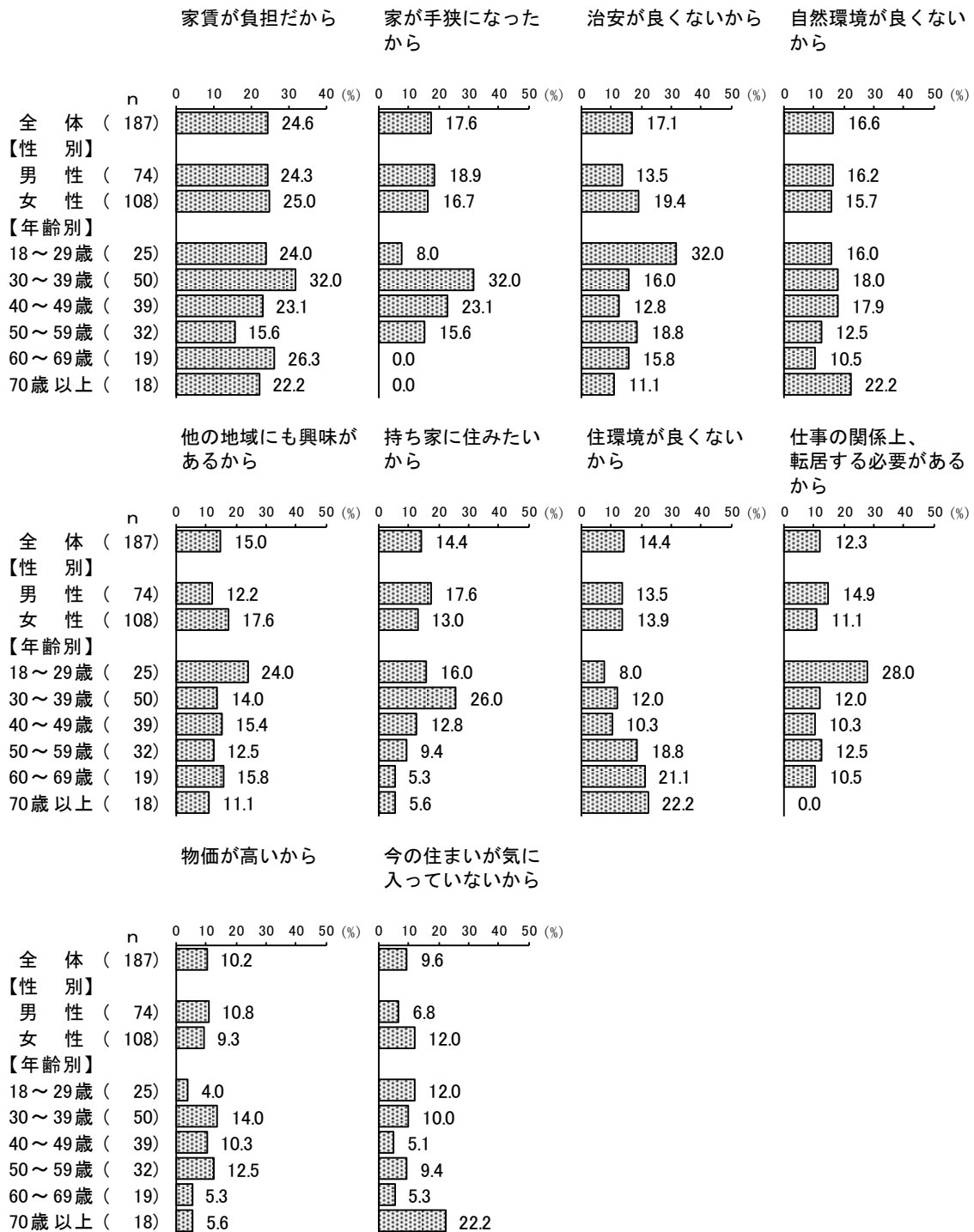
過去の調査結果と比較すると、「家が手狭になったから」は令和3年度より4.1ポイント、「物価が高いから」は令和3年度より3.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「今の住まいが気に入っていないから」は令和3年度より4.3ポイント減少している。



【性別、年齢別】(上位10項目)

性別でみると、「治安が良くないから」は女性(19.4%)が男性(13.5%)より5.9ポイント高くなっている。「他の地域にも興味があるから」は女性(17.6%)が男性(12.2%)より5.4ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家賃が負担だから」は30~39歳(32.0%)で3割を超えて高くなっている。「家が手狭になったから」は30~39歳(32.0%)で3割を超えて高くなっている。「治安が良くないから」は18~29歳(32.0%)で3割を超えて高くなっている。

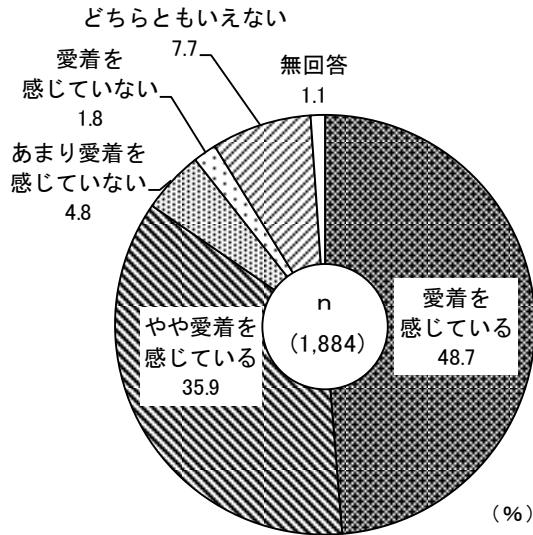


### 4. 地域への愛着

#### (1) 地域への愛着

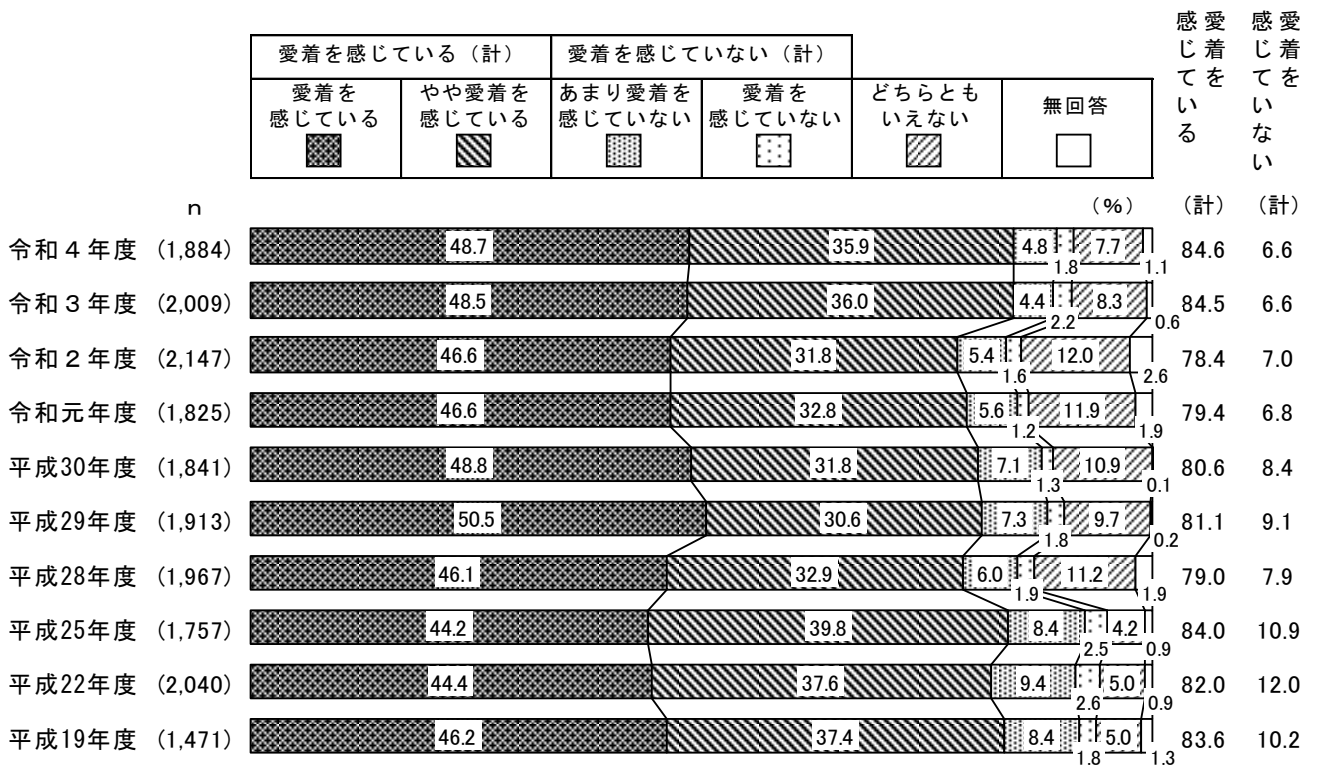
問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

現在お住まいの地域に愛着を感じるか聞いたところ、「愛着を感じている」(48.7%)と「やや愛着を感じている」(35.9%)を合わせた『愛着を感じている(計)』(84.6%)は8割半ばとなっている。一方、「あまり愛着を感じていない」(4.8%)と「愛着を感じていない」(1.8%)を合わせた『愛着を感じていない(計)』(6.6%)は1割未満となっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『愛着を感じている(計)』は平成19年度以降で最も高い値となっている。

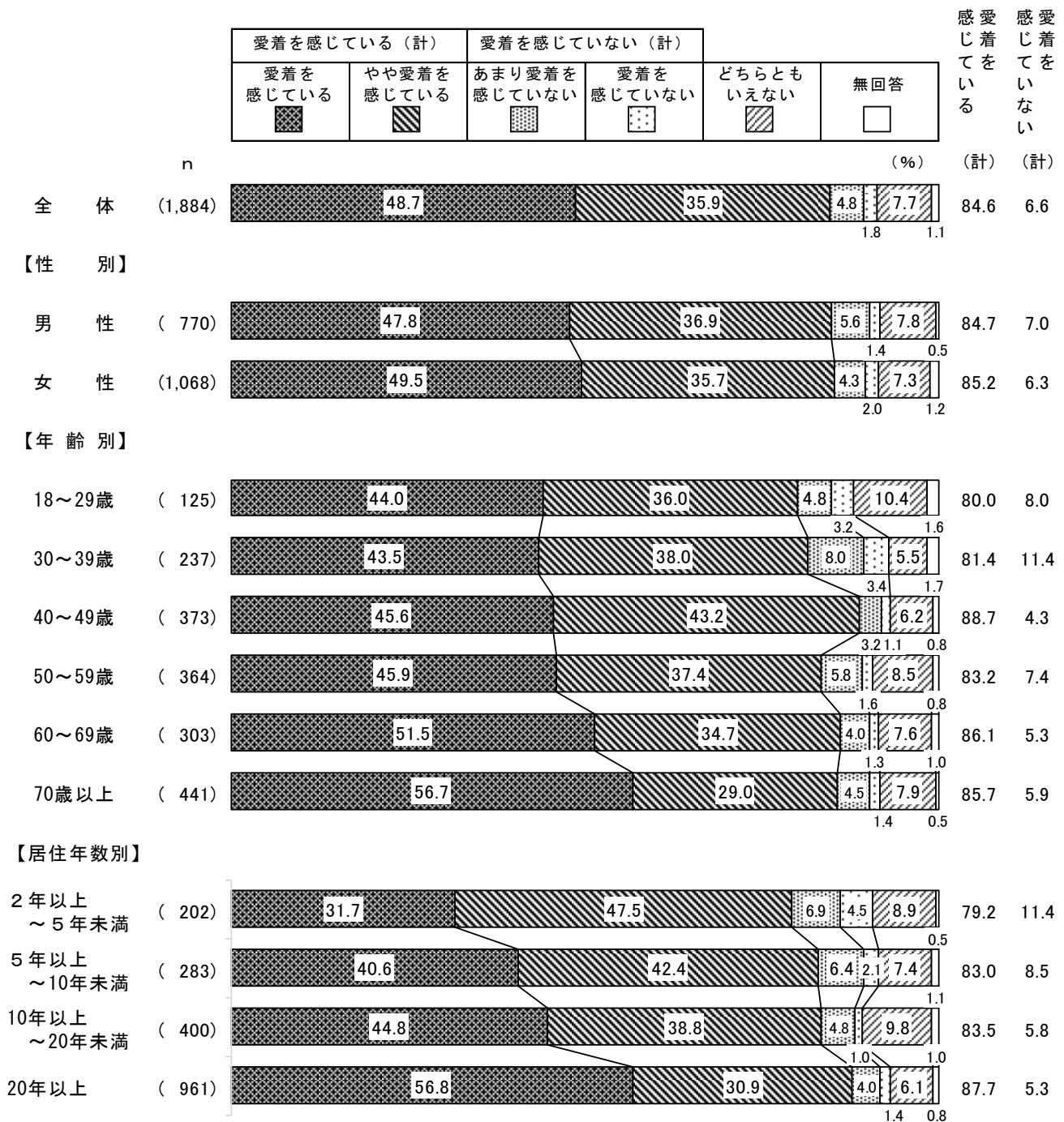


【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『愛着を感じている（計）』は40～49歳（88.7%）で9割近くと高くなっている。

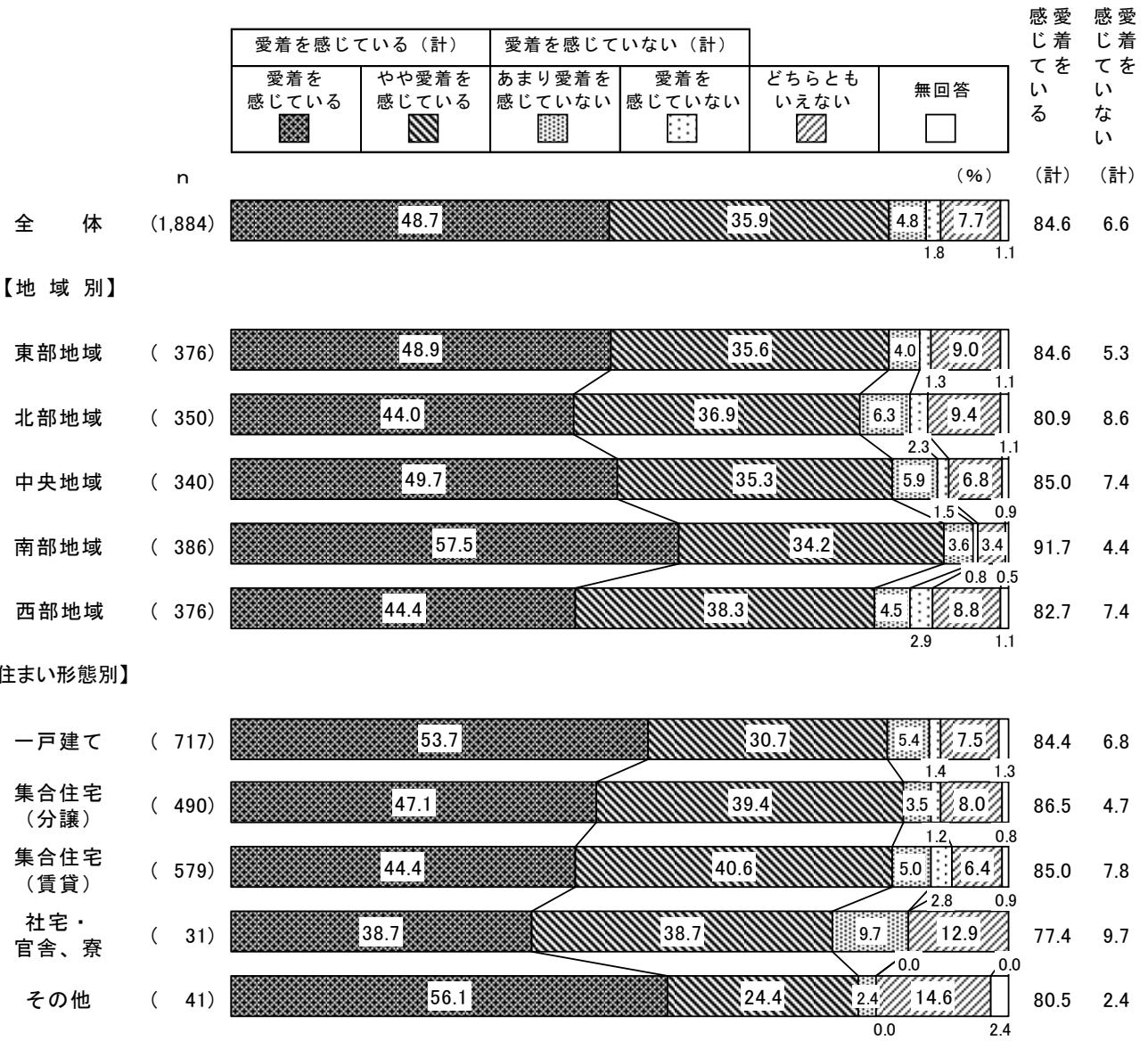
居住年数別でみると、『愛着を感じている（計）』は居住年数が長くなるにつれて割合が高く、20年以上（87.7%）で9割近くと高くなっている。





【地域別、住まい形態別】

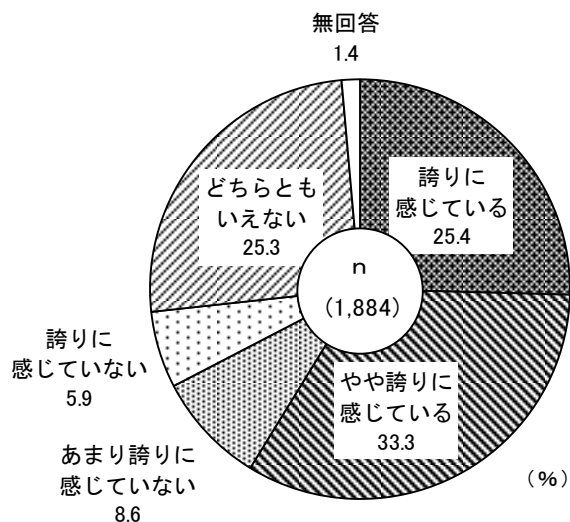
地域別でみると、『愛着を感じている（計）』は南部地域（91.7%）で9割を超えて高くなっている。  
 住まい形態別でみると、「愛着を感じている」は一戸建て（53.7%）で5割半ばと高くなっている。



(2) 豊島区に住んでいることを誇りに感じるか

問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

豊島区に住んでいることを誇りに感じるか聞いたところ、「誇りに感じている」(25.4%)と「やや誇りに感じている」(33.3%)を合わせた『誇りに感じている(計)』(58.7%)は6割近くとなっている。一方、「あまり誇りに感じていない」(8.6%)と「誇りに感じていない」(5.9%)を合わせた『誇りに感じていない(計)』(14.5%)は1割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和3年度と比べて大きな違いはみられない。

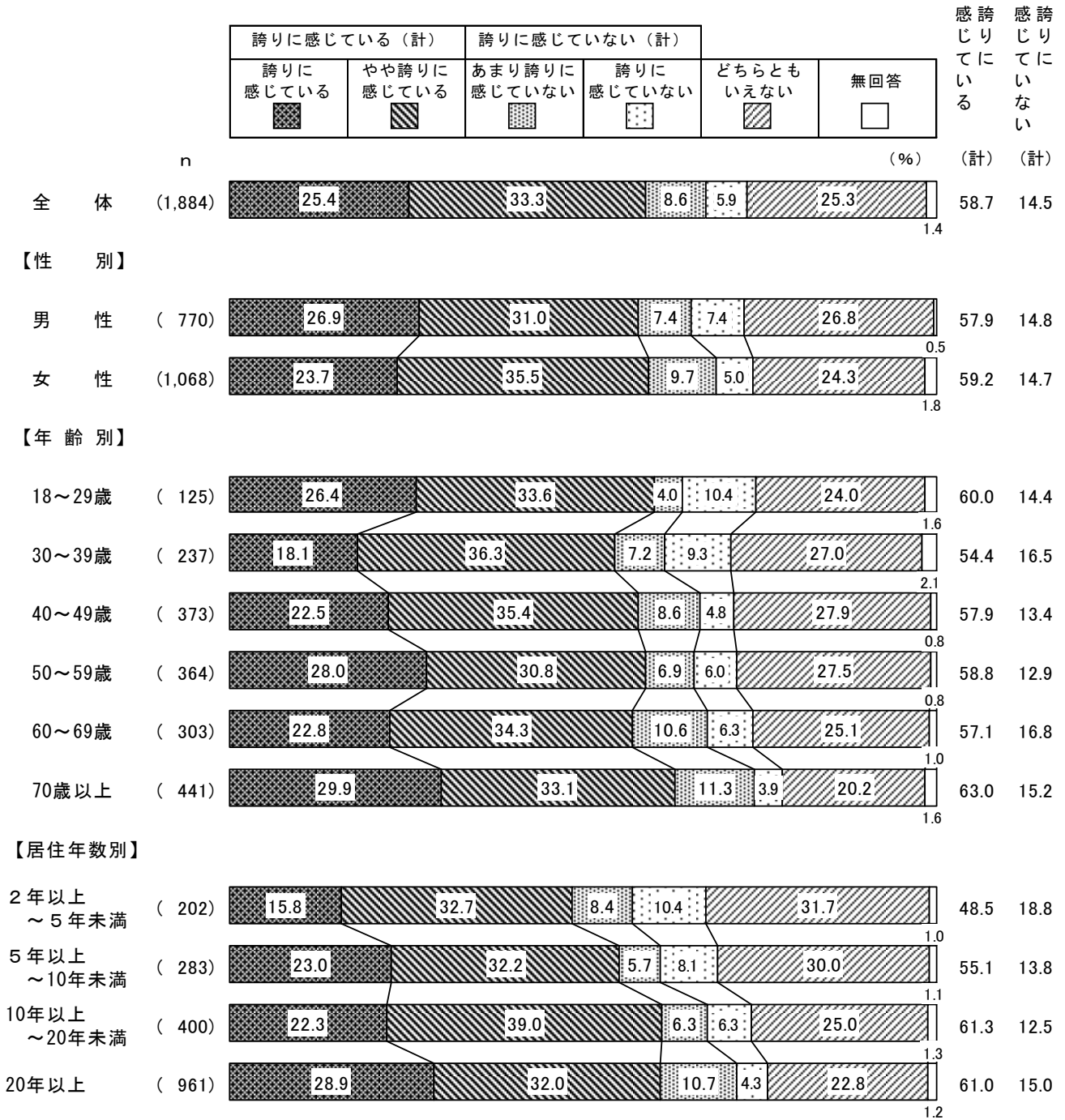
n	誇りに感じている (計)		誇りに感じていない (計)				感 誇 じ り に 感 じ て い る (計)	感 誇 じ り に 感 じ て い な い (計)
	誇りに感じている	やや誇りに感じている	あまり誇りに感じていない	誇りに感じていない	どちらともいえない	無回答		
令和4年度 (1,884)	25.4	33.3	8.6	5.9	25.3	1.4	58.7	14.5
令和3年度 (2,009)	25.3	34.0	10.5	4.9	24.3	0.9	59.3	15.4

【性別、年齢別、居住年数別】

性別でみると、「誇りに感じている」は男性（26.9%）が女性（23.7%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「誇りに感じている」は70歳以上（29.9%）で3割と高くなっている。

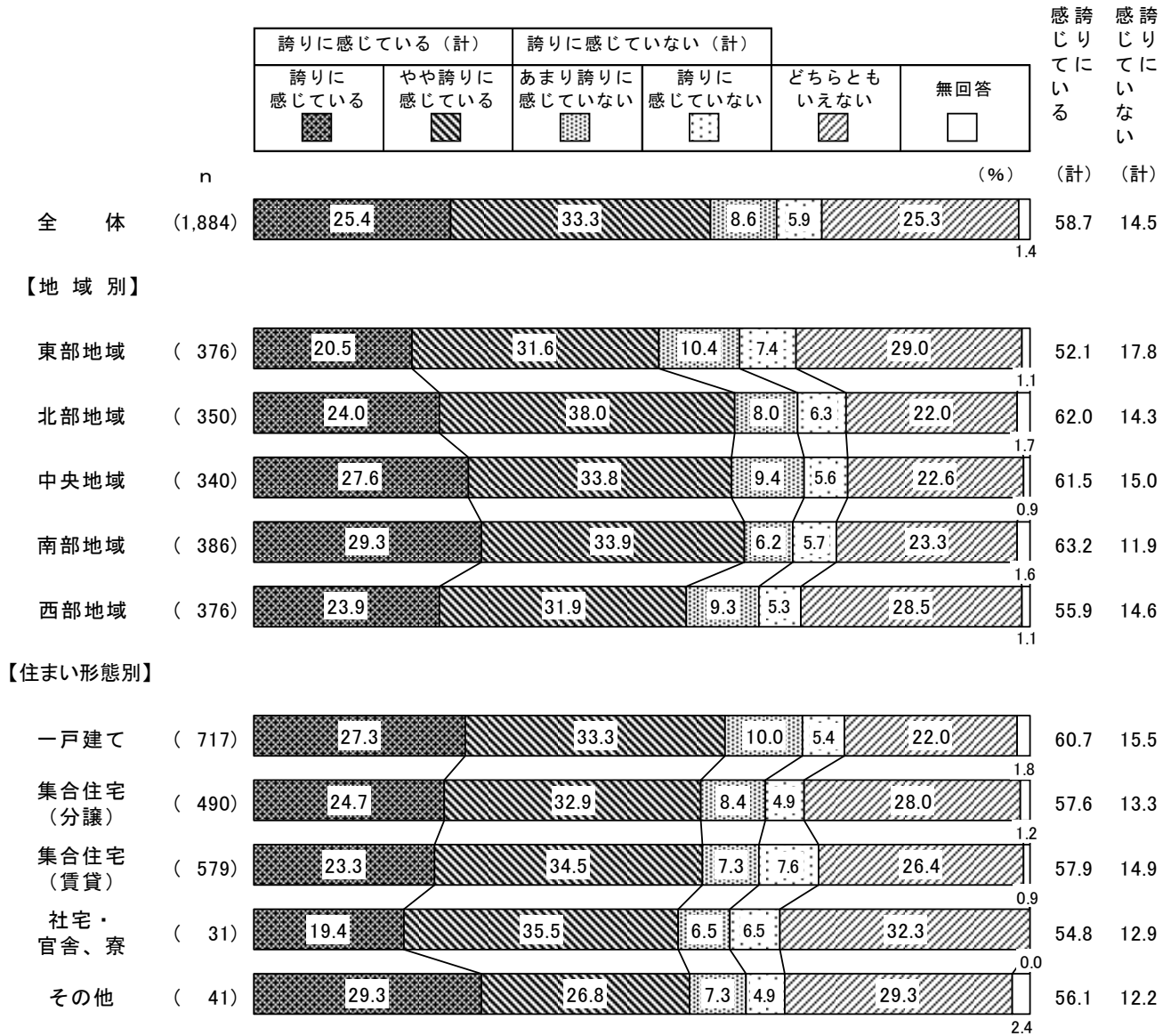
居住年数別でみると、「誇りに感じている」は20年以上（28.9%）で3割近くと高くなっている。



【地域別、住まい形態別】

地域別でみると、『誇りに感じている(計)』は南部地域(63.2%)、北部地域(62.0%)、中央地域(61.5%)で6割台となっている。

住まい形態別でみると、『誇りに感じている(計)』は一戸建て(60.7%)で約6割となっている。



## 第2章 地域の生活環境について



## 第2章 地域の生活環境について

### 《設問設定の考え方》

「豊島区基本計画」及び「豊島区未来戦略推進プラン」の施策体系に対応するかたちで、生活環境に関して大きく11のグループを設定し、さらに、各グループにおいて複数の「目指すべき生活環境の姿」を設定した。

設定した「目指すべき生活環境の姿」に対して、「現在の評価」と11のグループごとに「今後の優先度」の回答を求めた。

また、「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析を行った。

### 【調査にあたり設定した11のグループ】

- |           |             |
|-----------|-------------|
| (1) 参画・協働 | (7) みどり・環境  |
| (2) 平和・人権 | (8) 都市再生・交通 |
| (3) 福祉    | (9) 防災・治安   |
| (4) 健康・保健 | (10) 商工・観光  |
| (5) 子育て   | (11) 文化     |
| (6) 教育    |             |

### 【各項目についての調査内容】

問7 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。（「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと考える項目番号を記入。もし、回答がわからない場合は、空欄のままにしてください。）

#### 1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

- “どちらかというと思う” “どちらともいえない” “どちらかというと思わない” の3つから実感に近いものを選択。
- “どちらかというと思う” から “どちらかというと思わない” の割合を引いた数値を比較して、それが高いほど、当該項目に対する生活環境の満足度が高いものとして集計した。

#### 2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

- 各グループにおける複数の「目指すべき生活環境の姿」の中から、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を2つ又は3つ選択。

【グループと「評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿」一覧】

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている
	4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している
② 平和・人権	5	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる
	6	地域で外国人との交流がある
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている
	8	性別等により、差別されない社会である
	9	女性が自ら望む形で働ける社会である
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある
	23	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している
	24	児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている
	28	学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている
	29	学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている
	30	特別な配慮を要する子どもへの支援が充実している
	31	子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている
	32	家庭教育に対する支援が充実している
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている
	34	伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿
⑦みどり・環境	36	近くに好きな公園がある
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い
	38	CO2 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている
	43	ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている
⑧都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などない魅力あるまちづくりが進んでいる
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている
	47	池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している
	49	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている
	50	鉄道・バス等の交通が便利である
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる
⑨防災・治安	52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている
	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています
	56	電柱のない道路が増えている
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない
	58	治安がよく、安心して暮らせる
⑩商工・観光	59	交通事故が少ない
	60	経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である
	61	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している
	63	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる
	64	区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる
	65	区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある
⑪文化	66	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている
	67	文化芸術に触れる機会が多くなった
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている
	69	学んだことを地域で生かして活動をしている
	70	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある

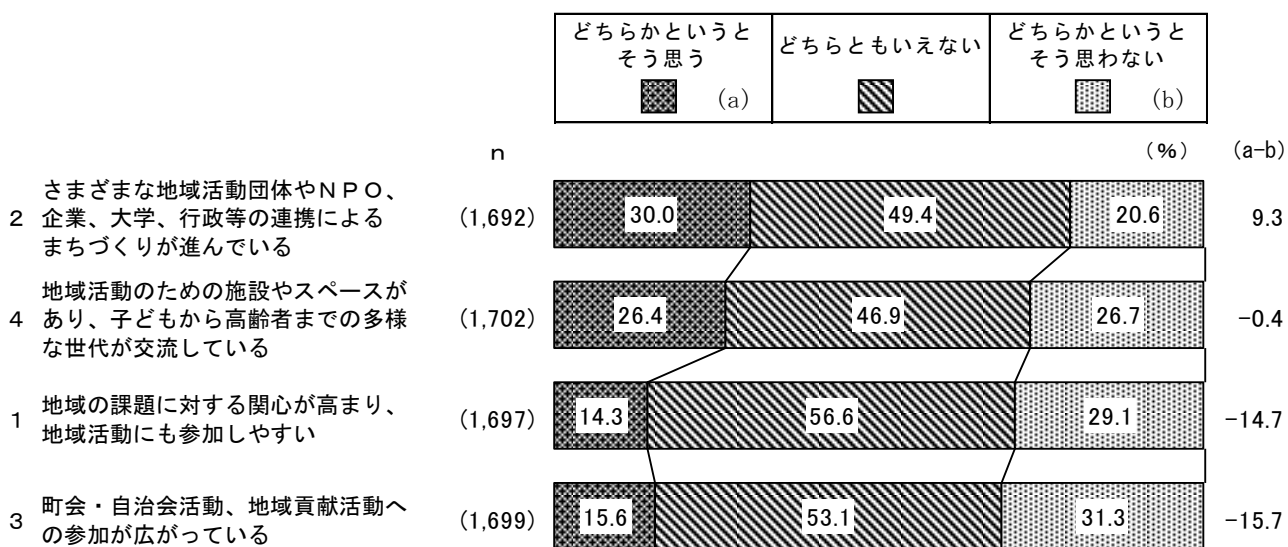
### 1. 目指すべき生活環境に対する「現在の評価」

#### (1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」であり、次いで「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」である。

#### 【参画・協働における「現在の評価」】

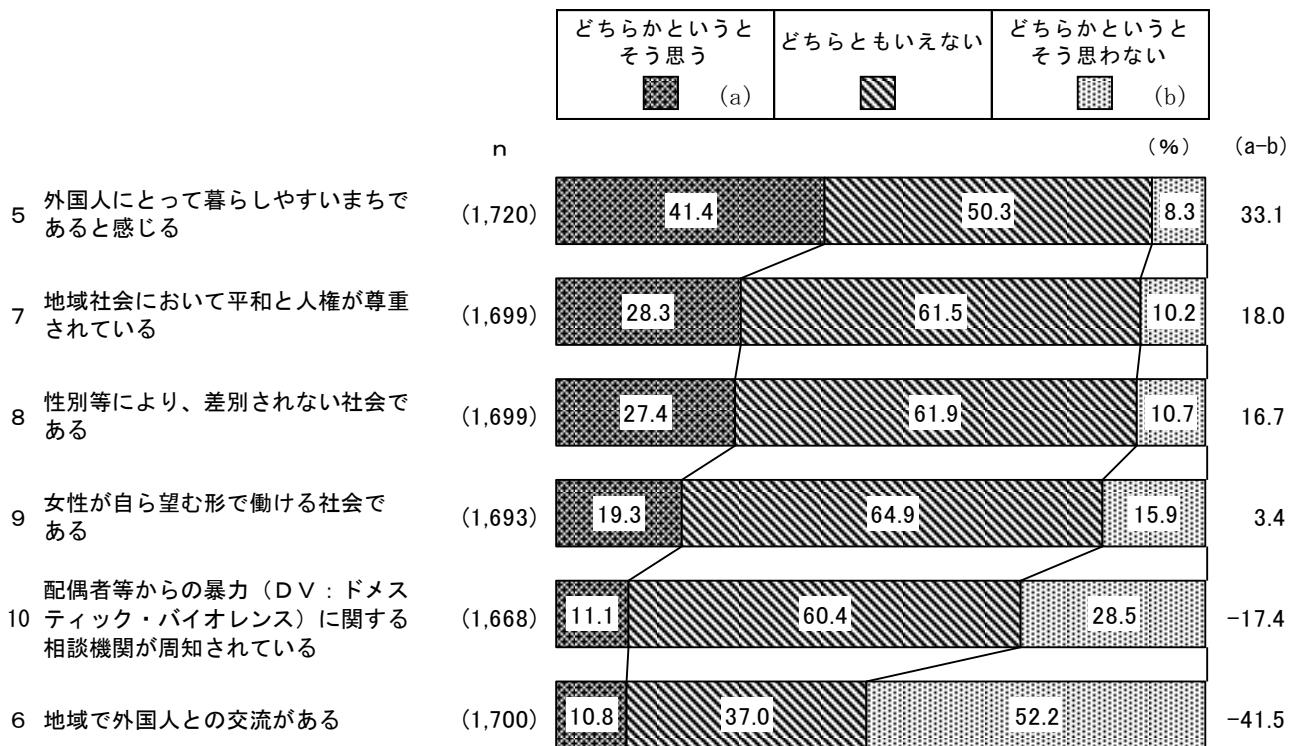


(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる」であり、次いで「地域社会において平和と人権が尊重されている」、「性別等により、差別されない社会である」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域で外国人との交流がある」である。

【平和・人権における「現在の評価」】

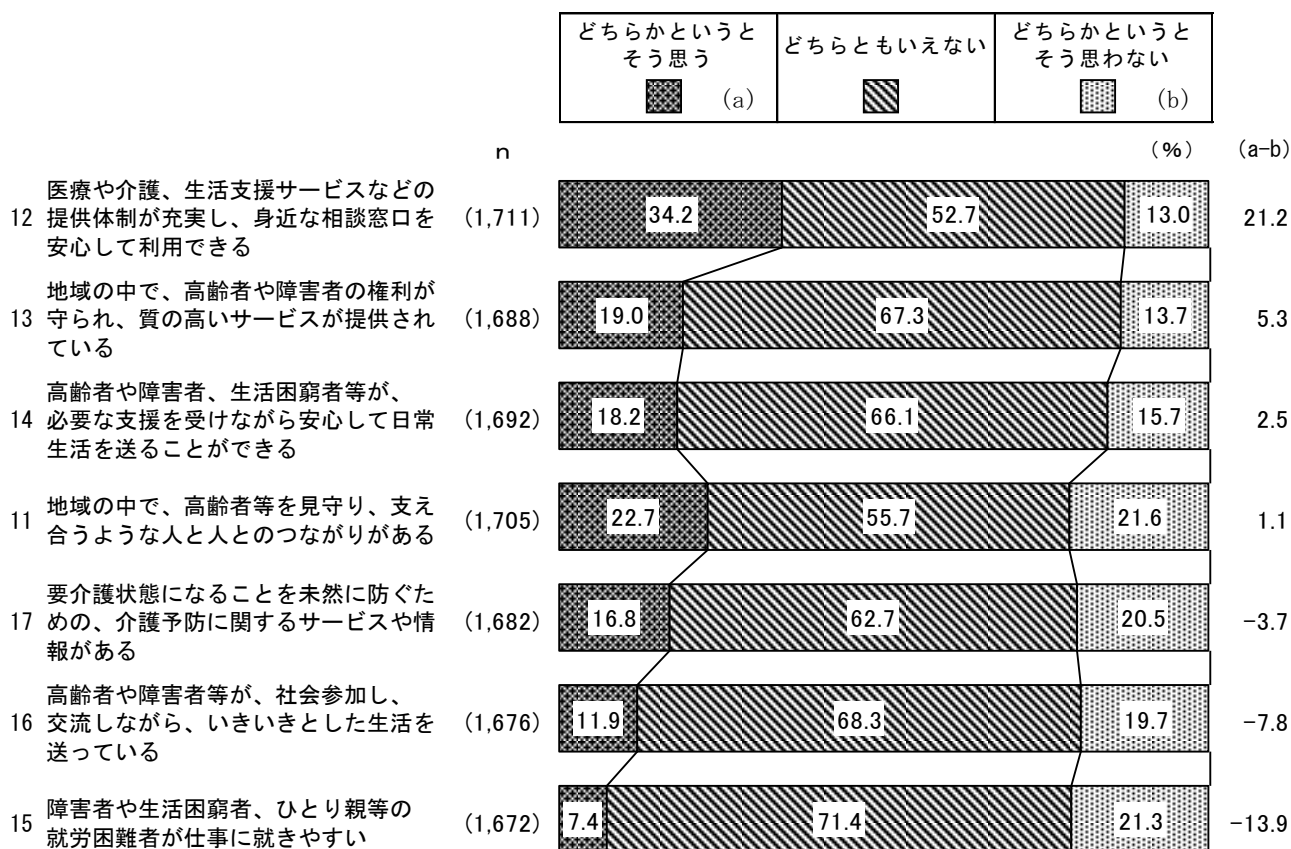


(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」であり、次いで「地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている」、「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」である。

【福祉における「現在の評価」】

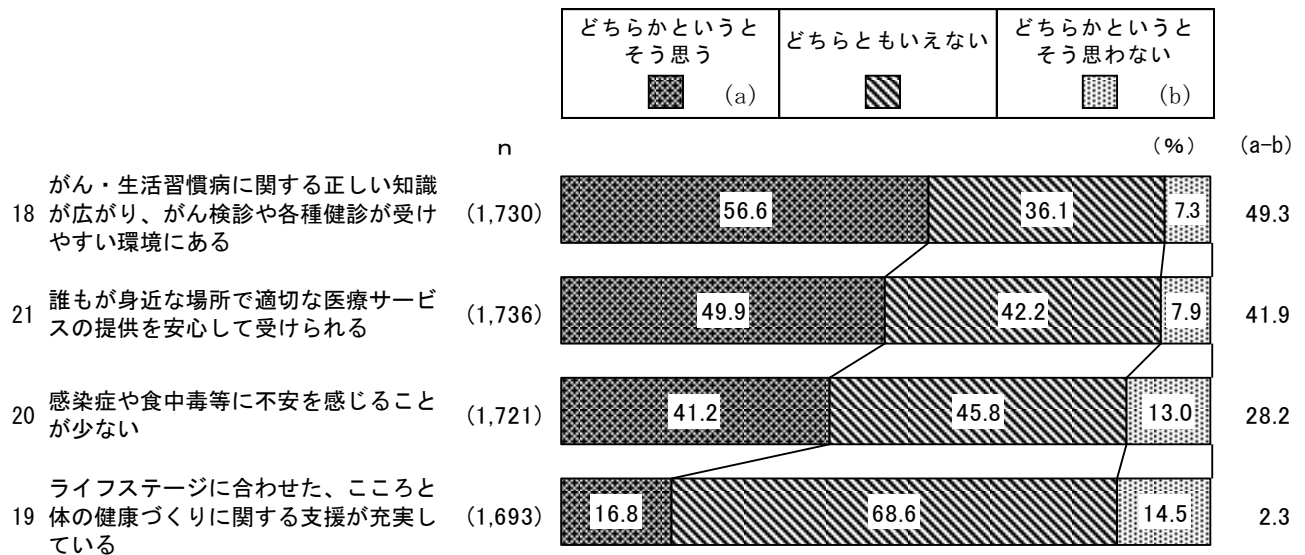


(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」であり、次いで「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」である。

【健康・保健における「現在の評価」】

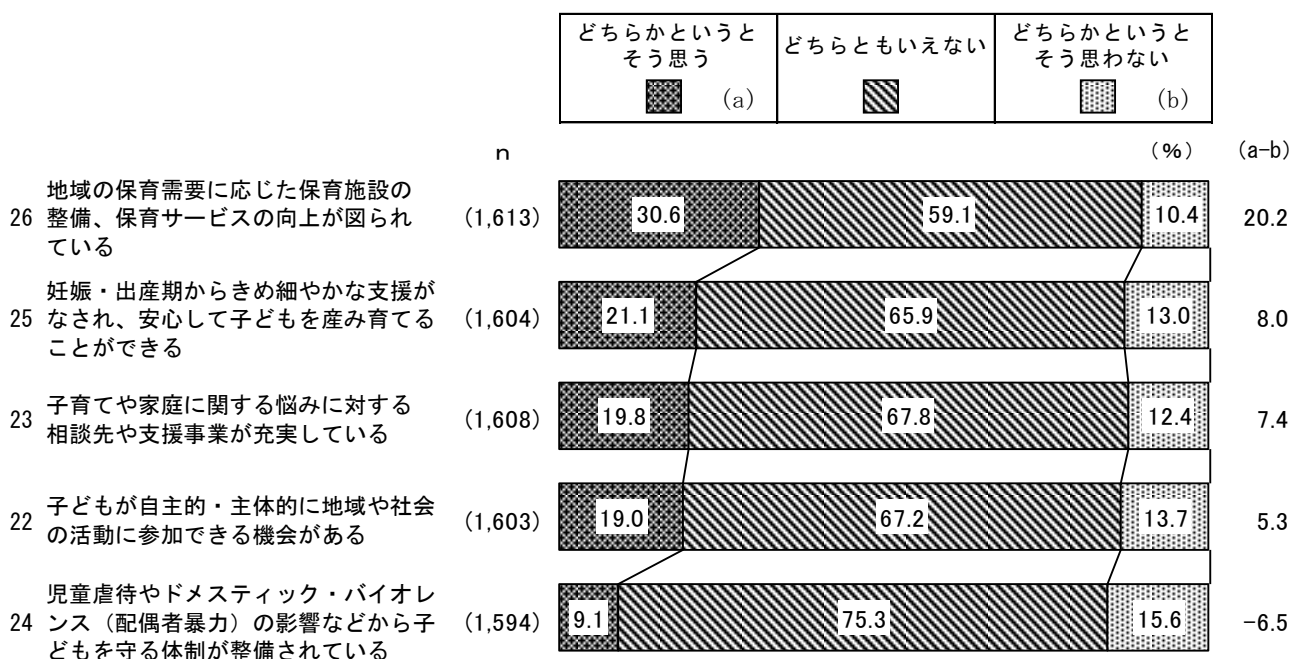


(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」であり、次いで「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス（配偶者暴力）の影響などから子どもを守る体制が整備されている」である。

【子育てにおける「現在の評価」】

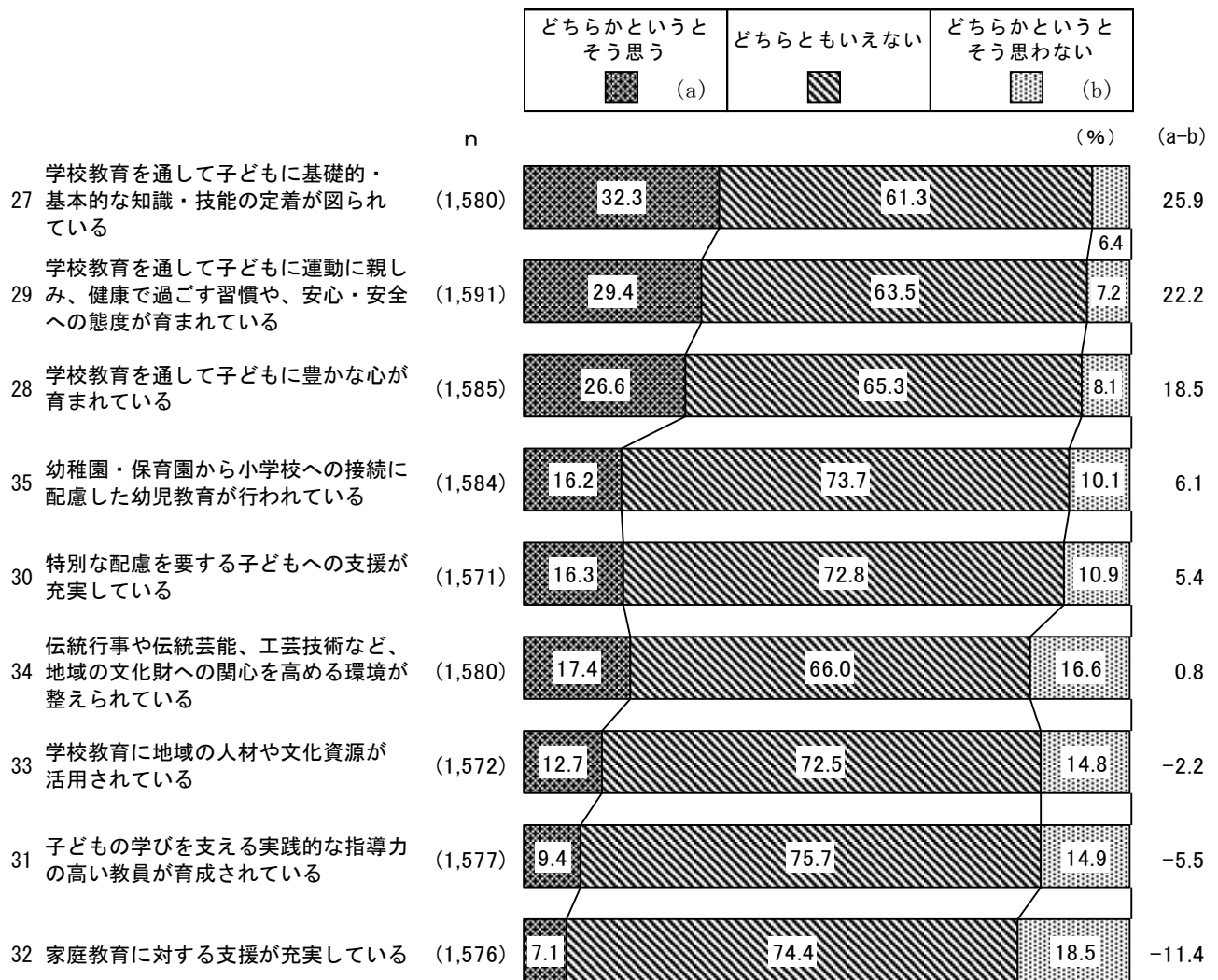


(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている」であり、次いで「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」、「学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「家庭教育に対する支援が充実している」である。

【教育における「現在の評価」】

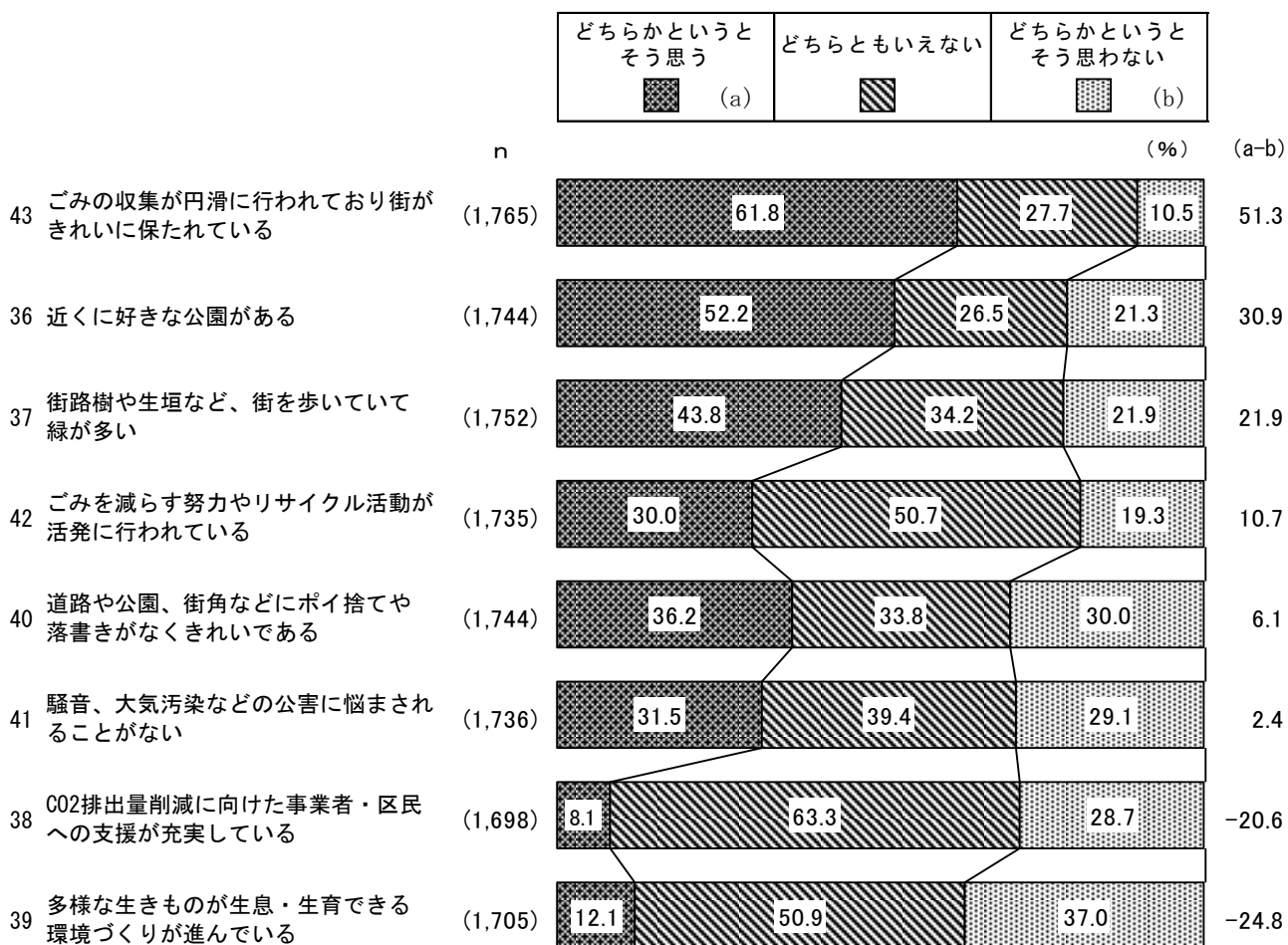


(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」であり、次いで「近くに好きな公園がある」、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」である。

【みどり・環境における「現在の評価」】



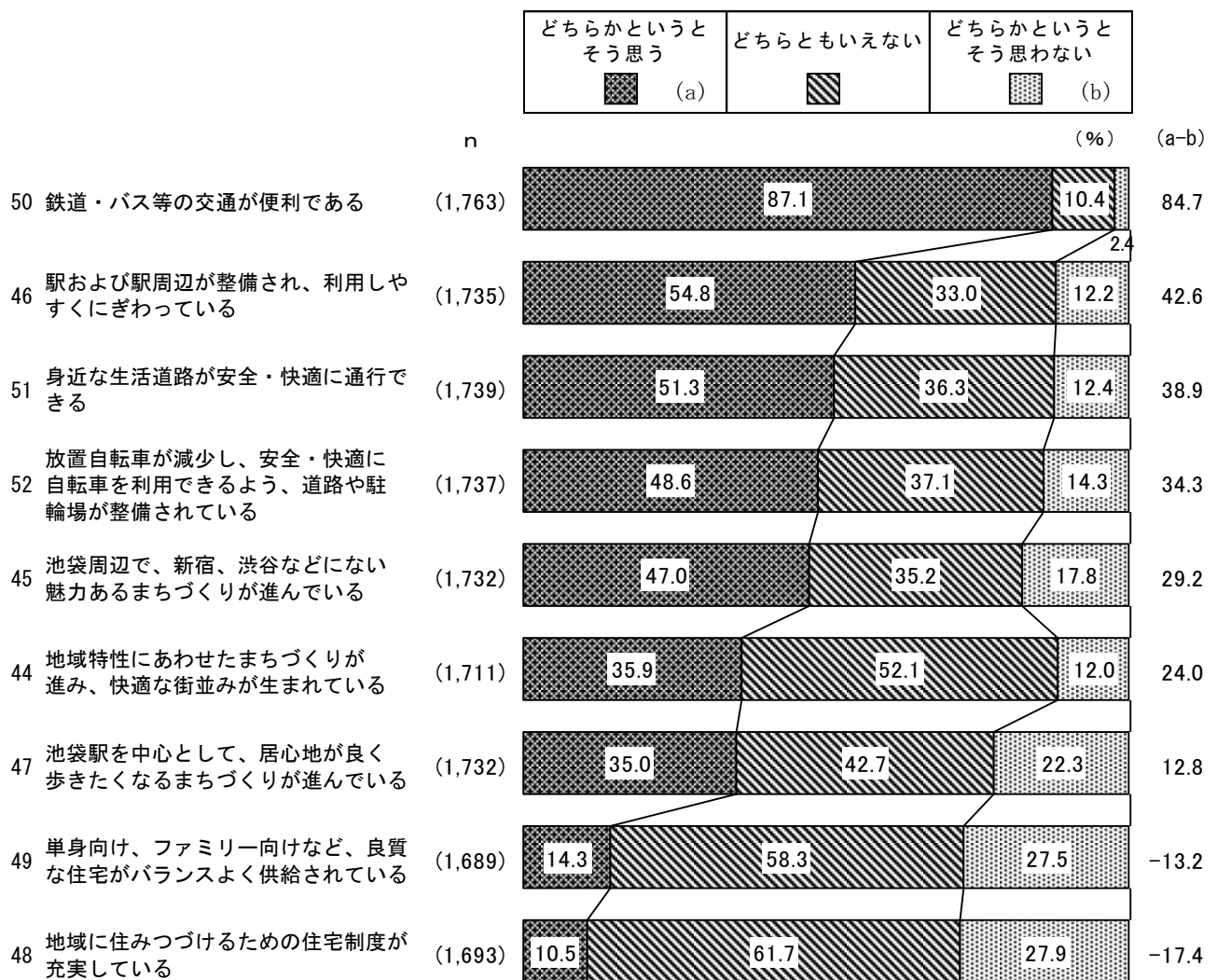


(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「鉄道・バス等の交通が便利である」であり、次いで「駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている」、「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」である。

【都市再生・交通における「現在の評価」】

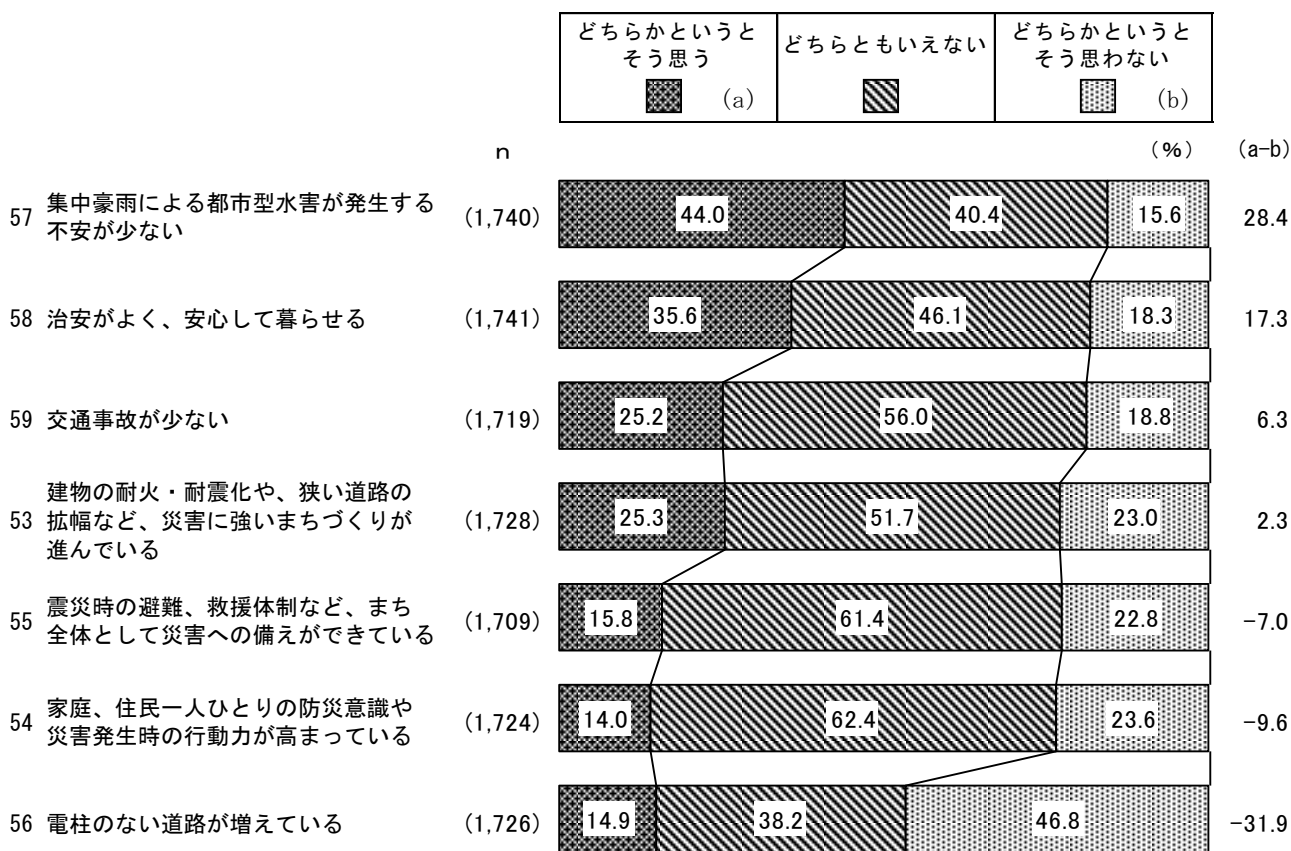


(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない」であり、次いで「治安がよく、安心して暮らせる」、「交通事故が少ない」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「電柱のない道路が増えている」である。

【防災・治安における「現在の評価」】

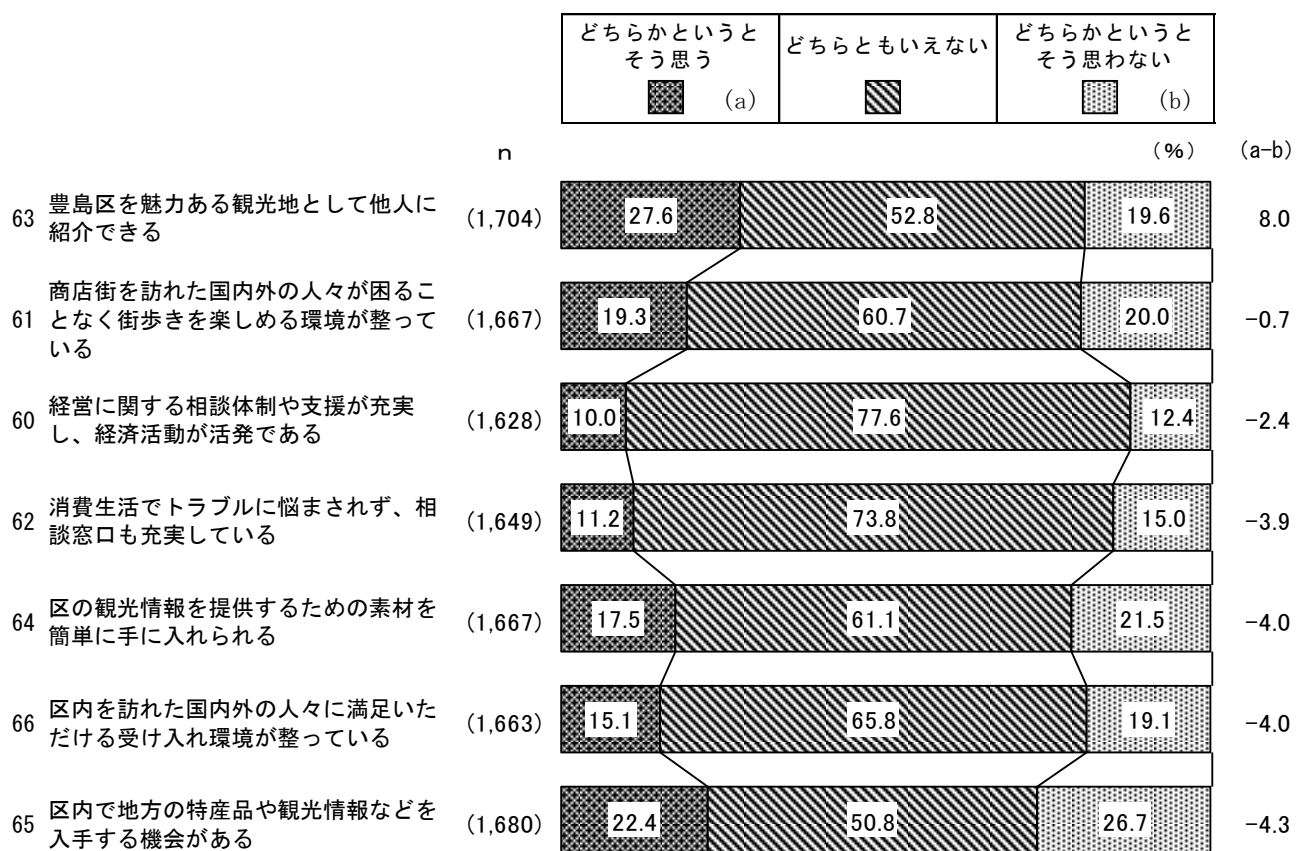


(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」であり、次いで「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」、「経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある」である。

【商工・観光における「現在の評価」】

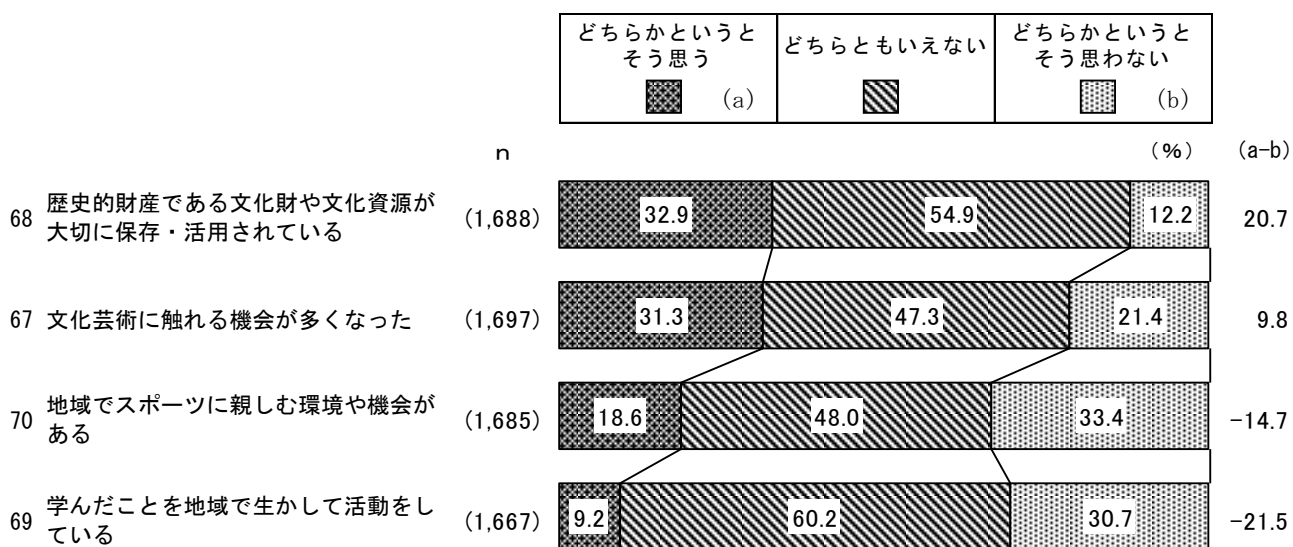


(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、現在の評価を尋ねたところ、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も高い（満足度が高い）ものは、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」であり、次いで「文化芸術に触れる機会が多くなった」となっている。

一方で、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」を引いた数値が最も低い（満足度が低い）ものは、「学んだことを地域で生かして活動をしている」である。

【文化における「現在の評価」】



【グループ全体を通してみた「現在の評価」】

注) 表中の満足度欄の ( ) 書きは前回調査 (令和3年度) の数値

(ア) 「現在の評価」が高い項目

生活環境について設定した全70項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が高い(満足度が高い)項目は以下のとおりである。

(%)

順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	⑧都市再生・交通	[50] 鉄道・バス等の交通が便利である	84.7 (84.4)
第2位	⑦みどり・環境	[43] ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	51.3 (52.8)
第3位	④健康・保健	[18] がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	49.3 (51.1)
第4位	⑧都市再生・交通	[46] 駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	42.6 (44.8)
第5位	④健康・保健	[21] 誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	41.9 (39.0)
第6位	⑧都市再生・交通	[51] 身近な生活道路が安全・快適に通行できる	38.9 (39.4)
第7位	⑧都市再生・交通	[52] 放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	34.3 (36.4)
第8位	②平和・人権	[05] 外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる	33.1 (35.8)
第9位	⑦みどり・環境	[36] 近くに好きな公園がある	30.9 (25.4)
第10位	⑧都市再生・交通	[45] 池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	29.2 (29.3)

(イ) 「現在の評価」が低い項目

生活環境について設定した全70項目のうち、「どちらかというと思う」から「どちらかというと思わない」の割合を引いた数値が低い(満足度が低い)項目は以下のとおりである。

(%)

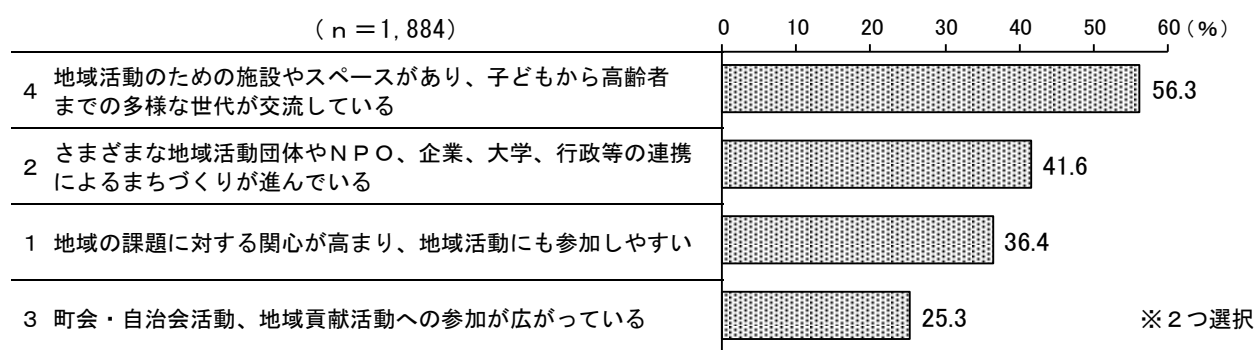
順位	グループ	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	満足度
第1位	②平和・人権	[06] 地域で外国人との交流がある	-41.5 -(41.2)
第2位	⑨防災・治安	[56] 電柱のない道路が増えている	-31.9 -(35.6)
第3位	⑦みどり・環境	[39] 多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	-24.8 -(27.2)
第4位	⑪文化	[69] 学んだことを地域で生かして活動をしている	-21.5 -(19.8)
第5位	⑦みどり・環境	[38] CO2 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	-20.6 -(26.0)
第6位	②平和・人権	[10] 配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている	-17.4 -(14.2)
第6位	⑧都市再生・交通	[48] 地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	-17.4 -(17.0)
第8位	①参画・協働	[03] 町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	-15.7 -(19.4)
第9位	①参画・協働	[01] 地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	-14.7 -(19.2)
第9位	⑪文化	[70] 地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	-14.7 -(15.4)

## 2. 目指すべき生活環境に対する「今後の優先度」

### (1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」(56.3%)が5割半ばで最も高く、次いで「さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」(41.6%)、「地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい」(36.4%)、「町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている」(25.3%)となっている。

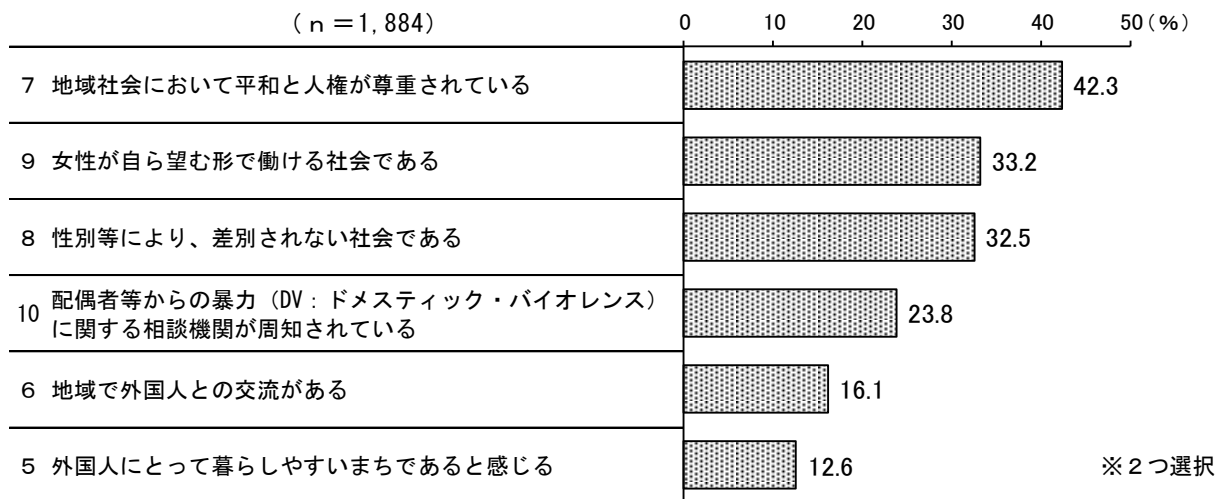
#### 【参画・協働における「今後の優先度」】



(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境について、下記の6つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域社会において平和と人権が尊重されている」(42.3%)が4割を超えて最も高く、次いで「女性が自ら望む形で働ける社会である」(33.2%)、「性別等により、差別されない社会である」(32.5%)、「配偶者等からの暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)に関する相談機関が周知されている」(23.8%)となっている。

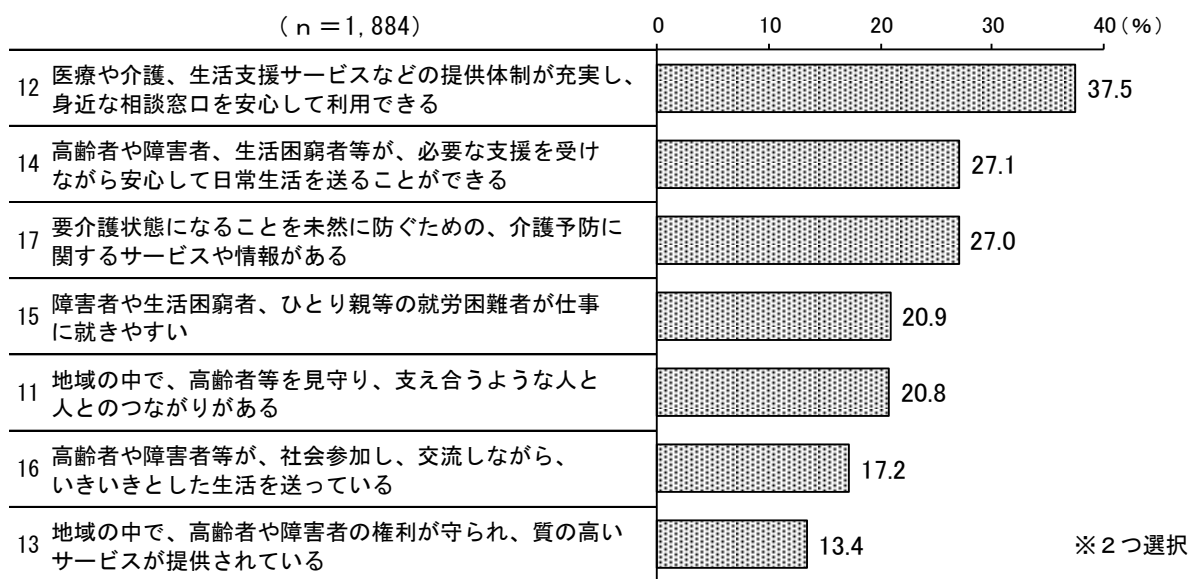
【平和・人権における「今後の優先度」】



(3) 福祉

福祉に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる」(37.5%)が4割近くで最も高く、次いで「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」(27.1%)、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」(27.0%)、「障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい」(20.9%)となっている。

【福祉における「今後の優先度」】

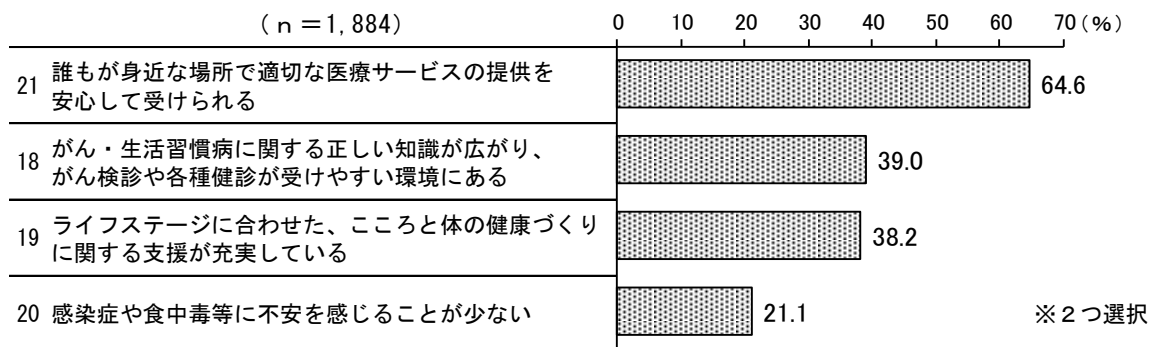




(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」(64.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある」(39.0%)、「ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している」(38.2%)、「感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない」(21.1%)となっている。

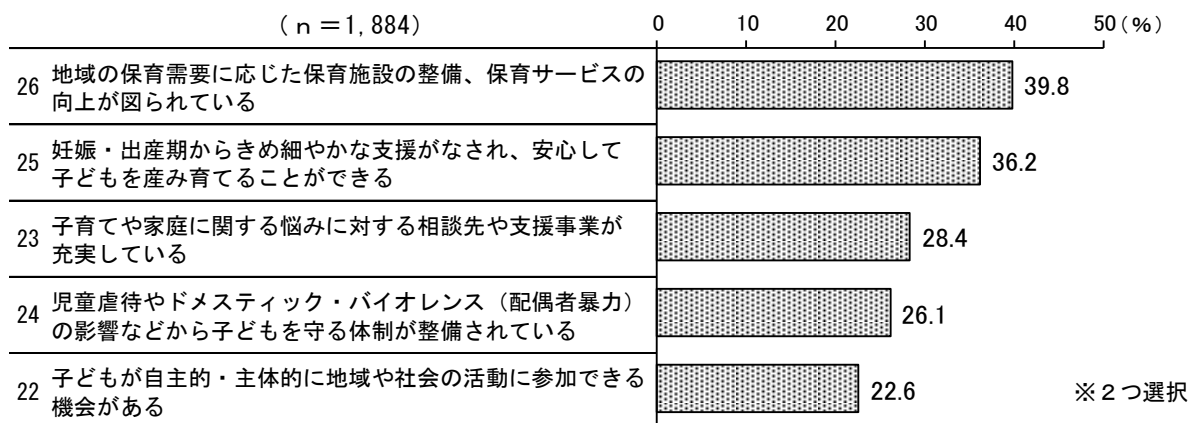
【健康・保健における「今後の優先度」】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境について、下記の5つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている」(39.8%)が4割で最も高く、次いで「妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる」(36.2%)、「子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している」(28.4%)、「児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている」(26.1%)となっている。

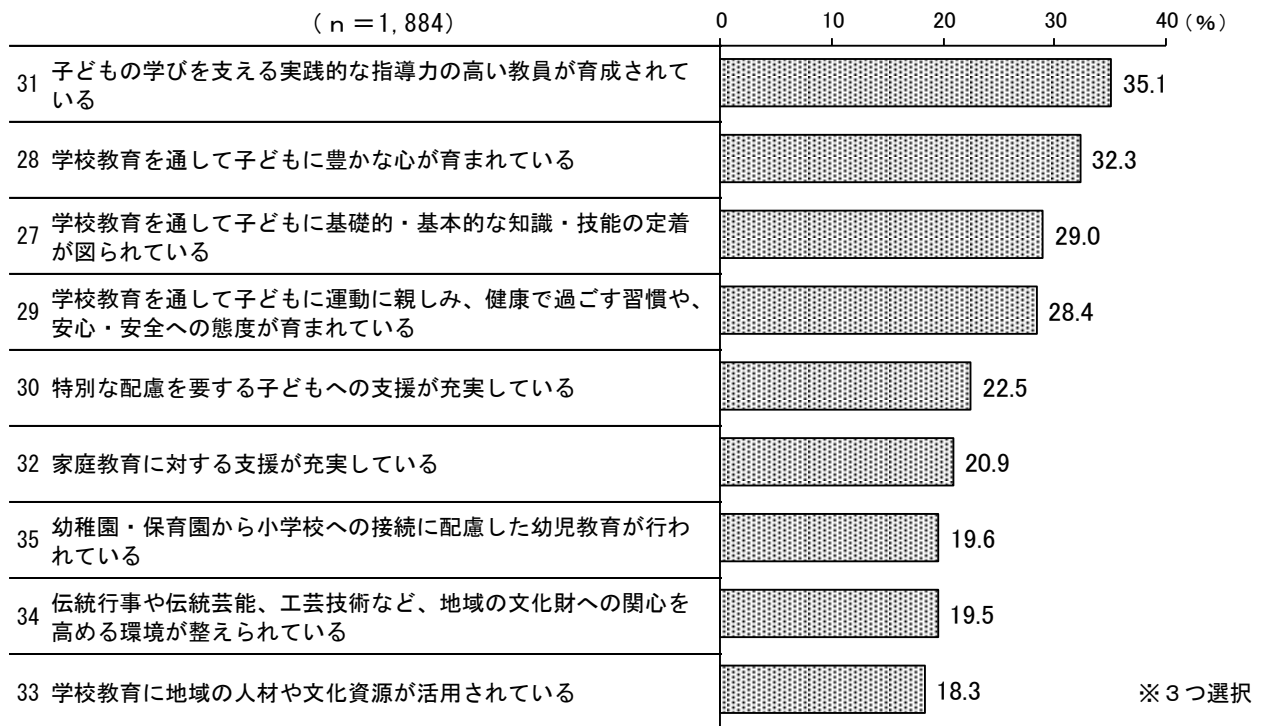
【子育てにおける「今後の優先度」】



(6) 教育

教育に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている」(35.1%)が3割半ばで最も高く、次いで「学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている」(32.3%)、「学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている」(29.0%)、「学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている」(28.4%)となっている。

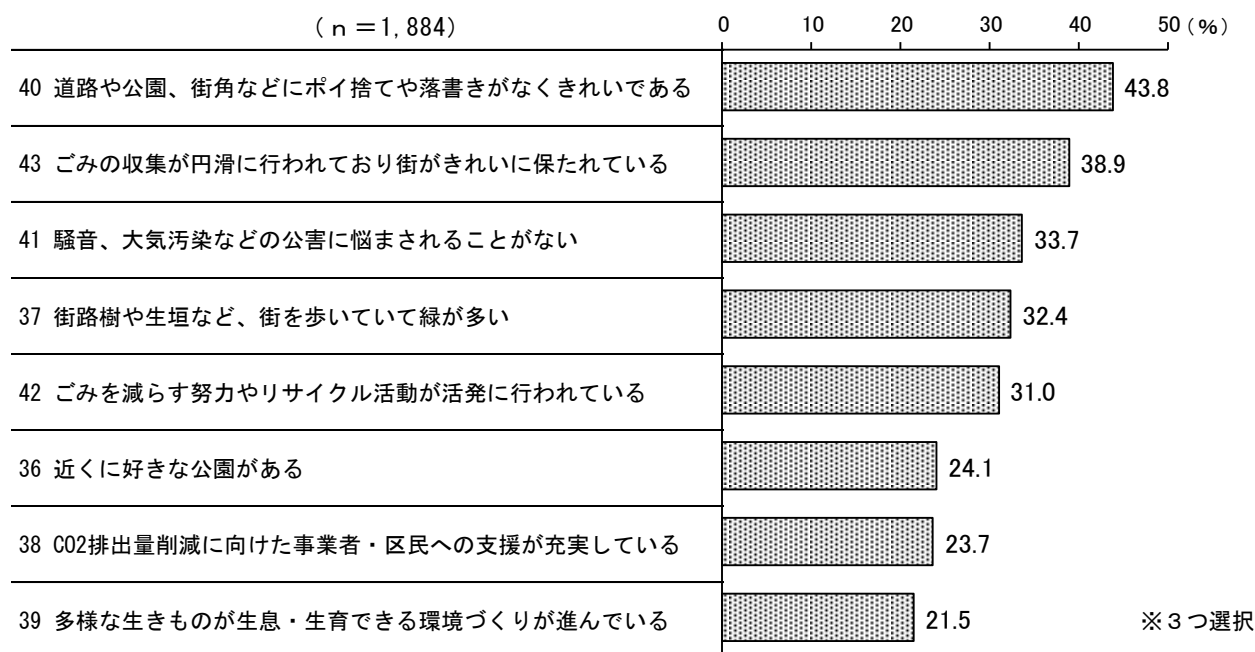
【教育における「今後の優先度」】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境について、下記の8つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」(43.8%)が4割半ばで最も高く、次いで「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」(38.9%)、「騒音、大気汚染などの公害に悩まされることがない」(33.7%)、「街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い」(32.4%)となっている。

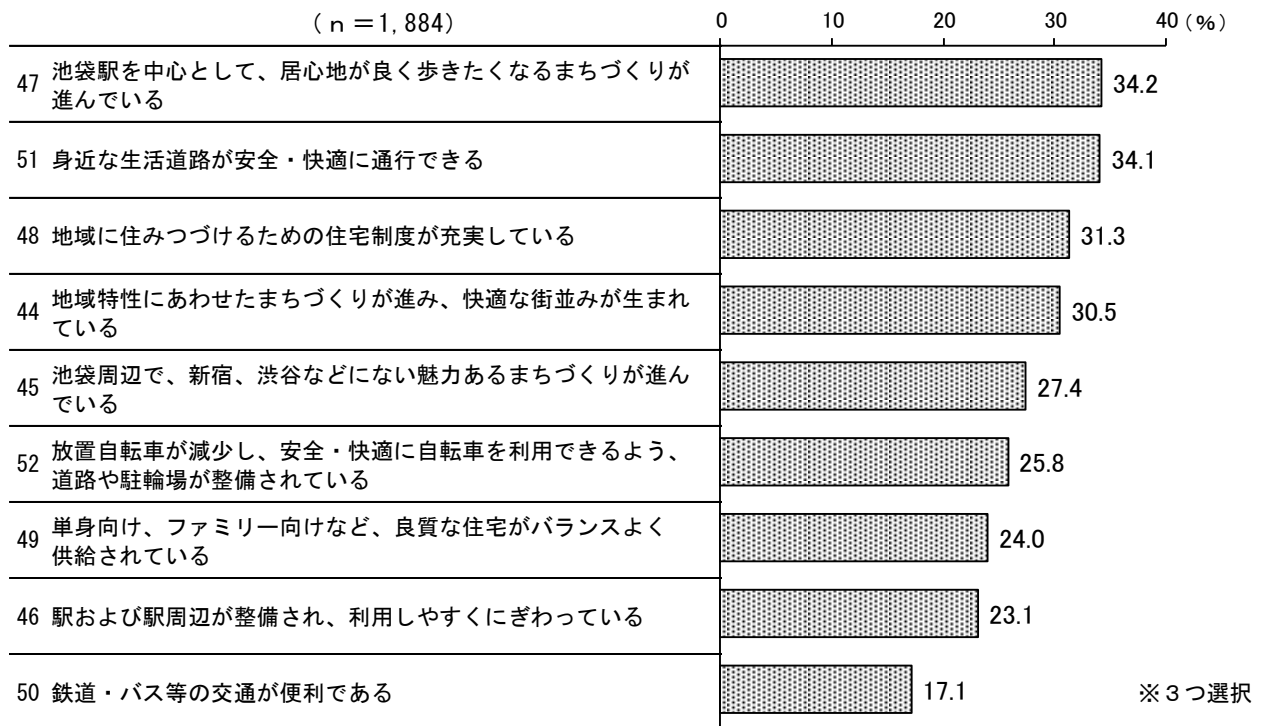
【みどり・環境における「今後の優先度」】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境について、下記の9つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる」(34.2%)が3割半ばで最も高く、次いで「身近な生活道路が安全・快適に通行できる」(34.1%)、「地域に住みつづけるための住宅制度が充実している」(31.3%)、「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」(30.5%)となっている。

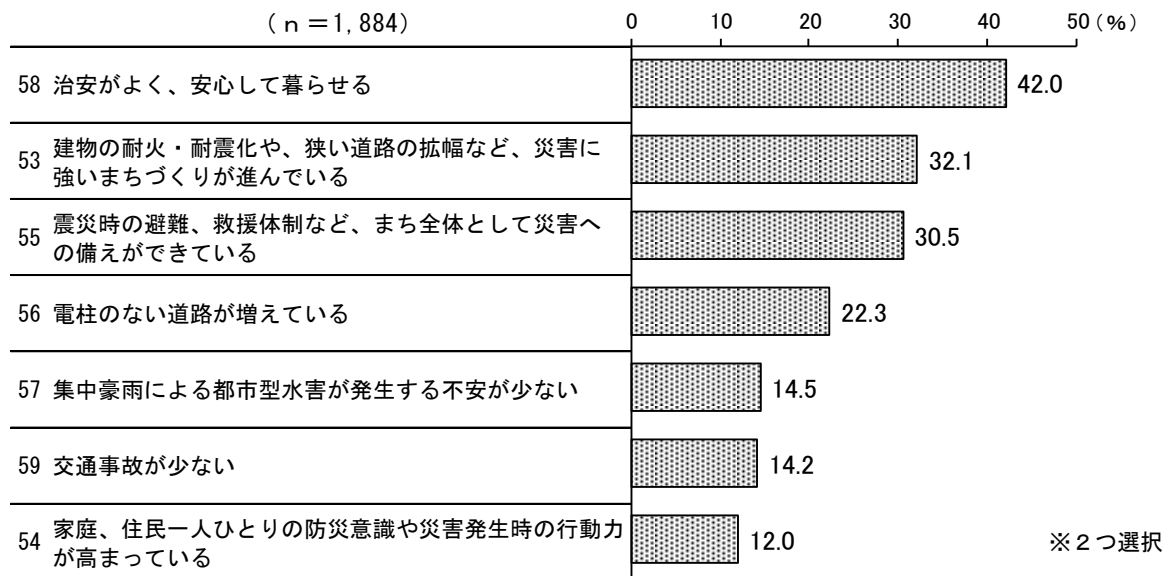
【都市再生・交通における「今後の優先度」】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「治安がよく、安心して暮らせる」(42.0%)が4割を超えて最も高く、次いで「建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる」(32.1%)、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています」(30.5%)、「電柱のない道路が増えている」(22.3%)となっている。

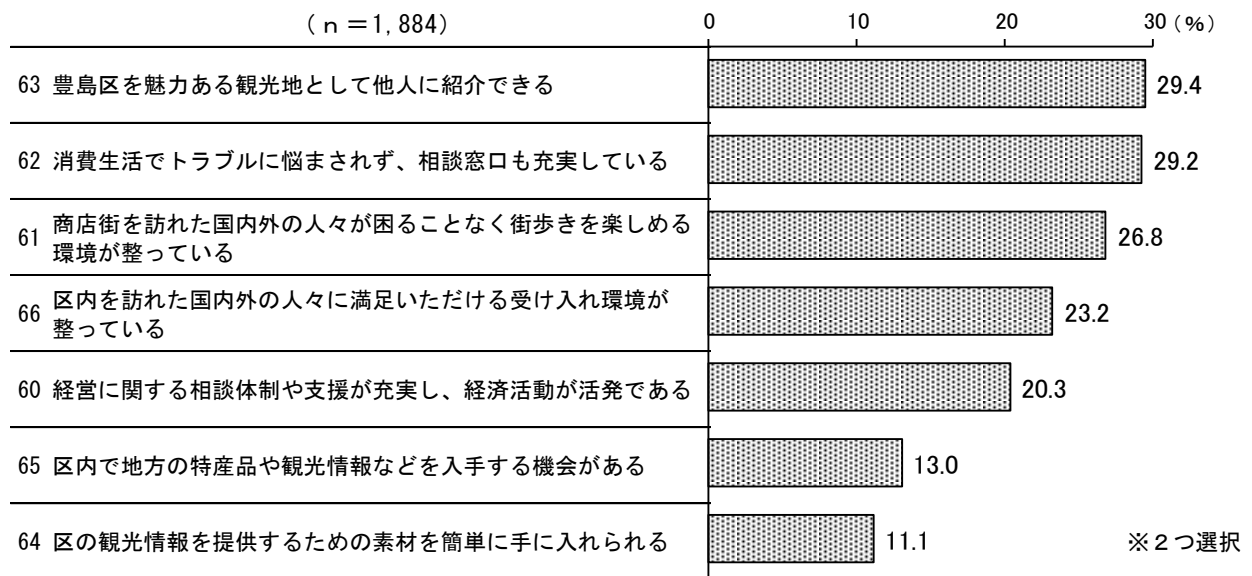
【防災・治安における「今後の優先度」】



(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境について、下記の7つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」(29.4%)が約3割で最も高く、次いで「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」(29.2%)、「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」(26.8%)、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」(23.2%)となっている。

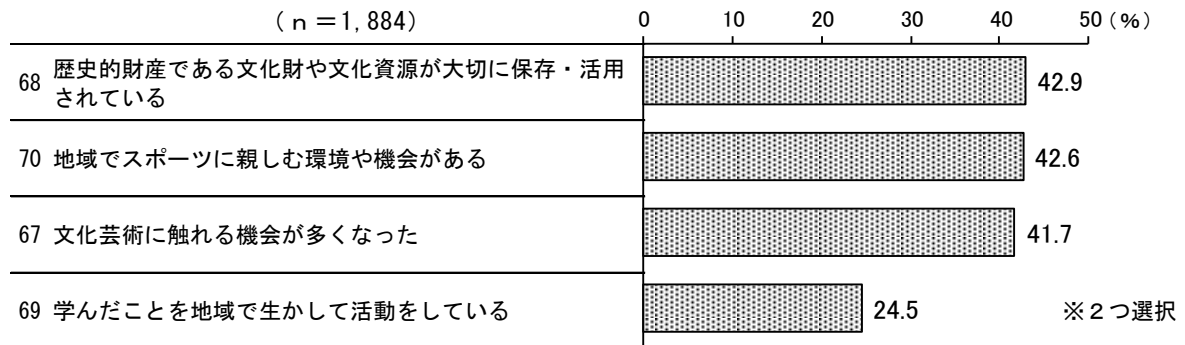
【商工・観光における「今後の優先度」】



(11) 文化

文化に関する生活環境について、下記の4つの項目を設定して、今後の優先度を尋ねたところ、「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」(42.9%)が4割を超えて最も高く、次いで「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」(42.6%)、「文化芸術に触れる機会が多くなった」(41.7%)、「学んだことを地域で生かして活動をしている」(24.5%)となっている。

【文化における「今後の優先度」】





### 3. 「現在の評価」と「今後の優先度」をクロスさせた総合分析

11のグループごとに、「現在の評価」と「今後の優先度」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。

#### 【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価（目指すべき生活環境の姿に近いか）

各項目の加重平均値

$$= (\text{「どちらかというと思う」の回答者数} \times 1 \text{点} + \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「どちらかというと思わない」の回答者数} \times -1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

■今後の優先度

各項目の回答割合（％）

■基準軸の設定

- ・現在の評価：0（ゼロ）を基準
- ・今後の優先度：グループごとの各項目の平均優先度を基準

「現在の評価」を縦軸、「今後の優先度」を横軸とし、上記の基準軸設定により、下記のとおり、「A」「B」「C」「D」の4つの領域を設定して、グループごとに評価、分析を行った。

(+) 「現在の評価」の軸 (-)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">C</div> 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">A</div> 現在の評価も、今後の優先度も高い 現在の評価 (+) プラス 各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">D</div> 現在の評価も、今後の優先度も低い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (<) 平均優先度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">B</div> 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い 現在の評価 (-) マイナス 各項目の優先度 (>) 平均優先度	
	(-)	「今後の優先度」の軸	(+)

上記のチャート図において、右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

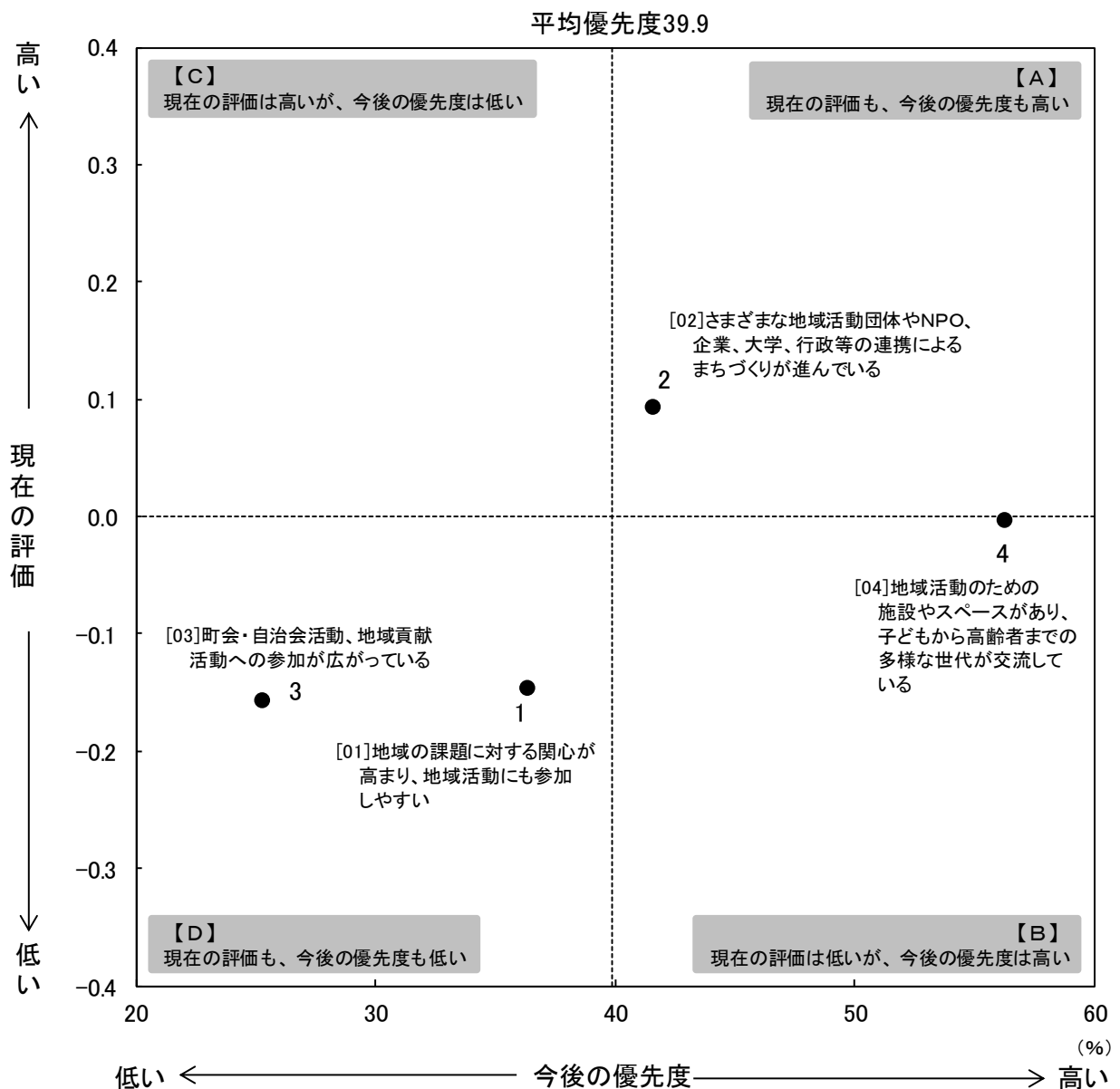
B	評価【低】かつ 優先度【高】	行政として重点的に取り組む
A	評価【高】かつ 優先度【高】	現状維持
D	評価【低】かつ 優先度【低】	
C	評価【高】かつ 優先度【低】	行政の役割は小さい

(1) 参画・協働

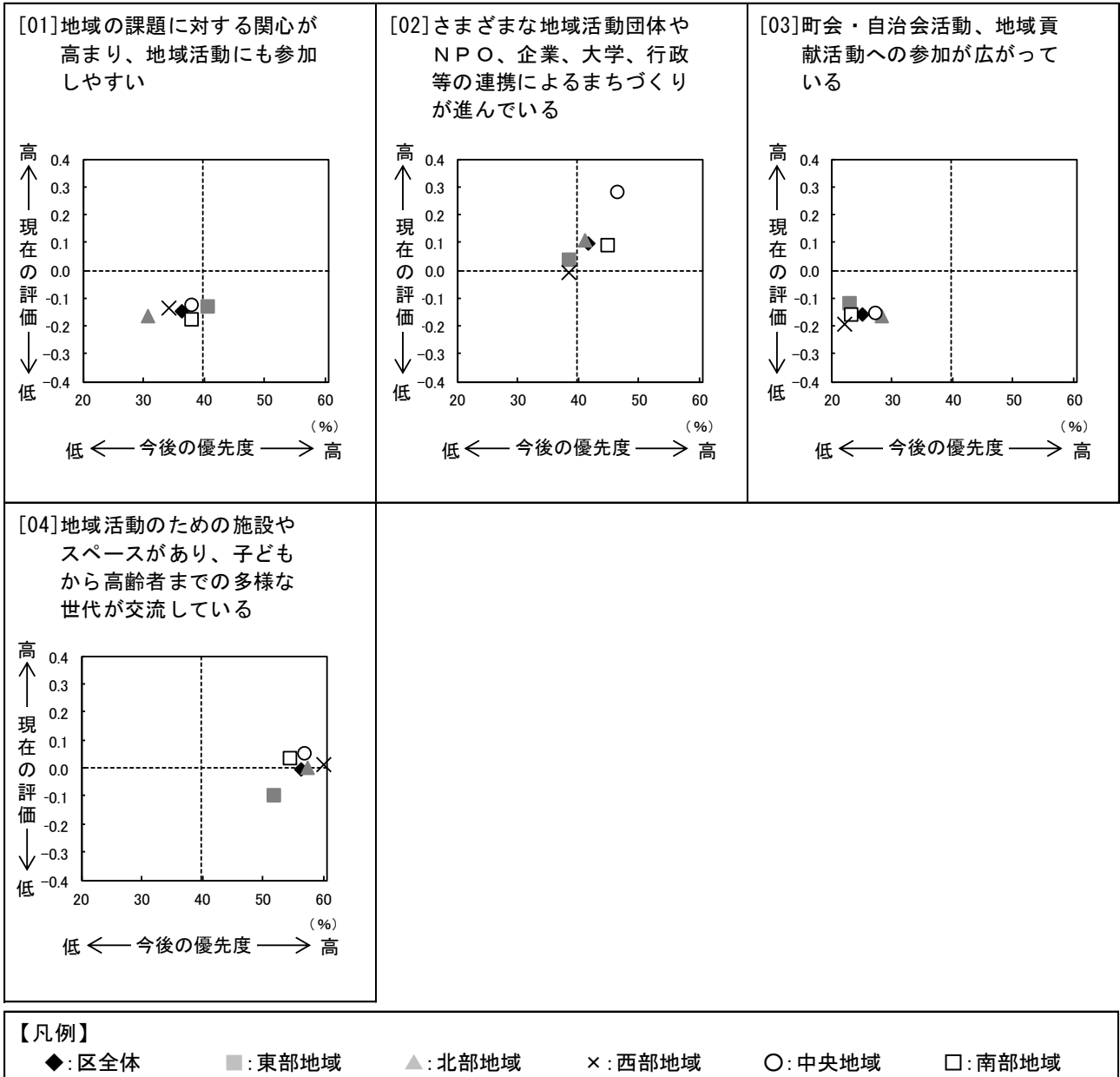
参画・協働に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低いが、今後の優先度は高い」は、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が位置している。

【参画・協働における総合分析】



【参画・協働における地域別比較】



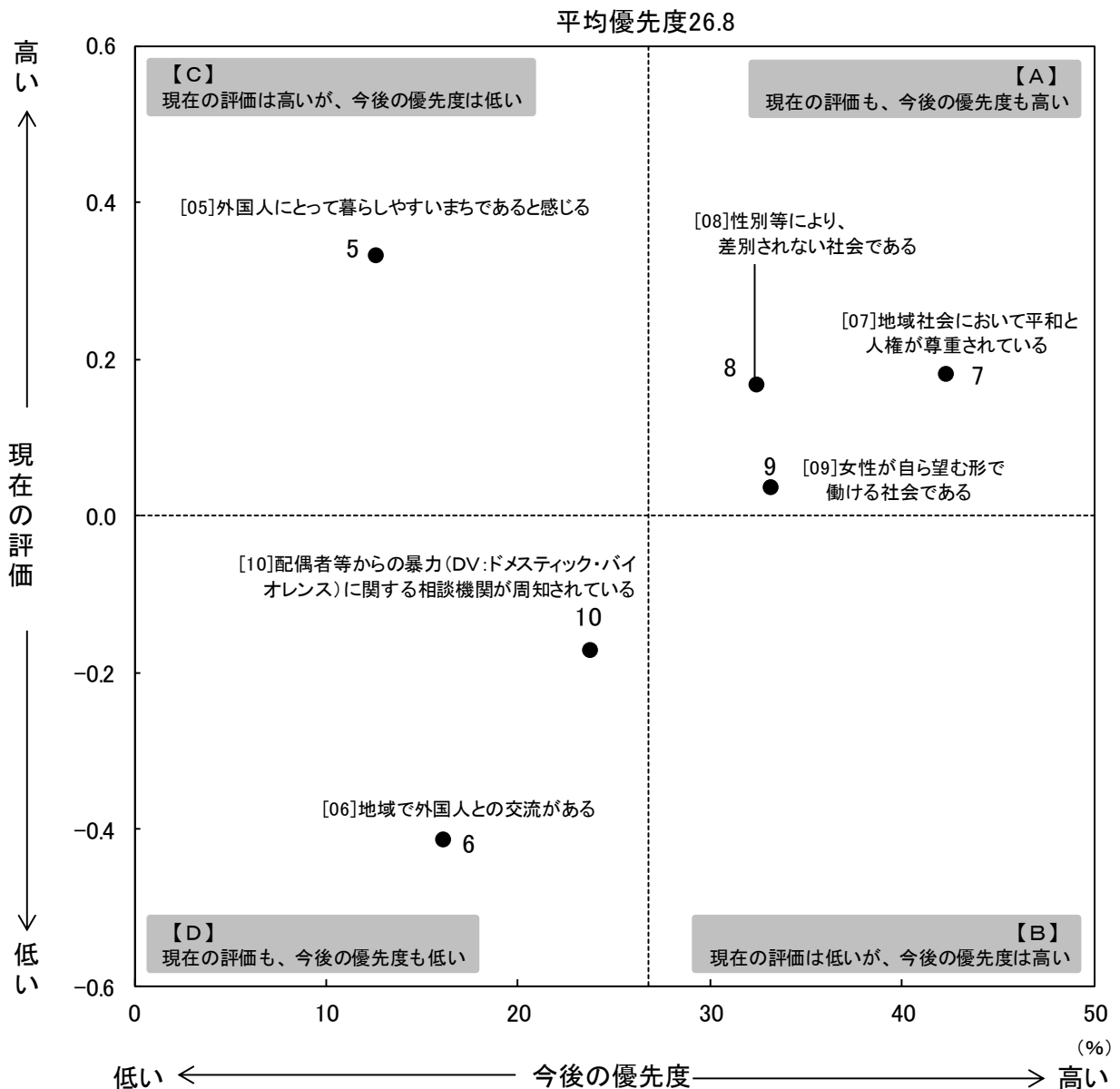
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(2) 平和・人権

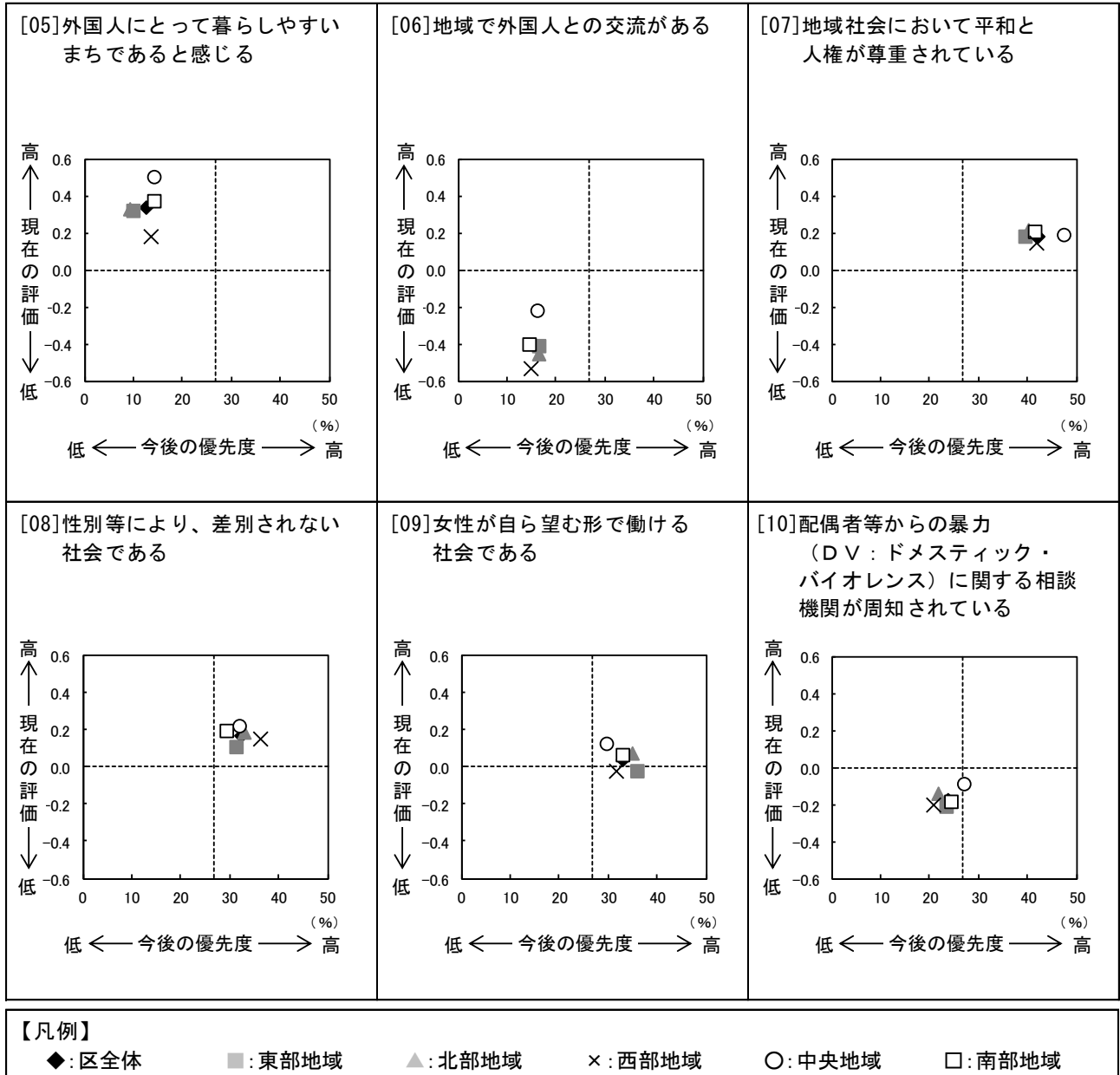
平和・人権に関する生活環境では、6項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【平和・人権における総合分析】



【平和・人権における地域別比較】



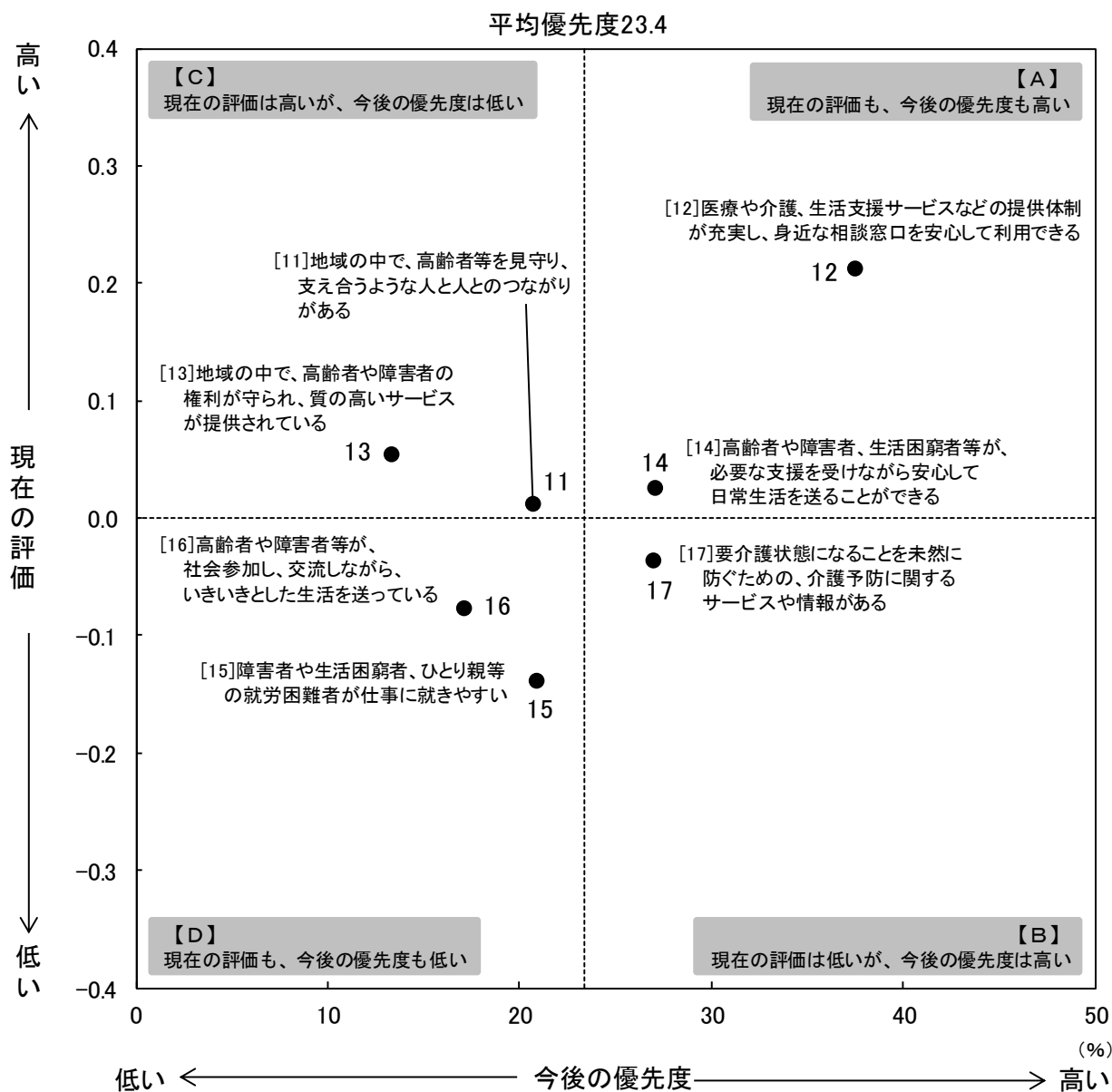
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(3) 福祉

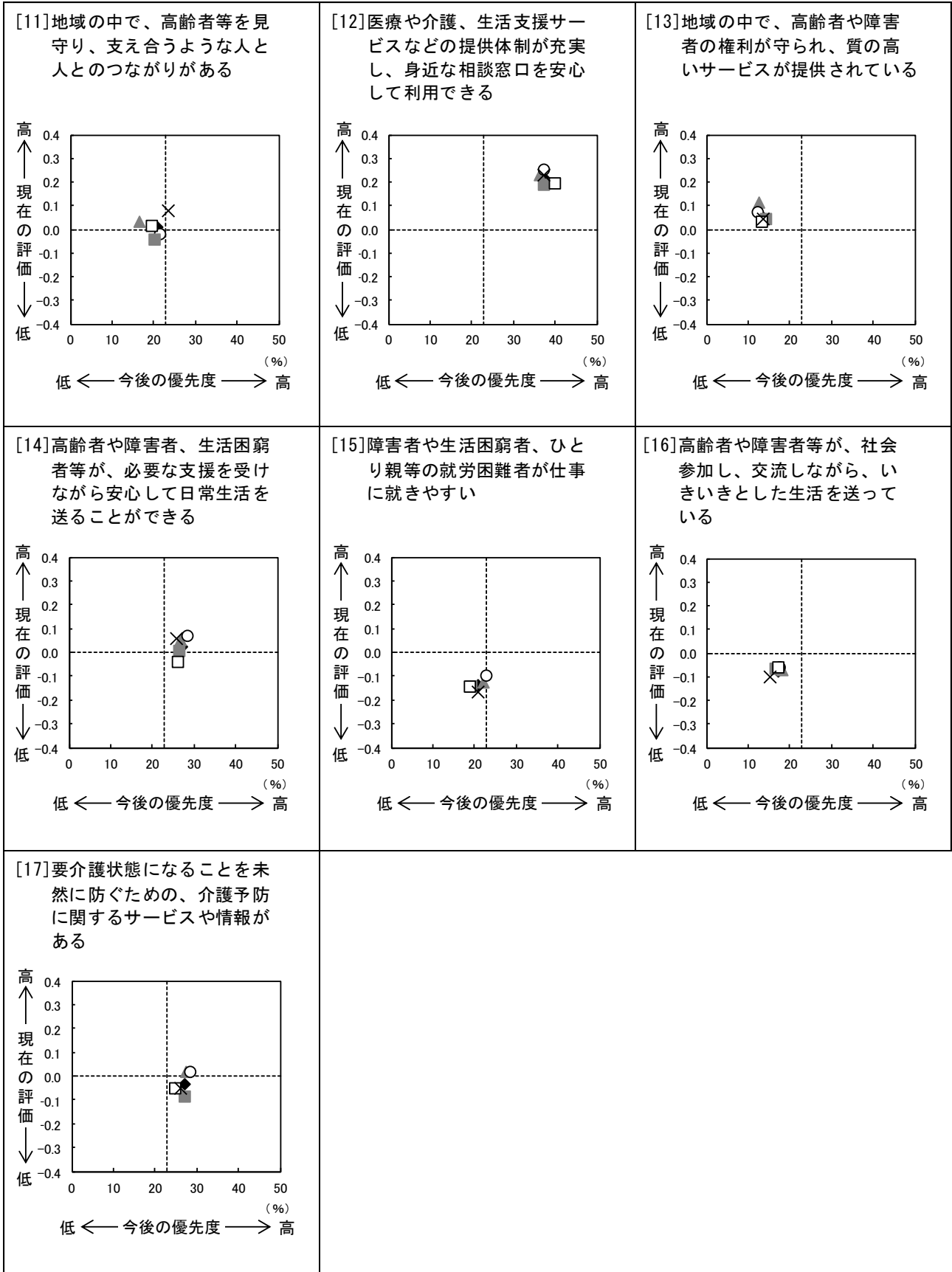
福祉に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある」が位置している。

【福祉における総合分析】



【福祉における地域別比較】



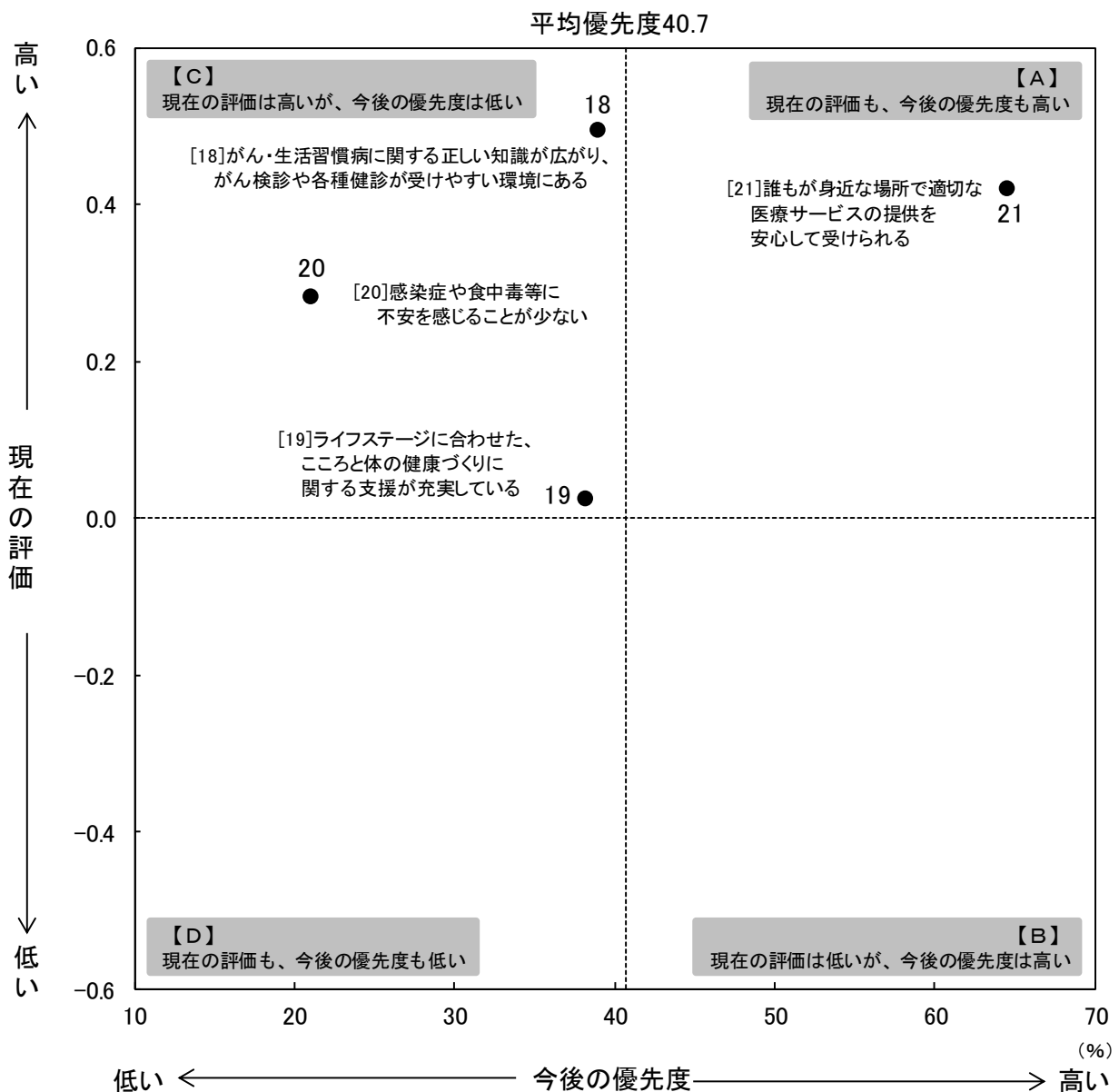
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境では、4項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置している。なお、「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置する項目はみられない。

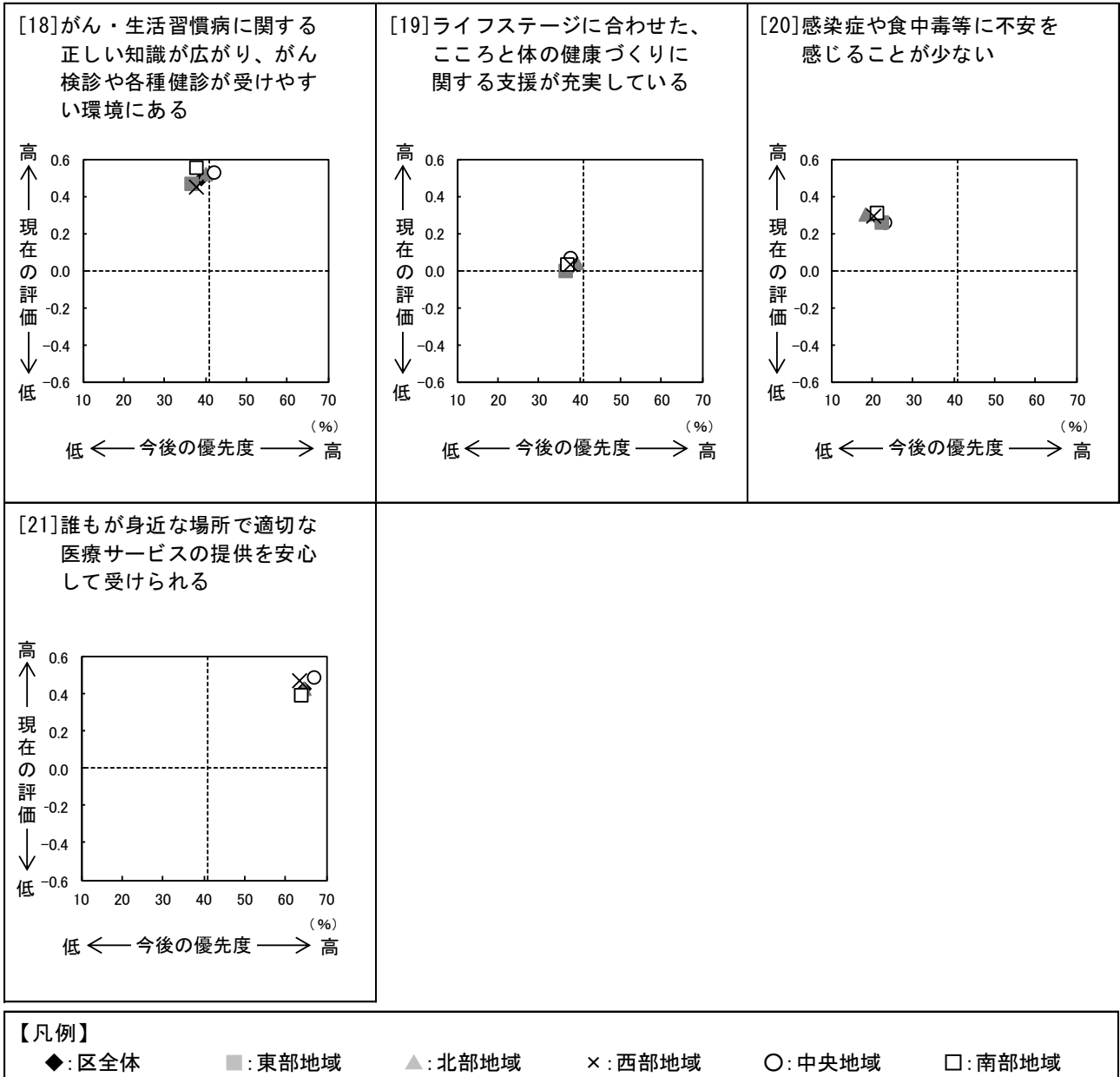
改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【健康・保健における総合分析】





【健康・保健における地域別比較】



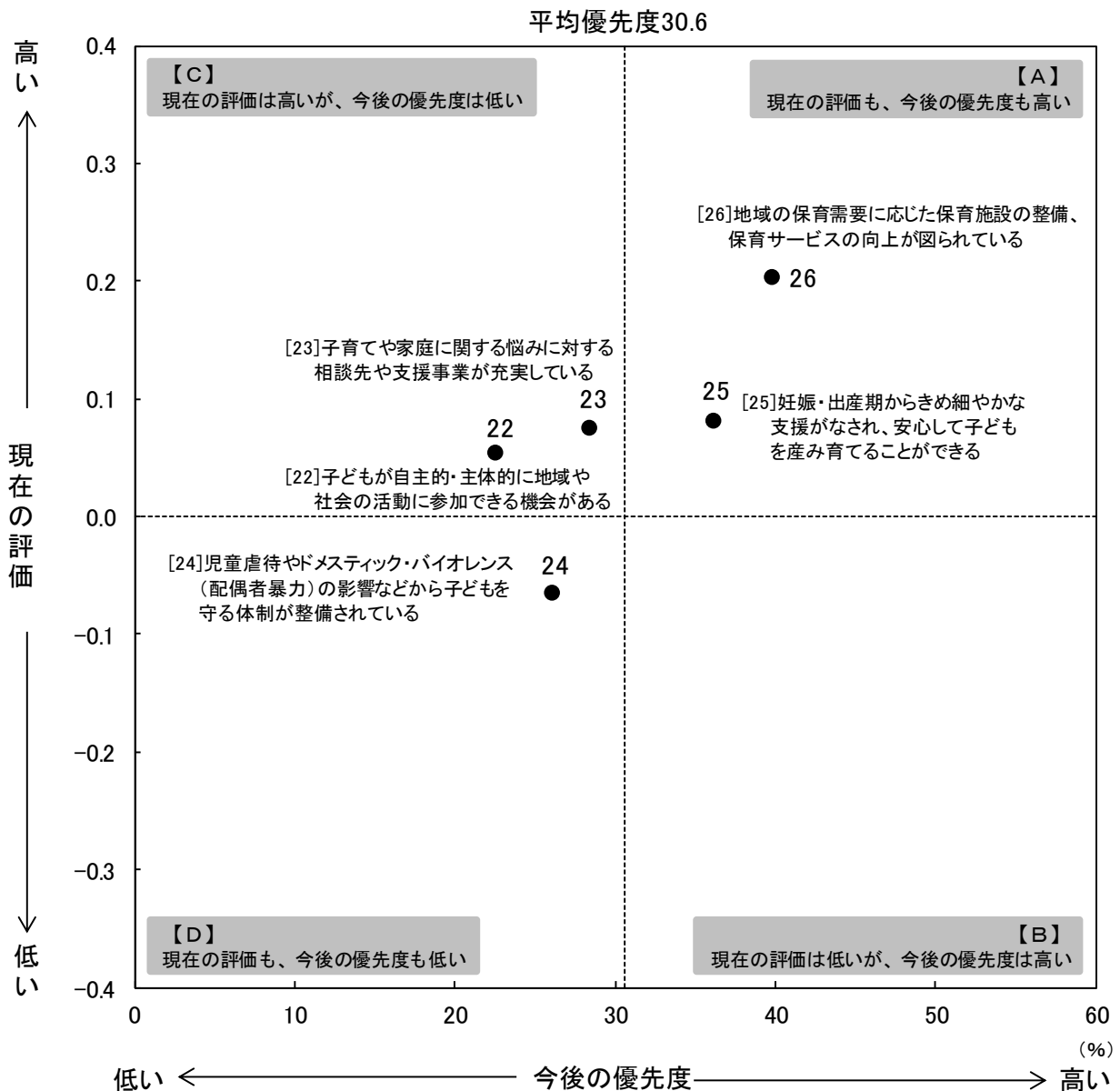
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(5) 子育て

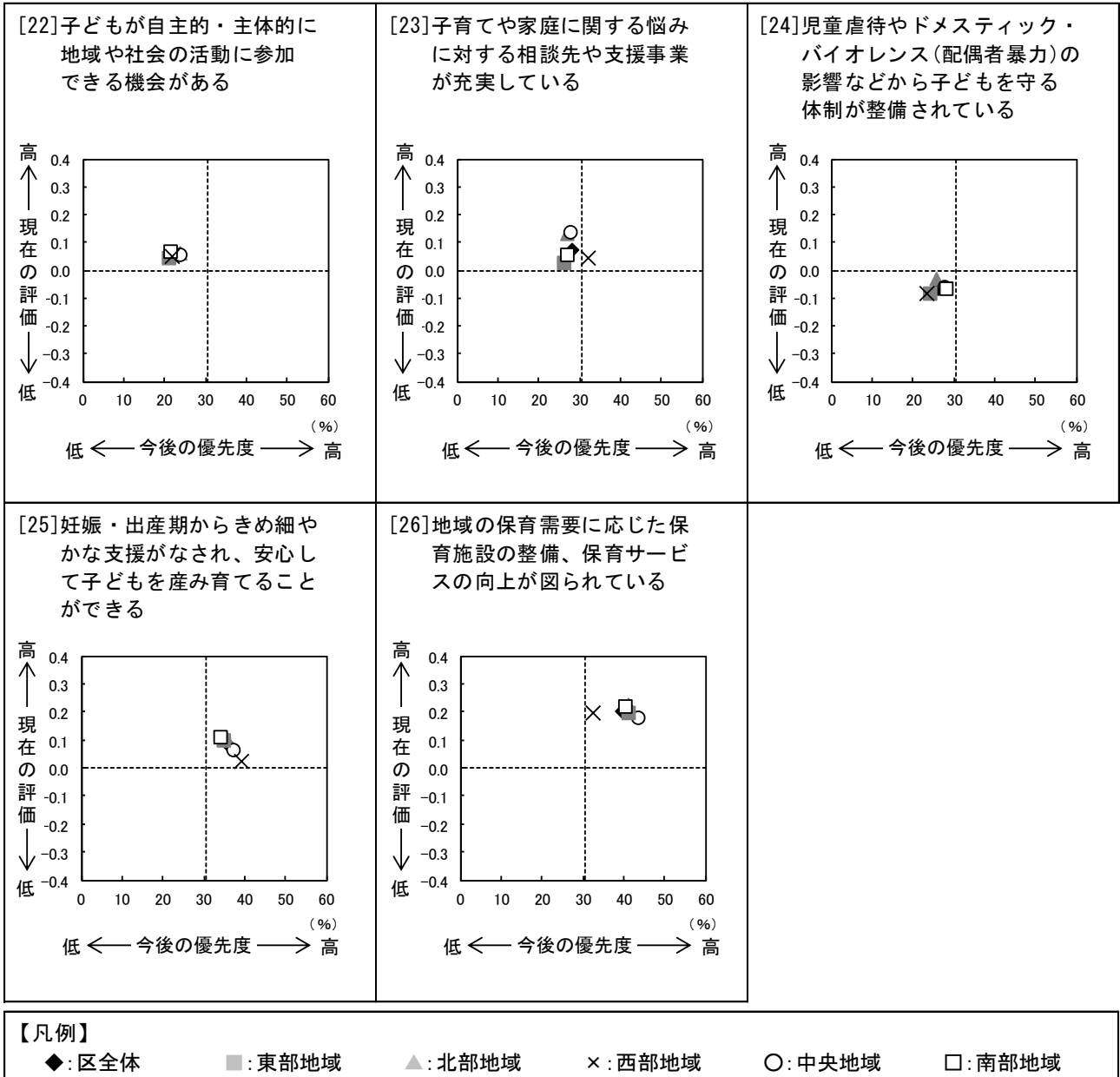
子育てに関する生活環境では、5項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【子育てにおける総合分析】



【子育てにおける地域別比較】



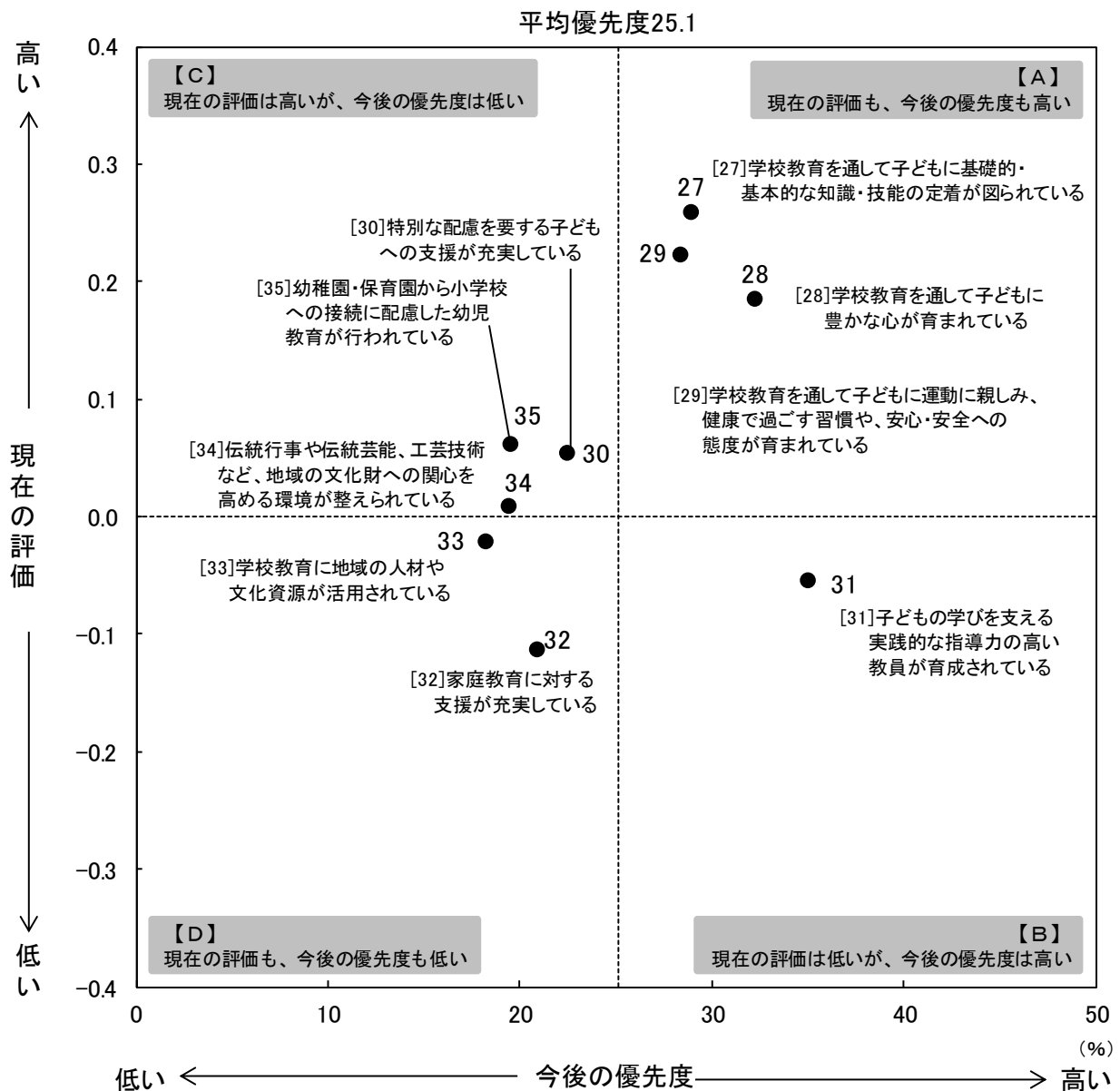
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(6) 教育

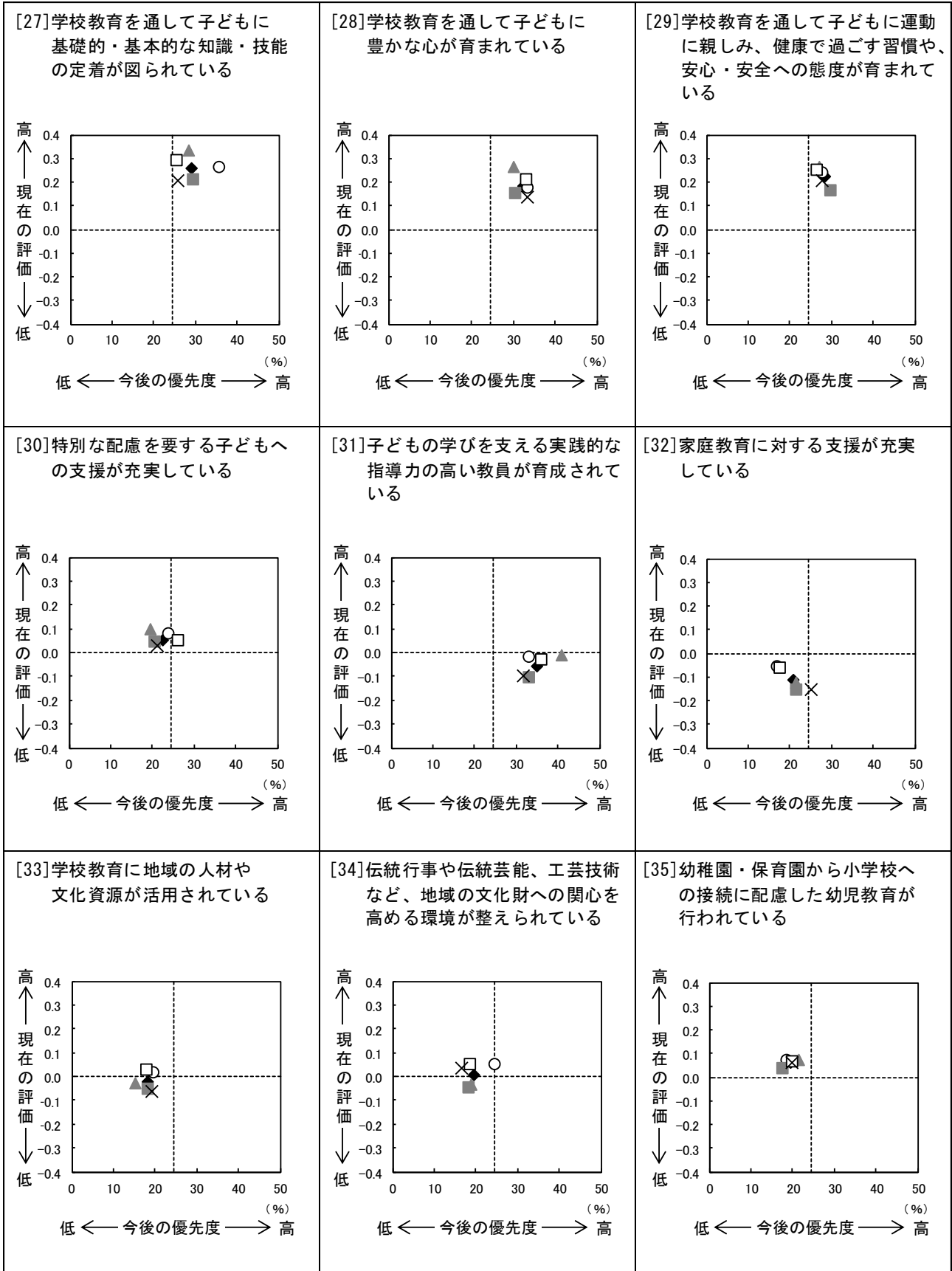
教育に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている」が位置している。

【教育における総合分析】



【教育における地域別比較】



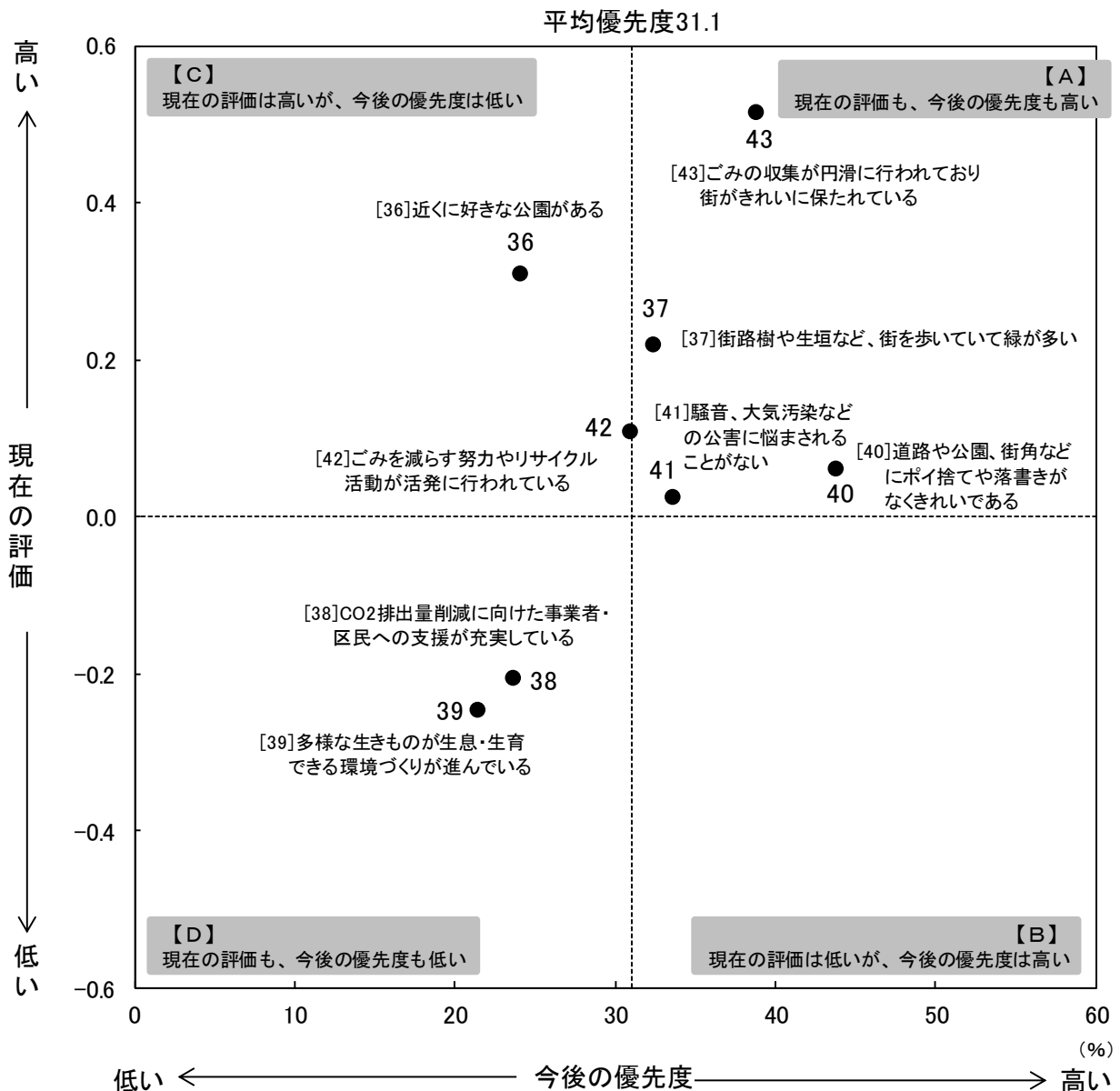
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(7) みどり・環境

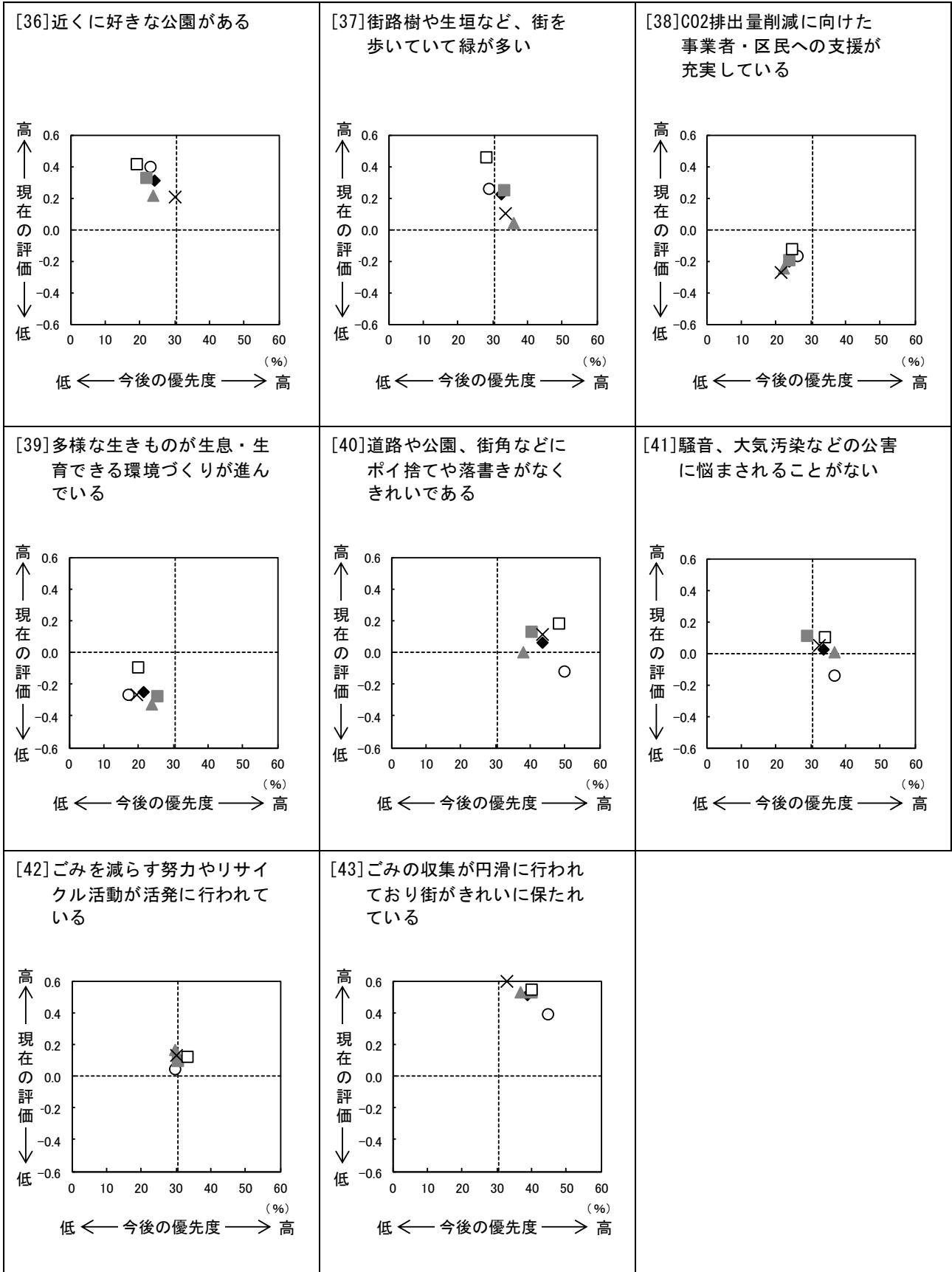
みどり・環境に関する生活環境では、8項目のうち4項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に位置する項目はみられない。

【みどり・環境における総合分析】



【みどり・環境における地域別比較】



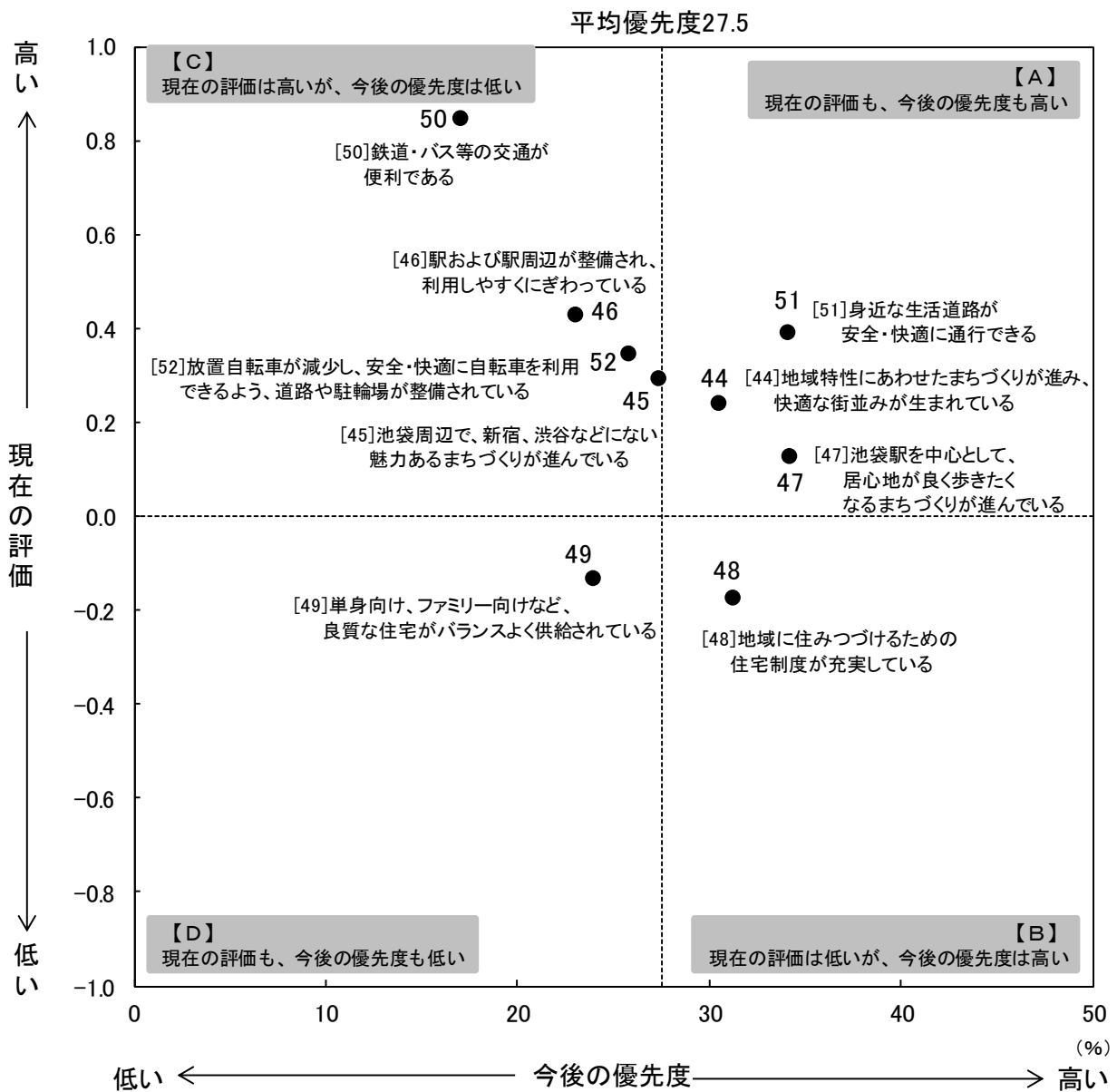
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境では、9項目のうち3項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、4項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

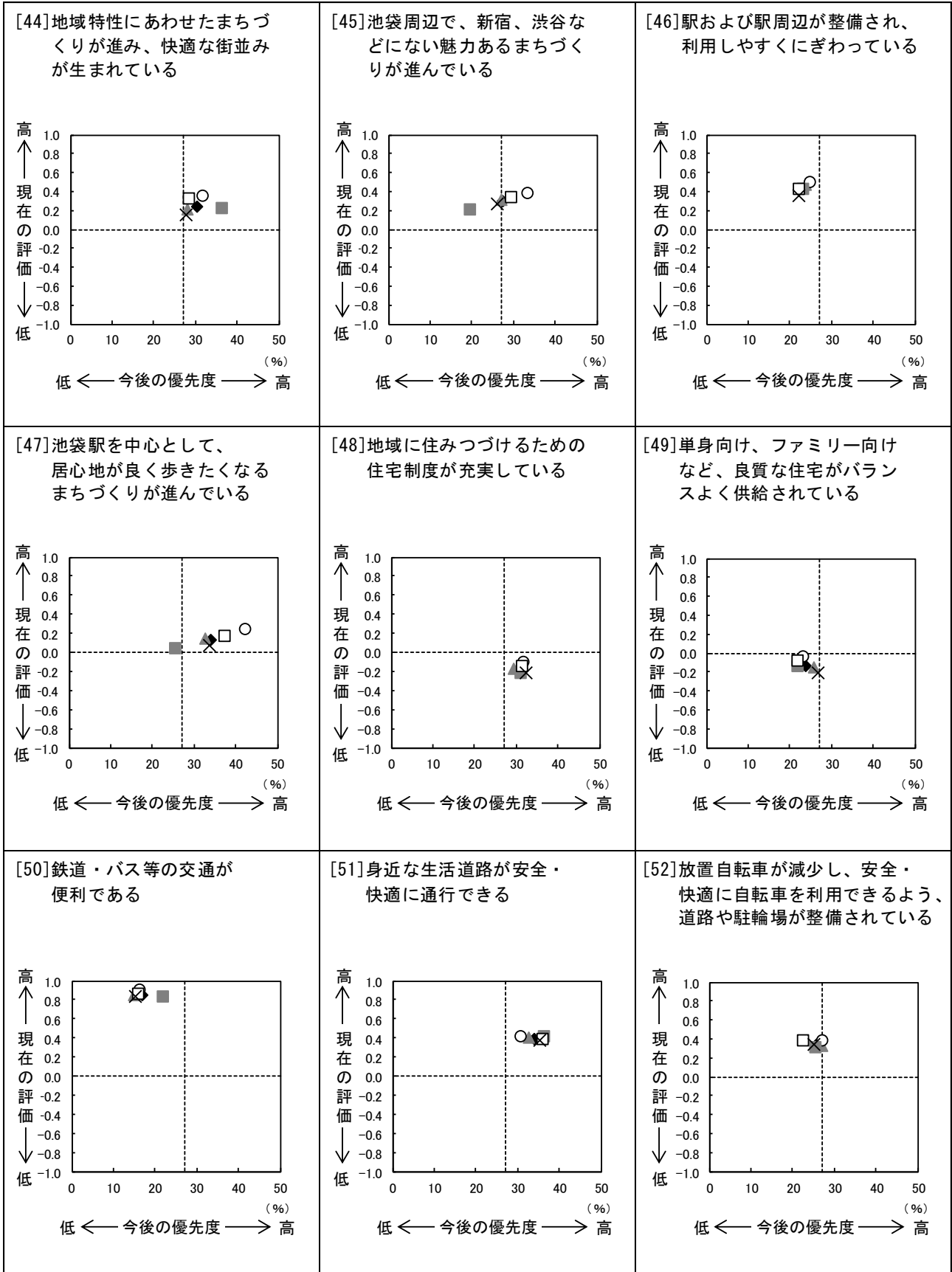
改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域に住みつつけるための住宅制度が充実している」が位置している。

【都市再生・交通における総合分析】





【都市再生・交通における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

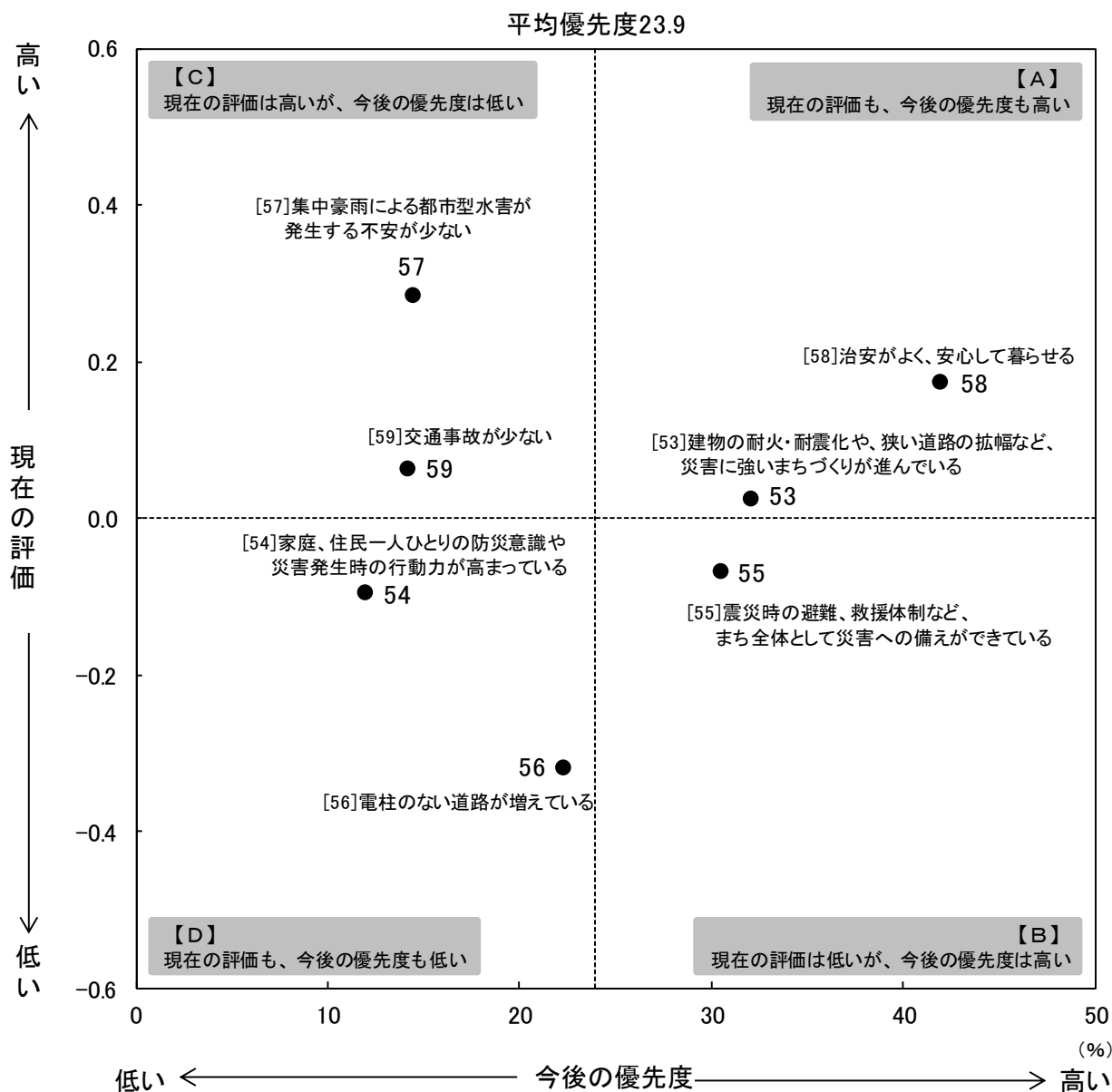
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(9) 防災・治安

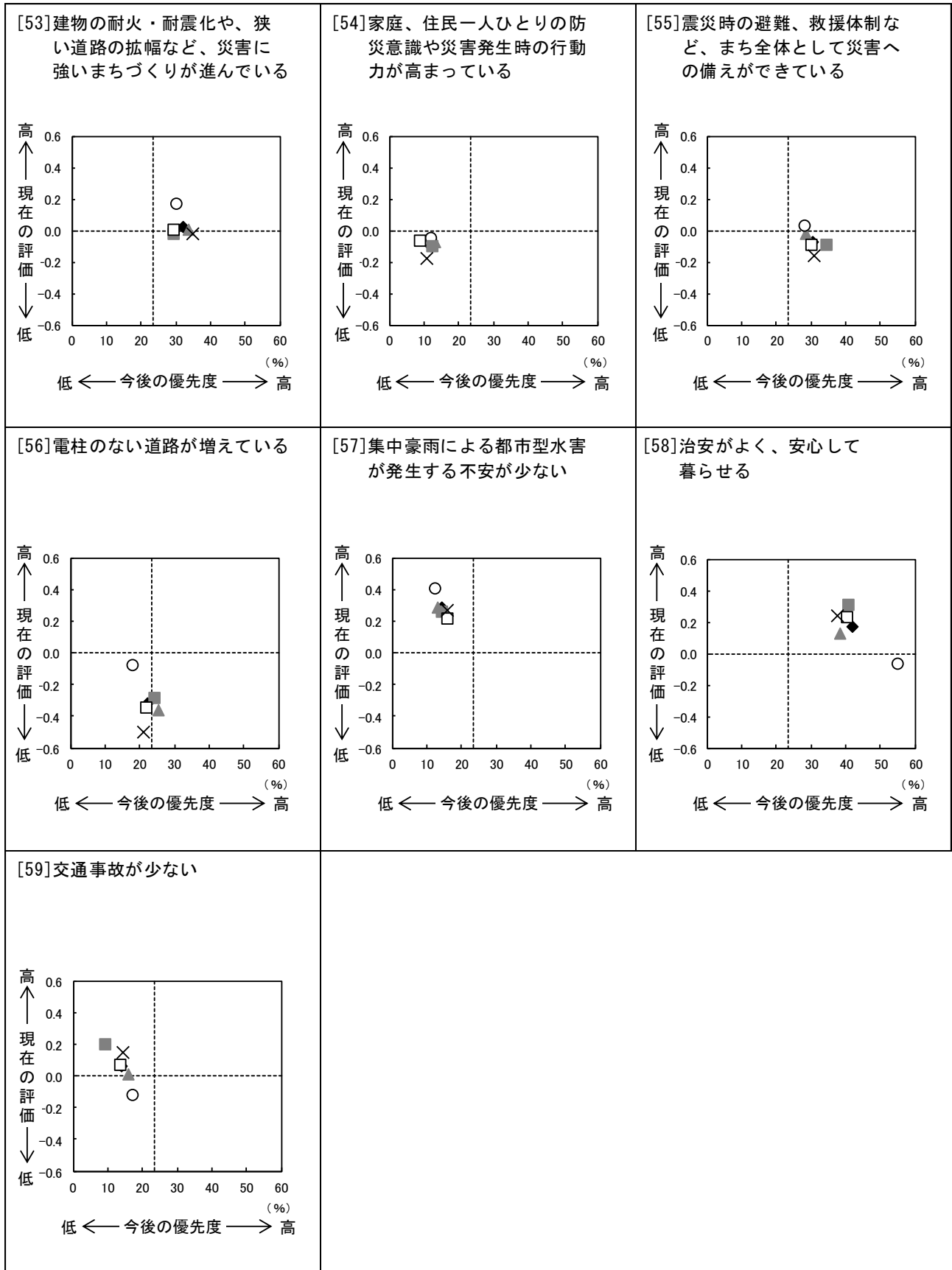
防災・治安に関する生活環境では、7項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、2項目が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に、2項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができていない」が位置している。

【防災・治安における総合分析】



【防災・治安における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体    ■: 東部地域    ▲: 北部地域    ×: 西部地域    ○: 中央地域    □: 南部地域

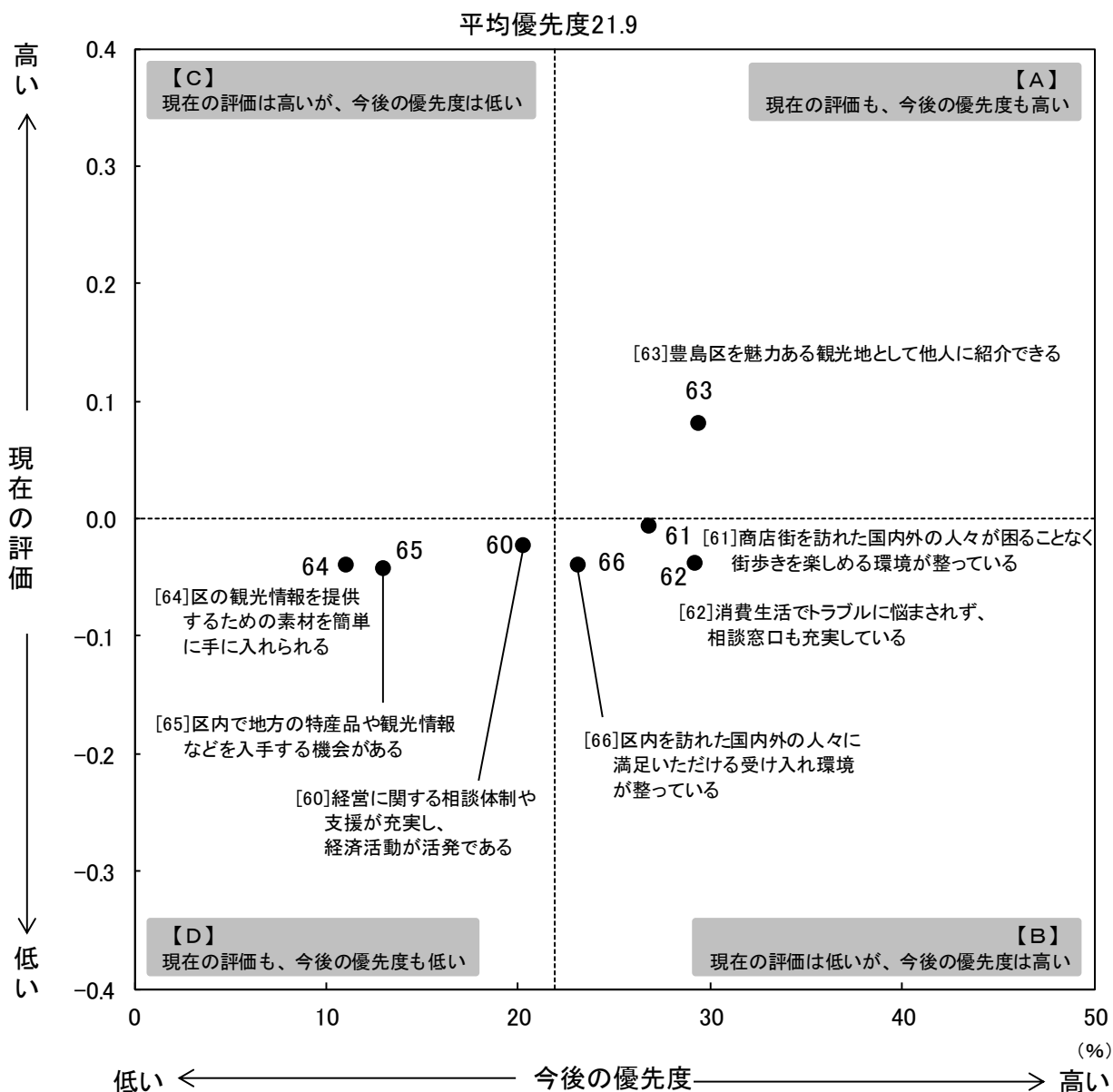
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(10) 商工・観光

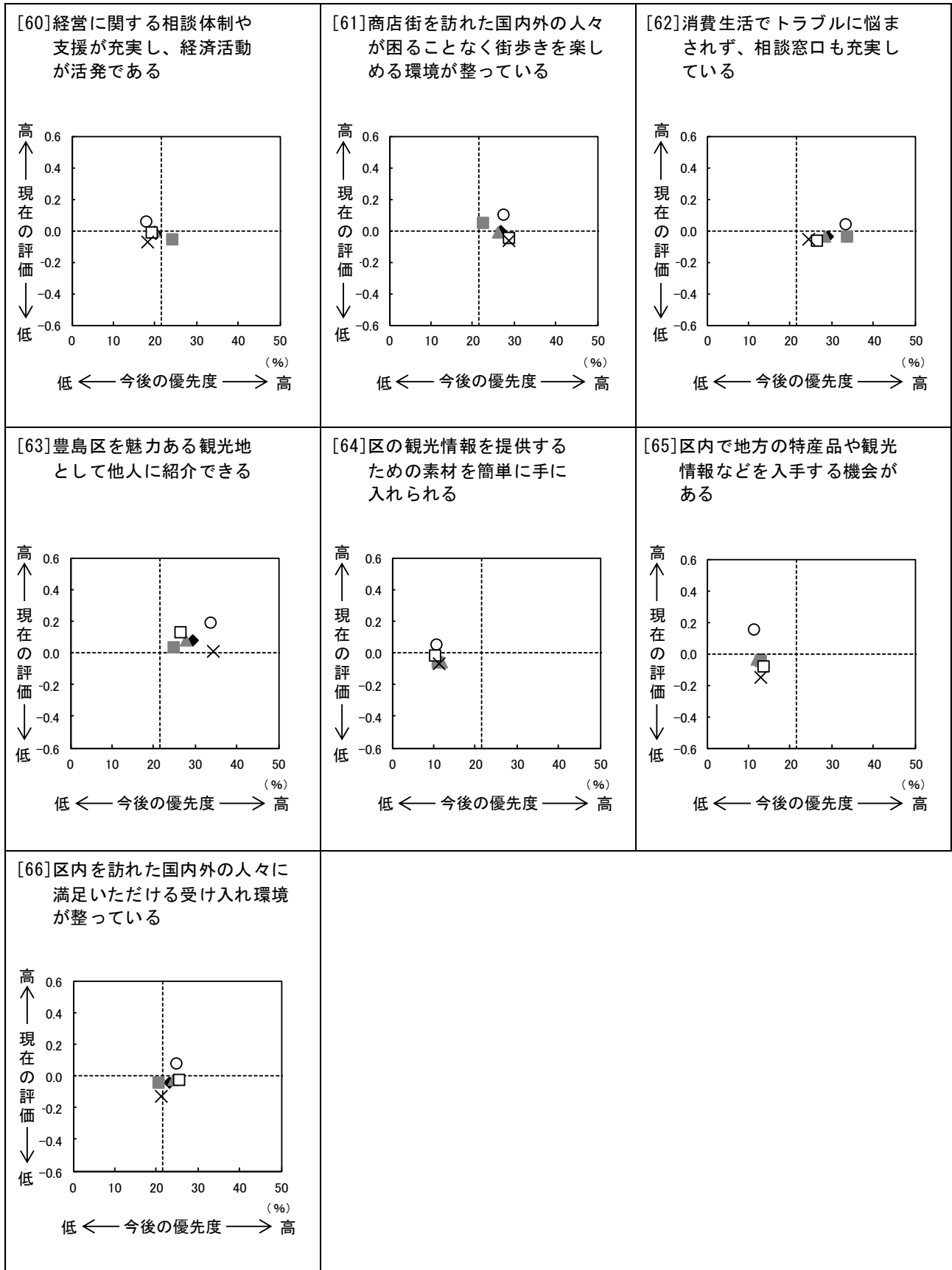
商工・観光に関する生活環境では、7項目のうち1項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、3項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、3項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要のある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」、「消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している」、「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」が位置している。

【商工・観光における総合分析】



【商工・観光における地域別比較】



【凡例】

- ◆: 区全体
- : 東部地域
- ▲: 北部地域
- ×: 西部地域
- : 中央地域
- : 南部地域

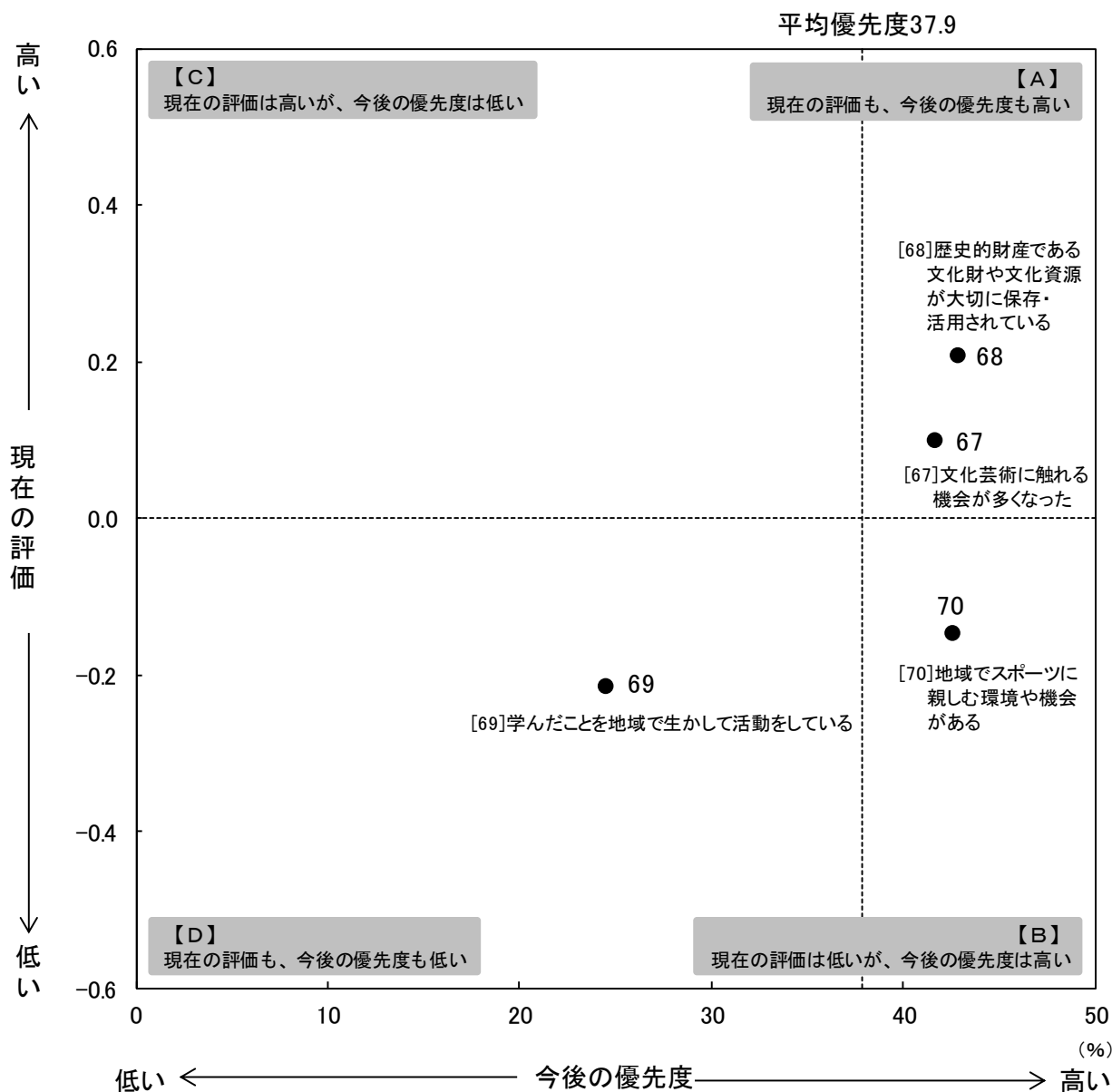
※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

(11) 文化

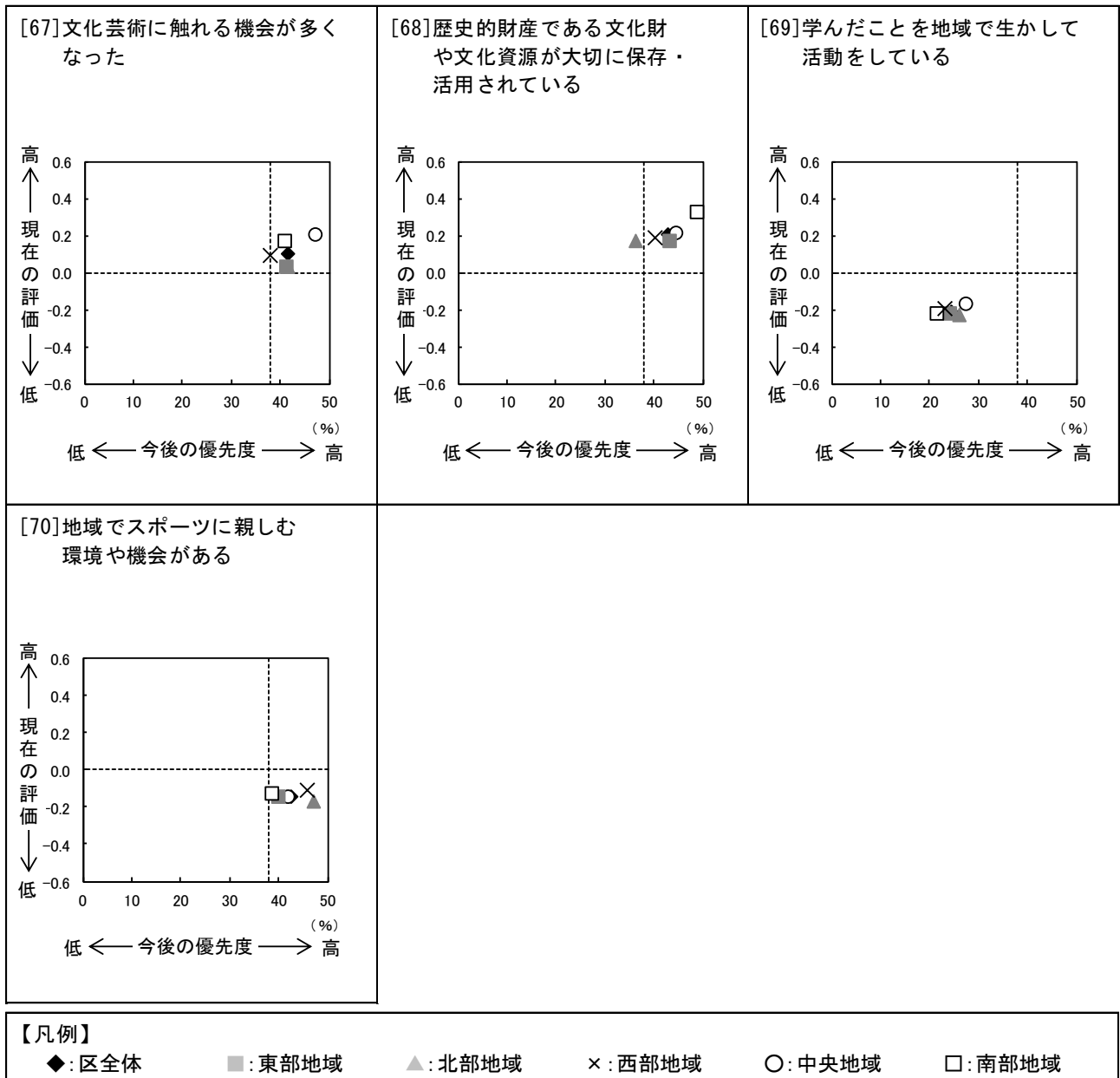
文化に関する生活環境では、4項目のうち2項目が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」に位置している。また、1項目が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」に、1項目が「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」に位置している。なお、「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」に位置する項目はみられない。

改善に向けて取り組む必要がある「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」は、「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」が位置している。

【文化における総合分析】



【文化における地域別比較】



※ 地域の具体的区分は5ページの(4)居住地域名を参照

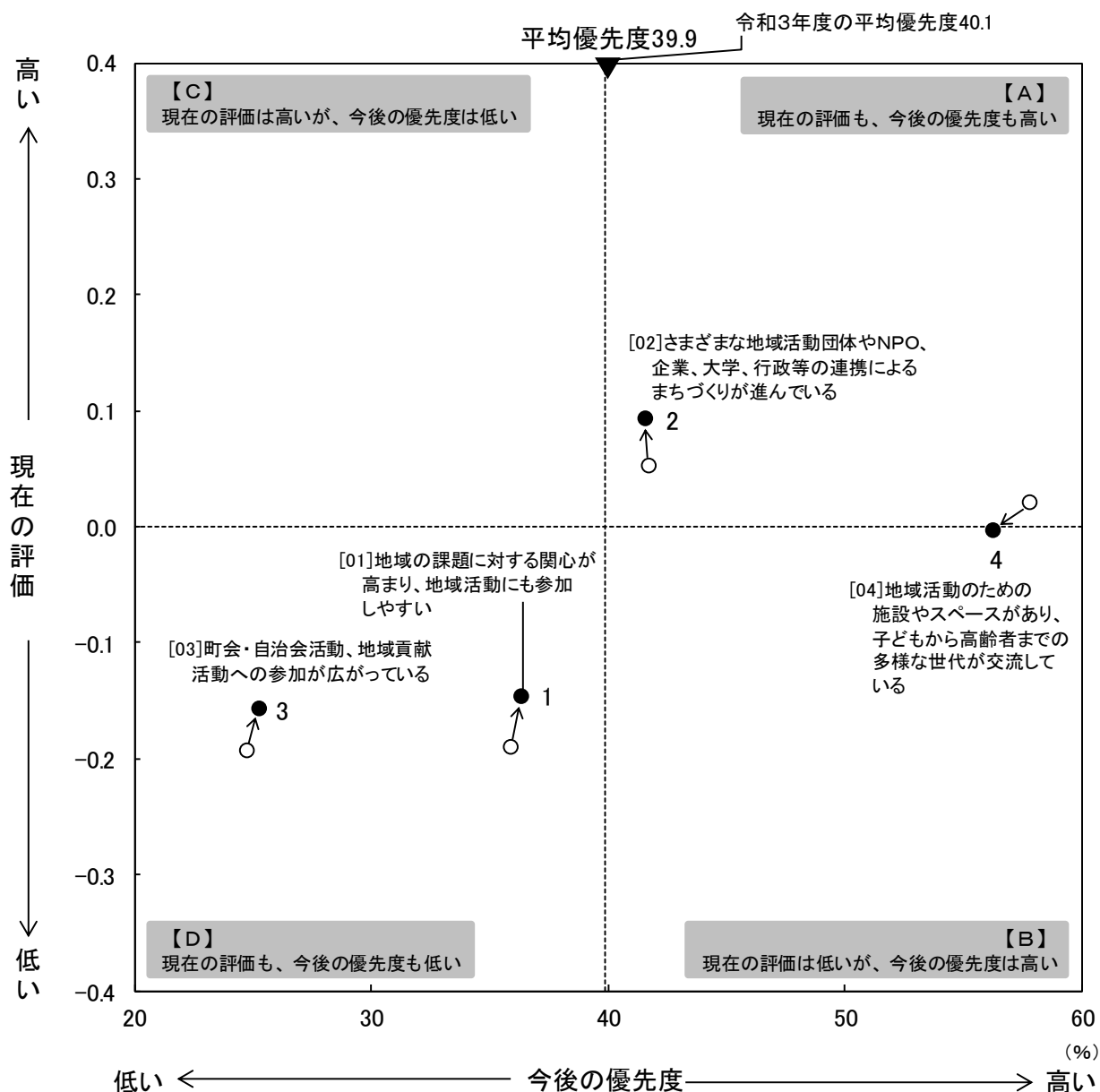
### 4. 総合分析の経年比較

総合分析を前回調査（令和3年度）と比較した。●が今回調査、○が前回調査、前回から今回への推移を矢印で表している。

#### (1) 参画・協働

参画・協働に関する生活環境では、「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。

#### 【参画・協働における総合分析の経年比較】

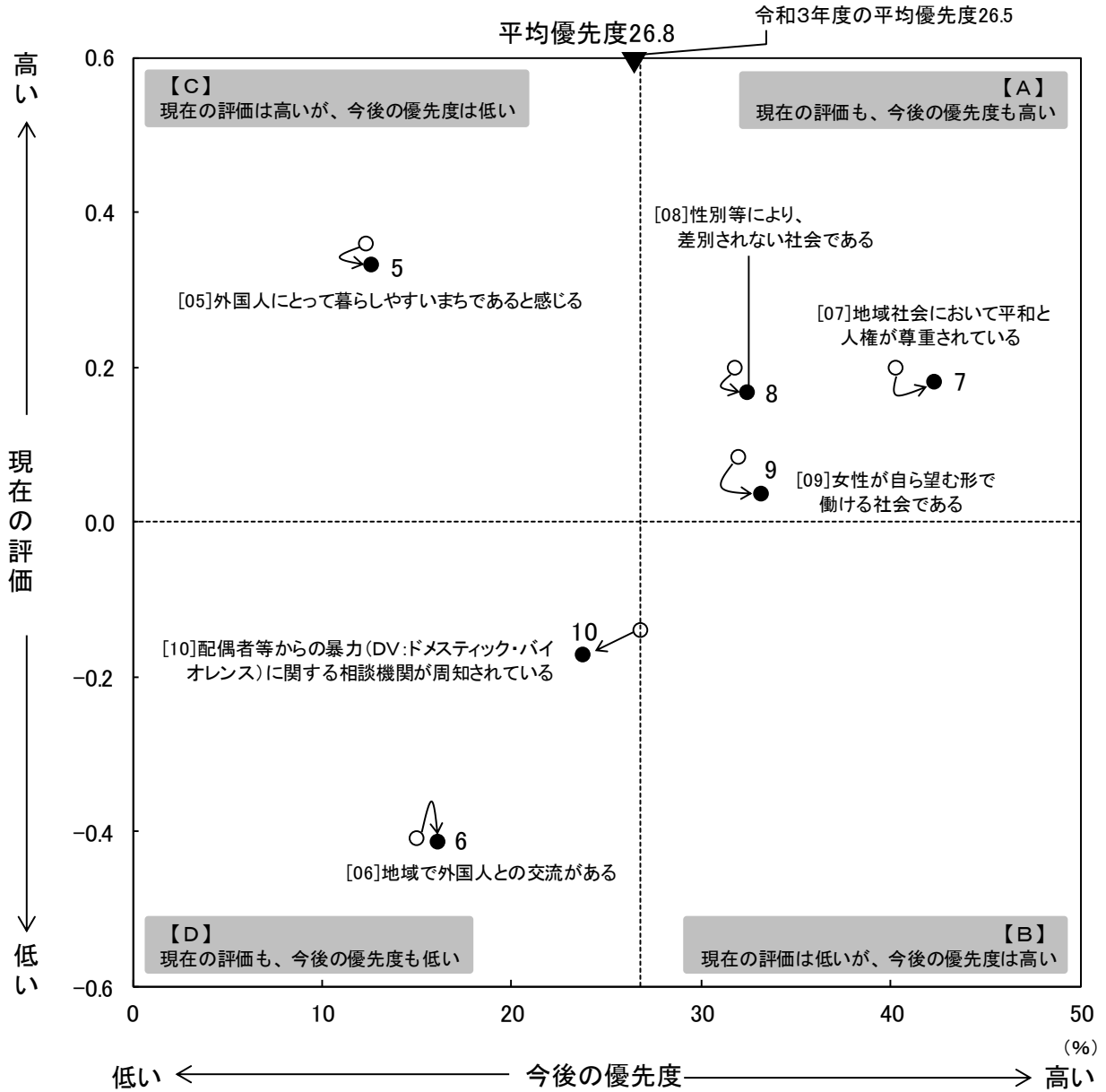




(2) 平和・人権

平和・人権に関する生活環境では、「配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている」が「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

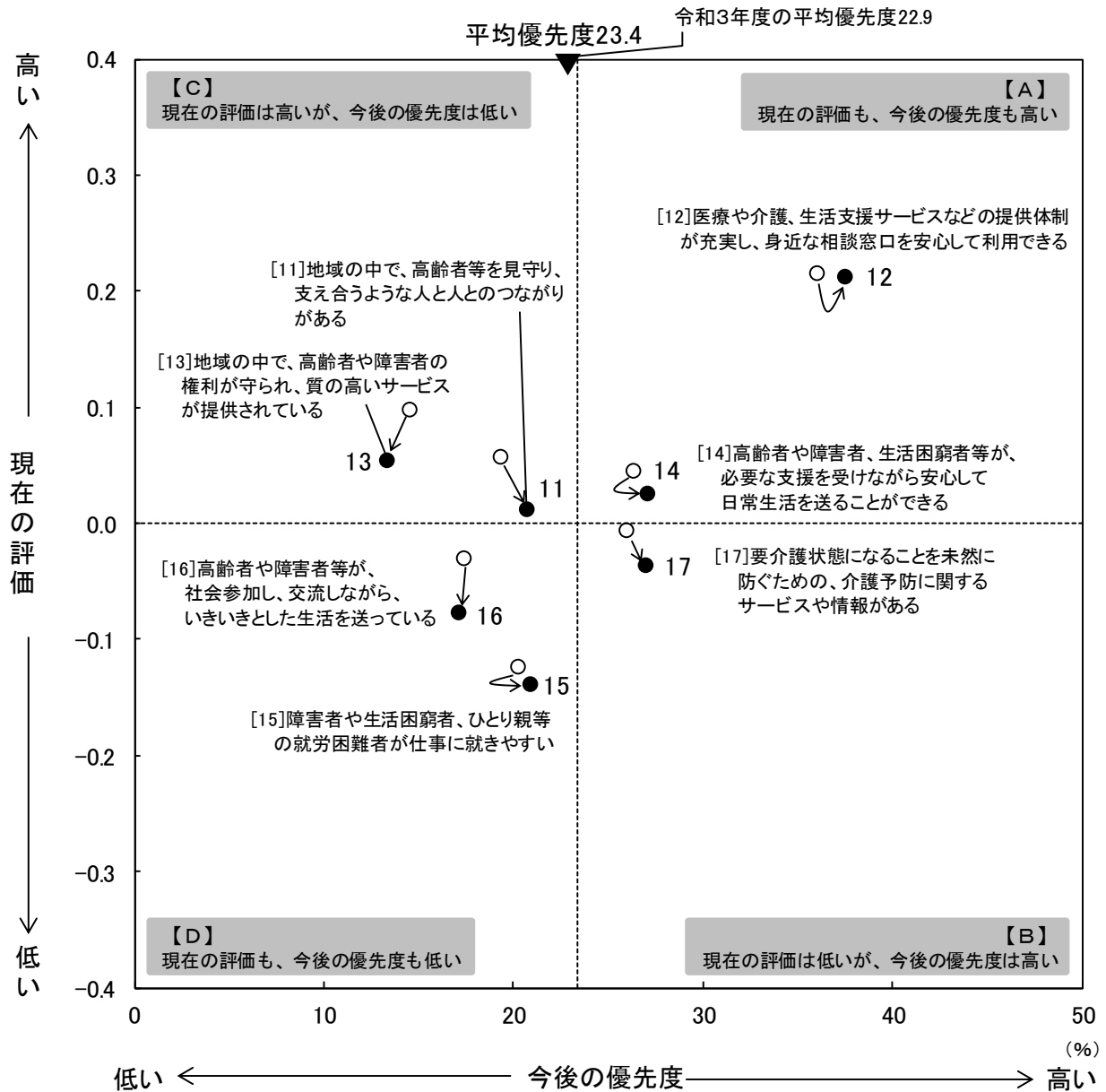
【平和・人権における総合分析の経年比較】



(3) 福祉

福祉に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

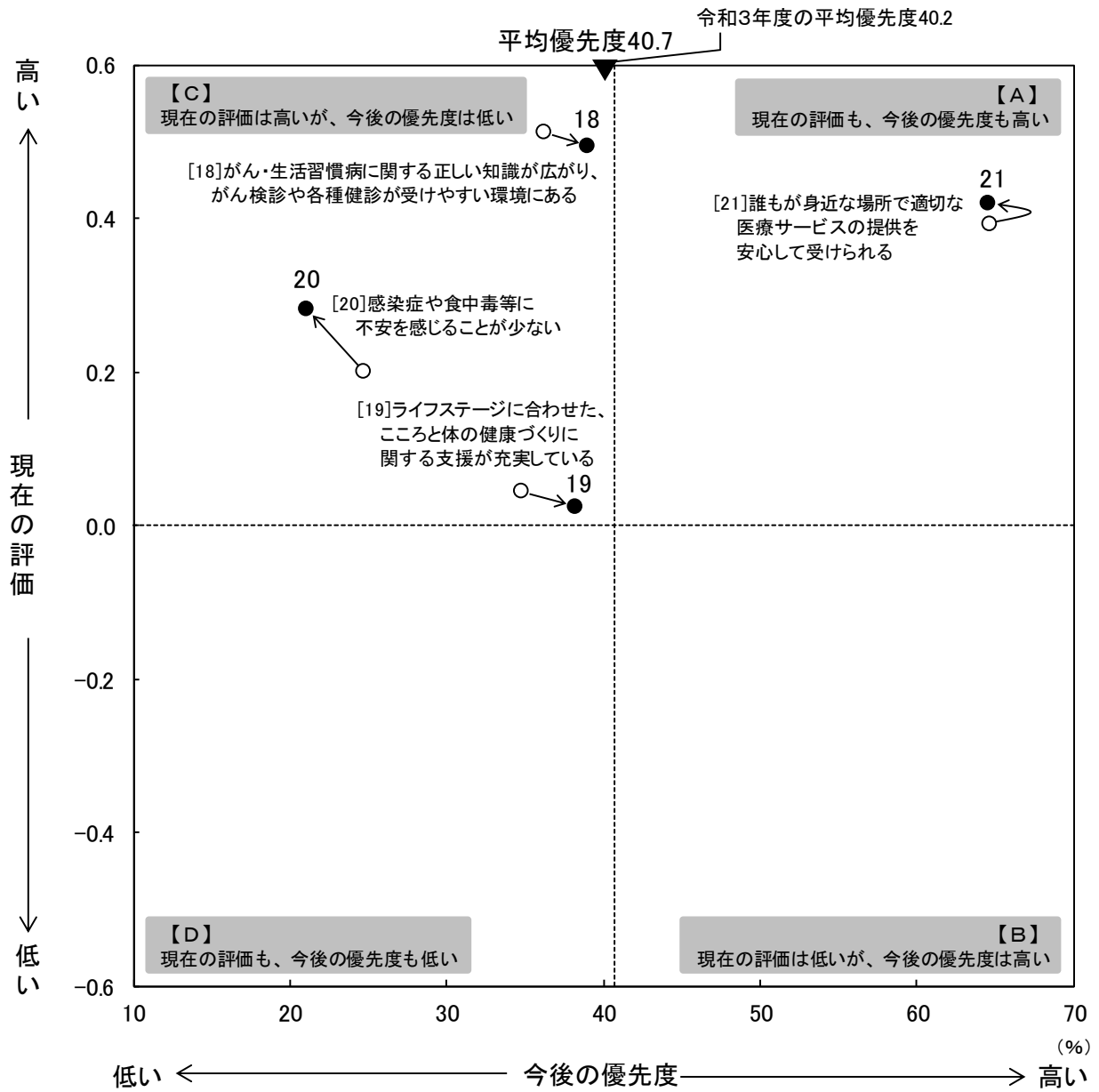
【福祉における総合分析の経年比較】



(4) 健康・保健

健康・保健に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

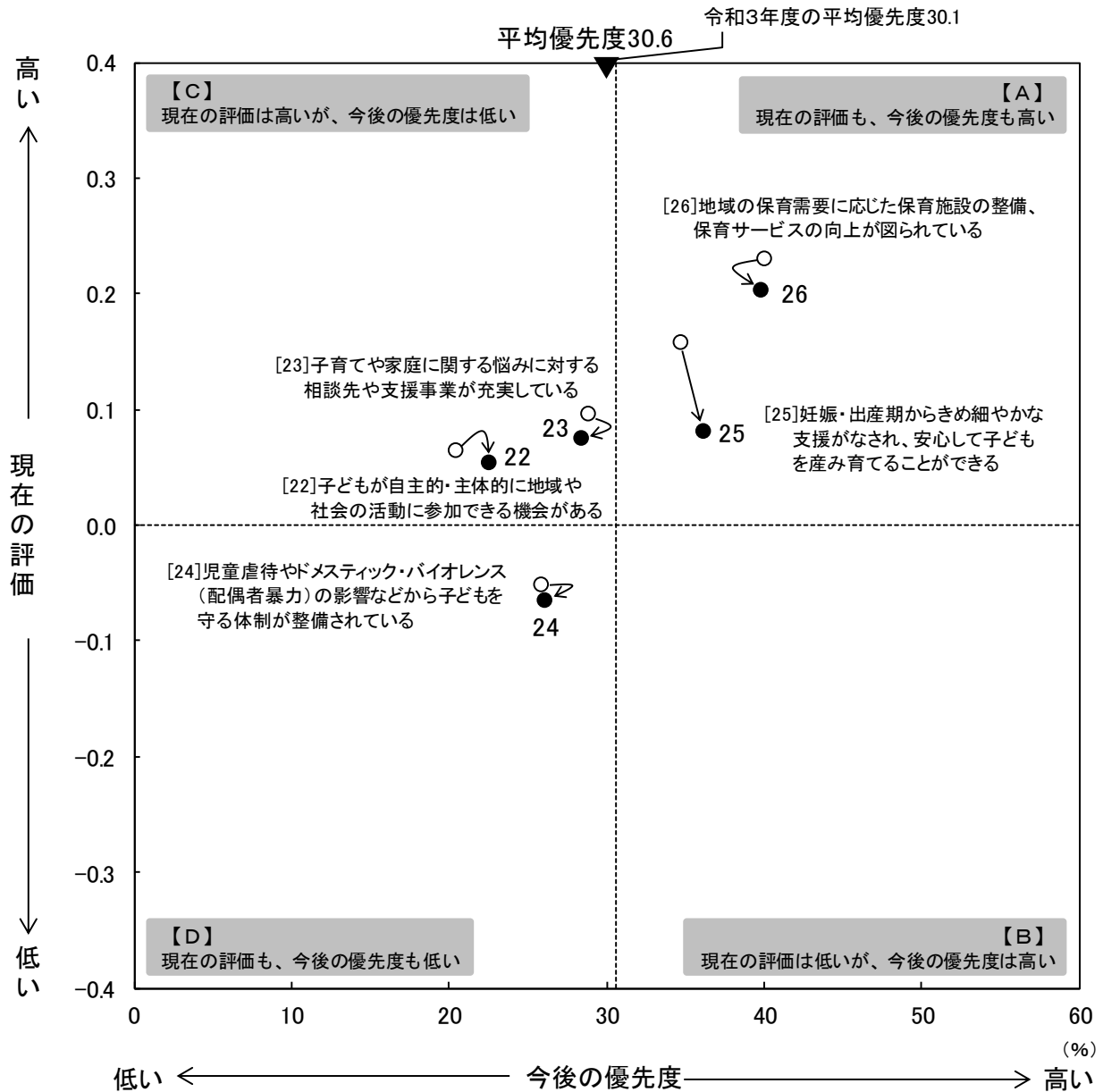
【健康・保健における総合分析の経年比較】



(5) 子育て

子育てに関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

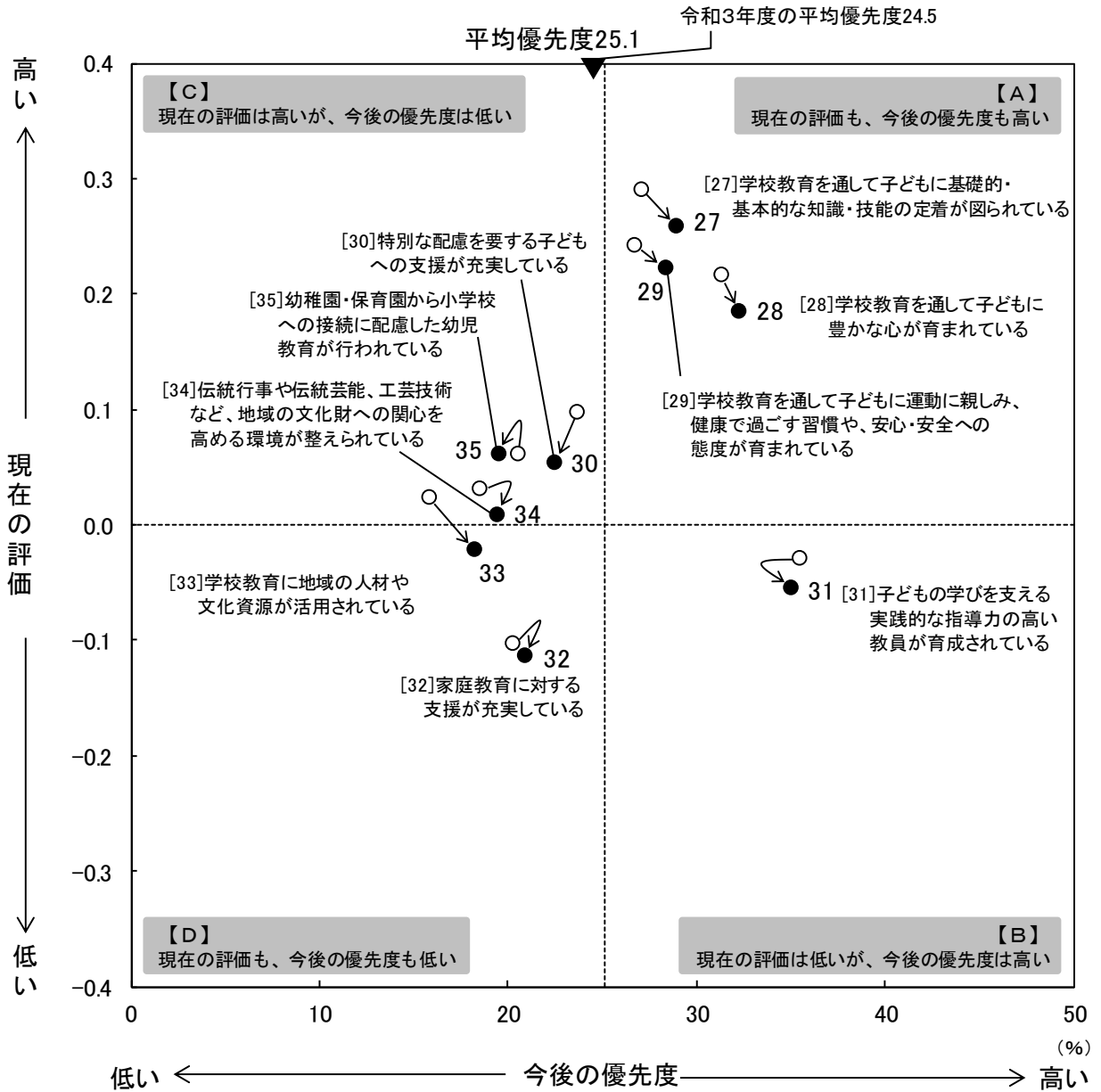
【子育てにおける総合分析の経年比較】



(6) 教育

教育に関する生活環境では、「学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている」が「(C) 現在の評価は高いが、今後の優先度は低い」から「(D) 現在の評価も、今後の優先度も低い」へ移動した。

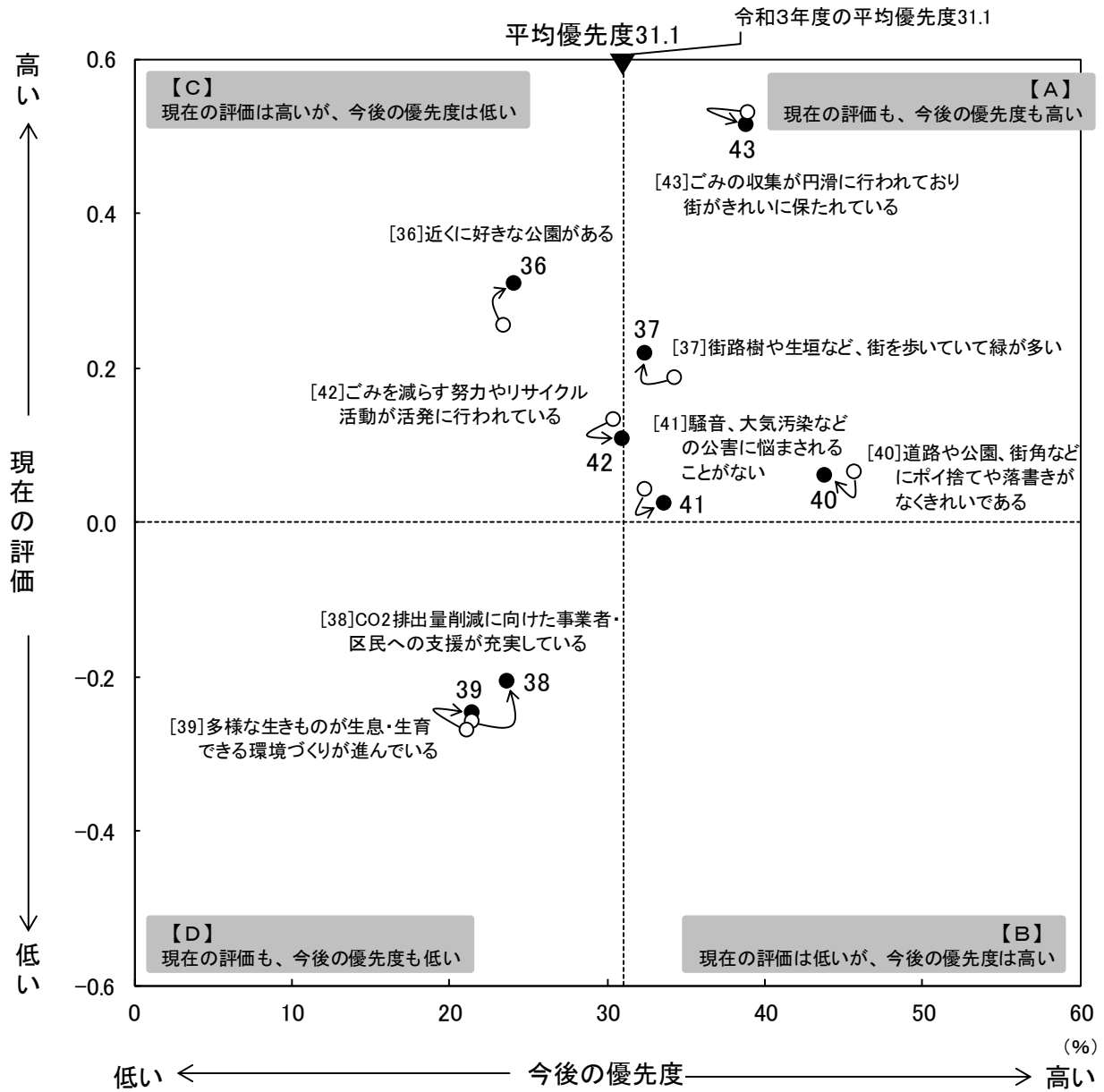
【教育における総合分析の経年比較】



(7) みどり・環境

みどり・環境に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

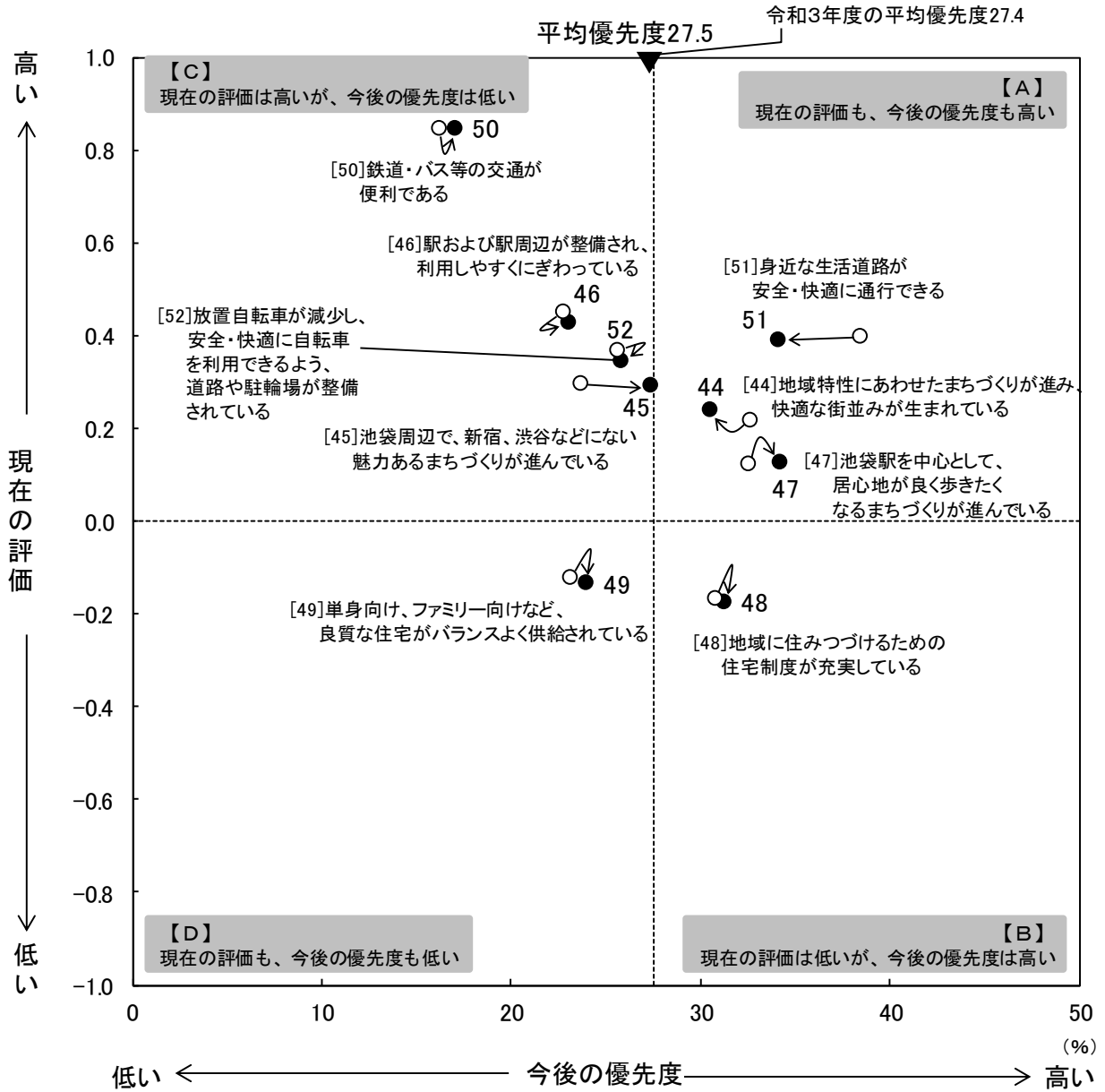
【みどり・環境における総合分析の経年比較】



(8) 都市再生・交通

都市再生・交通に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

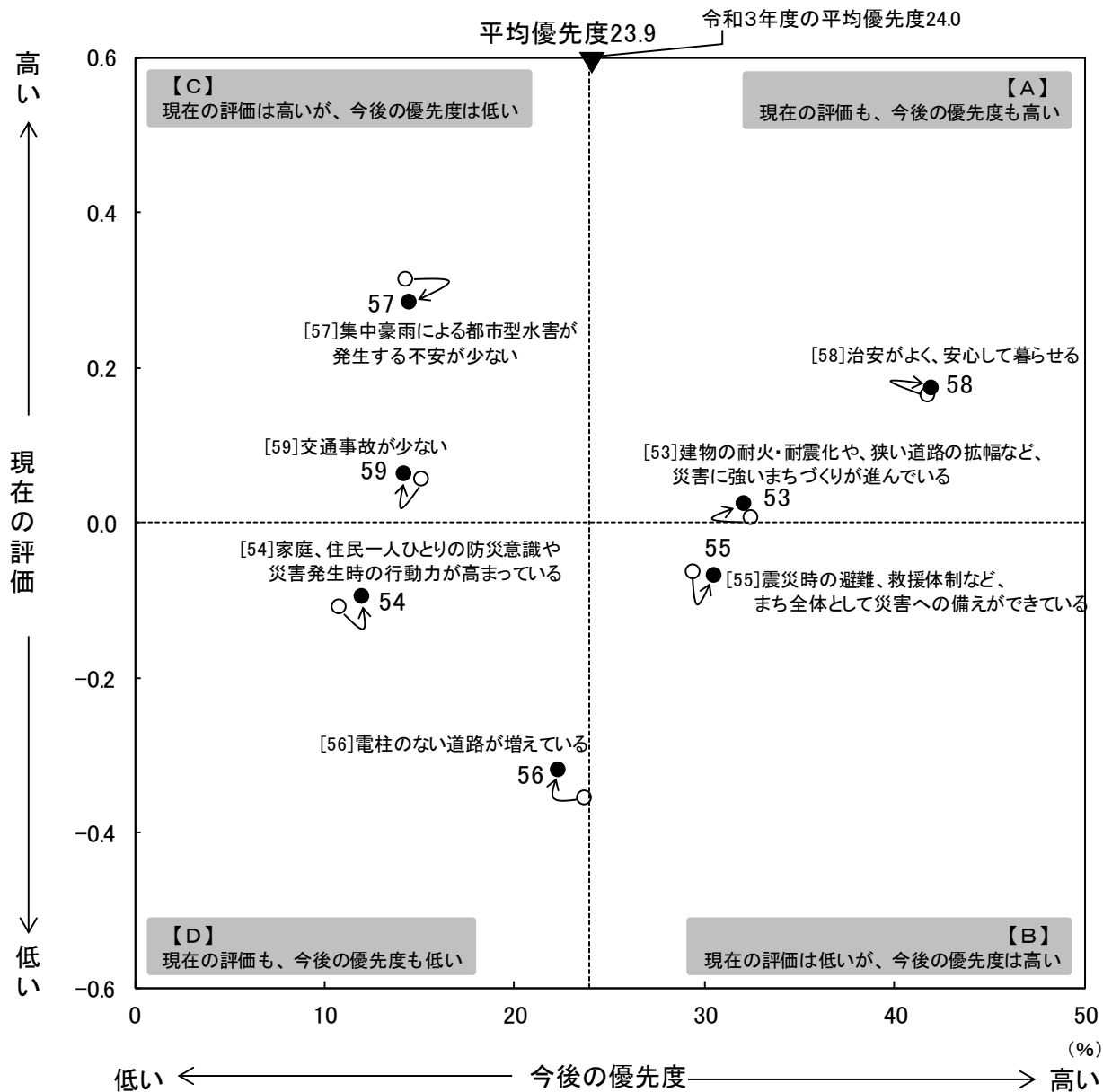
【都市再生・交通における総合分析の経年比較】



(9) 防災・治安

防災・治安に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【防災・治安における総合分析の経年比較】

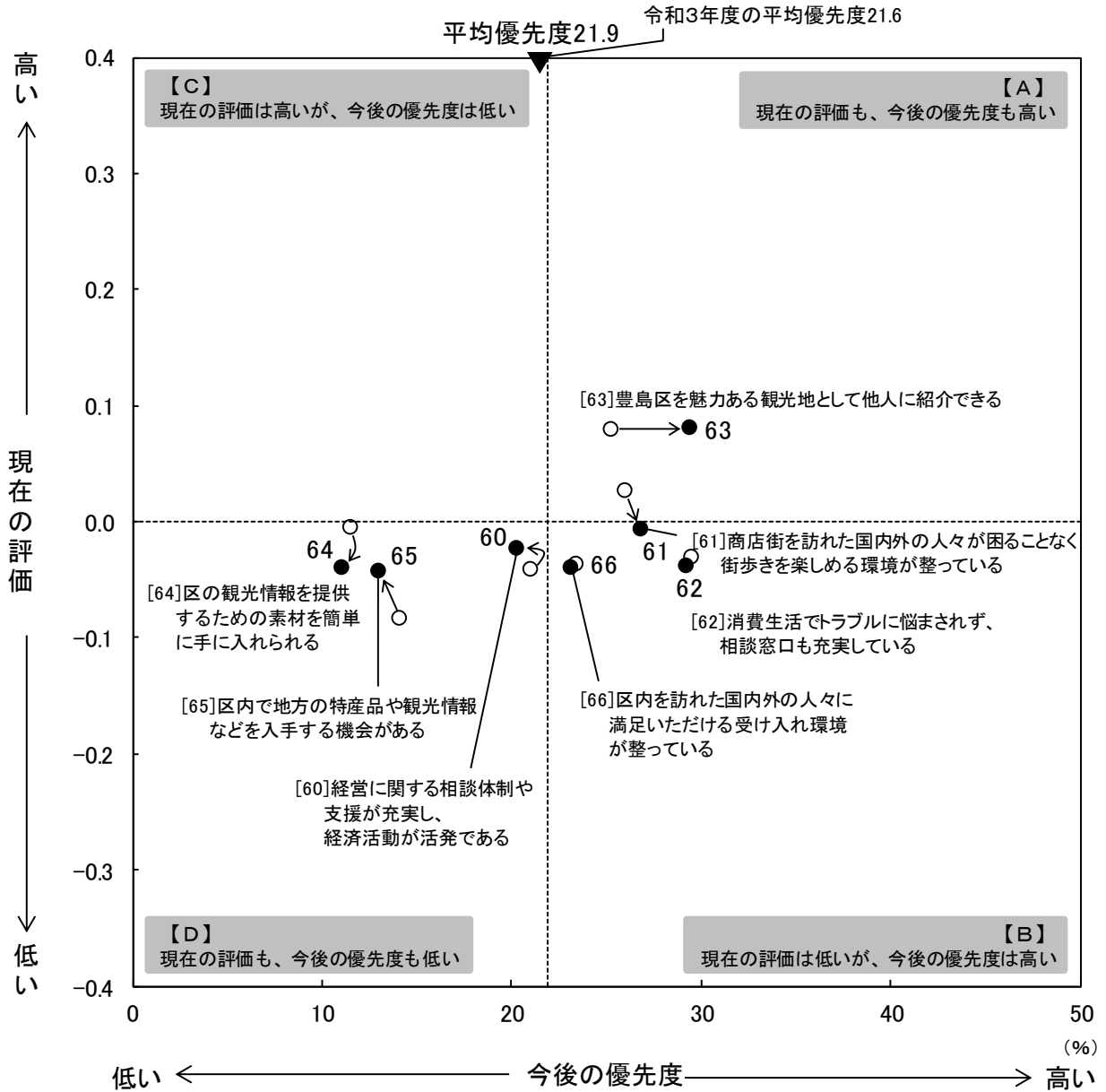




(10) 商工・観光

商工・観光に関する生活環境では、「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」が「(A) 現在の評価も、今後の優先度も高い」から「(B) 現在の評価は低い、今後の優先度は高い」へ移動した。

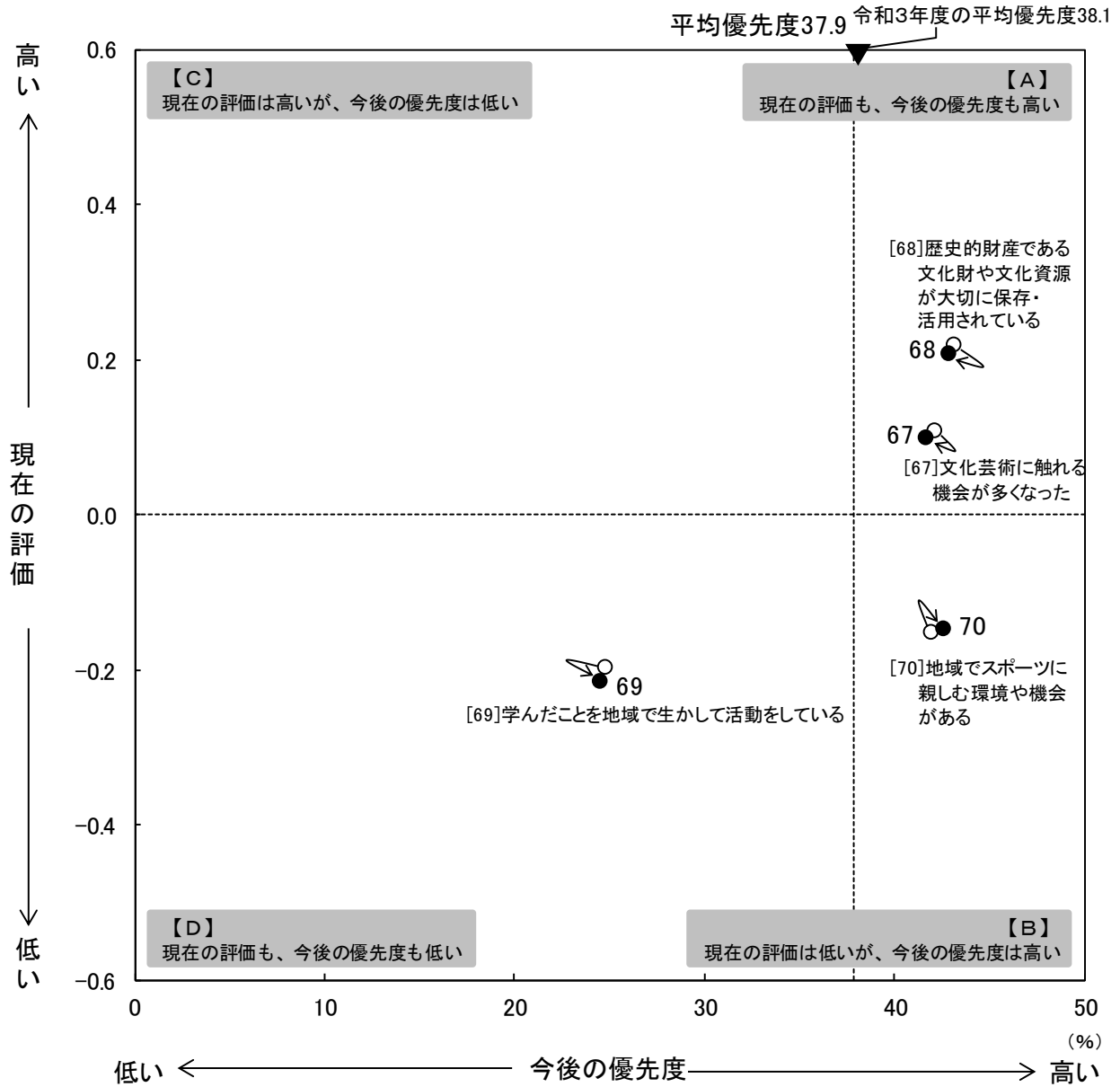
【商工・観光における総合分析の経年比較】



(11) 文化

文化に関する生活環境では、領域間での移動はみられない。

【文化における総合分析の経年比較】



### 第3章 区の情報・区の政策等について



### 第3章 区の情報・区の政策等について

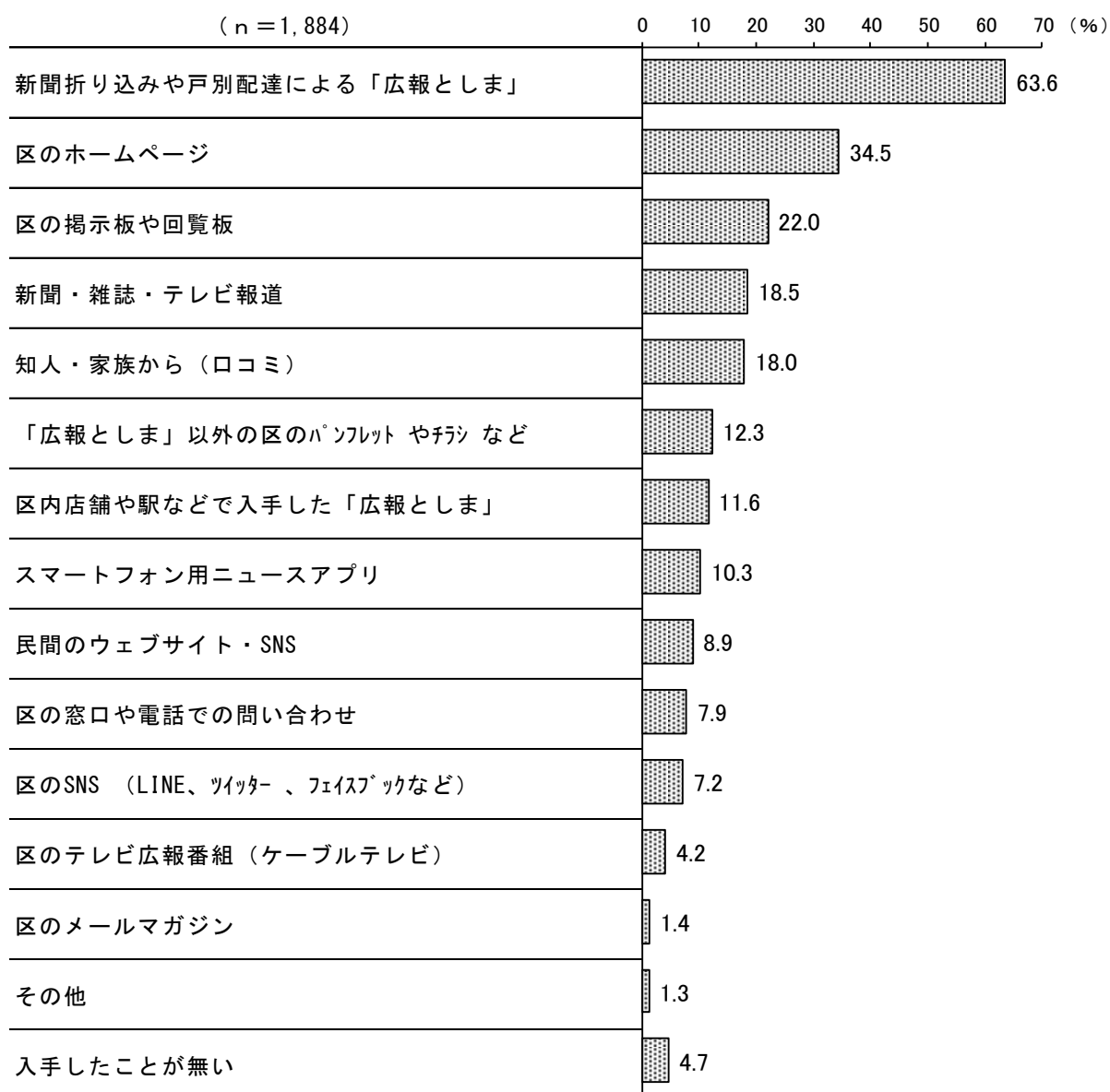
#### 1. 区の情報・区政への参加について

##### (1) 区に関する情報の入手方法

問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。

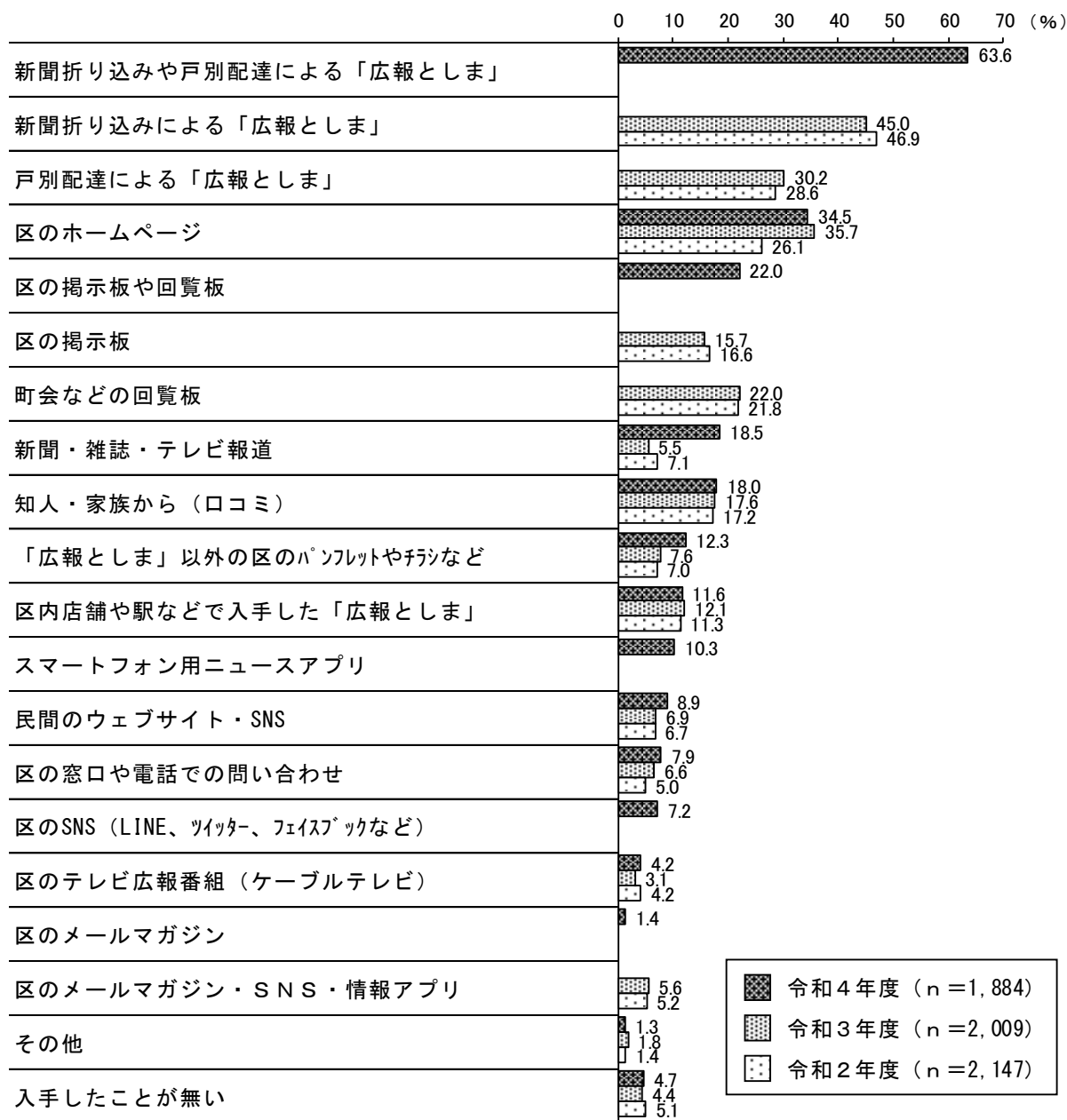
(いくつでも○)

区に関する情報をどのような方法で入手しているか聞いたところ、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」(63.6%)が6割半ばで最も高く、次いで「区のホームページ」(34.5%)、「区の掲示板や回覧板」(22.0%)、「新聞・雑誌・テレビ報道」(18.5%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『広報としま』以外の区のパンフレットやチラシなどは令和3年度より4.7ポイント増加している。

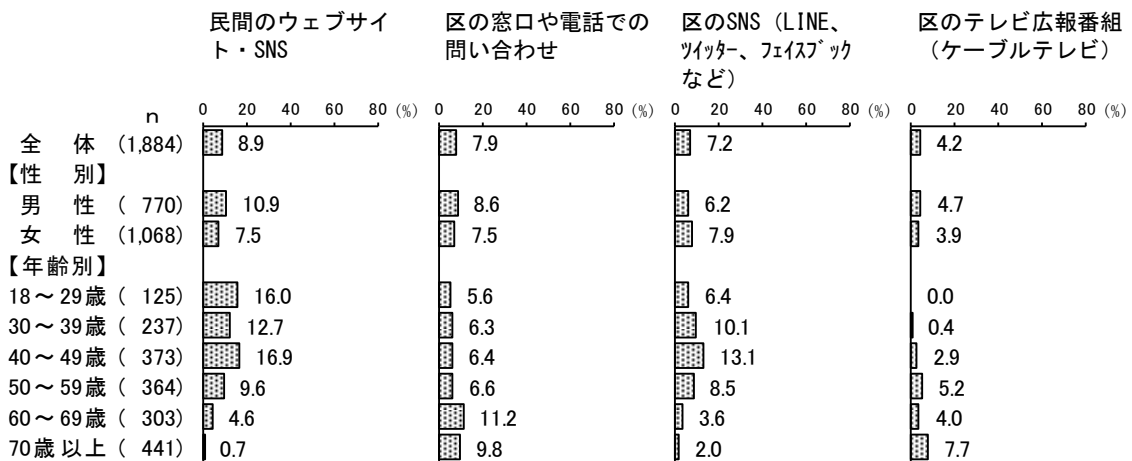
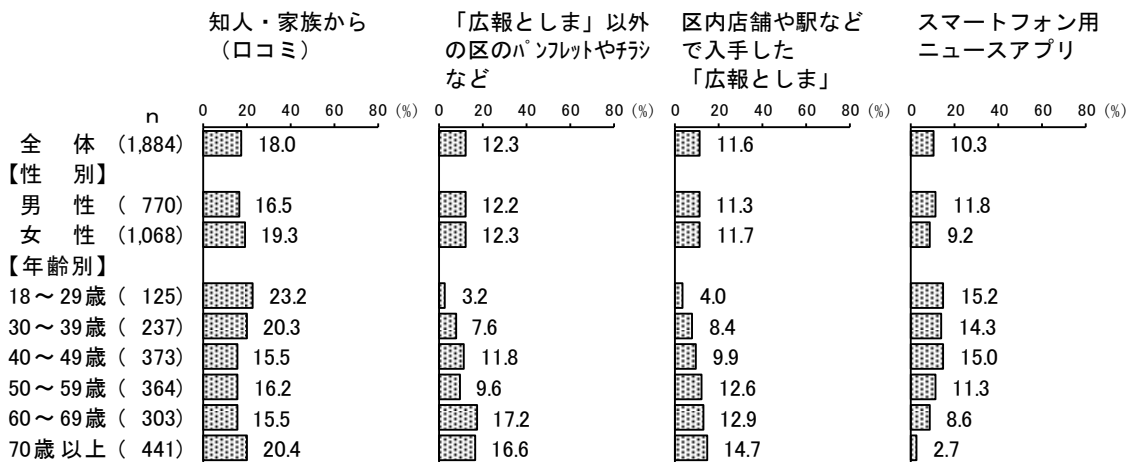
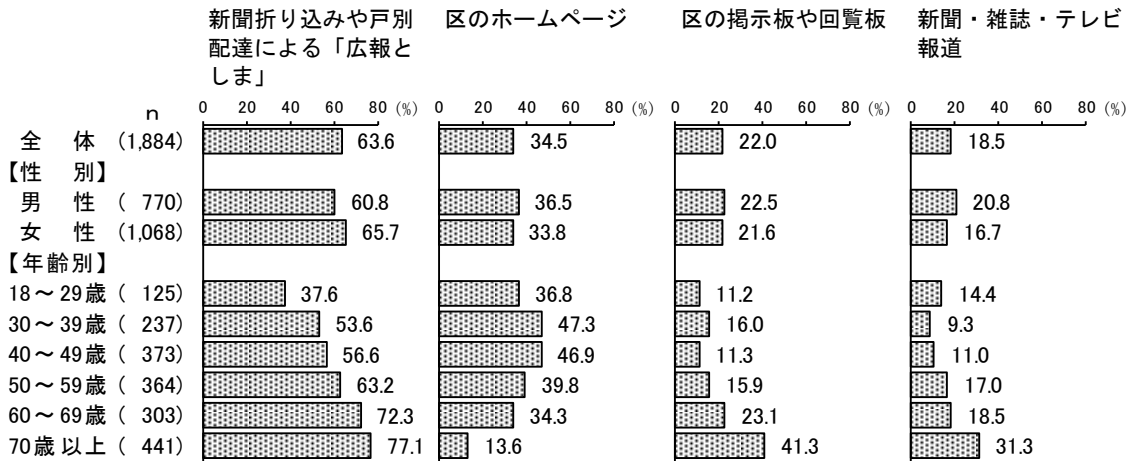


- ※ 「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」、「区の掲示板や回覧板」、「スマートフォン用ニュースアプリ」、「区のSNS（LINE、ツイッター、フェイスブックなど）」、「区のメールマガジン」は今回調査からの選択肢
- ※ 「新聞折り込みによる『広報としま』」、「戸別配達による『広報としま』」、「区の掲示板」、「町会などの回覧板」、「区のメールマガジン・SNS・情報アプリ」は令和3年度調査までの選択肢
- ※ 「新聞・雑誌・テレビ報道」は令和3年度調査までは「区以外の新聞・雑誌・テレビ報道」
- ※ 「民間のウェブサイト・SNS」は令和3年度調査までは「区以外のインターネットサイト・SNS」

【性別、年齢別】（上位12項目）

性別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は女性（65.7%）が男性（60.8%）より4.9ポイント高くなっている。一方、「新聞・雑誌・テレビ報道」は男性（20.8%）が女性（16.7%）より4.1ポイント高くなっている。

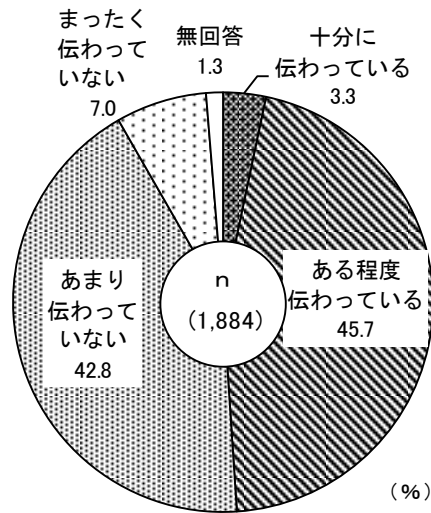
年齢別でみると、「新聞折り込みや戸別配達による『広報としま』」は60～69歳（72.3%）、70歳以上（77.1%）で7割台と高くなっている。「区のホームページ」は30～39歳（47.3%）、40～49歳（46.9%）で4割台と高くなっている。「区の掲示板や回覧板」は70歳以上（41.3%）で4割を超えて高くなっている。「新聞・雑誌・テレビ報道」は70歳以上（31.3%）で3割を超えて高くなっている。



(2) 区政情報が伝わっていると思うか

問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか（1つに〇）

区政情報が伝わっていると思うか聞いたところ、「十分に伝わっている」(3.3%)と「ある程度伝わっている」(45.7%)を合わせた『伝わっている(計)』(49.0%)は5割近くとなっている。一方、「あまり伝わっていない」(42.8%)と「まったく伝わっていない」(7.0%)を合わせた『伝わっていない(計)』(49.7%)は5割となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和3年度と比べて大きな違いはみられない。

	伝わっている(計)		伝わっていない(計)		無回答	い伝 るわ つ て (計)	い伝 なわ い つ て (計)
	十分に 伝わっている ■	ある程度 伝わっている ▨	あまり 伝わっていない ▩	まったく 伝わっていない □			
令和4年度 (n=1,884)	3.3	45.7	42.8	7.0	1.3	49.0	49.7
令和3年度 (n=2,009)	3.8	45.2	42.5	6.9	1.5	49.1	49.4

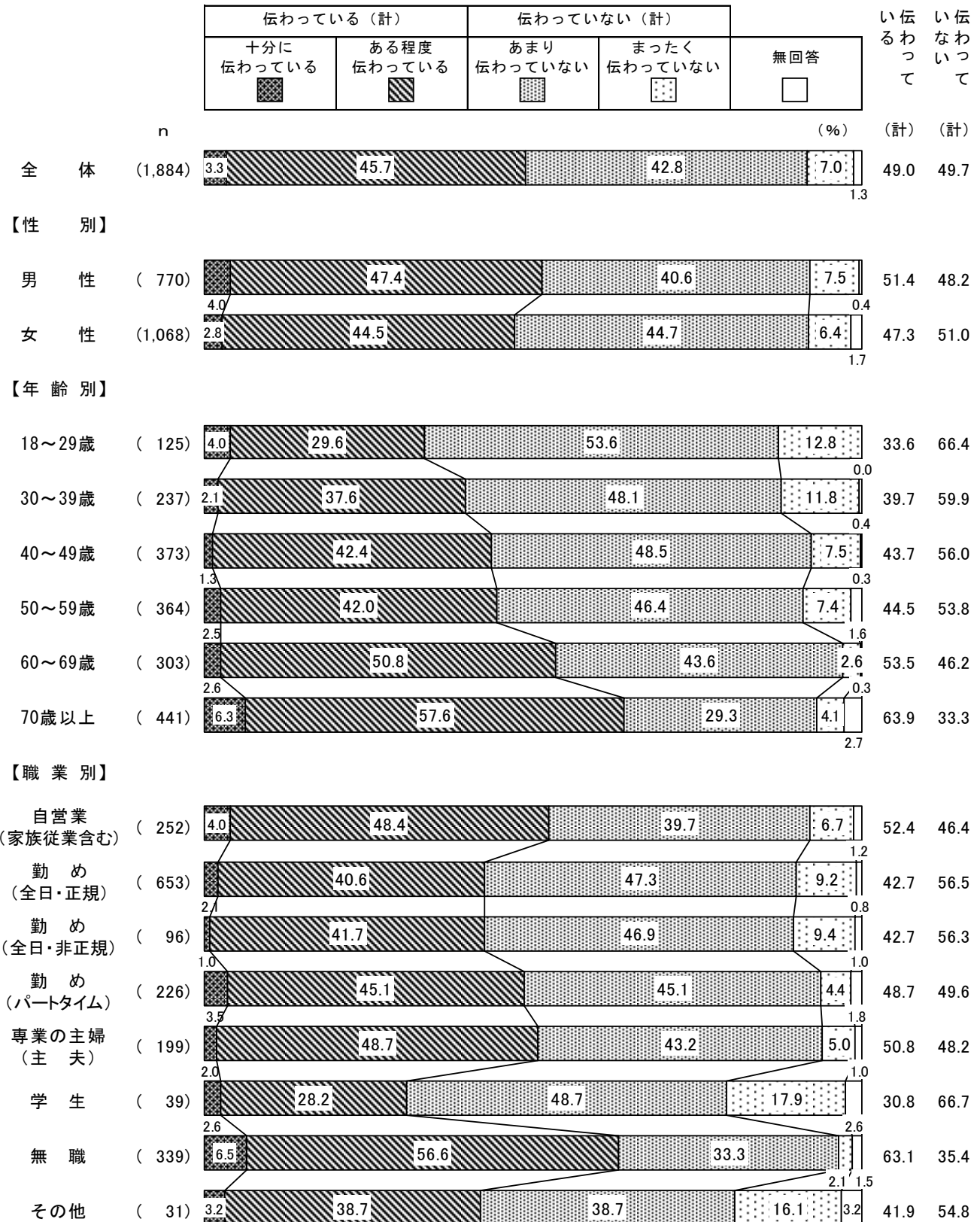


【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『伝わっている（計）』は男性（51.4%）が女性（47.3%）より4.1ポイント高くなっている。一方、『伝わっていない（計）』は女性（51.0%）が男性（48.2%）より2.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『伝わっている（計）』は70歳以上（63.9%）で6割半ばと高くなっている。一方、『伝わっていない（計）』は18～29歳（66.4%）で6割半ばと高くなっている。

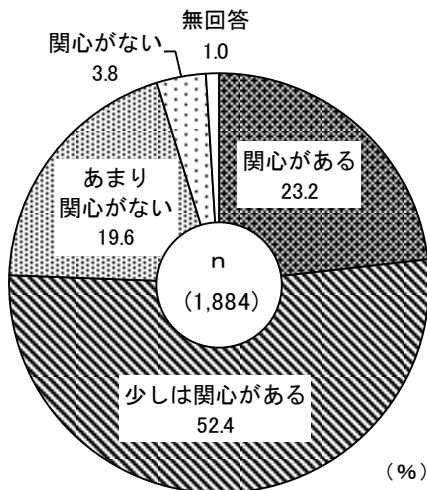
職業別でみると、『伝わっている（計）』は無職（63.1%）で6割を超えて高くなっている。



(3) 区政への関心

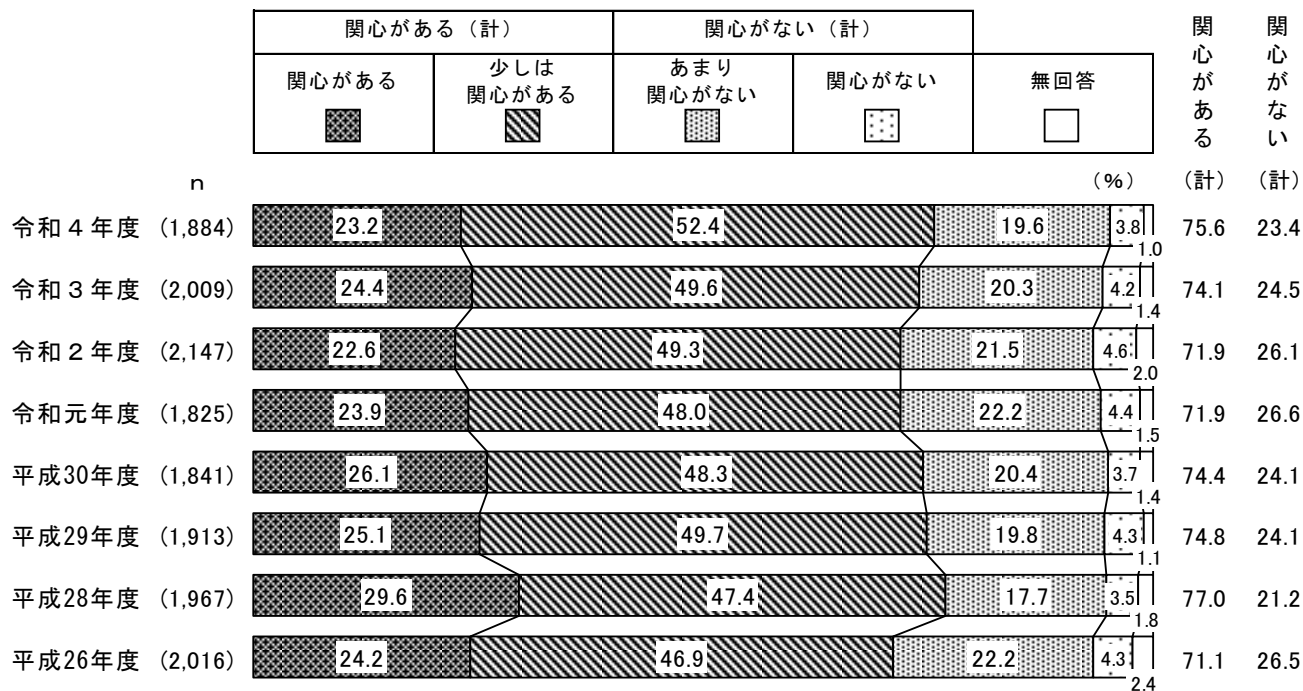
問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

区政に関心があるか聞いたところ、「関心がある」(23.2%)と「少しは関心がある」(52.4%)を合わせた『関心がある(計)』(75.6%)は7割半ばとなっている。一方、「あまり関心がない」(19.6%)と「関心がない」(3.8%)を合わせた『関心がない(計)』(23.4%)は2割を超えている。



【経年比較】

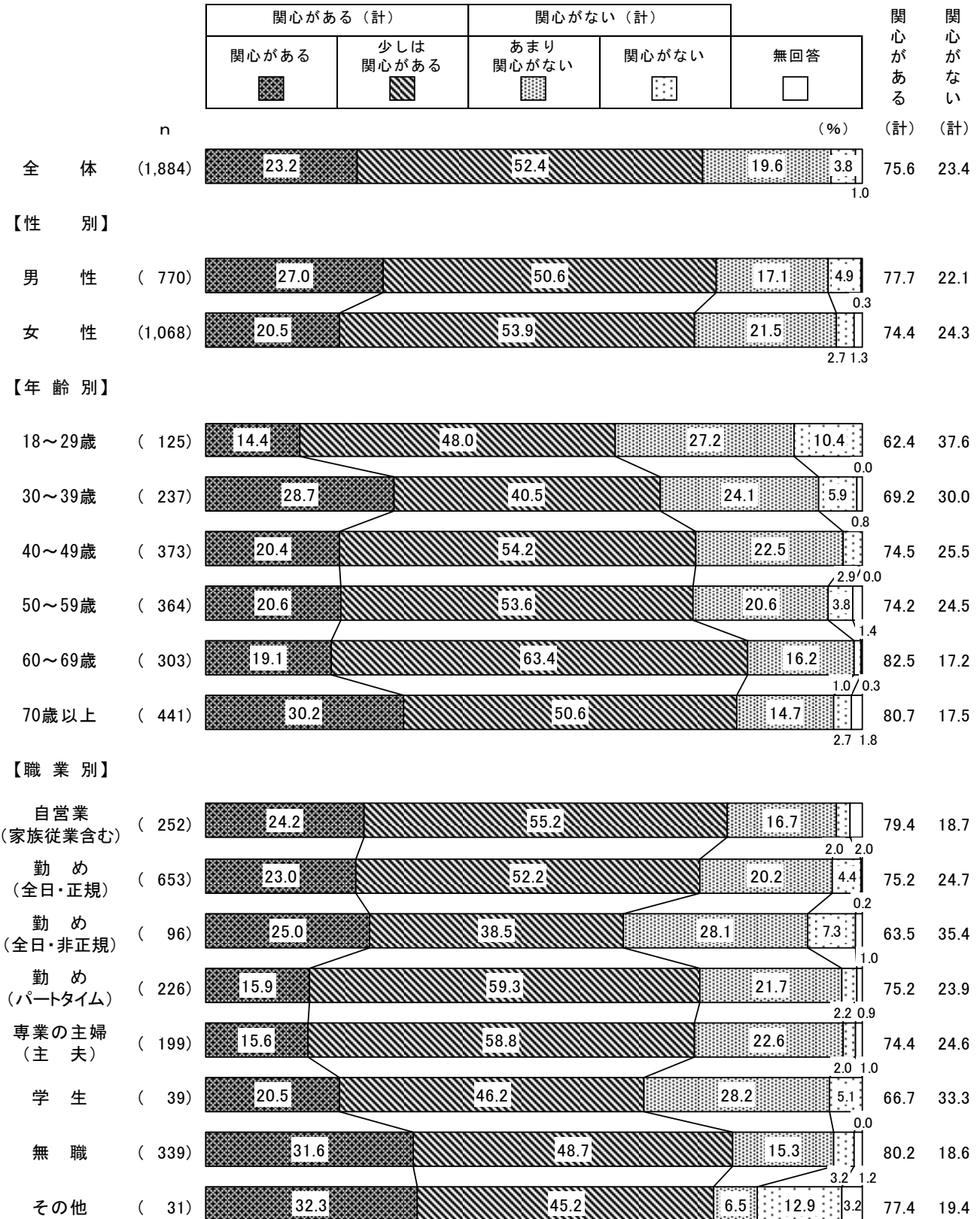
過去の調査結果と比較すると、『関心がある(計)』は令和元年度以降、増加傾向が続いている。



※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

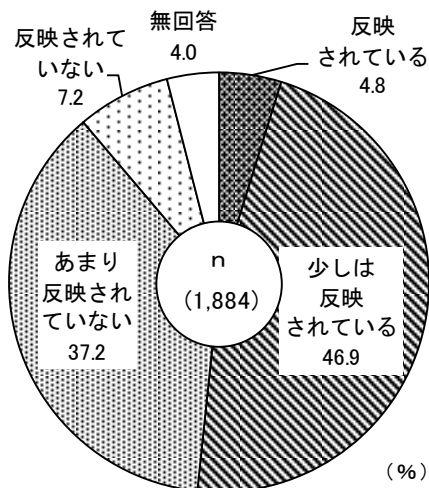
性別でみると、「関心がある」は男性（27.0%）が女性（20.5%）より6.5ポイント高くなっている。  
 年齢別でみると、『関心がある（計）』は60～69歳（82.5%）、70歳以上（80.7%）で8割台と高くなっている。一方、『関心がない（計）』は18～29歳（37.6%）で4割近くと高くなっている。  
 職業別でみると、『関心がある（計）』は無職（80.2%）、自営業（家族従業員含む）（79.4%）で約8割と高くなっている。



(4) 区の政策に区民の意見が反映されているか

問 11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。  
(1つに○)

区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思うか聞いたところ、「反映されている」(4.8%)と「少しは反映されている」(46.9%)を合わせた『反映されている(計)』(51.7%)は5割を超えている。一方、「あまり反映されていない」(37.2%)と「反映されていない」(7.2%)を合わせた『反映されていない(計)』(44.3%)は4割半ばとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『反映されている(計)』は平成26年度と比べて13.0ポイント増加している。

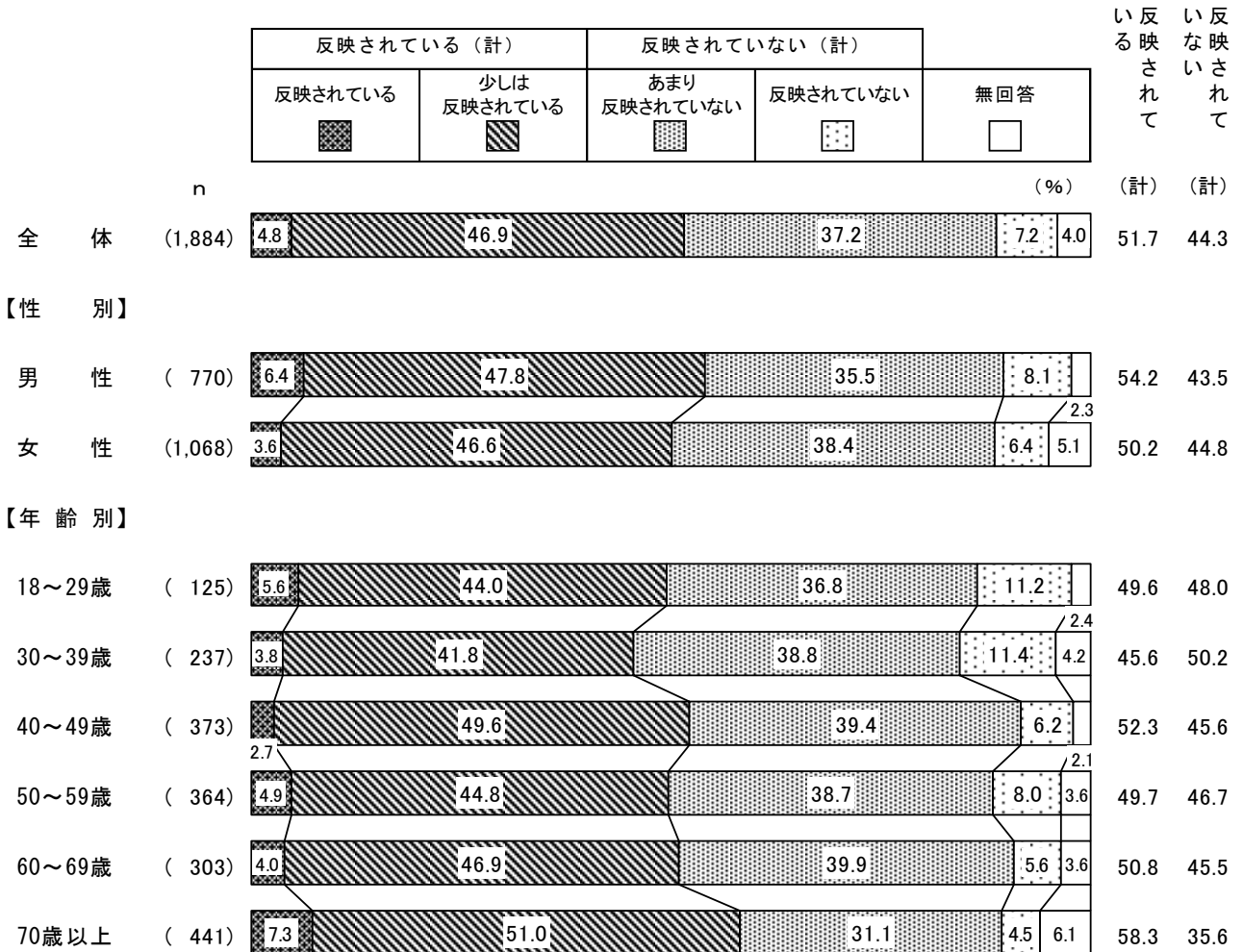
年度	n	反映されている(計)		反映されていない(計)		無回答	無回答 (%)	い反 映さ れて (計)	い反 映さ れて (計)
		反映されている (%)	少しは反映されている (%)	あまり反映されていない (%)	反映されていない (%)				
令和4年度	(1,884)	4.8	46.9	37.2	7.2	4.0	51.7	44.3	
令和3年度	(2,009)	4.4	48.6	34.5	7.8	4.6	53.0	42.4	
令和2年度	(2,147)	4.4	49.0	34.0	7.4	5.2	53.4	41.4	
令和元年度	(1,825)	4.3	47.8	34.7	7.8	5.4	52.1	42.5	
平成30年度	(1,841)	3.8	44.7	38.0	7.6	5.9	48.5	45.6	
平成29年度	(1,913)	3.9	43.1	39.7	8.9	4.4	47.0	48.6	
平成28年度	(1,967)	3.1	42.7	39.2	8.7	6.3	45.8	47.9	
平成26年度	(2,016)	2.3	36.4	44.0	11.2	6.2	38.7	55.2	

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、『反映されている（計）』は男性（54.2%）が女性（50.2%）より4.0ポイント高くなっている。

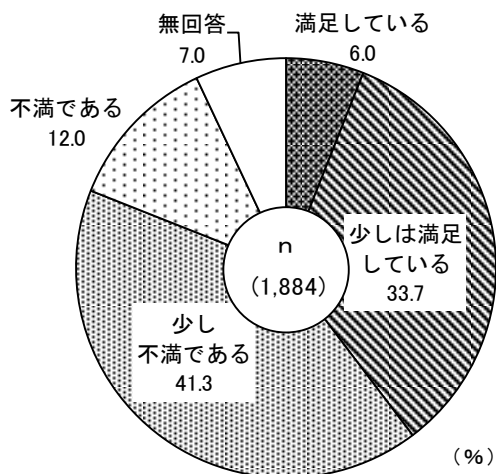
年齢別でみると、『反映されている（計）』は70歳以上（58.3%）で6割近くと高くなっている。一方、『反映されていない（計）』は30～39歳（50.2%）で5割と高くなっている。



(5) 区に意見を述べる機会や手段、方法に対する満足度

問12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

区に意見を述べる機会や手段、方法に満足しているか聞いたところ、「満足している」(6.0%)と「少しは満足している」(33.7%)を合わせた『満足している(計)』(39.7%)は約4割となっている。一方、「少し不満である」(41.3%)と「不満である」(12.0%)を合わせた『不満である(計)』(53.3%)は5割を超えている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『満足している(計)』は平成26年度以降、増加傾向となっている。

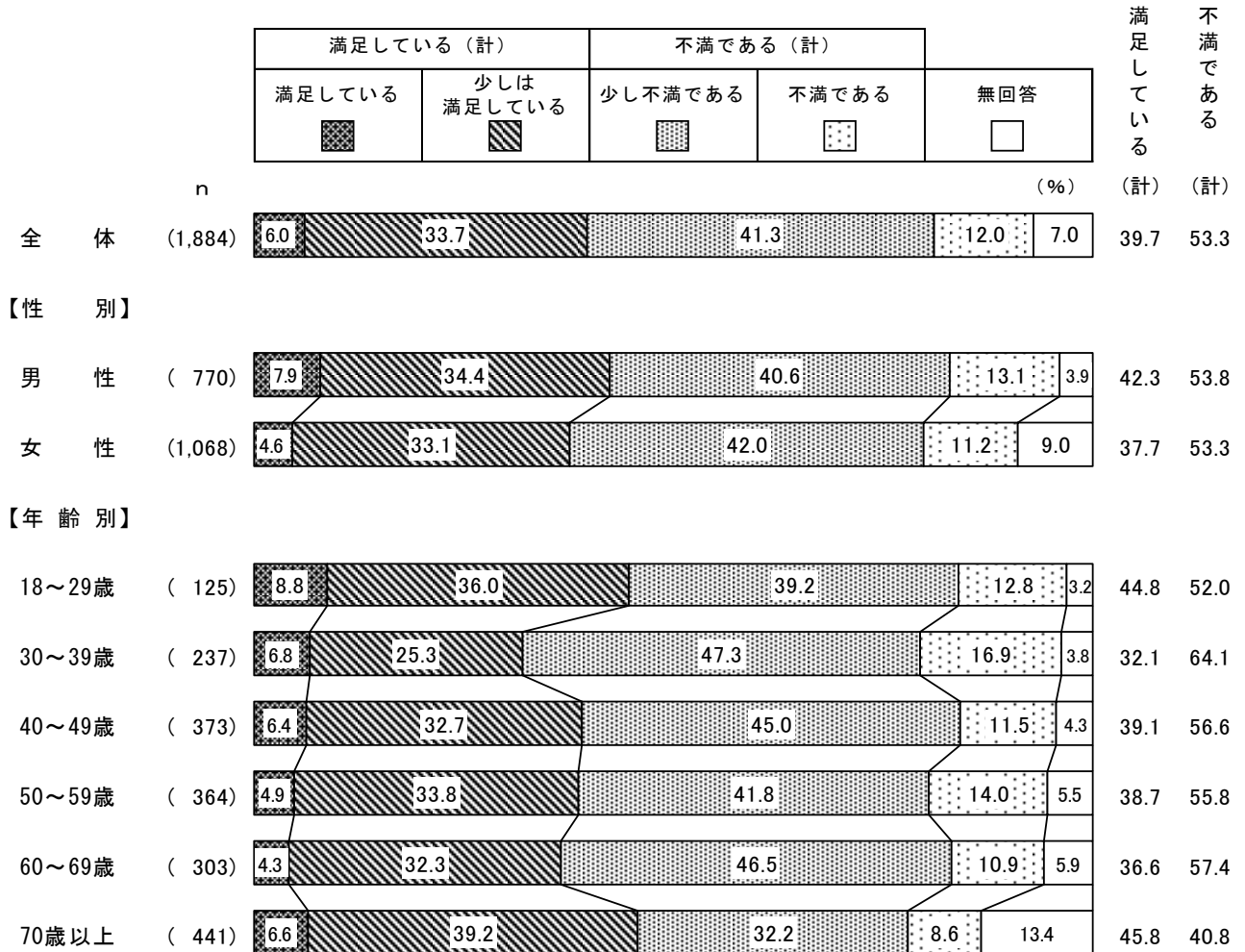
年度	n	満足している(計)				無回答 (%)	満足している(計) (%)	不満である(計) (%)
		満足している	少しは満足している	少し不満である	不満である			
令和4年度	(1,884)	6.0	33.7	41.3	12.0	7.0	39.7	53.3
令和3年度	(2,009)	5.9	35.1	39.2	12.8	7.0	41.0	52.0
令和2年度	(2,147)	6.2	32.9	38.6	14.0	8.3	39.1	52.6
令和元年度	(1,825)	6.2	33.2	37.2	14.9	8.5	39.4	52.1
平成30年度	(1,841)	5.9	29.9	39.0	16.3	8.9	35.8	55.3
平成29年度	(1,913)	5.4	29.7	41.0	17.0	6.9	35.1	58.0
平成28年度	(1,967)	4.8	28.3	39.5	17.5	9.9	33.1	57.0
平成26年度	(2,016)	4.6	25.5	42.9	18.2	8.8	30.1	61.1

※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別】

性別でみると、『満足している（計）』は男性（42.3%）が女性（37.7%）より4.6ポイント高くなっている。

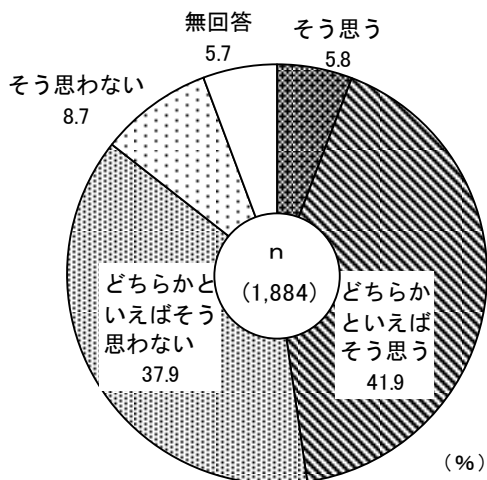
年齢別でみると、『満足している（計）』は70歳以上（45.8%）、18～29歳（44.8%）で4割半ばと高くなっている。一方、『不満である（計）』は30～39歳（64.1%）で6割半ばと高くなっている。



(6) 柔軟な区政運営ができているか

問 13 あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思うか聞いたところ、「そう思う」(5.8%)と「どちらかといえばそう思う」(41.9%)を合わせた『そう思う(計)』(47.7%)は5割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(37.9%)と「そう思わない」(8.7%)を合わせた『そう思わない(計)』(46.6%)は5割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『そう思う(計)』は令和3年度より1.8ポイント減少している。

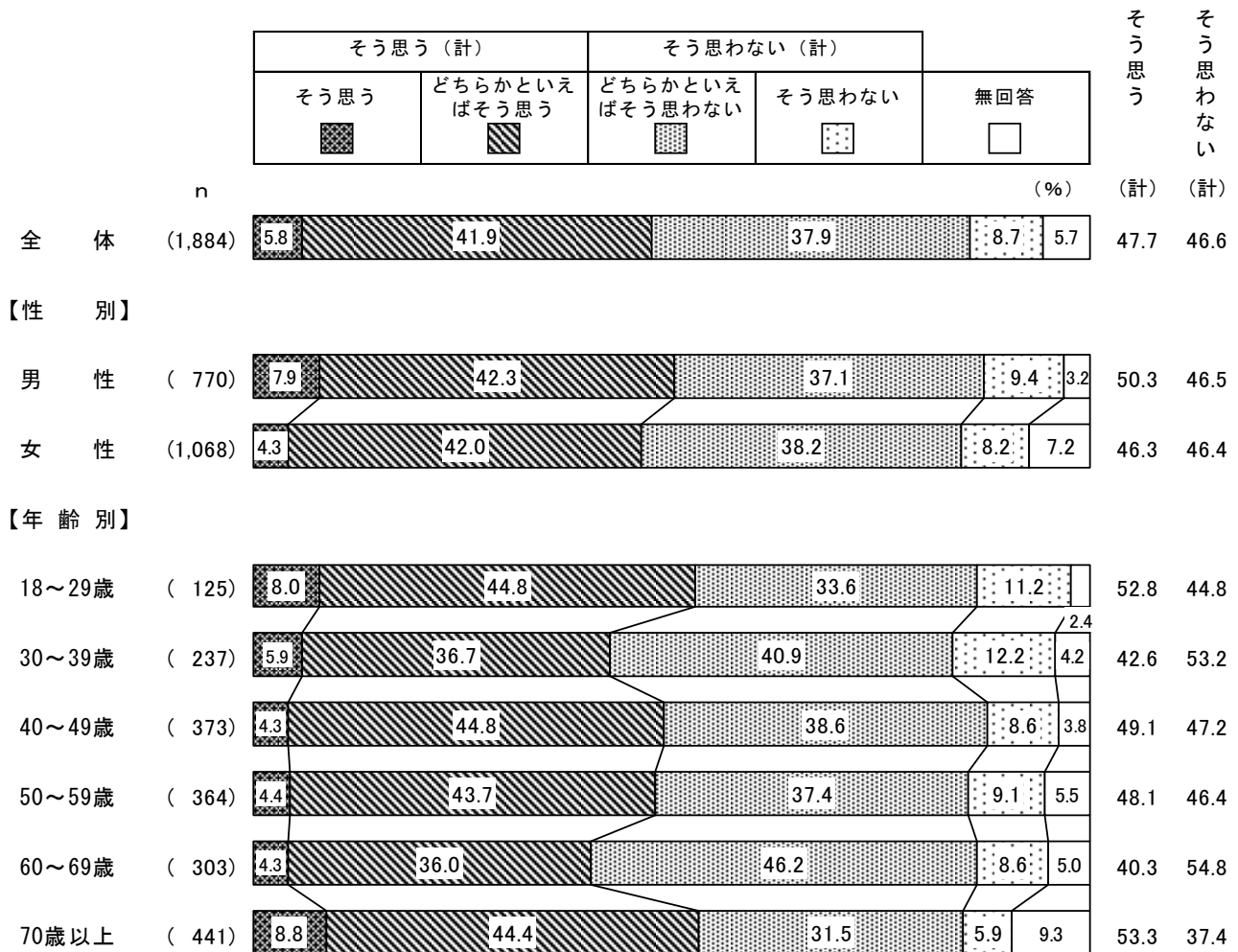
	そう思う(計)		そう思わない(計)		無回答	n	(%)	そう 思う (計)	そ わ う な い (計)
	そう 思う	どちらか といえ ばそう 思う	どちらか といえ ばそう 思わ ない	そう 思わ ない					
令和4年度	5.8	41.9	37.9	8.7	5.7	(1,884)		47.7	46.6
令和3年度	5.7	43.9	35.3	9.1	6.1	(2,009)		49.5	44.4



【性別、年齢別】

性別でみると、『そう思う（計）』は男性（50.3%）が女性（46.3%）より4.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は18～29歳（52.8%）、70歳以上（53.3%）で5割を超えて高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は30～39歳（53.2%）、60～69歳（54.8%）で5割台と高くなっている。

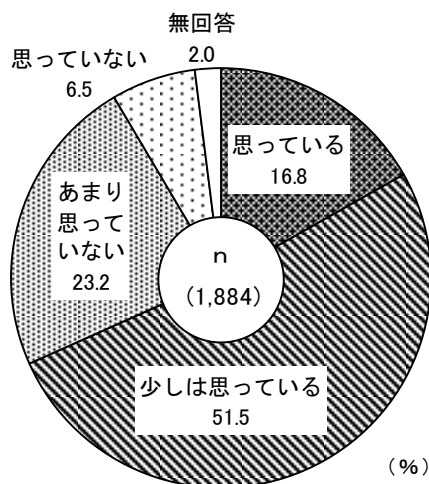


## 2. 地域との関わりについて

### (1) 地域のために何か役に立ちたいか

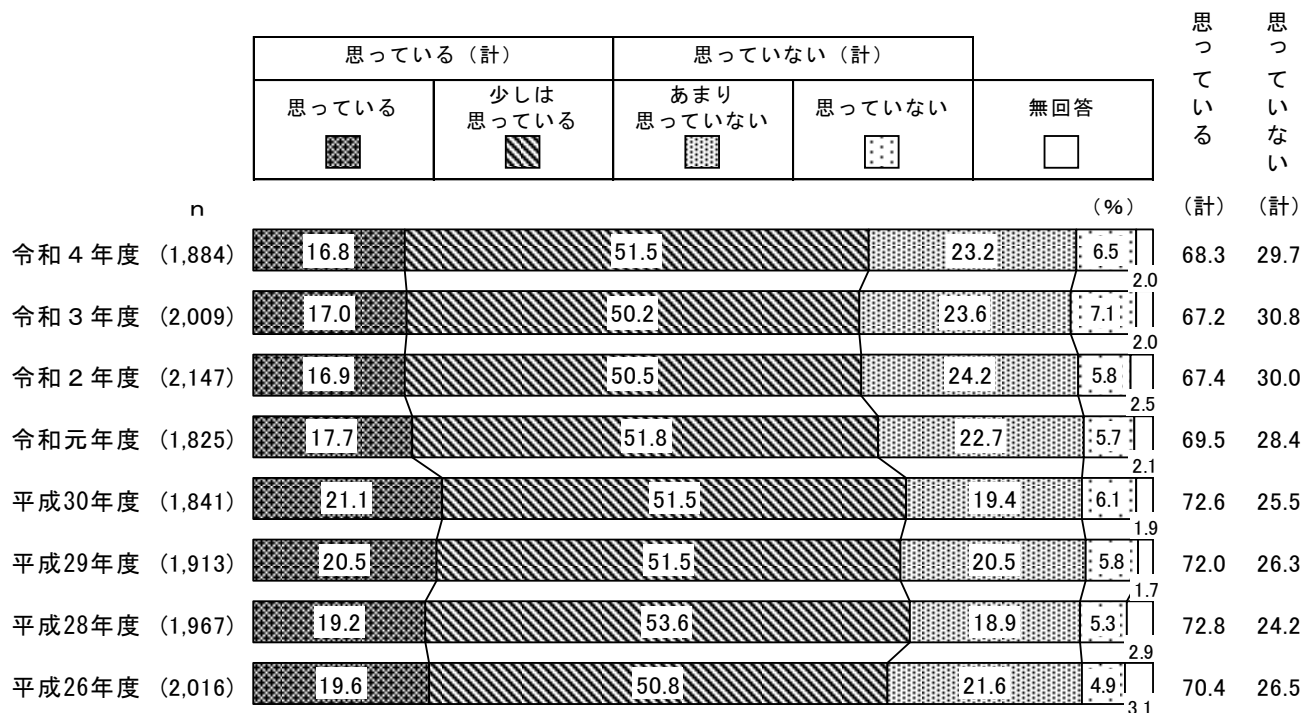
問14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。  
(1つに○)

地域のために何か役立ちたいと思っているか聞いたところ、「思っている」(16.8%)と「少しは思っている」(51.5%)を合わせた『思っている(計)』(68.3%)は7割近くとなっている。一方、「あまり思っていない」(23.2%)と「思っていない」(6.5%)を合わせた『思っていない(計)』(29.7%)は3割となっている。



### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、令和元年度以降、大きな違いはみられない。



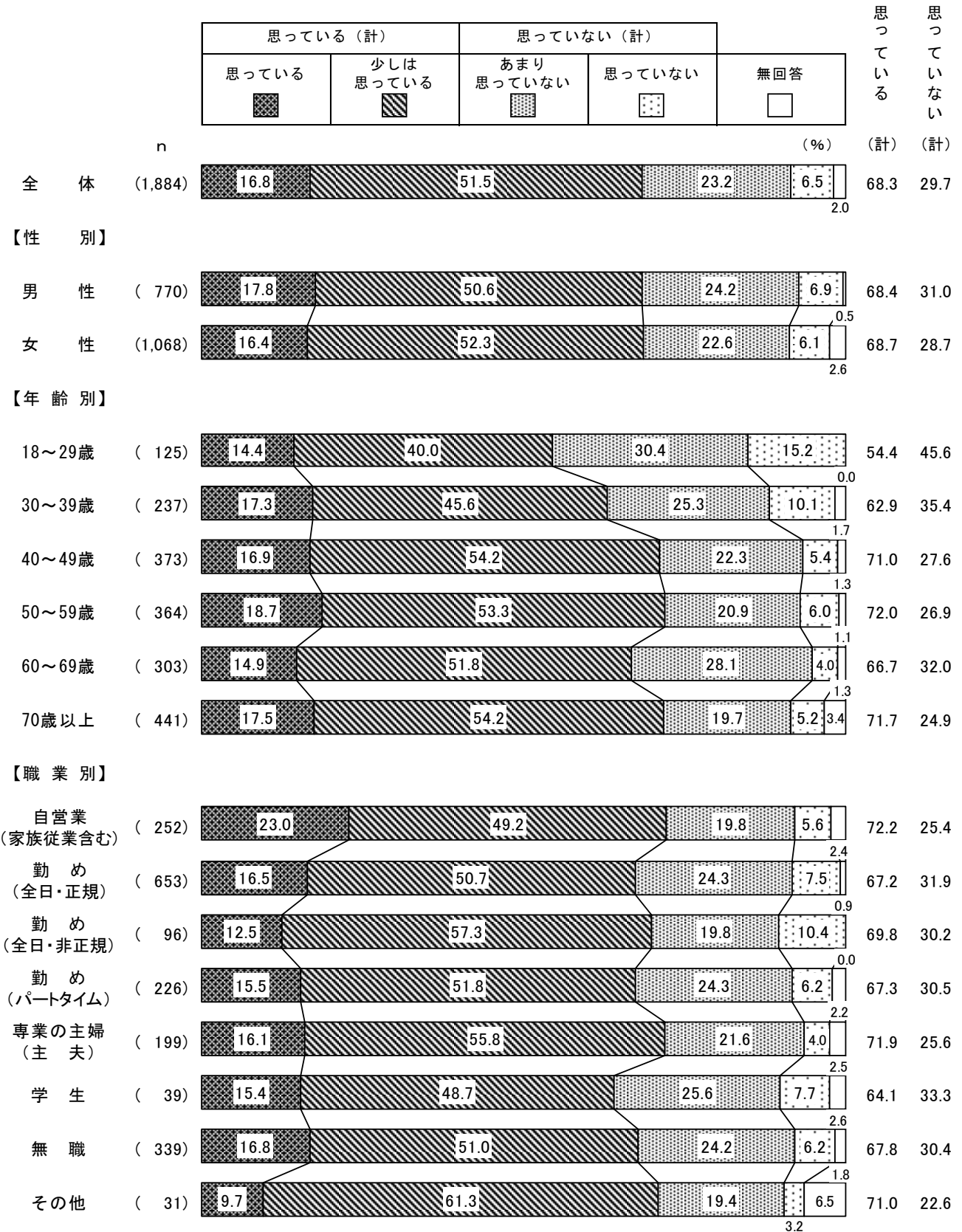
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『思っている（計）』は40～49歳（71.0%）、50～59歳（72.0%）、70歳以上（71.7%）で7割台となっている。一方、『思っていない（計）』は18～29歳（45.6%）で4割半ばと高くなっている。

職業別でみると、「思っている」は自営業（家族従業員含む）（23.0%）で2割を超えている。

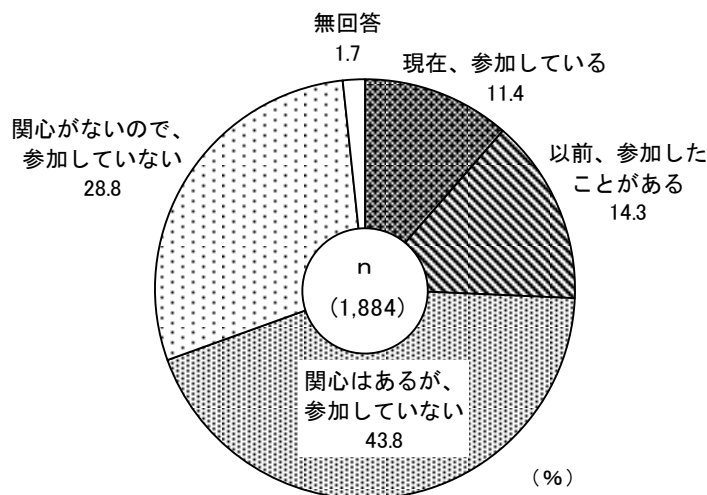


(2) 町会、自治会などの地域活動への参加状況

問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。

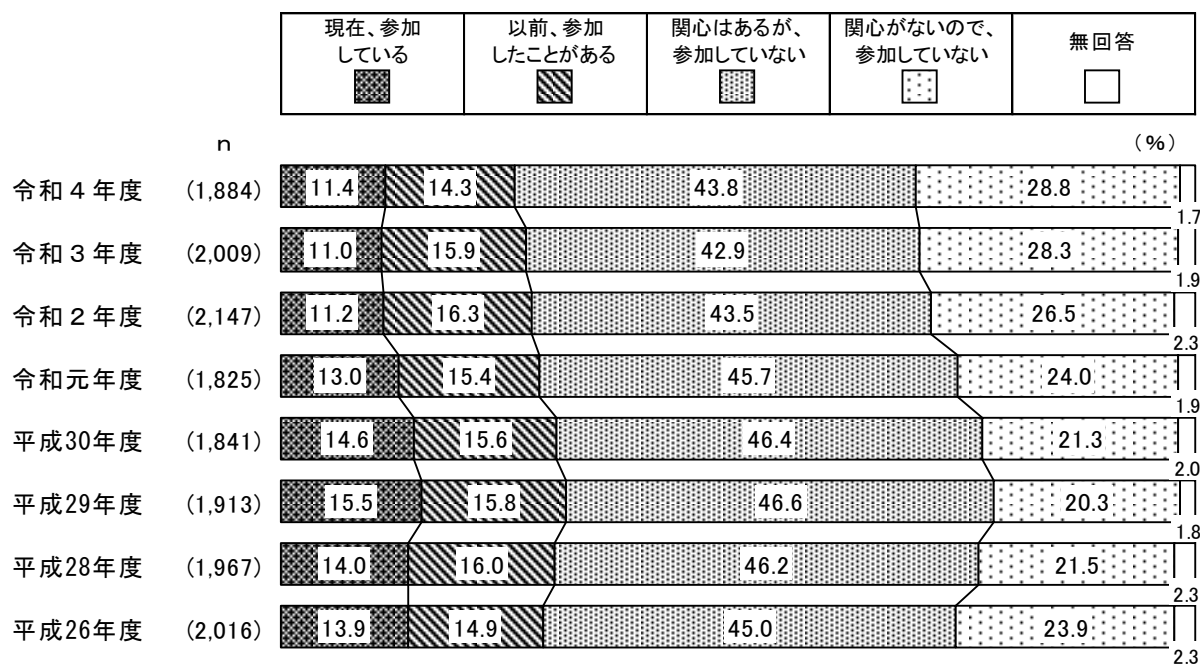
(1つに○)

町会、自治会などの地域活動に参加しているか聞いたところ、「現在、参加している」(11.4%)が1割を超え、「以前、参加したことがある」(14.3%)が1割半ばとなっている。また、「関心はあるが、参加していない」(43.8%)が4割半ば、「関心がないので、参加していない」(28.8%)が3割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、平成29年度以降、「関心はあるが、参加していない」は減少傾向、「関心がないので、参加していない」は増加傾向となっている。



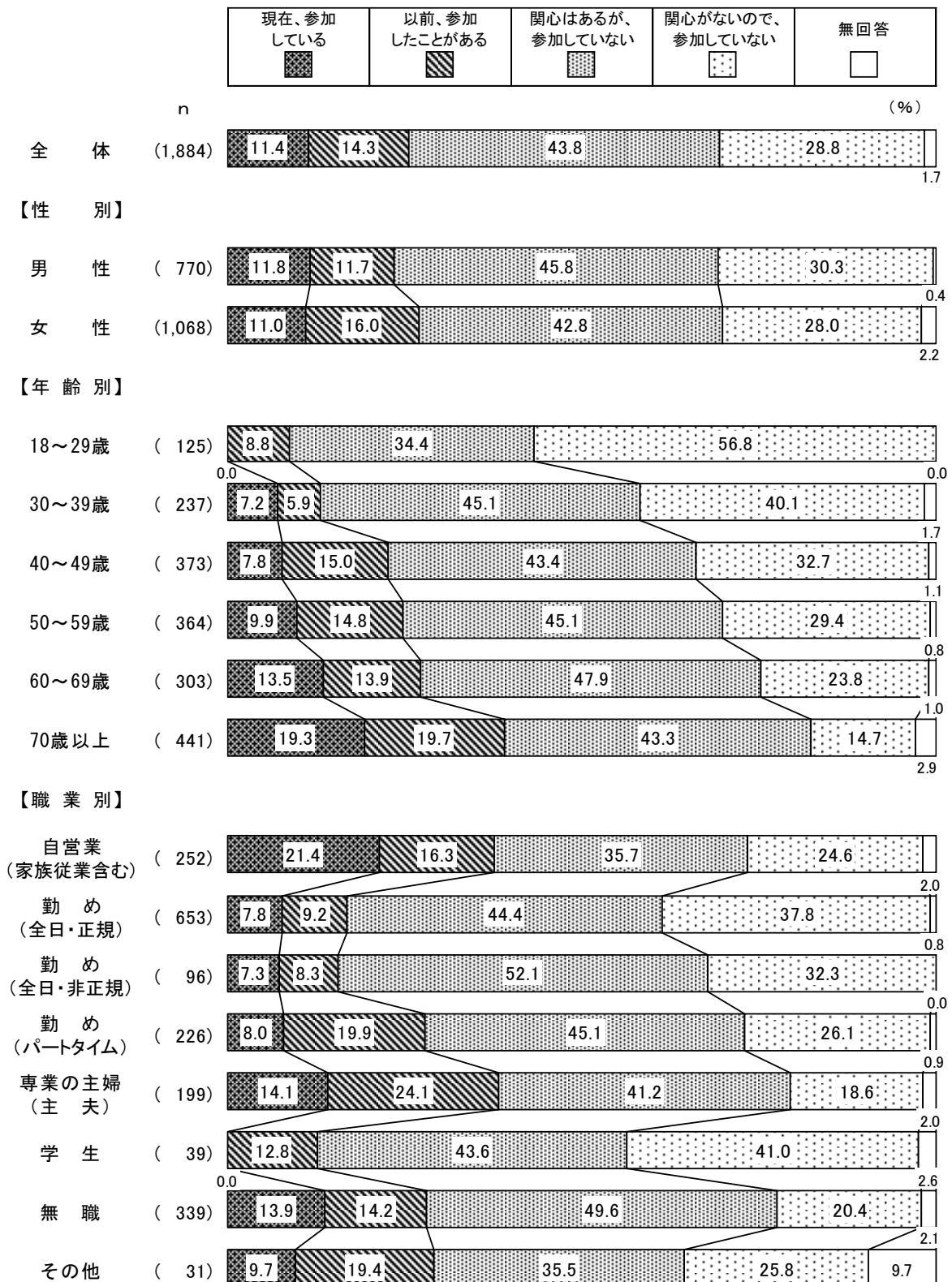
※平成26年度調査は「豊島区基本計画策定のための区民意識調査」

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「以前、参加したことがある」は女性（16.0%）が男性（11.7%）より4.3ポイント高くなっている。一方、「関心はあるが、参加していない」は男性（45.8%）が女性（42.8%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「現在、参加している」は年齢が高くなるにつれて割合が高く、70歳以上（19.3%）で約2割となっている。「関心がないので、参加していない」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（56.8%）で6割近くと高くなっている。

職業別でみると、「関心はあるが、参加していない」は勤め（全日・非正規）（52.1%）、無職（49.6%）で約5割と高くなっている。

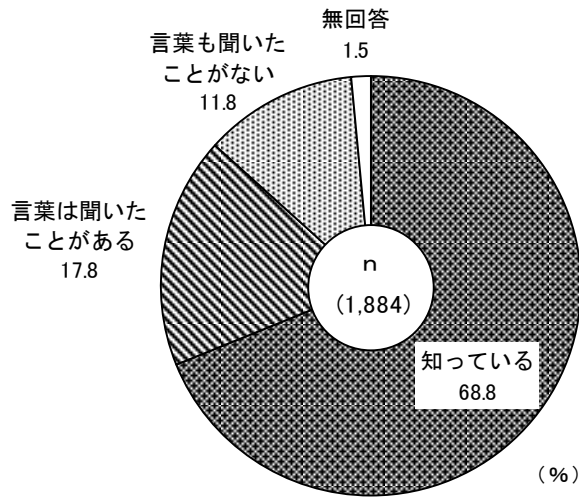


### 3. SDGs（エス・ディー・ジーズ）について

#### (1) SDGsの認知度

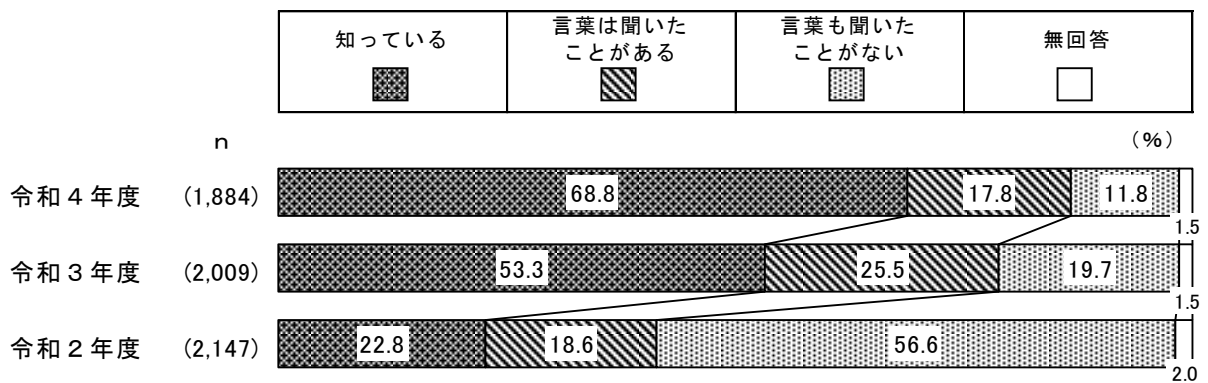
問16 あなたは、SDGsについて知っていますか。（1つに○）

SDGsについて知っているか聞いたところ、「知っている」（68.8%）が7割近く、「言葉は聞いたことがある」（17.8%）が2割近くとなっている。一方、「言葉も聞いたことがない」（11.8%）は1割を超えている。



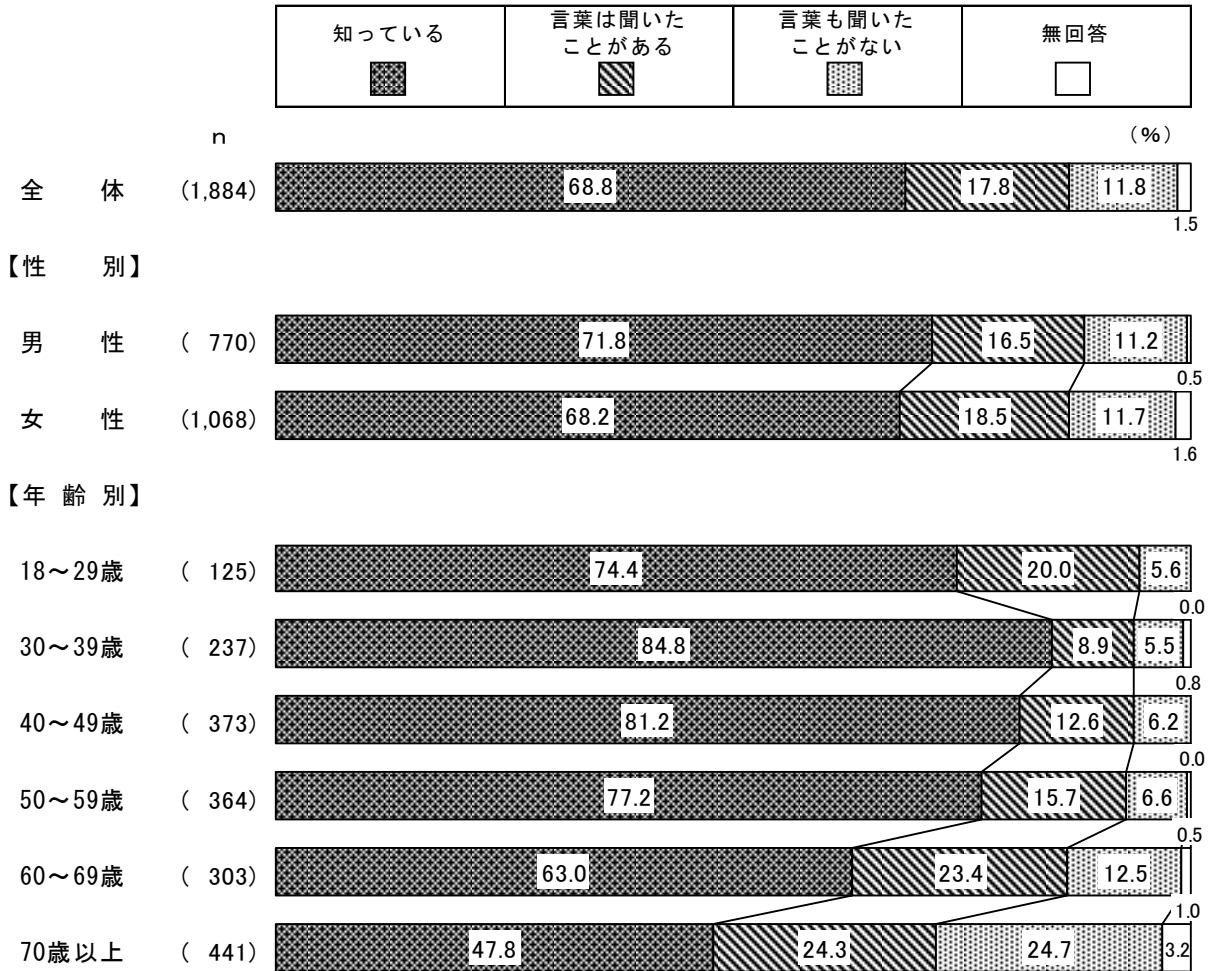
#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「知っている」は令和3年度より15.5ポイント増加している。一方、「言葉は聞いたことがある」は令和3年度より7.7ポイント、「言葉も聞いたことがない」は令和3年度より7.9ポイント、それぞれ減少している。



【性別、年齢別】

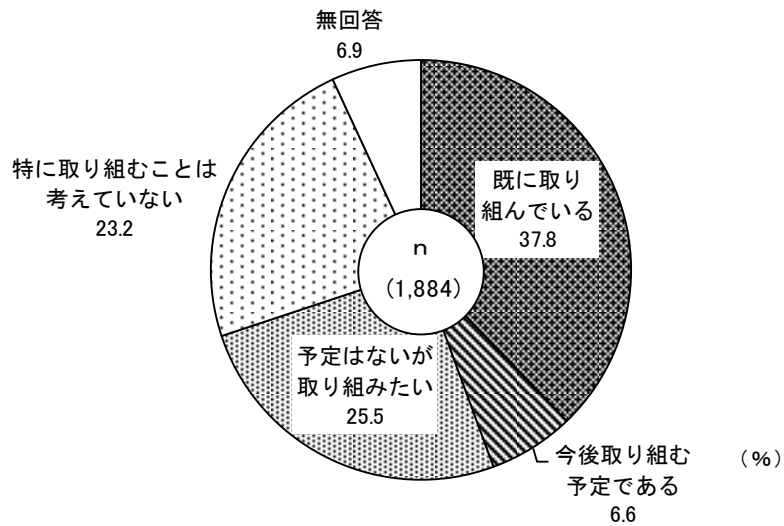
性別で見ると、「知っている」は男性（71.8%）が女性（68.2%）より3.6ポイント高くなっている。  
 年齢別で見ると、「知っている」は30～39歳（84.8%）、40～49歳（81.2%）で8割台と高くなっている。  
 一方、「言葉も聞いたことがない」は70歳以上（24.7%）で2割半ばとなっている。



(2) SDGsの取組意向

問17 SDGsに関する取り組みを、企業・団体、個人として行っていますか。または、今後取り組みたいと思いますか。(1つに○)

SDGsに関する取り組みを、企業・団体、個人として行っているか、または、今後取り組みたいと思うか聞いたところ、「既に取り組んでいる」(37.8%)が4割近く、「今後取り組む予定である」(6.6%)が1割近く、「予定はないが取り組みたい」(25.5%)が2割半ばとなっている。一方、「特に取り組むことは考えていない」(23.2%)は2割を超えている。



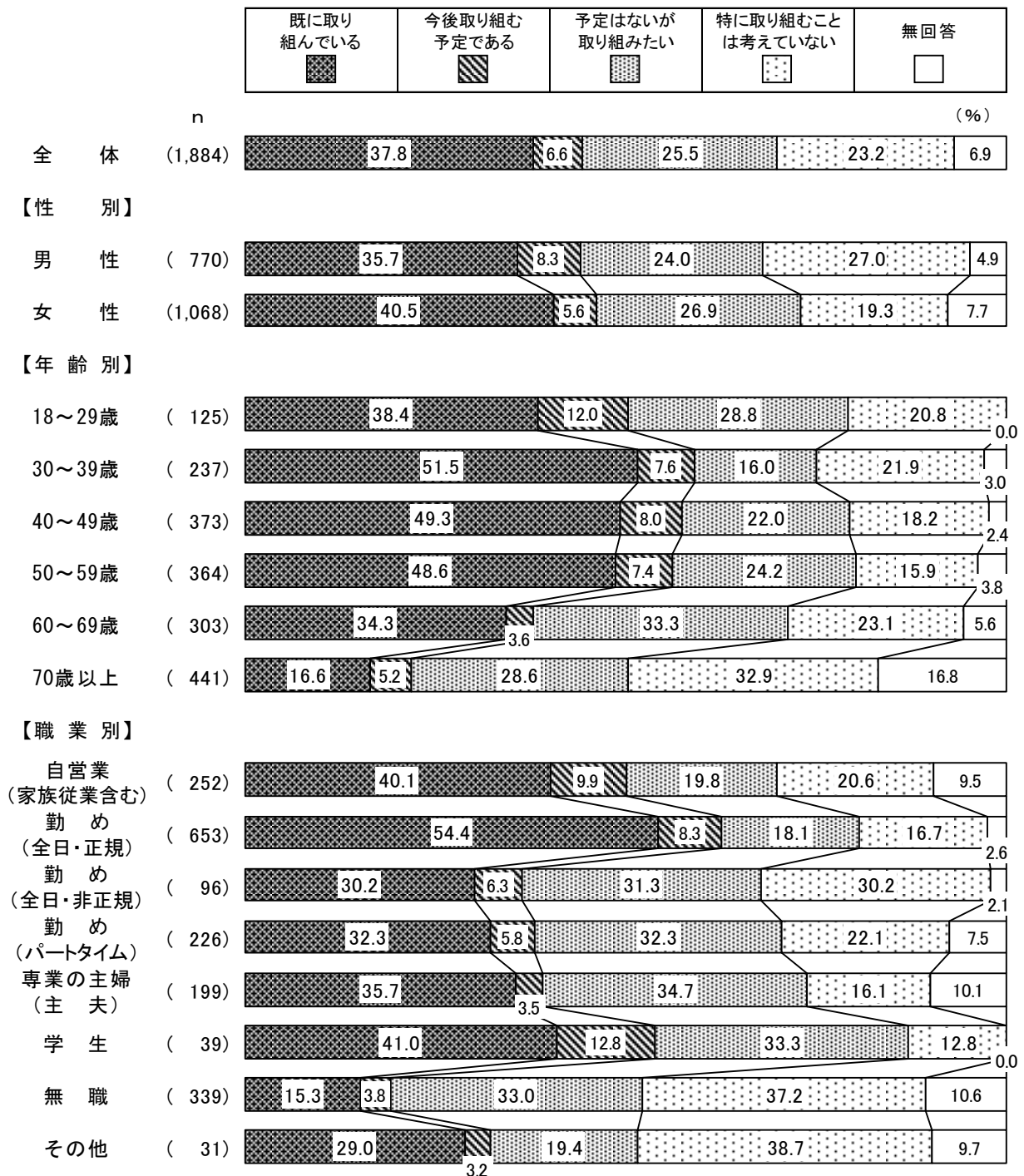


【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、「既に取り組んでいる」は女性（40.5%）が男性（35.7%）より4.8ポイント高く、「予定はないが取り組みたい」も女性（26.9%）が男性（24.0%）より2.9ポイント高くなっている。一方、「特に取り組むことは考えていない」は男性（27.0%）が女性（19.3%）より7.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「既に取り組んでいる」は30～39歳（51.5%）、40～49歳（49.3%）、50～59歳（48.6%）で5割前後と高くなっている。「予定はないが取り組みたい」は60～69歳（33.3%）で3割を超えて高くなっている。一方、「特に取り組むことは考えていない」は70歳以上（32.9%）で3割を超えて高くなっている。

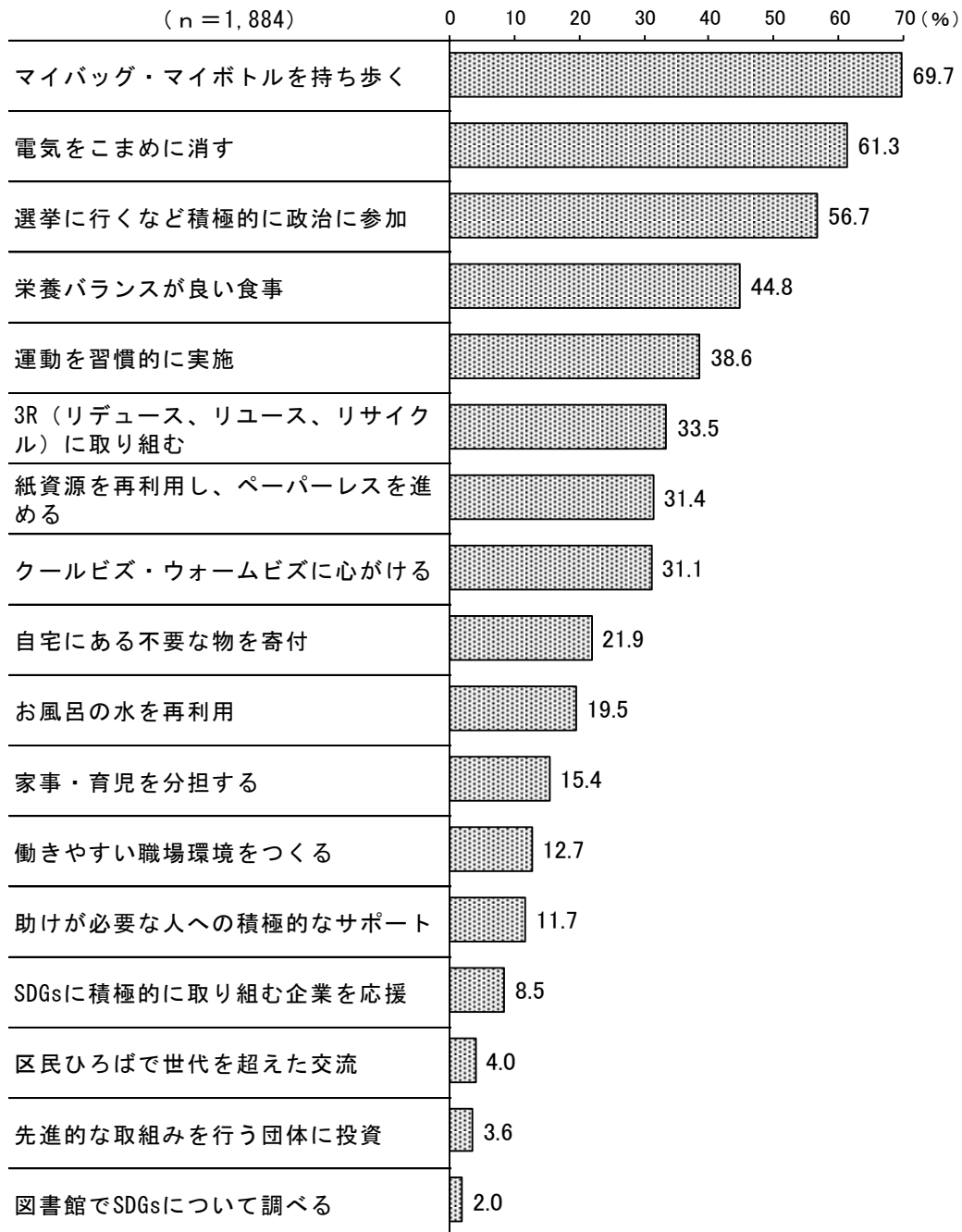
職業別でみると、「既に取り組んでいる」は勤め（全日・正規）（54.4%）で5割半ばと高くなっている。また、「予定はないが取り組みたい」は専業の主婦（主夫）（34.7%）で3割半ばと高くなっている。



(3) 生活の中で取り組んでいるSDGs

問18 SDGsに関して、ご自身の生活の中で取り組んでいるものはありますか。(いくつでも○)

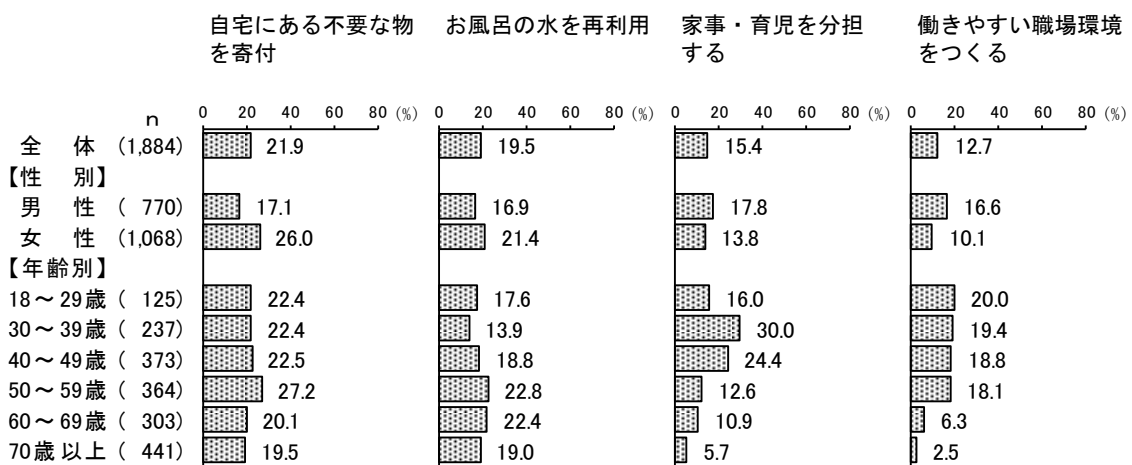
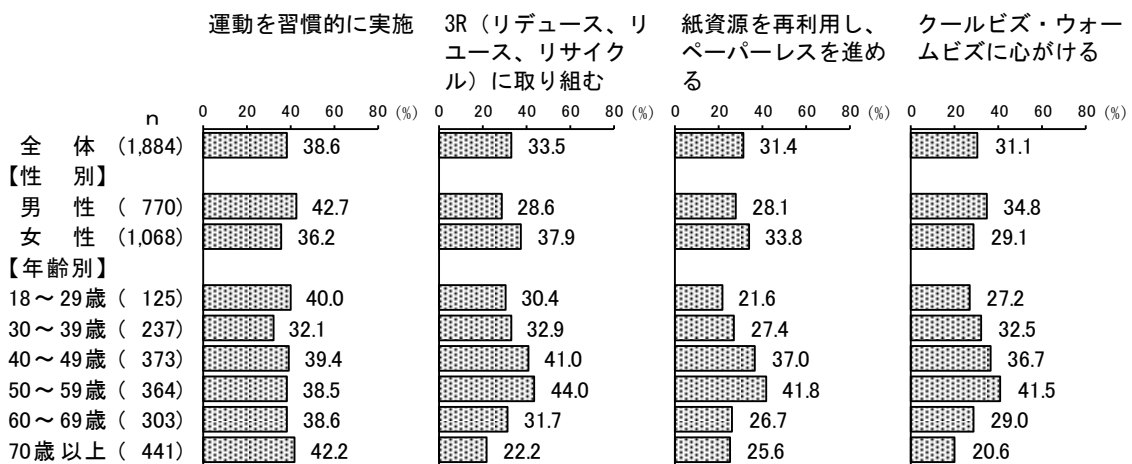
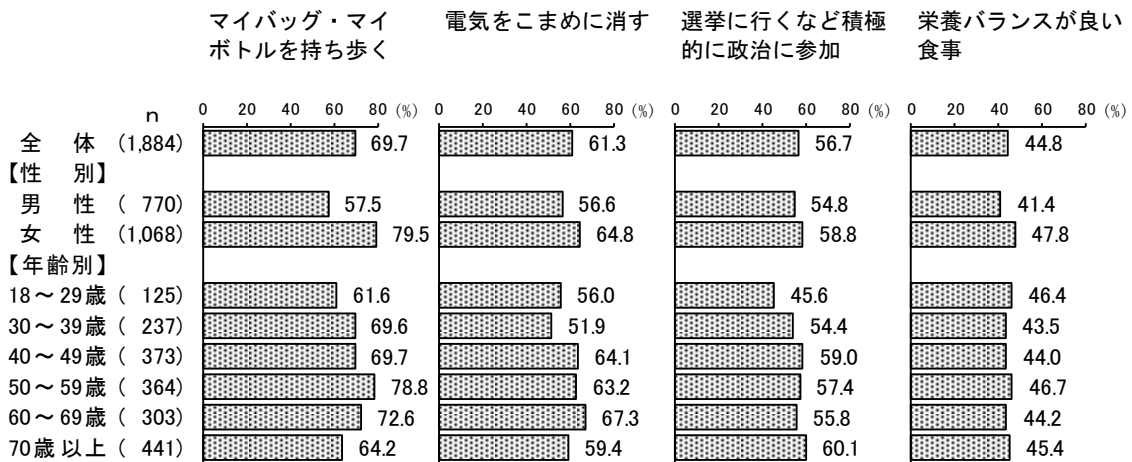
SDGsに関して、自身の生活の中で取り組んでいるものはあるか聞いたところ、「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」(69.7%)が7割で最も高く、次いで「電気をこまめに消す」(61.3%)、「選挙に行くなど積極的に政治に参加」(56.7%)、「栄養バランスが良い食事」(44.8%)となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」は女性（79.5%）が男性（57.5%）より22.0ポイント高くなっている。「3R（リデュース、リユース、リサイクル）に取り組む」は女性（37.9%）が男性（28.6%）より9.3ポイント高くなっている。「自宅にある不要な物を寄付」は女性（26.0%）が男性（17.1%）より8.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」は50～59歳（78.8%）で8割近くと高くなっている。「電気をこまめに消す」は60～69歳（67.3%）で7割近くと高くなっている。「選挙に行くなど積極的に政治に参加」は70歳以上（60.1%）で6割と高くなっている。

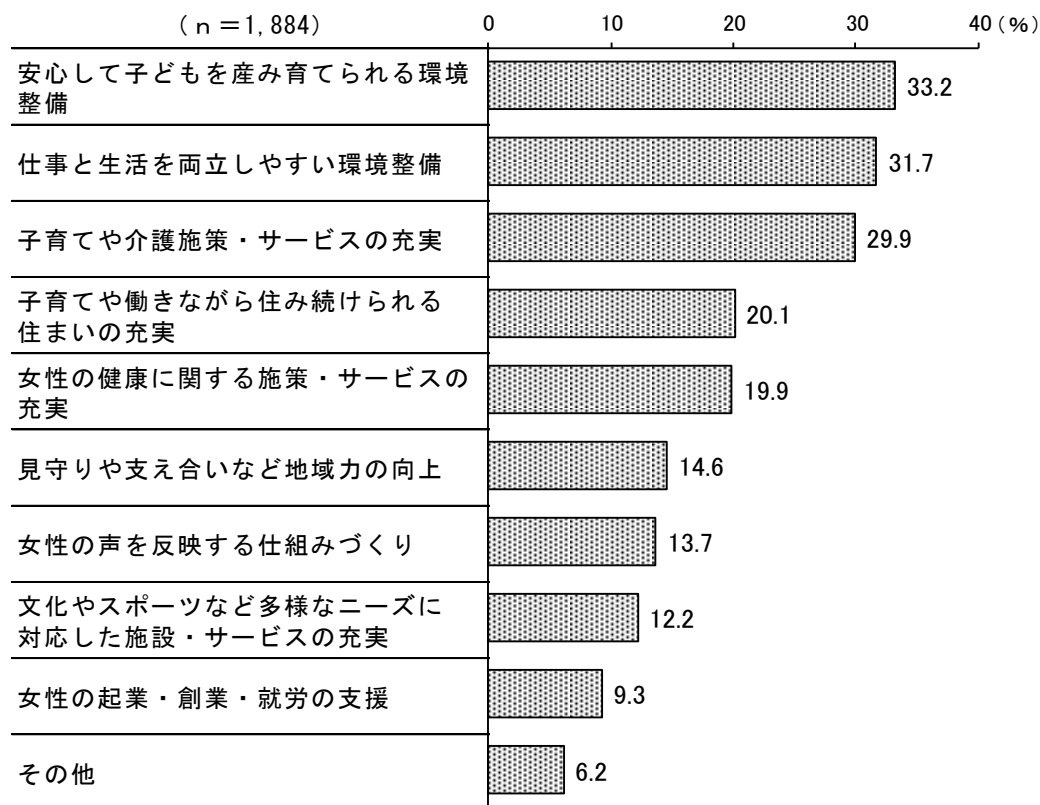


#### 4. 女性にやさしいまちづくりについて

##### (1) 女性にやさしいまちだと感じていること

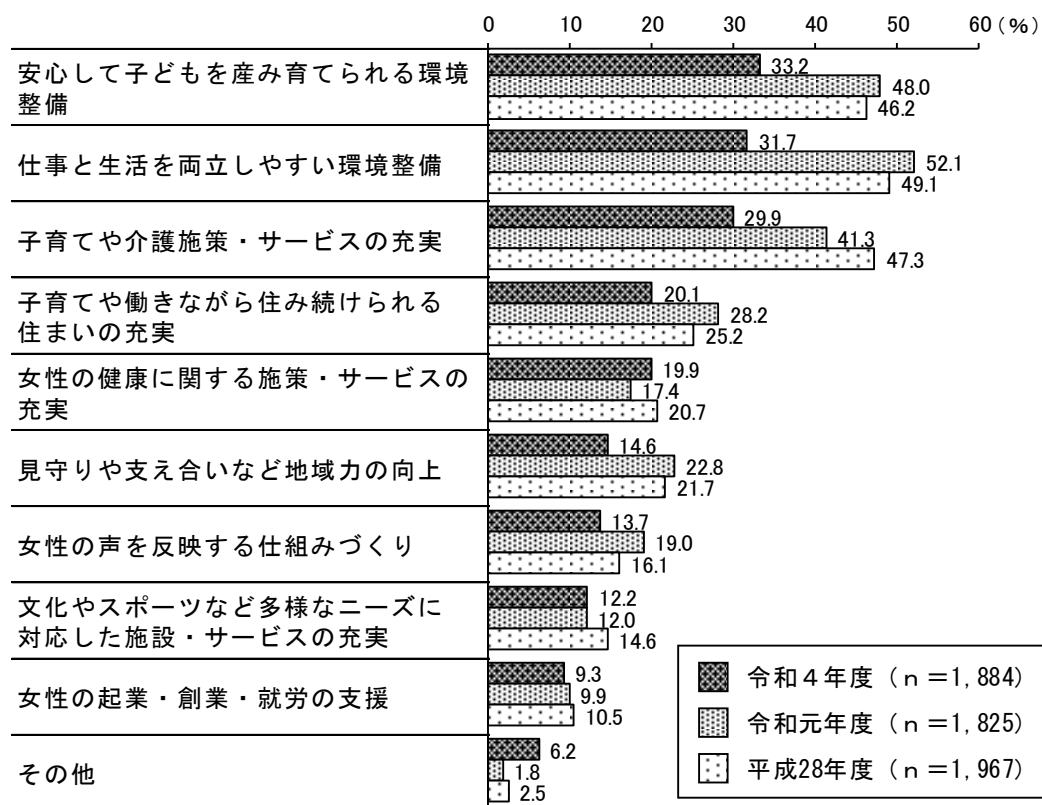
問19 豊島区は、女性が輝き、活躍する社会づくりを積極的に推進していくことで、すべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくりにつながる、「女性にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。女性にやさしく、暮らしやすいまちだと感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

豊島区で女性にやさしく、暮らしやすいまちだと感じていることを聞いたところ、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」(33.2%)が3割を超えて最も高く、次いで「仕事と生活を両立しやすい環境整備」(31.7%)、「子育てや介護施策・サービスの充実」(29.9%)、「子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実」(20.1%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は令和元年度より20.4ポイント、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は令和元年度より14.8ポイント、「子育てや介護施策・サービスの充実」は令和元年度より11.4ポイント、「見守りや支え合いなど地域力の向上」は令和元年度より8.2ポイント、「子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実」は令和元年度より8.1ポイント、それぞれ減少している。

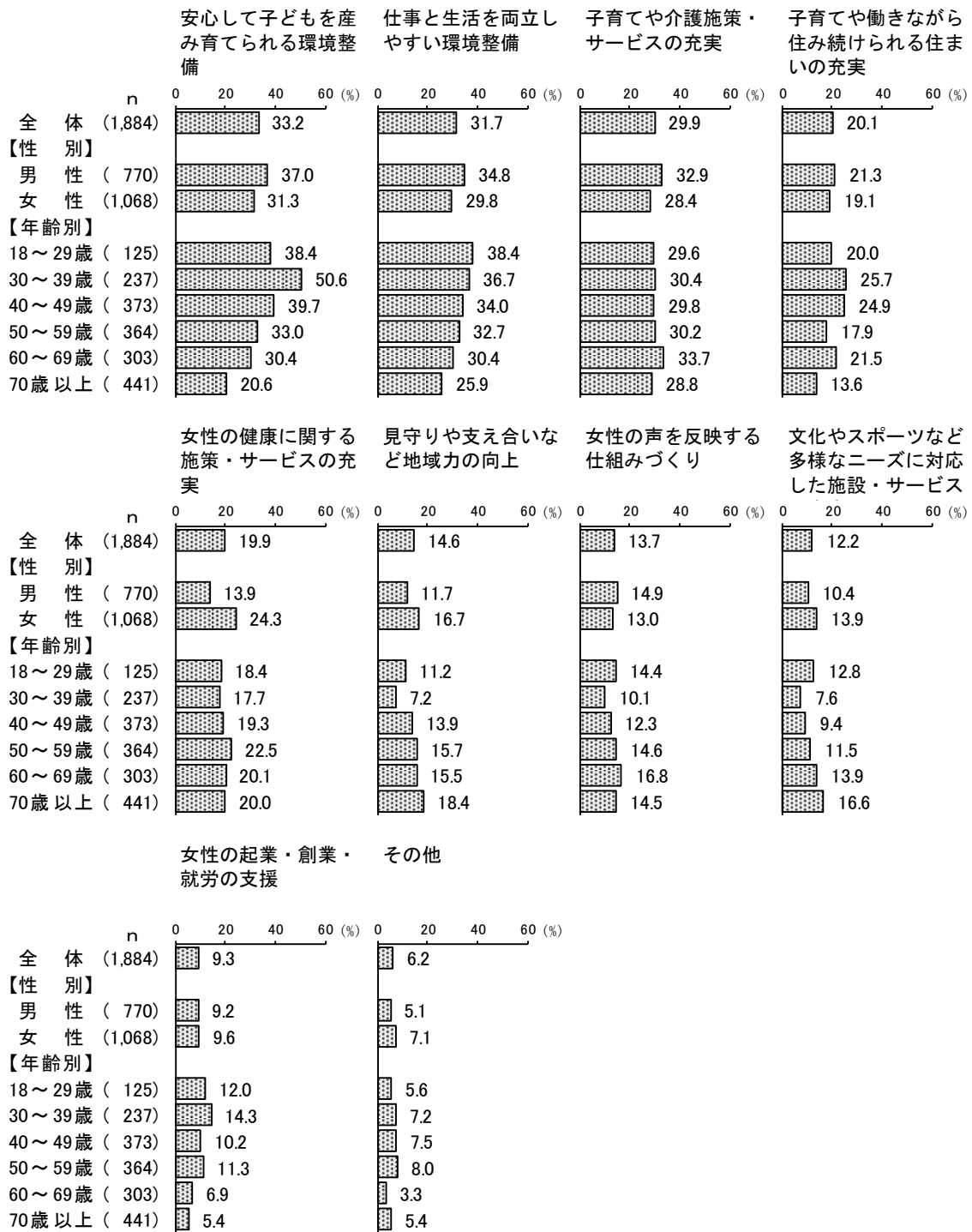


※ 平成28年度、令和元年度調査では「女性にやさしく、暮らしやすいまちに大切だと思うこと」を調査し、令和4年度調査では「女性にやさしく、暮らしやすいまちだと感じていること」を調査した。

【性別、年齢別】

性別でみると、「女性の健康に関する施策・サービスの充実」は女性（24.3%）が男性（13.9%）より10.4ポイント高くなっている。一方、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は男性（37.0%）が女性（31.3%）より5.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「安心して子どもを産み育てられる環境整備」は30～39歳（50.6%）で約5割と高くなっている。「仕事と生活を両立しやすい環境整備」は年齢が低くなるにつれて割合が高く、18～29歳（38.4%）で4割近くとなっている。

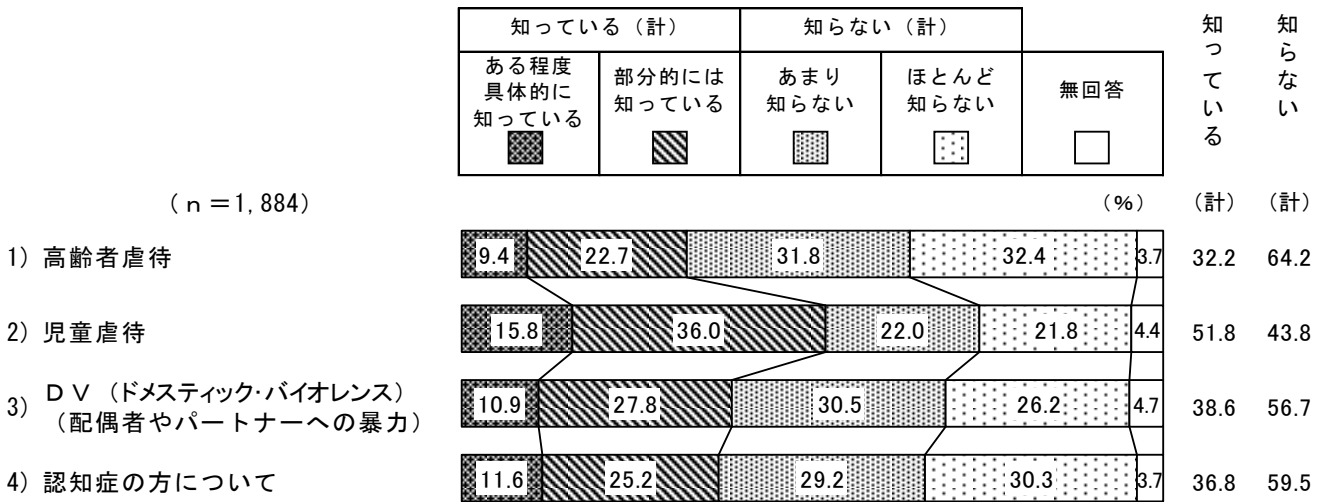


5. セーフコミュニティについて

(1) 心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先の認知度

問 20 豊島区は「セーフコミュニティ」の国際認証を取得し、地域全体で安心安全なまちづくりの活動を継続的に行っています。地域で子どもや高齢者、配偶者などへの虐待・暴力を早期発見・防止するためには、私たち一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。あなたは、以下について、どのような行為が虐待や暴力にあたるか、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。(それぞれ該当する番号1つに○)

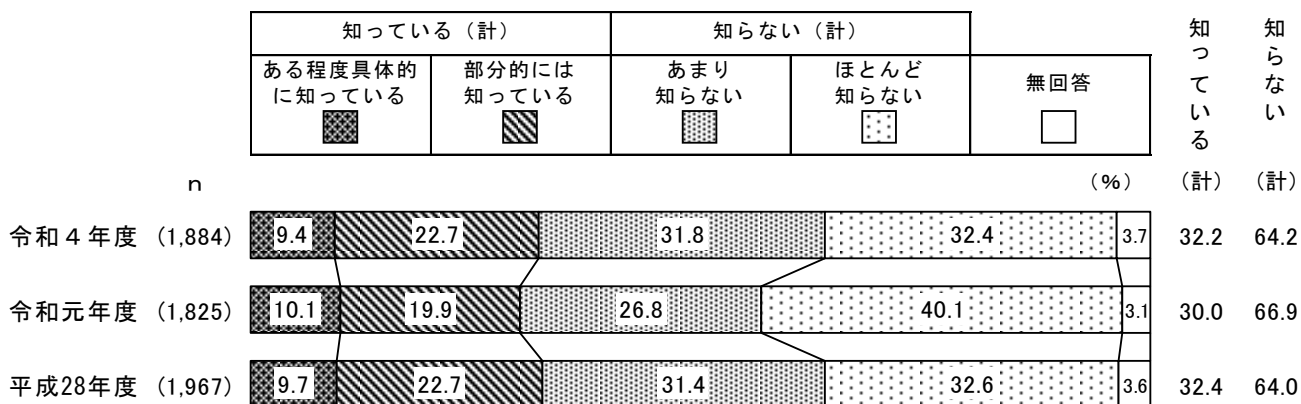
虐待や暴力にあたる行為か、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などを知っているか聞いたところ、「ある程度具体的に知っている」と「部分的には知っている」を合わせた『知っている(計)』では、「児童虐待」(51.8%)が5割を超えて最も高く、次いで「DV(ドメスティック・バイオレンス)(配偶者やパートナーへの暴力)」(38.6%)が4割近く、「認知症の方について」(36.8%)が4割近く、「高齢者虐待」(32.2%)が3割超となっている。



【経年比較】

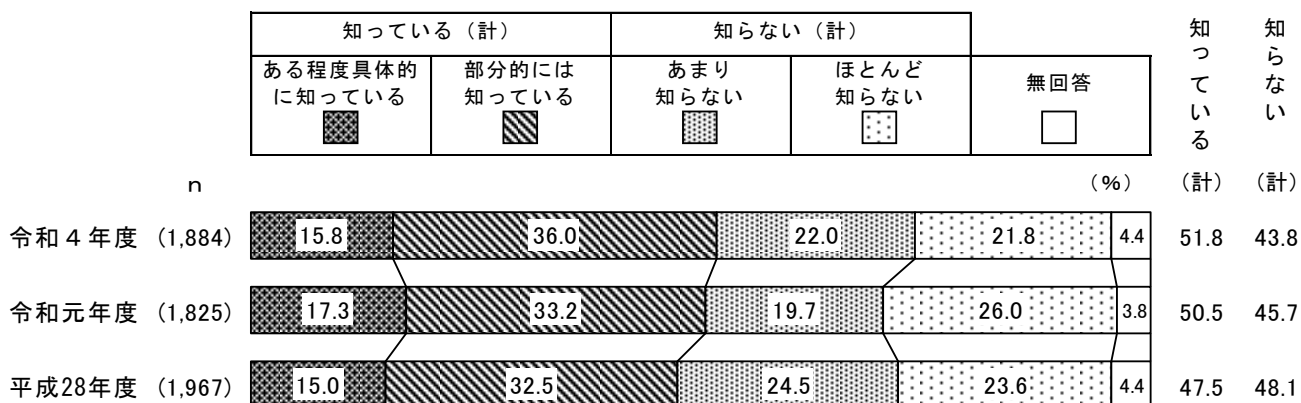
1) 高齢者虐待

過去の調査結果と比較すると、『知っている（計）』は令和元年度より 2.2 ポイント増加している。



2) 児童虐待

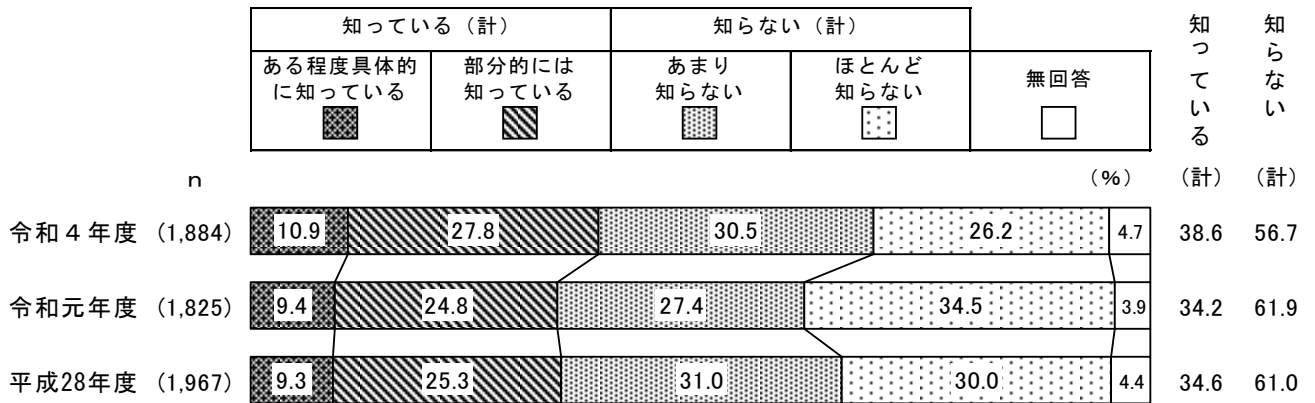
過去の調査結果と比較すると、『知っている（計）』は平成 28 年度以降増加傾向にあり、令和元年度より 1.3 ポイント増加している。





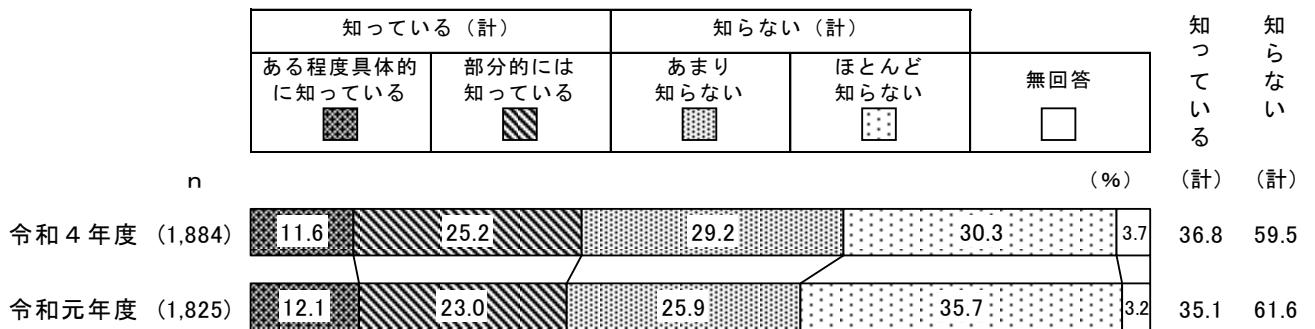
3) DV (ドメスティック・バイオレンス) (配偶者やパートナーへの暴力)

過去の調査結果と比較すると、『知っている (計)』は令和元年度より 4.4 ポイント増加している。



4) 認知症の方について

過去の調査結果と比較すると、「ほとんど知らない」は令和元年度より 5.4 ポイント減少している。

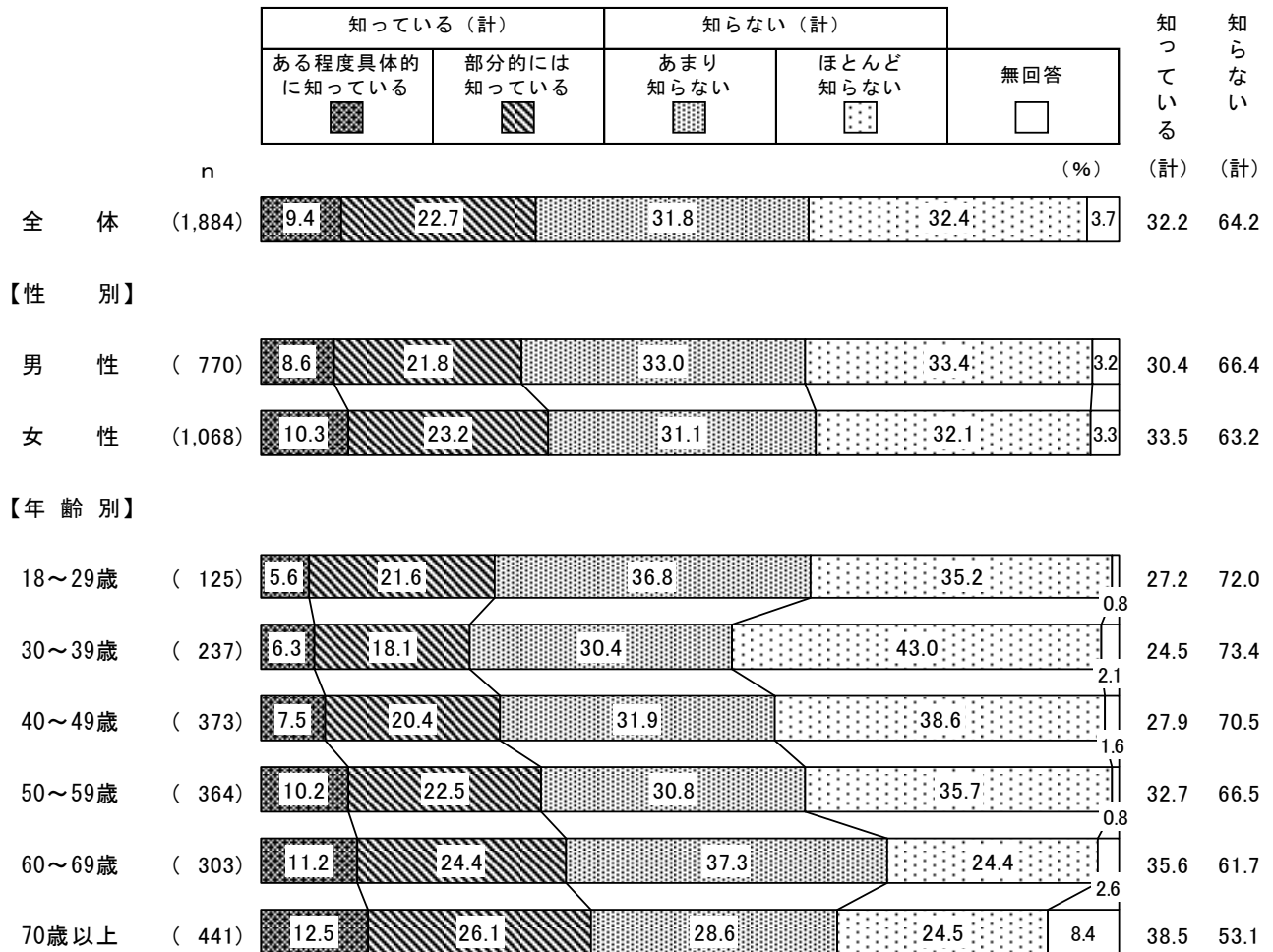


【性別、年齢別】

1) 高齢者虐待

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（33.5%）が男性（30.4%）より3.1ポイント高くなっている。一方、『知らない（計）』は男性（66.4%）が女性（63.2%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は70歳以上（38.5%）で4割近くと高くなっている。一方、『知らない（計）』は18～29歳（72.0%）、30～39歳（73.4%）、40～49歳（70.5%）で7割台となっている。

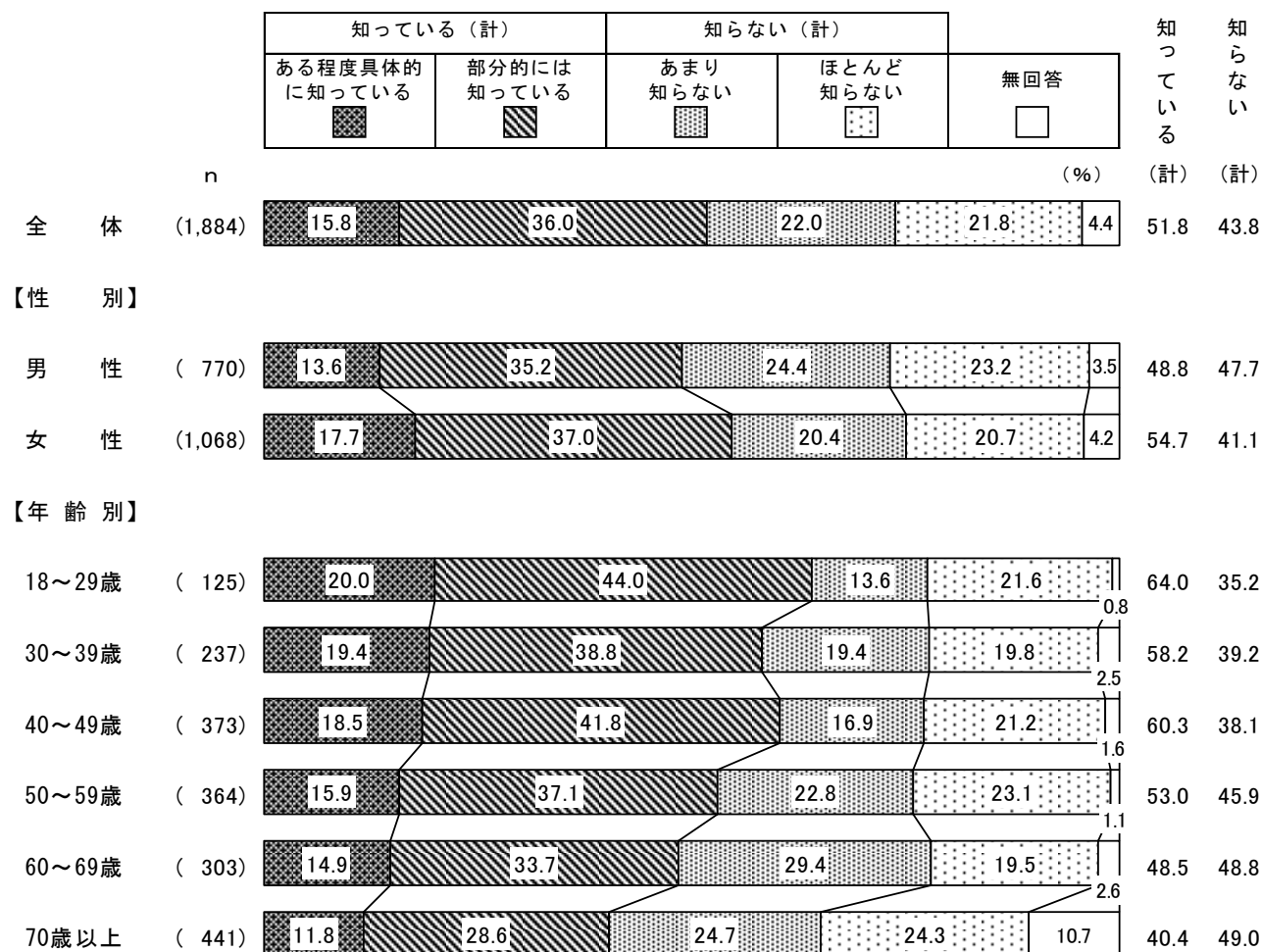


【性別、年齢別】

2) 児童虐待

性別でみると、『知っている（計）』は女性（54.7%）が男性（48.8%）より5.9ポイント高くなっている。一方、『知らない（計）』は男性（47.7%）が女性（41.1%）より6.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『知っている（計）』は18～29歳（64.0%）、40～49歳（60.3%）で6割台と高くなっている。一方、『知らない（計）』は60～69歳（48.8%）、70歳以上（49.0%）で5割近くと高くなっている。

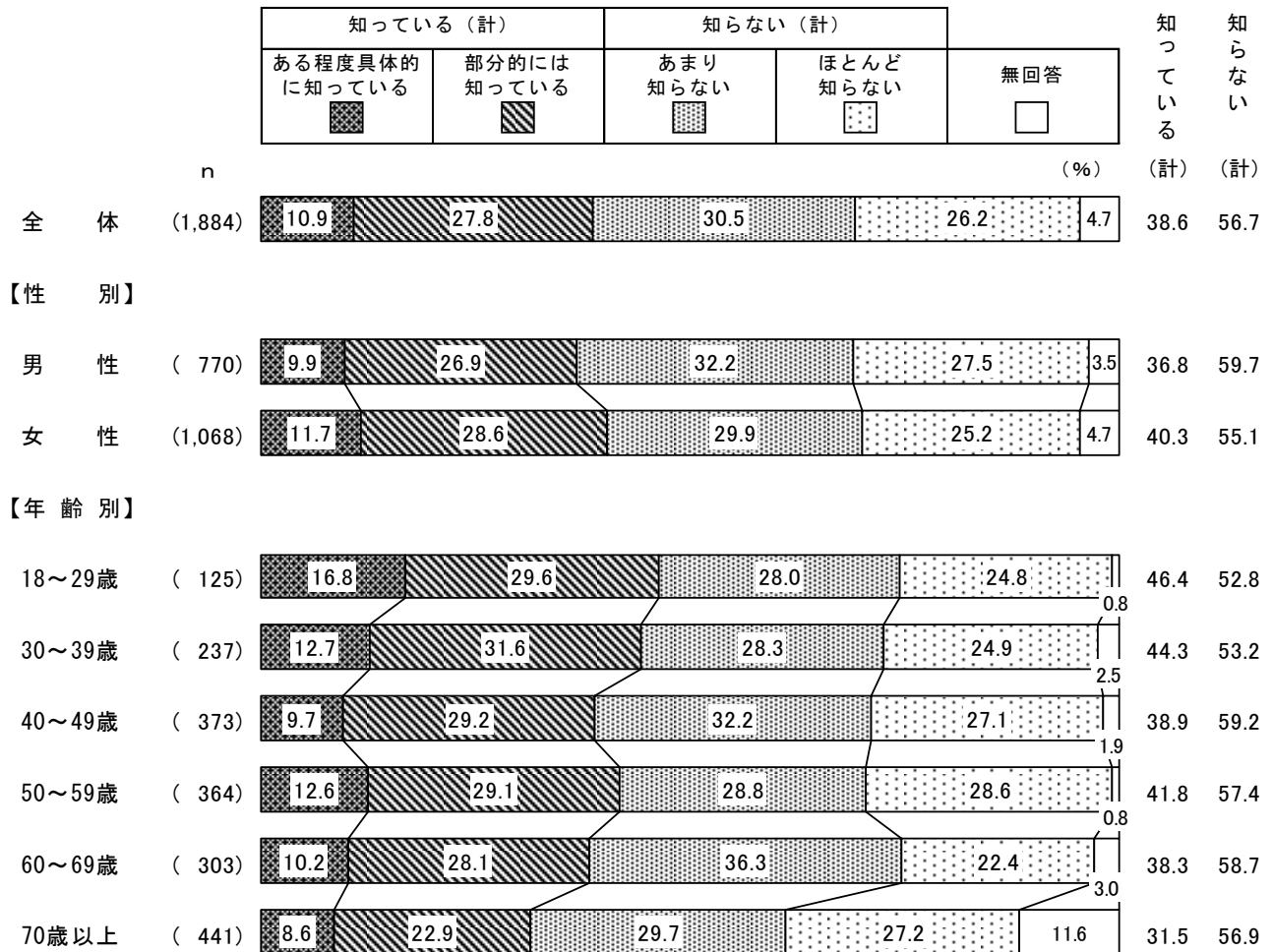


【性別、年齢別】

3) DV（ドメスティック・バイオレンス）（配偶者やパートナーへの暴力）

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（40.3%）が男性（36.8%）より3.5ポイント高くなっている。一方、『知らない（計）』は男性（59.7%）が女性（55.1%）より4.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、『知っている（計）』は18～29歳（46.4%）、30～39歳（44.3%）で4割半ばと高くなっている。

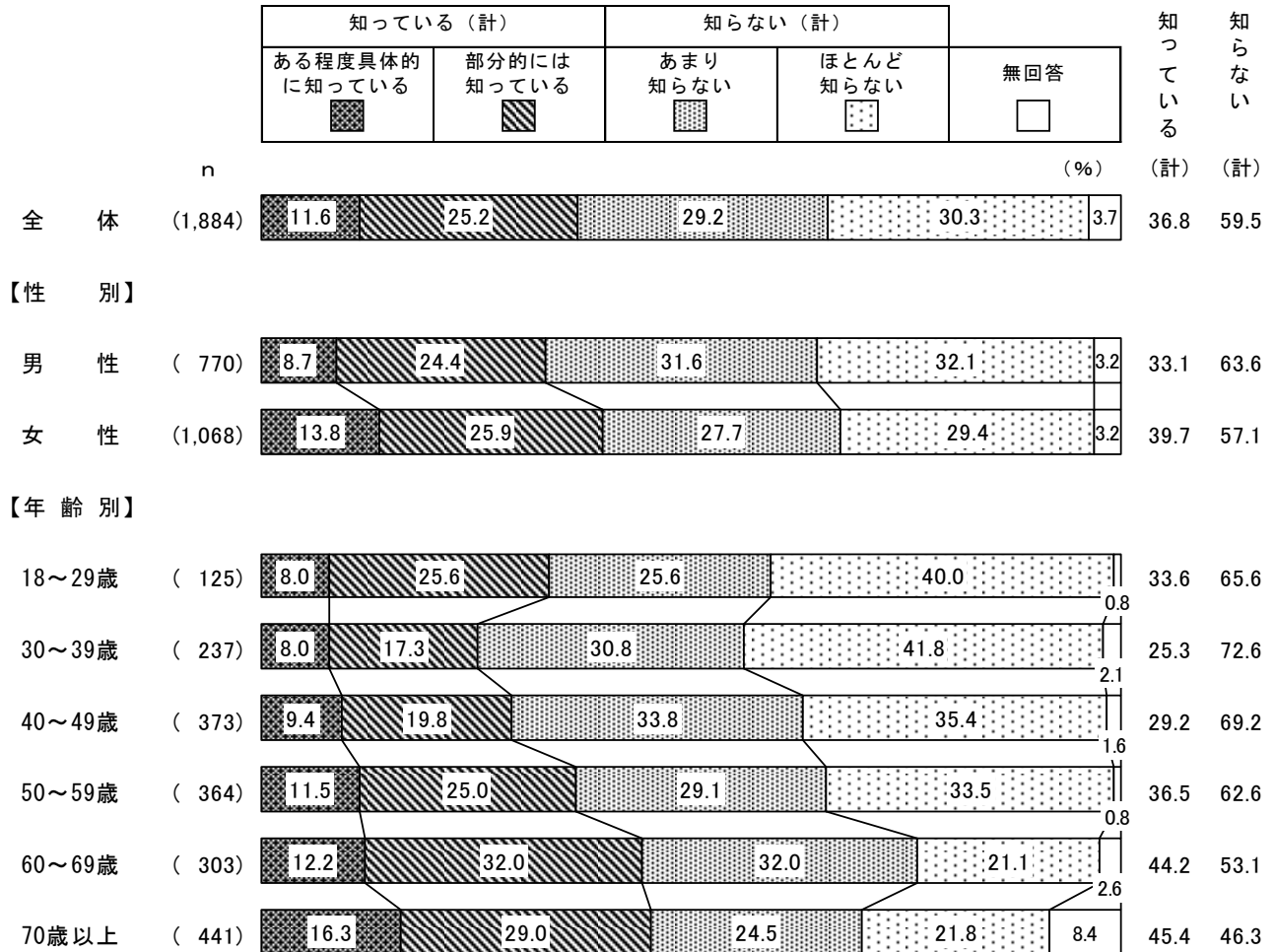


【性別、年齢別】

4) 認知症の方について

性別で見ると、『知っている（計）』は女性（39.7%）が男性（33.1%）より6.6ポイント高くなっている。一方、『知らない（計）』は男性（63.6%）が女性（57.1%）より6.5ポイント高くなっている。

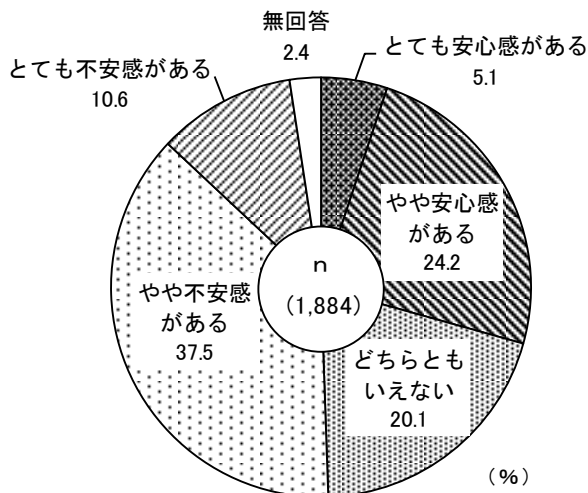
年齢別で見ると、『知っている（計）』は60～69歳（44.2%）、70歳以上（45.4%）で4割半ばと高くなっている。一方、『知らない（計）』は30～39歳（72.6%）、40～49歳（69.2%）で7割前後と高くなっている。



(2) 池袋駅周辺の体感治安

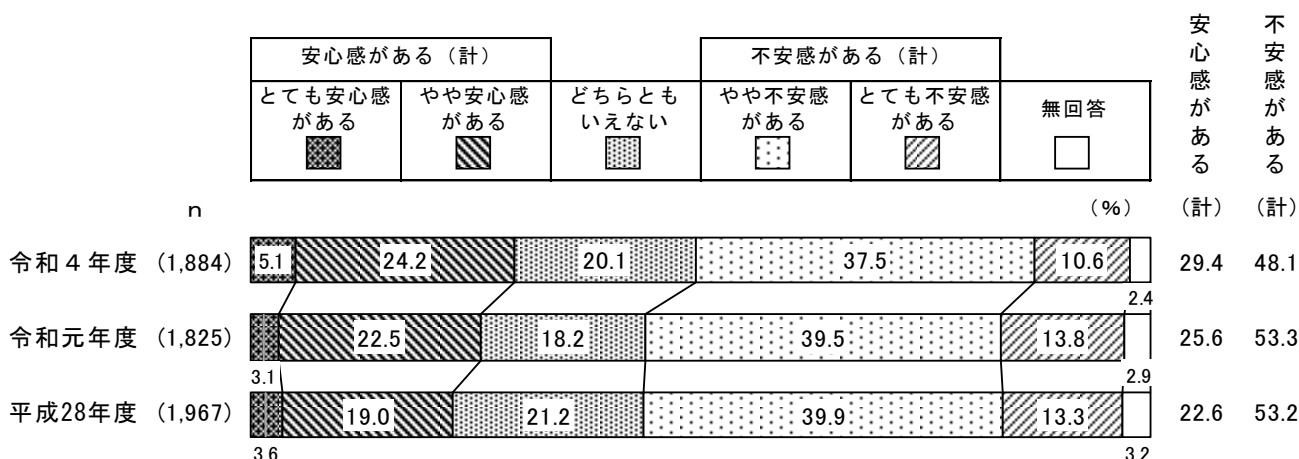
問 21 豊島区では、環境浄化団体や警察と合同で、定期的に環境浄化パトロール活動を実施しています。あなたは、池袋駅周辺（繁華街）の治安についてどのように感じますか。（1つに○）

池袋駅周辺（繁華街）の治安についてどのように感じるか聞いたところ、「とても安心感がある」(5.1%)と「やや安心感がある」(24.2%)を合わせた『安心感がある(計)』(29.4%)は約3割となっている。一方、「やや不安感がある」(37.5%)と「とても不安感がある」(10.6%)を合わせた『不安感がある(計)』(48.1%)は5割近くとなっている。



【経年比較】

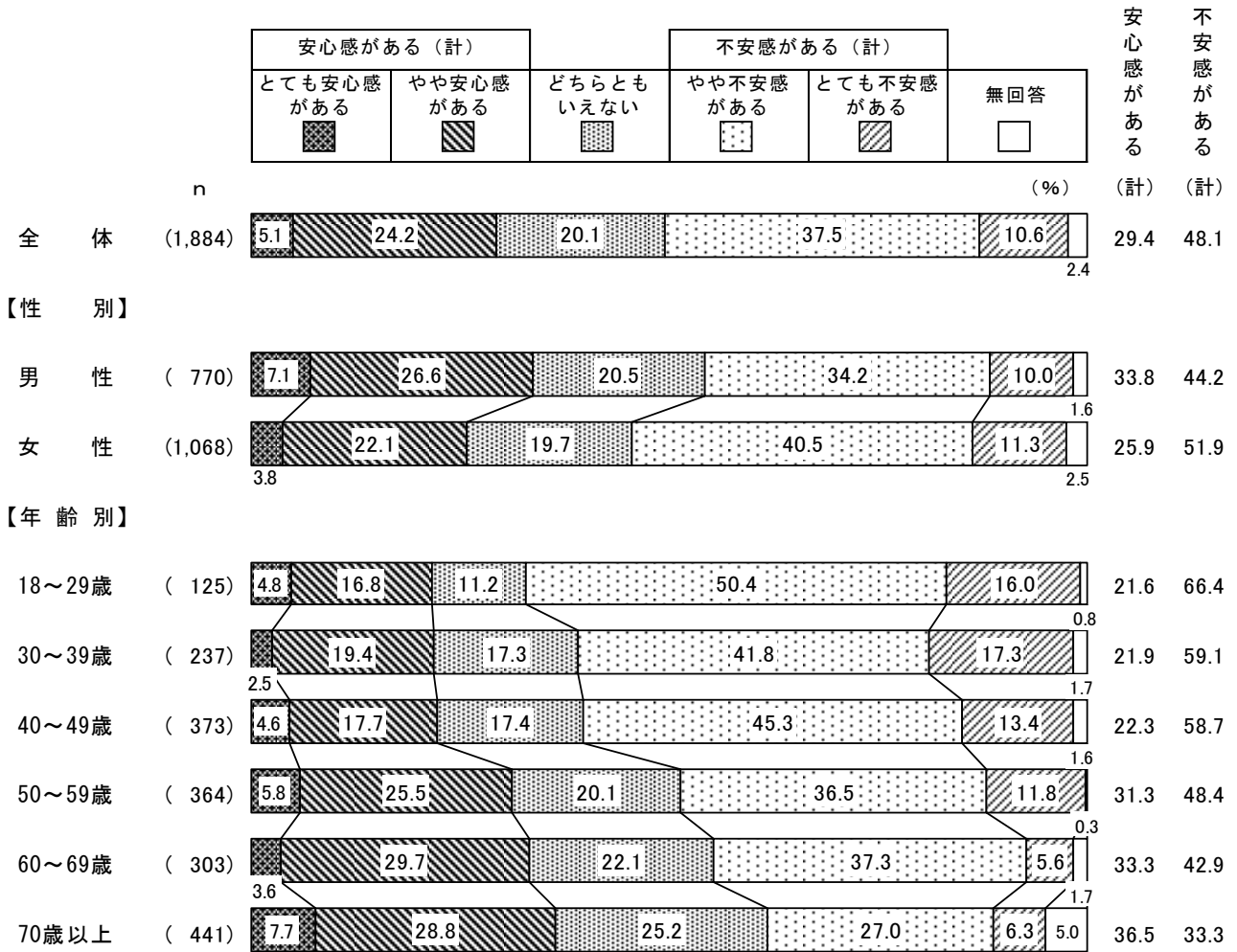
過去の調査結果と比較すると、『安心感がある(計)』は平成28年度以降増加傾向にあり、令和元年度より3.8ポイント増加している。



【性別、年齢別】

性別でみると、『安心感がある（計）』は男性（33.8%）が女性（25.9%）より7.9ポイント高くなっている。一方、『不安感がある（計）』は女性（51.9%）が男性（44.2%）より7.7ポイント高くなっている。

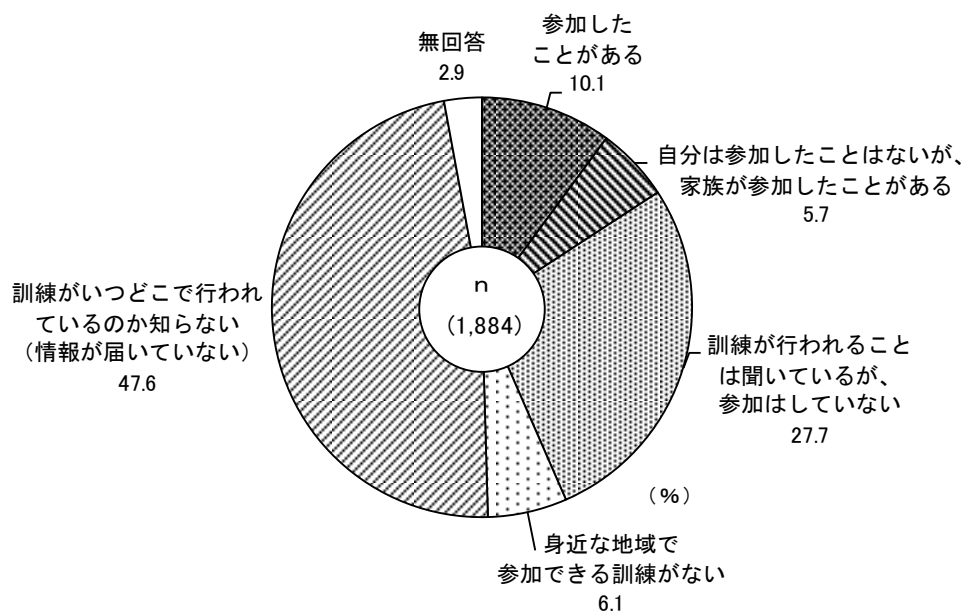
年齢別でみると、『安心感がある（計）』は70歳以上（36.5%）で4割近くと高くなっている。一方、『不安感がある（計）』は18～29歳（66.4%）で6割半ば、30～39歳（59.1%）、40～49歳（58.7%）で6割近くと高くなっている。



(3) 防災訓練や避難訓練への参加

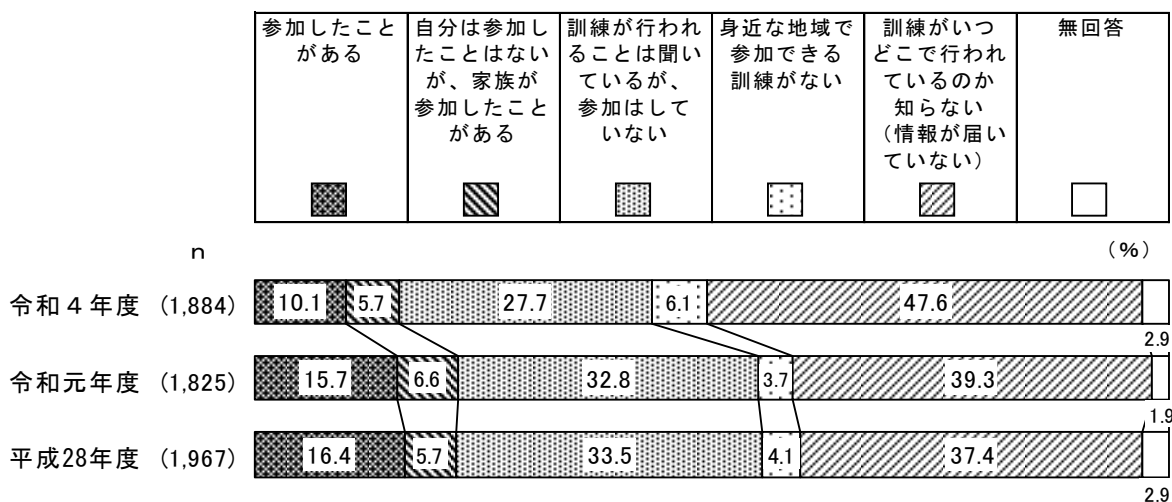
問22 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがあるか聞いたところ、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」(47.6%)が5割近くで最も高く、次いで「訓練が行われることは知っているが、参加はしていない」(27.7%)が3割近く、「参加したことがある」(10.1%)が1割となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「訓練がいつどこで行われているのか知らない(情報が届いていない)」は令和元年度より8.3ポイント増加している。一方、「参加したことがある」は令和元年度より5.6ポイント、「訓練が行われることは知っているが、参加はしていない」は令和元年度より5.1ポイント、それぞれ減少している。

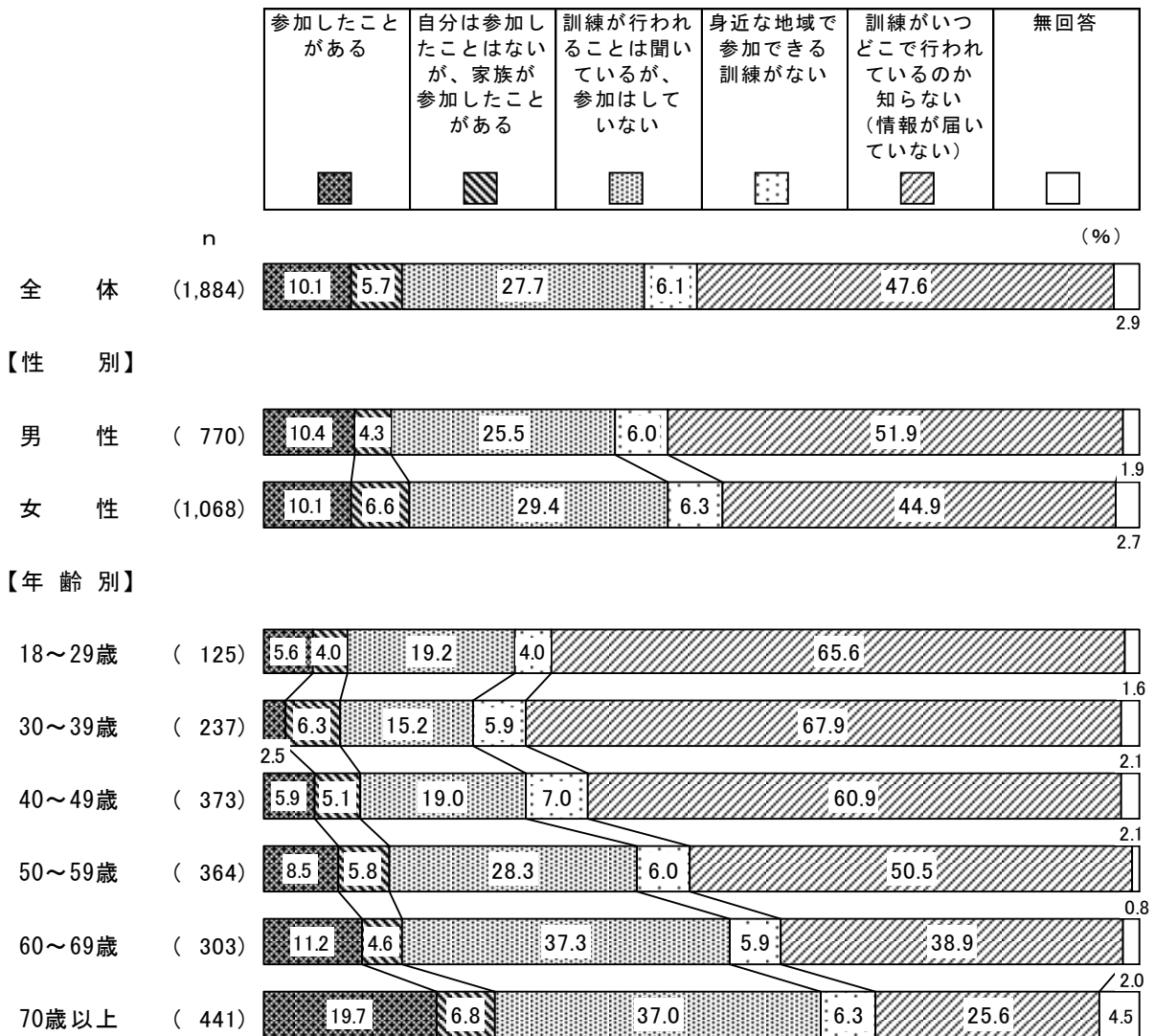




【性別、年齢別】

性別でみると、「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は女性（29.4%）が男性（25.5%）より3.9ポイント高くなっている。一方、「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は男性（51.9%）が女性（44.9%）より7.0ポイント高くなっている。

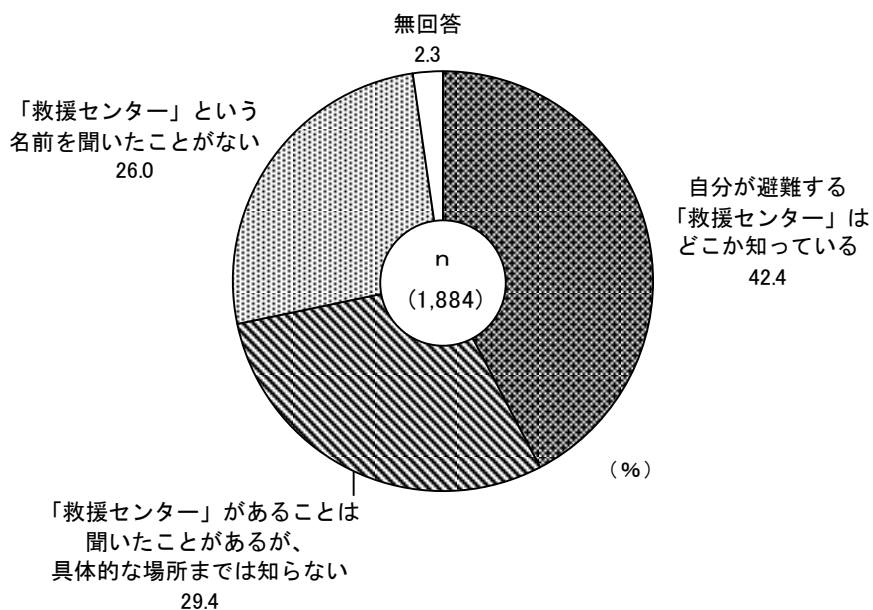
年齢別でみると、「参加したことがある」は70歳以上（19.7%）で2割となっている。「訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない」は60～69歳（37.3%）、70歳以上（37.0%）で4割近くと高くなっている。「訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない）」は18～29歳（65.6%）、30～39歳（67.9%）、40～49歳（60.9%）で6割台と高くなっている。



(4) 「救援センター」の認知度

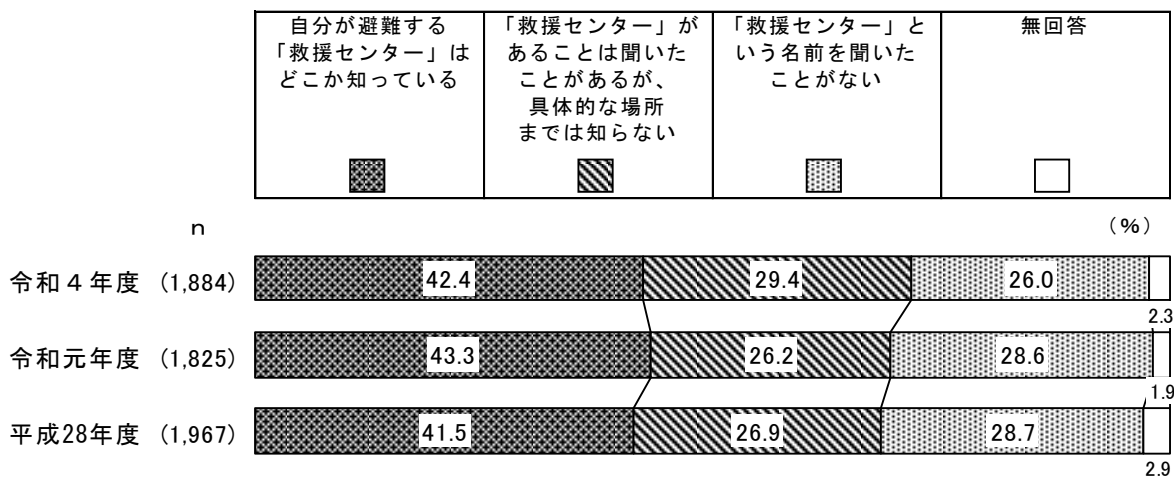
問 23 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難場所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。  
(1つに○)

「救援センター」について知っているか聞いたところ、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」(42.4%)が4割を超えて最も高く、「『救援センター』があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」(29.4%)が約3割となっている。一方、「『救援センター』という名前を聞いたことがない」(26.0%)は2割半ばとなっている。



【経年比較】

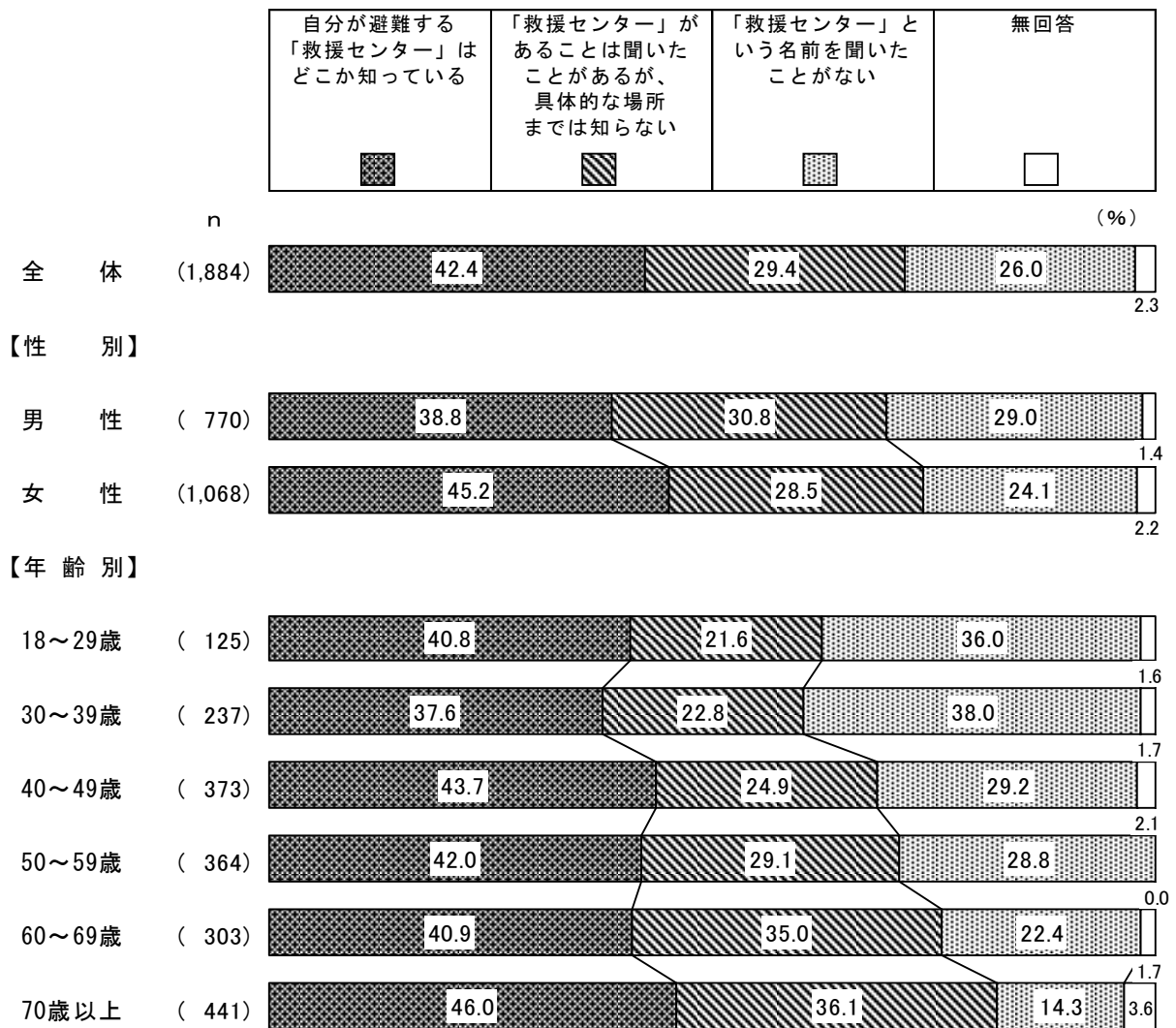
過去の調査結果と比較すると、「『救援センター』があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない」は令和元年度より3.2ポイント増加している。一方、「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は令和元年度より2.6ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は女性(45.2%)が男性(38.8%)より6.4ポイント高くなっている。一方、「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は男性(29.0%)が女性(24.1%)より4.9ポイント高くなっている。

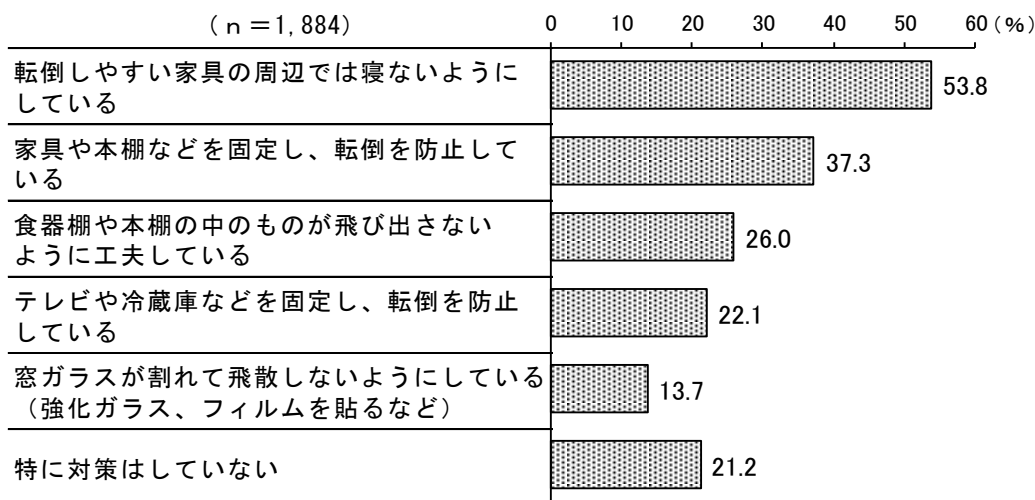
年齢別でみると、「自分が避難する『救援センター』はどこか知っている」は70歳以上(46.0%)で4割半ばと高くなっている。「『救援センター』という名前を聞いたことがない」は18~29歳(36.0%)、30~39歳(38.0%)で3割半ばを超えて高くなっている。



(5) 地震に備えた家具等の転倒防止対策

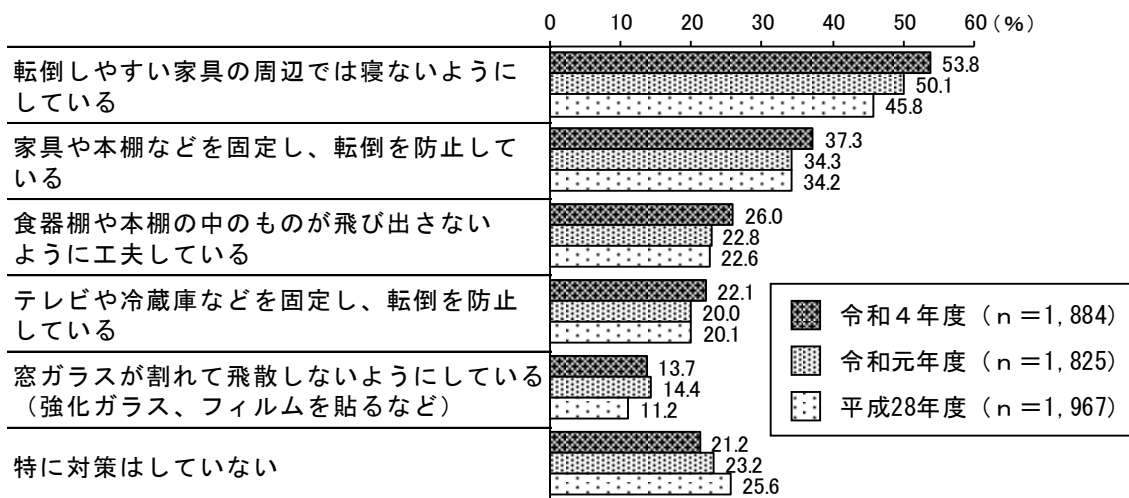
問24 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、(あなたの家庭では、) どのような対策をとっていますか。  
(いくつでも○)

家庭での地震対策を聞いたところ、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」(53.8%)が5割半ばで最も高く、次いで「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」(37.3%)、「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」(26.0%)、「テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している」(22.1%)となっている。



【経年比較】

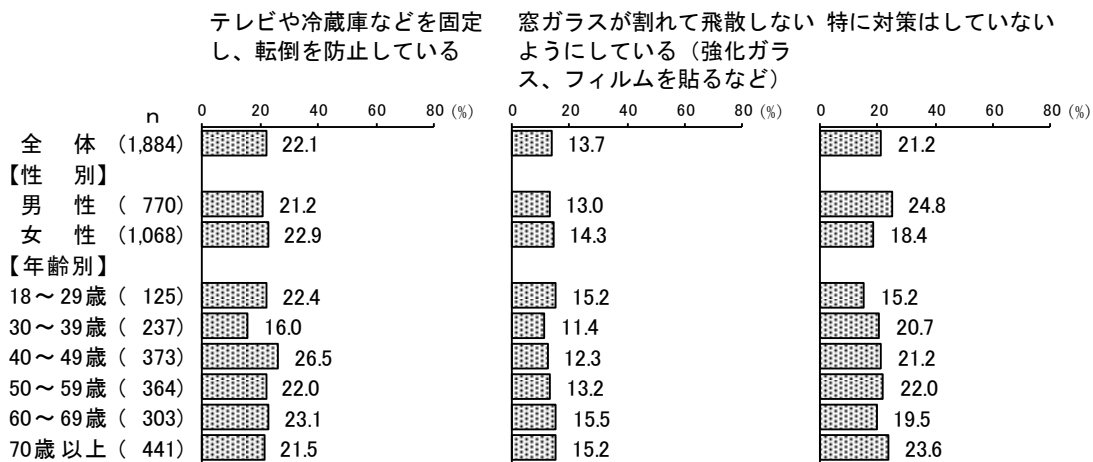
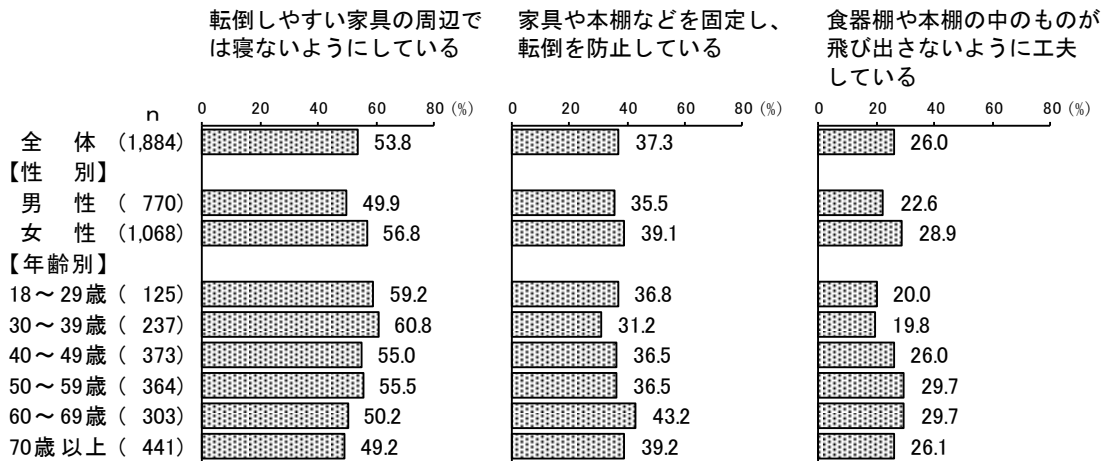
過去の調査結果と比較すると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は令和元年度より3.7ポイント、「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」は令和元年度より3.2ポイント、「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」は令和元年度より3.0ポイント、それぞれ増加している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は女性(56.8%)が男性(49.9%)より6.9ポイント高くなっている。「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」は女性(28.9%)が男性(22.6%)より6.3ポイント高くなっている。一方、「特に対策はしていない」は男性(24.8%)が女性(18.4%)より6.4ポイント高くなっている。

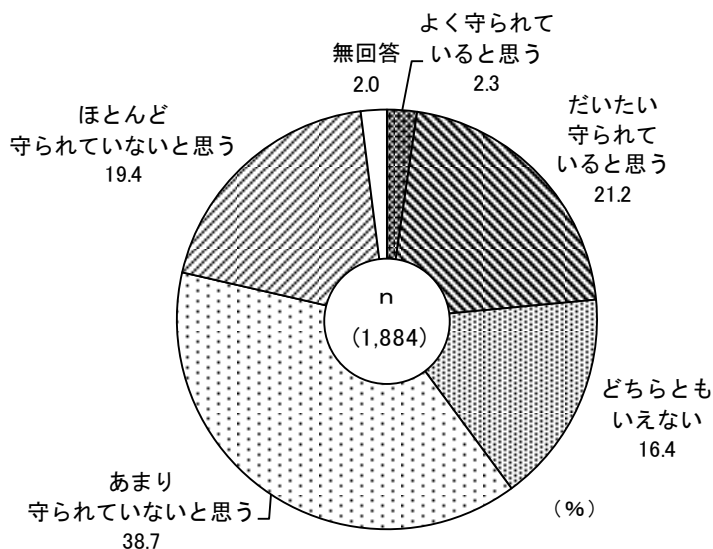
年齢別でみると、「転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている」は18～29歳(59.2%)、30～39歳(60.8%)で約6割と高くなっている。「家具や本棚などを固定し、転倒を防止している」は60～69歳(43.2%)で4割を超えて高くなっている。「食器棚や本棚の中のものが飛び出さないように工夫している」は50～59歳(29.7%)、60～69歳(29.7%)でともに3割と高くなっている。



(6) 自転車の運転ルール遵守状況の実感

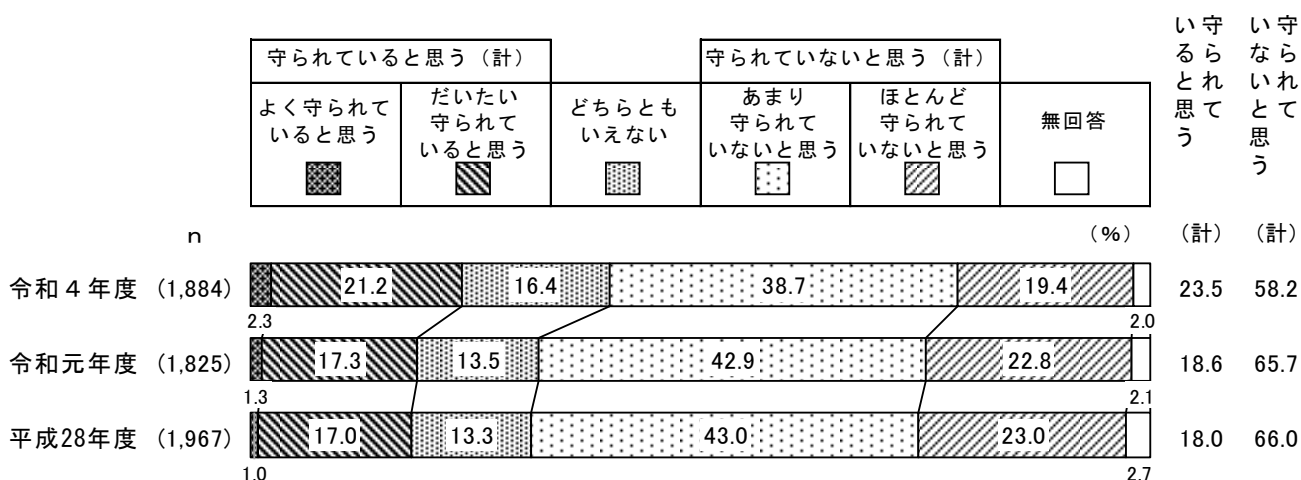
問 25 自転車は便利な乗り物ですが、一つ間違えば大きな事故につながります。最近、あなたのお住まいの地域で、道路交通法で決められている自転車の運転ルールは守られていると感じていますか。(1つに○)

住まいの地域で、自転車の運転ルールは守られていると感じるか聞いたところ、「よく守られていると思う」(2.3%)と「だいたい守られていると思う」(21.2%)を合わせた『守られていると思う(計)』(23.5%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり守られていないと思う」(38.7%)と「ほとんど守られていないと思う」(19.4%)を合わせた『守られていないと思う(計)』(58.2%)は6割近くとなっている。



【経年比較】

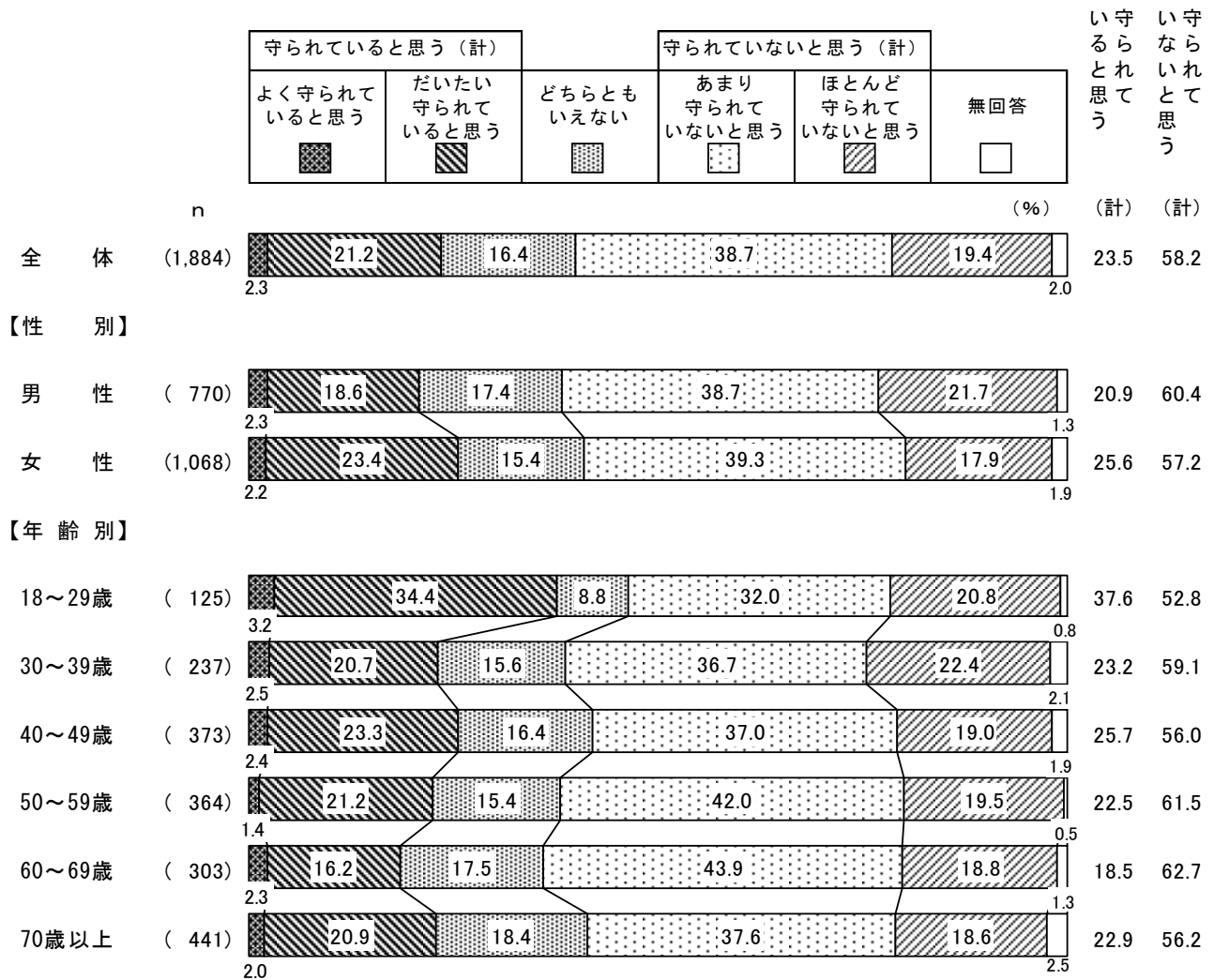
過去の調査結果と比較すると、『守られていると思う(計)』は令和元年度より4.9ポイント増加している。一方、『守られていないと思う(計)』は令和元年度より7.5ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、『守られていると思う（計）』は女性（25.6%）が男性（20.9%）より4.7ポイント高くなっている。一方、『守られていないと思う（計）』は男性（60.4%）が女性（57.2%）より3.2ポイント高くなっている。

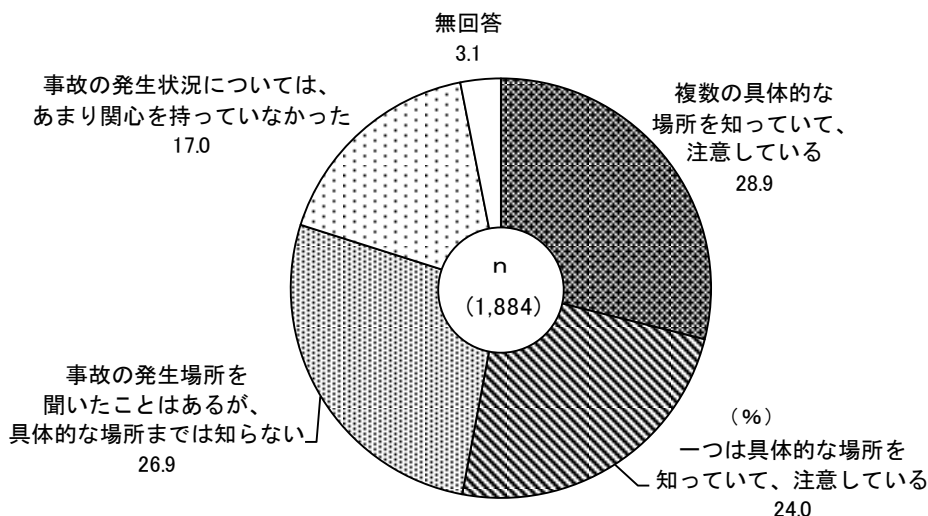
年齢別でみると、『守られていると思う（計）』は18～29歳（37.6%）で4割近くと高くなっている。一方、『守られていないと思う（計）』は50～59歳（61.5%）、60～69歳（62.7%）で6割を超えている。



(7) 交通事故発生場所等の認知度

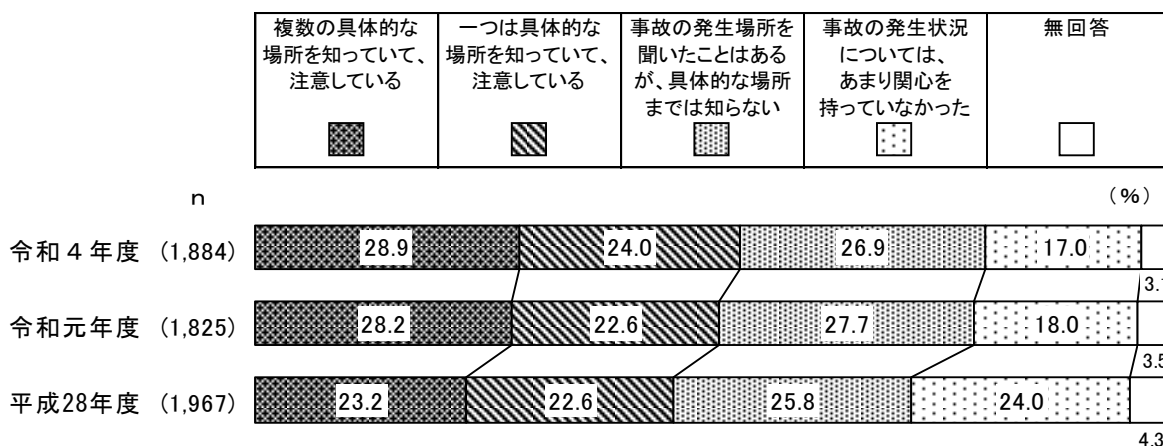
問 26 交通事故が発生した場所や注意すべき地点を知っていることで、事故防止につなげることができます。お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることをご存じですか。(1つに〇)

住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることを知っているか聞いたところ、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」(28.9%)が3割近くで最も高く、次いで「事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない」(26.9%)が3割近く、「一つは具体的な場所を知っていて、注意している」(24.0%)が2割半ば、「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」(17.0%)が2割近くとなっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」、「一つは具体的な場所を知っていて、注意している」とも、平成28年度以降増加傾向となっている。

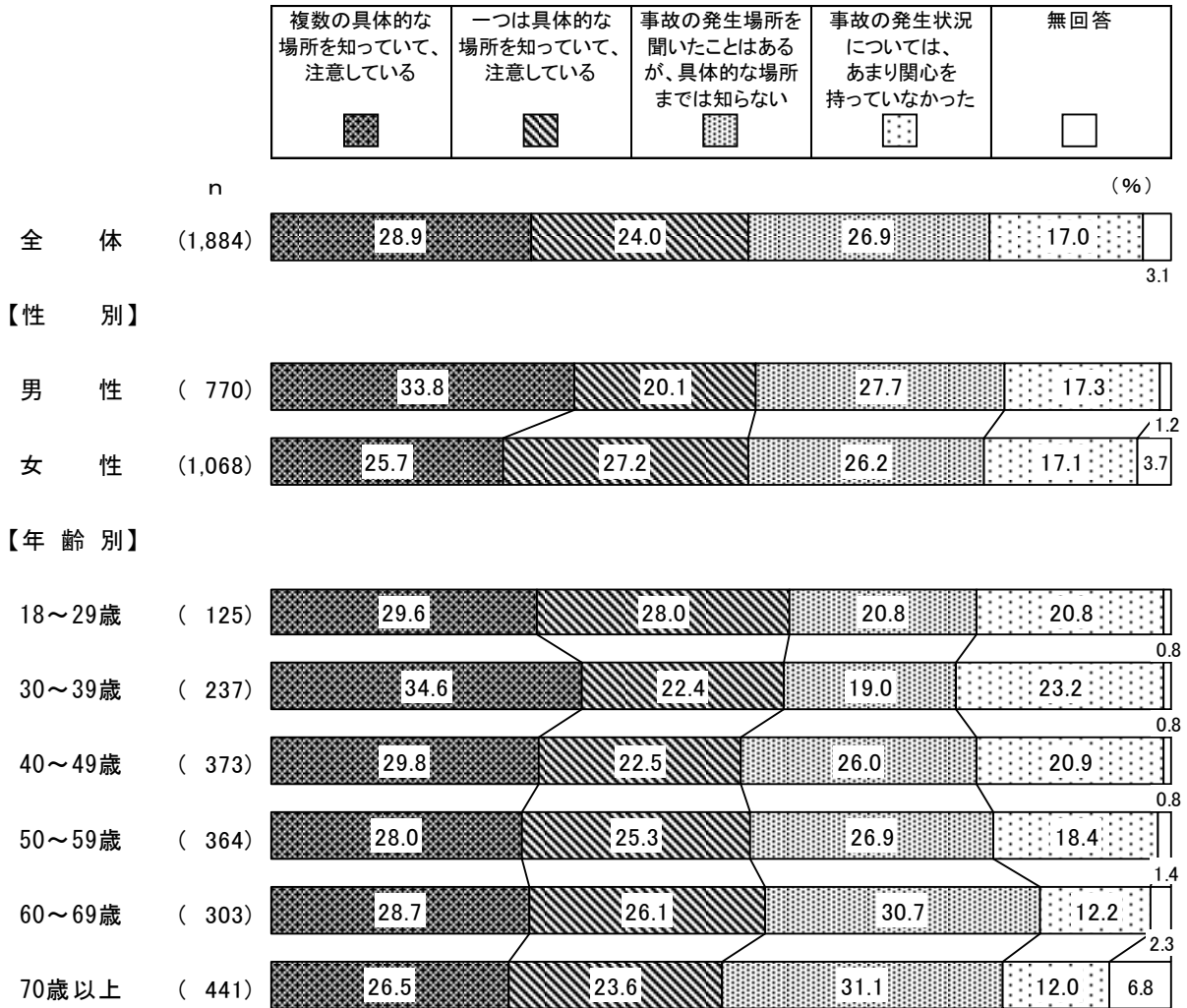




【性別、年齢別】

性別でみると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は男性（33.8%）が女性（25.7%）より 8.1 ポイント高くなっている。一方、「一つは具体的な場所を知っていて、注意している」は女性（27.2%）が男性（20.1%）より 7.1 ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「複数の具体的な場所を知っていて、注意している」は30～39歳（34.6%）で3割半ばと高くなっている。「事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない」は60～69歳（30.7%）、70歳以上（31.1%）で3割台と高くなっている。「事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった」は18～29歳（20.8%）、30～39歳（23.2%）、40～49歳（20.9%）で2割台となっている。

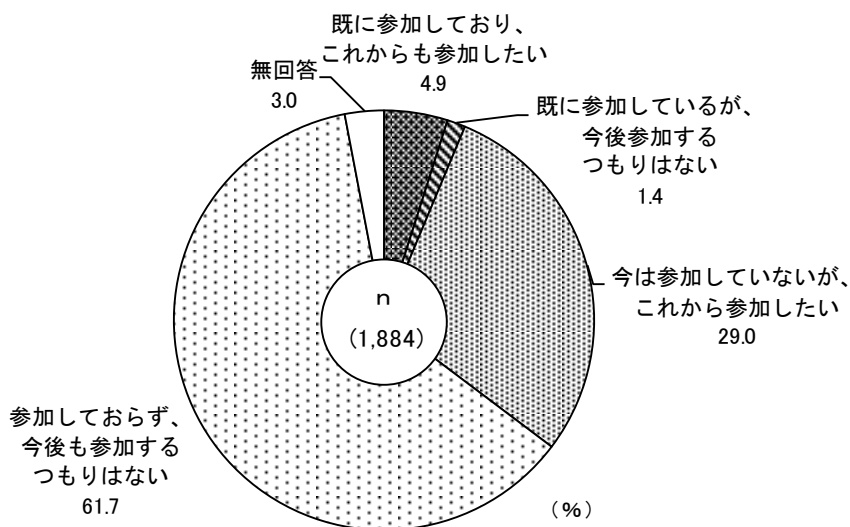


## 6. 環境保全活動について

### (1) 環境保全活動への参加意向

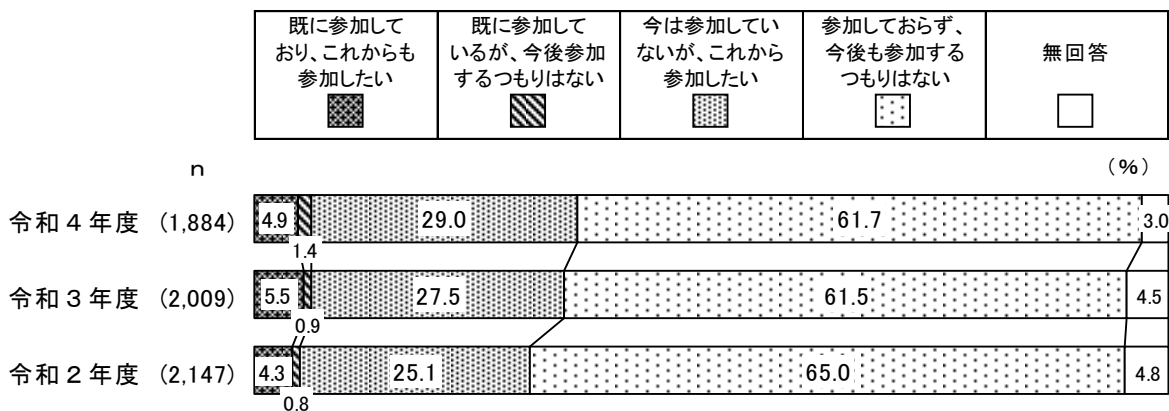
問 27 豊島区内には、清掃・リサイクル活動、公園・広場・小中学校の花壇や植物等のみどりの維持管理活動など様々な環境保全活動に取り組んでいるグループがあります。あなたは、こうした活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

環境保全活動に参加したいか聞いたところ、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」(61.7%)が6割を超えている。「既に参加しており、これからも参加したい」(4.9%)と「既に参加しているが、今後参加するつもりはない」(1.4%)はともにわずかとなっており、「今は参加していないが、これから参加したい」(29.0%)が3割近くとなっている。



#### 【経年比較】

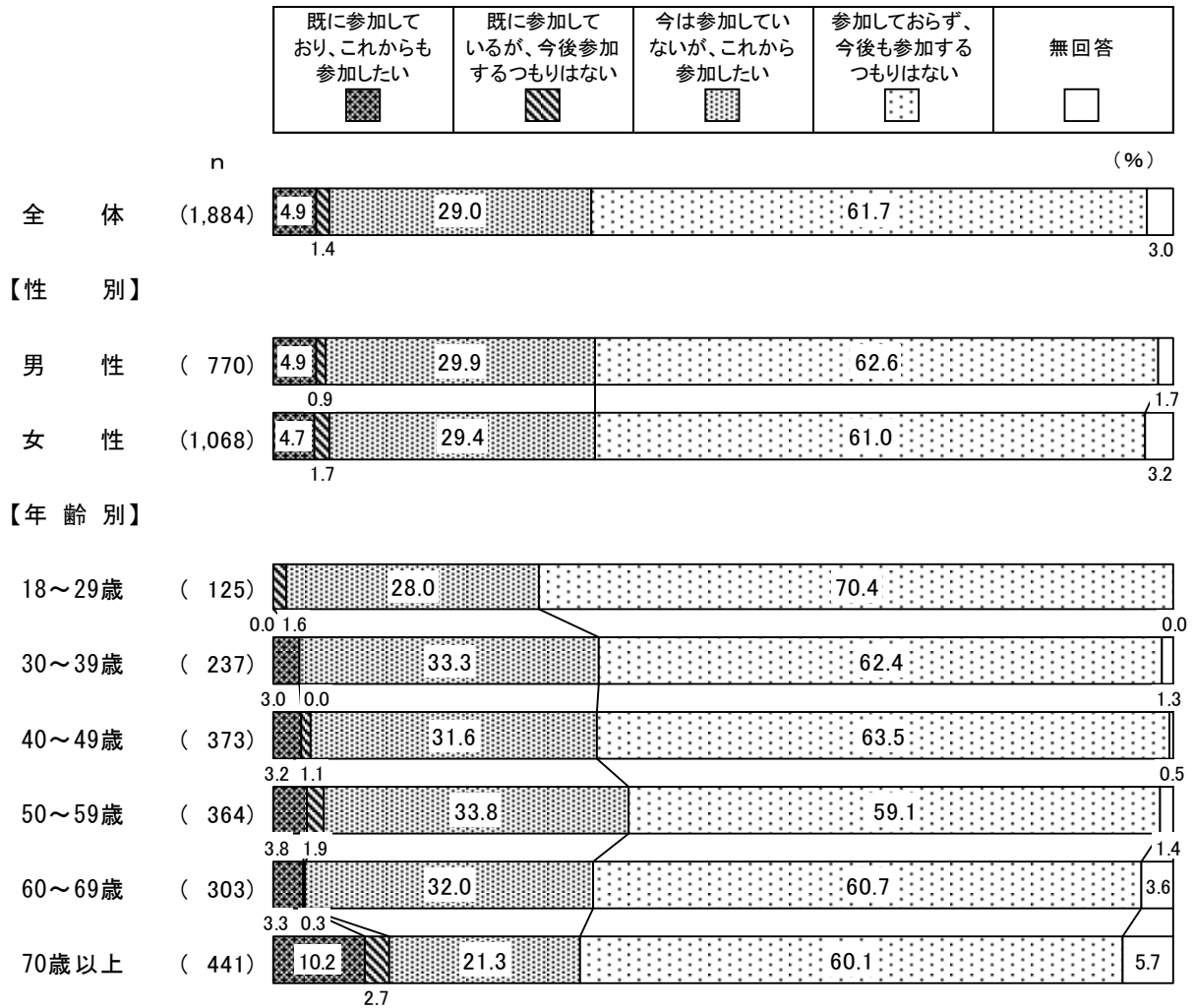
過去の調査結果と比較すると、令和2年度以降、「今は参加していないが、これから参加したい」は増加傾向となっている。



【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、「既に参加しており、これからも参加したい」は70歳以上（10.2%）で1割となっている。一方、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」は18～29歳（70.4%）で7割と高くなっている。

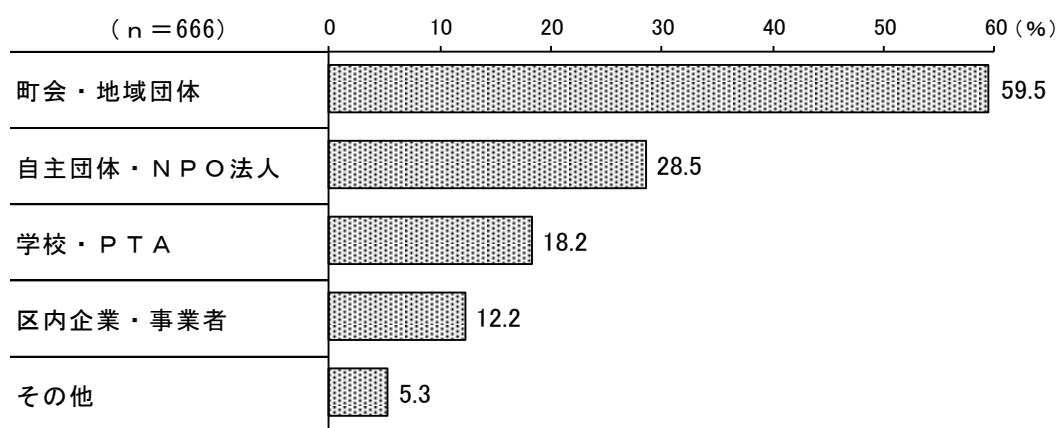


(2) 現在参加している、参加したいグループ

《問 27 で、「既に参加しており、これからも参加したい」「既に参加しているが、今後参加するつもりはない」「今は参加していないが、これから参加したい」とお答えの方におたずねします》

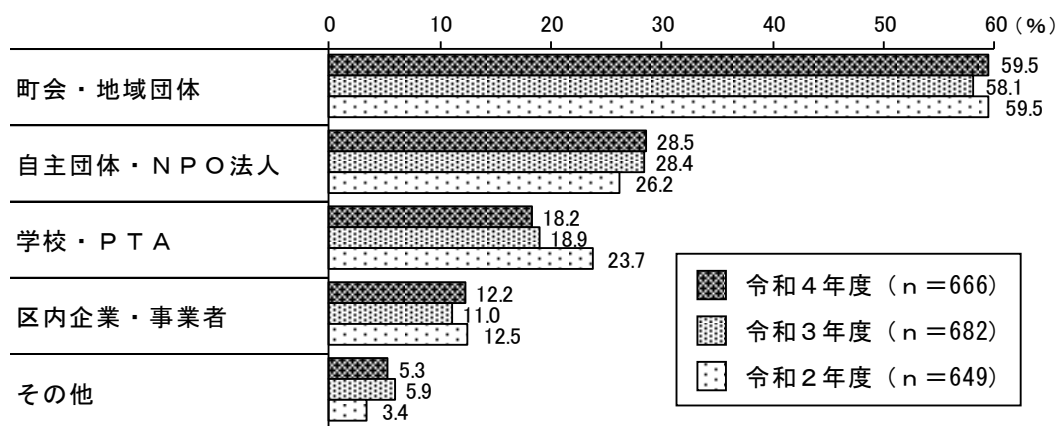
問 27-1 現在参加している、もしくはこれから参加したいと思っているグループとは具体的に何ですか。(いくつでも○)

環境保全活動への参加意向で、「既に参加しており、これからも参加したい」、「既に参加しているが、今後参加するつもりはない」、「今は参加していないが、これから参加したい」と答えた方に、参加している、もしくは参加したいと思っているグループとは具体的に何か聞いたところ、「町会・地域団体」(59.5%)が6割で最も高く、次いで「自主団体・NPO法人」(28.5%)、「学校・PTA」(18.2%)、「区内企業・事業者」(12.2%)となっている。



【経年比較】

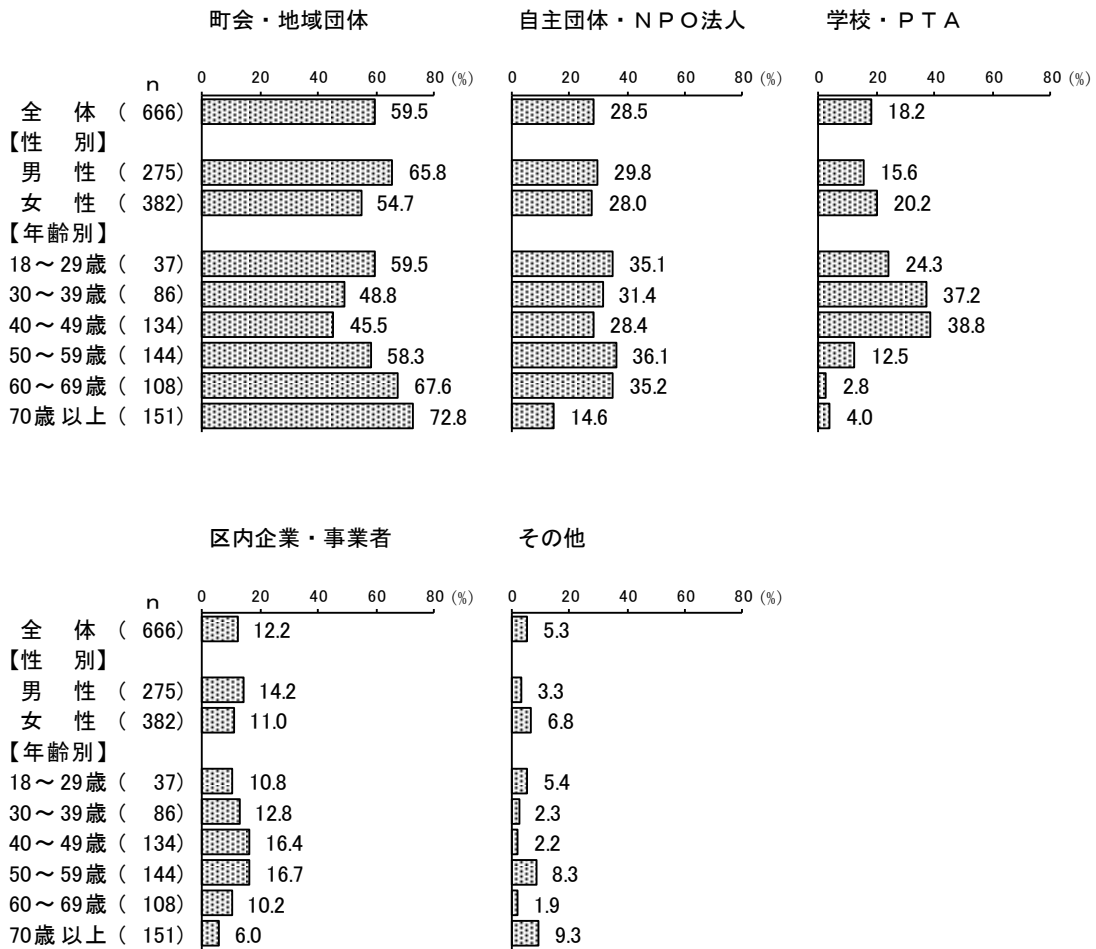
過去の調査結果と比較すると、「学校・PTA」は令和2年度と比べて5.5ポイント減少している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「町会・地域団体」は男性（65.8%）が女性（54.7%）より11.1ポイント高くなっている。一方、「学校・PTA」は女性（20.2%）が男性（15.6%）より4.6ポイント高くなっている。

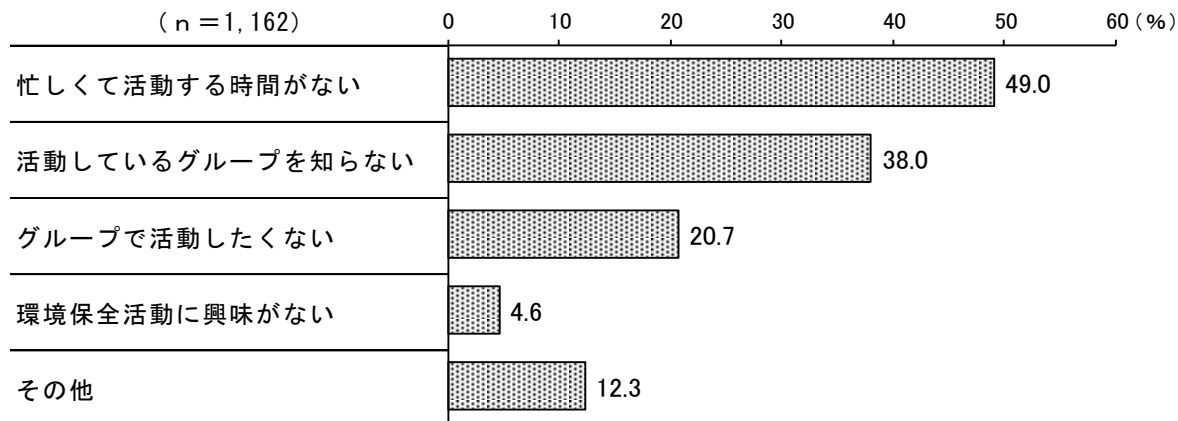
年齢別でみると、「町会・地域団体」は70歳以上（72.8%）で7割を超え、60～69歳（67.6%）で7割近くと高くなっている。「学校・PTA」は30～39歳（37.2%）、40～49歳（38.8%）で4割近くと高くなっている。



(3) 参加するつもりがない理由

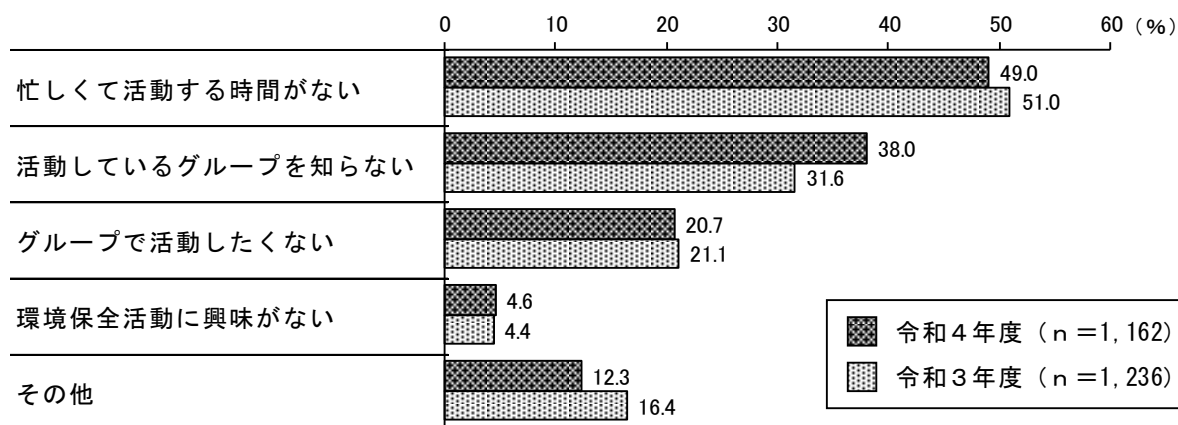
《問27で、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」とお答えの方におたずねします》  
 問27-2 参加するつもりがない理由とは具体的に何ですか。(いくつでも○)

環境保全活動への参加意向で、「参加しておらず、今後も参加するつもりはない」と答えた方に、参加するつもりがない理由を聞いたところ、「忙しくて活動する時間がない」(49.0%)が5割近くで最も高く、次いで「活動しているグループを知らない」(38.0%)、「グループで活動したくない」(20.7%)、「環境保全活動に興味がない」(4.6%)となっている。



【経年比較】

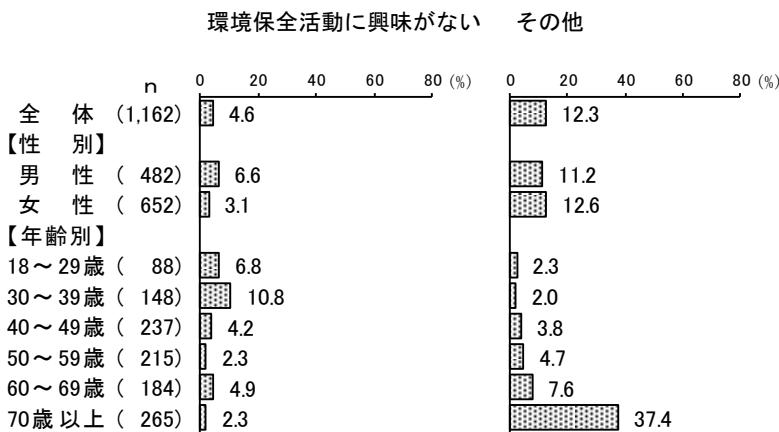
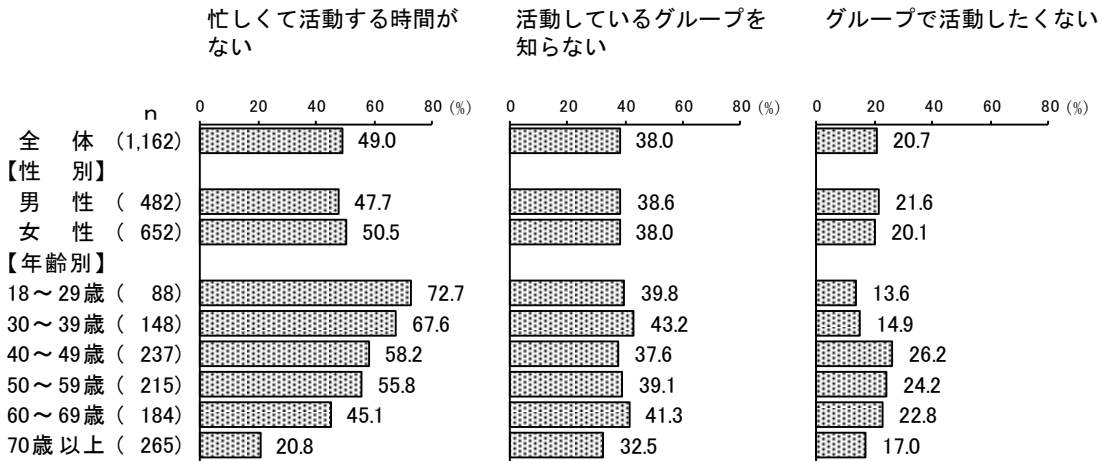
過去の調査結果と比較すると、「活動しているグループを知らない」は令和3年度より6.4ポイント増加している。



【性別、年齢別】

性別でみると、「忙しくて活動する時間がない」は女性（50.5%）が男性（47.7%）より2.8ポイント高くなっている。一方、「環境保全活動に興味がない」は男性（6.6%）が女性（3.1%）より3.5ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「忙しくて活動する時間がない」は18～29歳（72.7%）で7割を超え、30～39歳（67.6%）で7割近くと高くなっている。「活動しているグループを知らない」は30～39歳（43.2%）、60～69歳（41.3%）で4割を超えている。

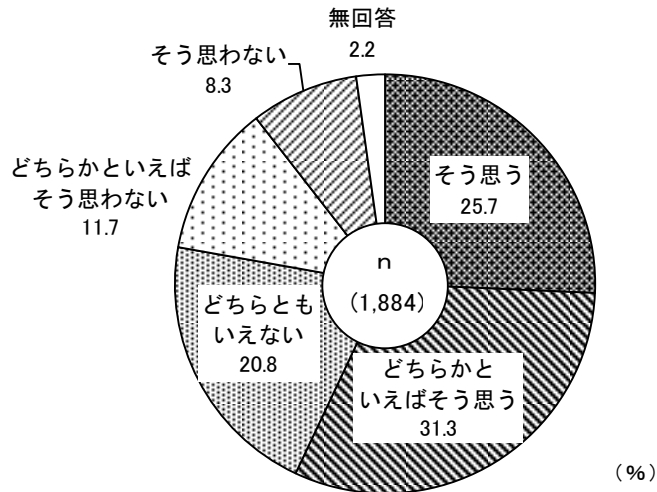


## 7. 公園の利活用について

### (1) 公園が地域交流の場として役立っているか

問 28 あなたは、公園が地域の交流の場として役立っていると思いますか。(1つに○)

公園が地域交流の場として役立っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(25.7%)と「どちらかといえばそう思う」(31.3%)を合わせた『そう思う(計)』(57.0%)は6割近くとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(11.7%)と「そう思わない」(8.3%)を合わせた『そう思わない(計)』(20.0%)は2割となっている。

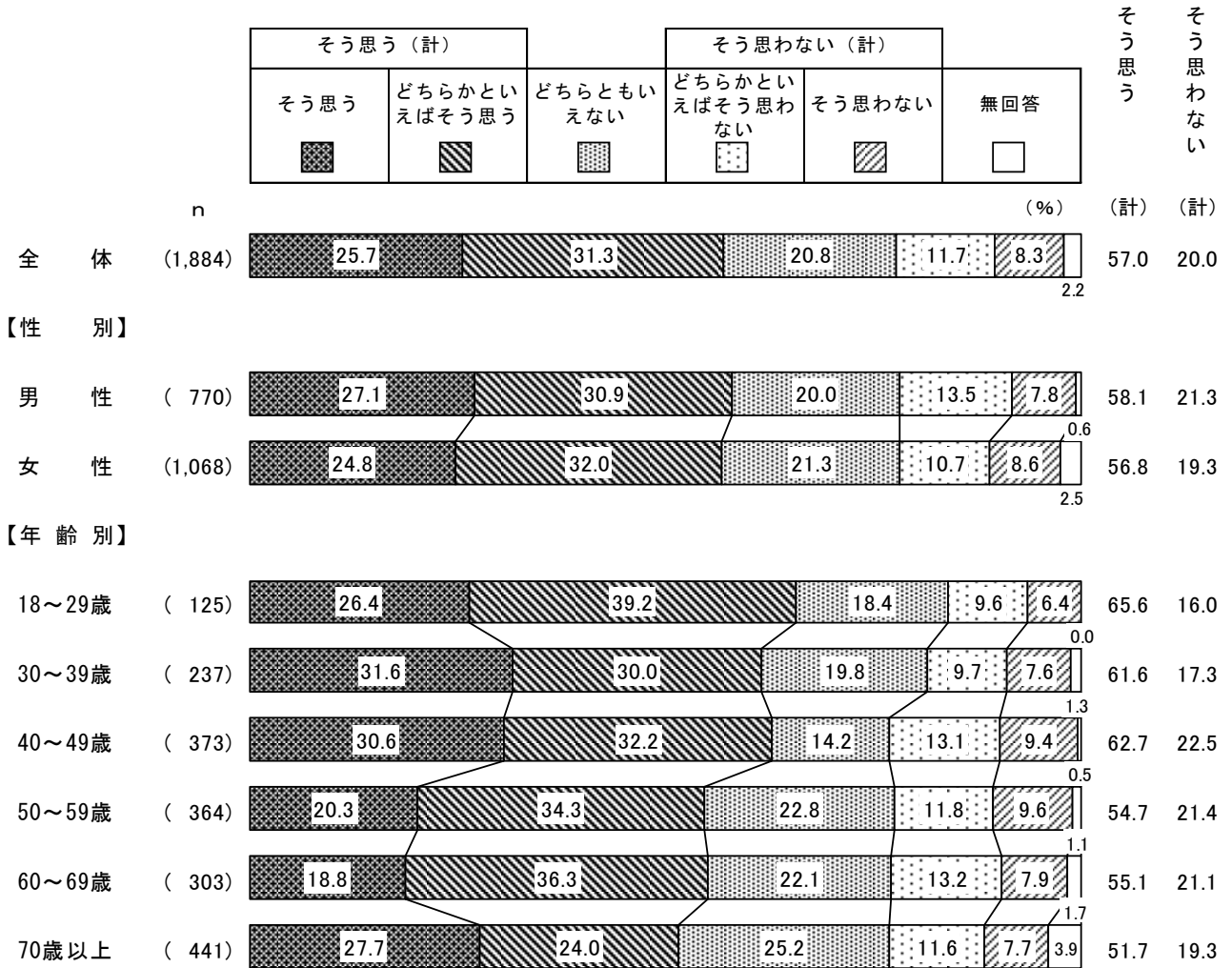




【性別、年齢別】

性別でみると、大きな違いはみられない。

年齢別でみると、『そう思う（計）』は18～29歳（65.6%）、30～39歳（61.6%）、40～49歳（62.7%）で6割を超えている。



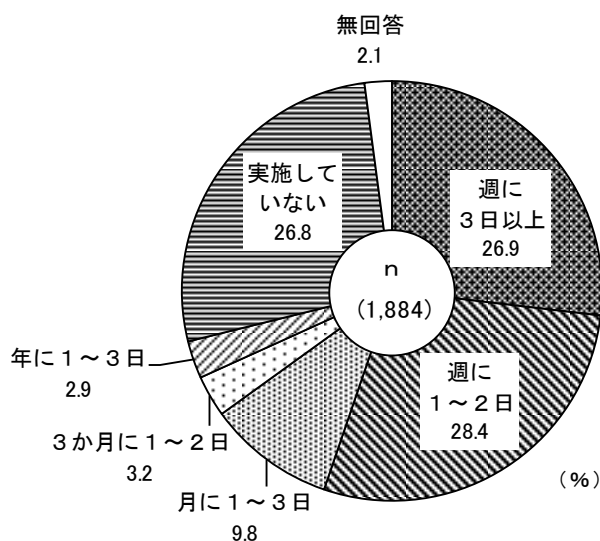
## 8. スポーツについて

### (1) スポーツの実施頻度

問 29 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

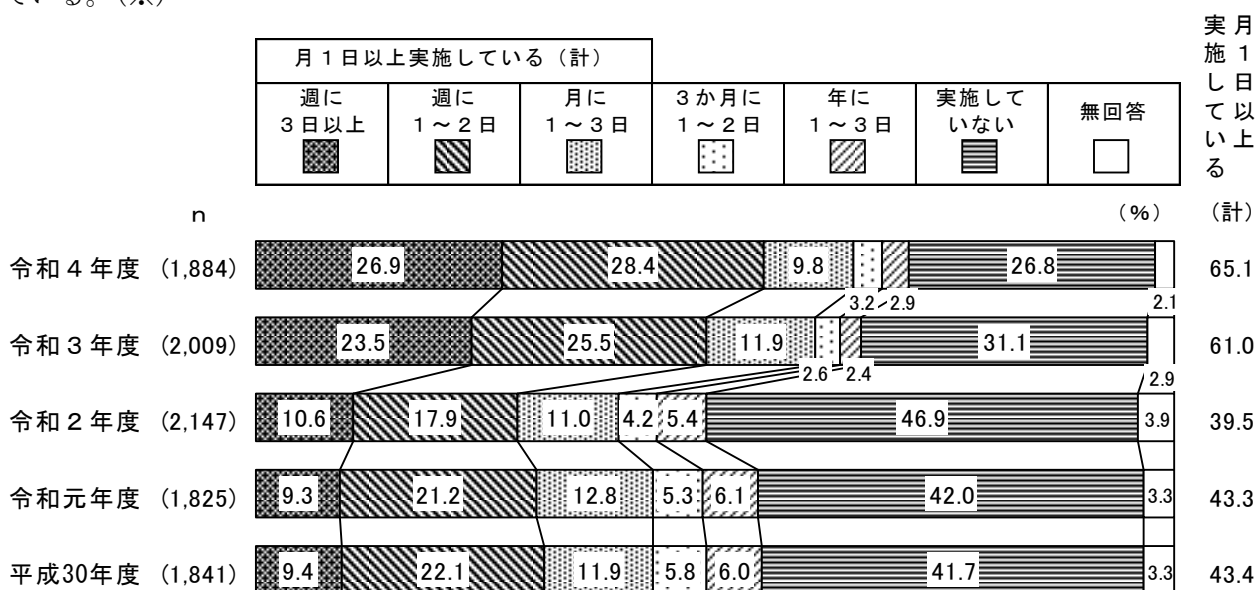
※本調査におけるスポーツの定義…ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキング、介護予防のためのトレーニングなどの他に、日常生活の中の階段の昇り降り、気分転換に行う軽い体操やレクリエーションなど、自発的に楽しむ運動をスポーツとして扱います。

スポーツの実施頻度を聞いたところ、「週に3日以上」(26.9%)、「週に1～2日」(28.4%)、「月に1～3日」(9.8%)を合わせた『月1日以上実施している(計)』(65.1%)は6割半ばとなっている。「3か月に1～2日」(3.2%)と「年に1～3日」(2.9%)はともに1割未満となっている。一方、「実施していない」(26.8%)は3割近くとなっている。



#### 【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、『月1日以上実施している(計)』は令和3年度より4.1ポイント増加している。(※)



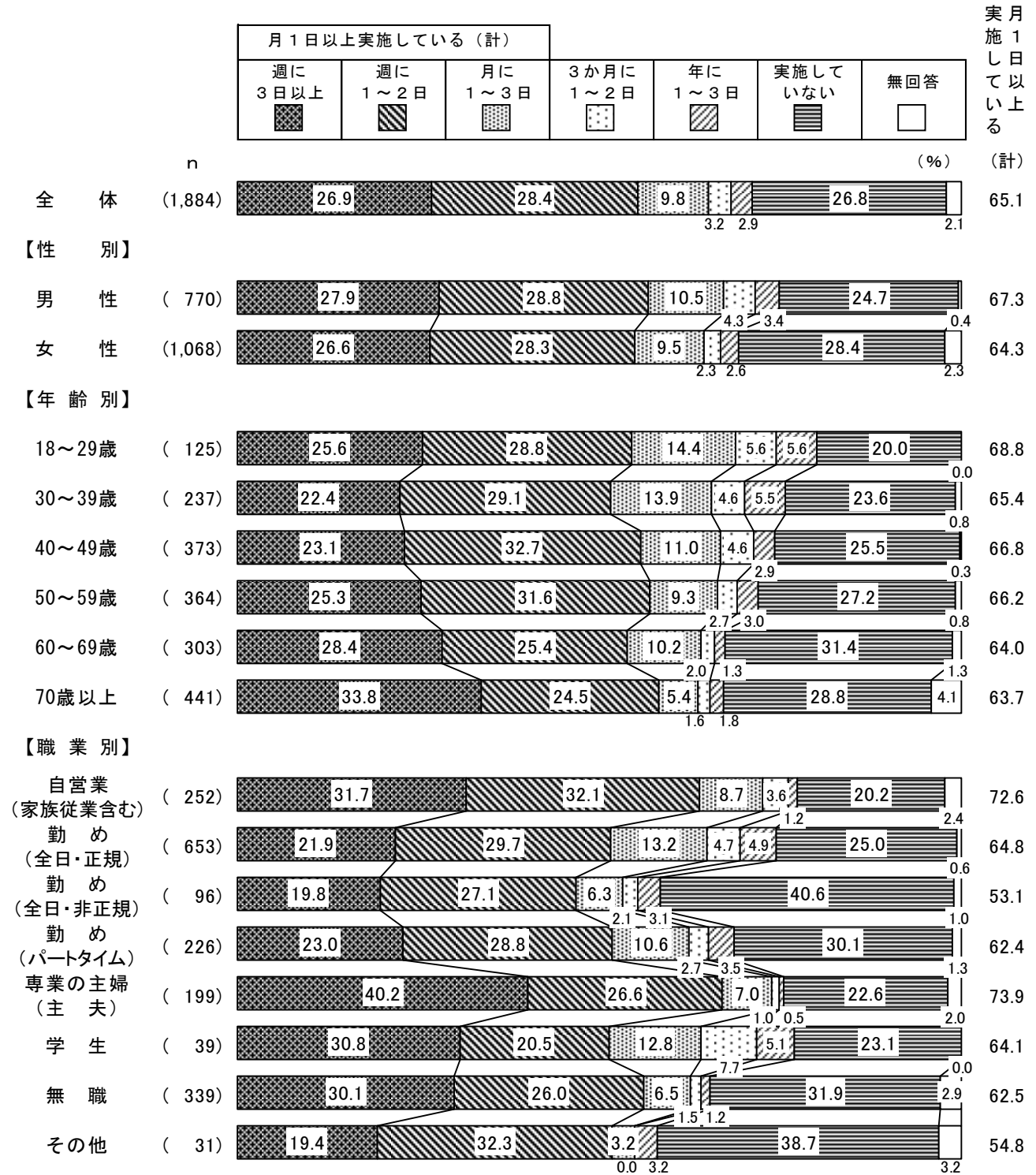
※令和3年度調査から質問文に「本調査におけるスポーツの定義」を加えた

【性別、年齢別、職業別】

性別でみると、『月1日以上実施している（計）』は男性（67.3%）が女性（64.3%）より3.0ポイント高くなっている。一方、「実施していない」は女性（28.4%）が男性（24.7%）より3.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「週に3日以上」は70歳以上（33.8%）で3割半ばと高くなっている。

職業別でみると、『月1日以上実施している（計）』は専業主婦（主夫）（73.9%）、自営業（家族従業員含む）（72.6%）で7割を超えて高くなっている。



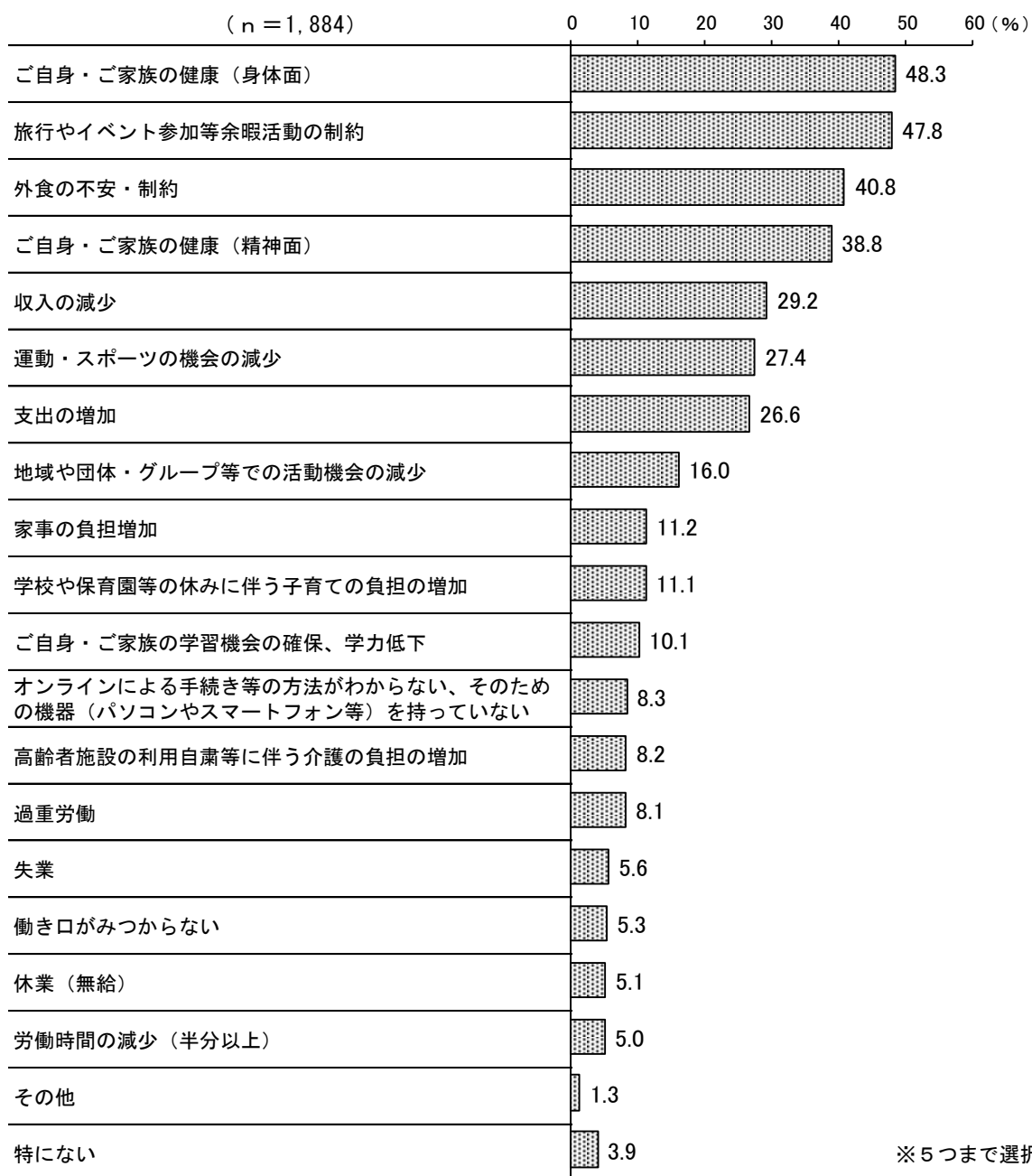
## 9. 新型コロナウイルス感染症に関することについて

### (1) 現在の日常生活での困りごとや不安に思うこと

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。

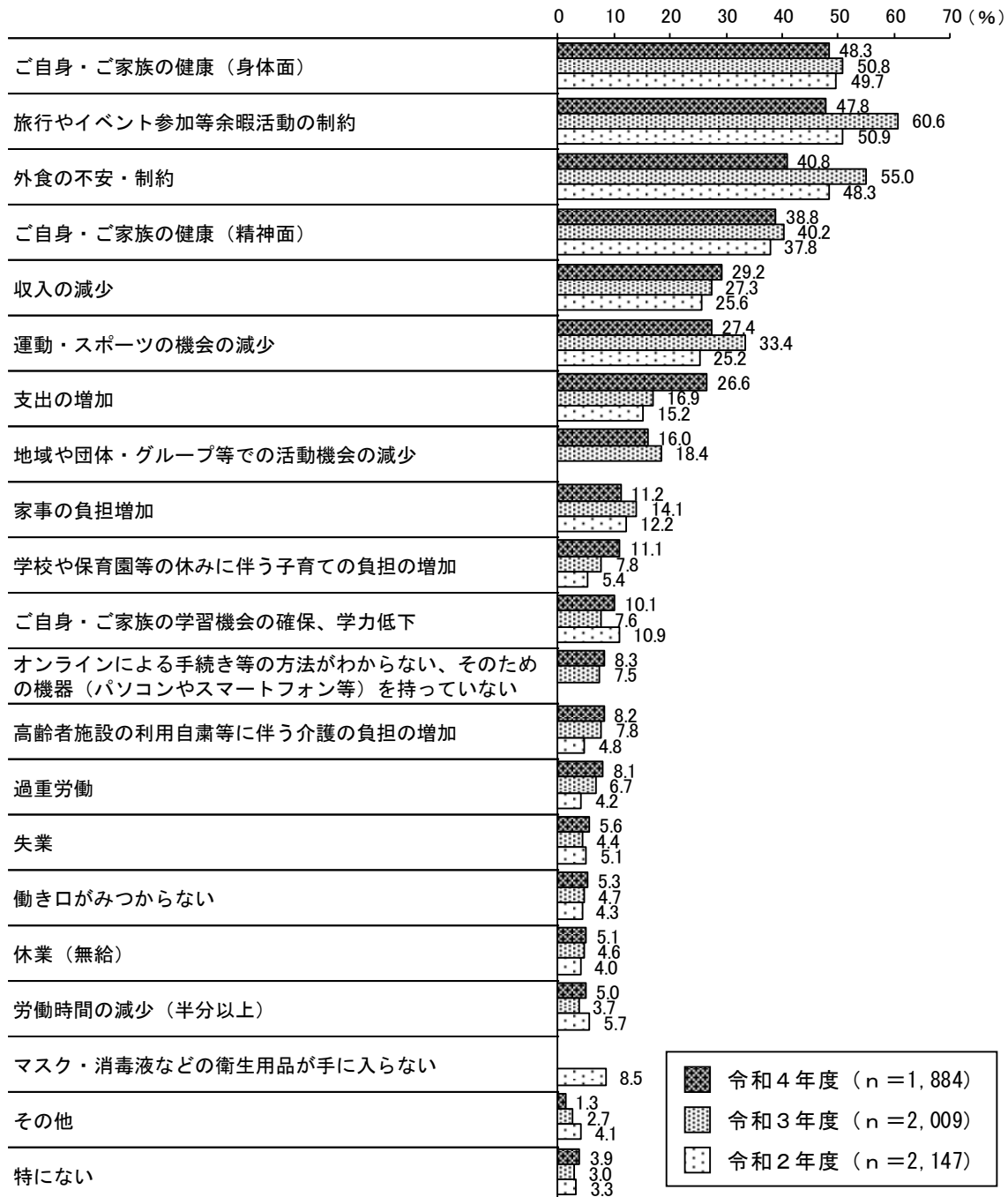
また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

現在の日常生活での困りごとや不安に思うことを聞いたところ、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」(48.3%) が5割近くで最も高く、次いで「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」(47.8%)、「外食の不安・制約」(40.8%)、「ご自身・ご家族の健康（精神面）」(38.8%) となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「外食の不安・制約」は令和3年度より14.2ポイント、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は令和3年度より12.8ポイント、「運動・スポーツの機会の減少」は令和3年度より6.0ポイント、それぞれ減少している。一方、「支出の増加」は令和3年度より9.7ポイント増加している。

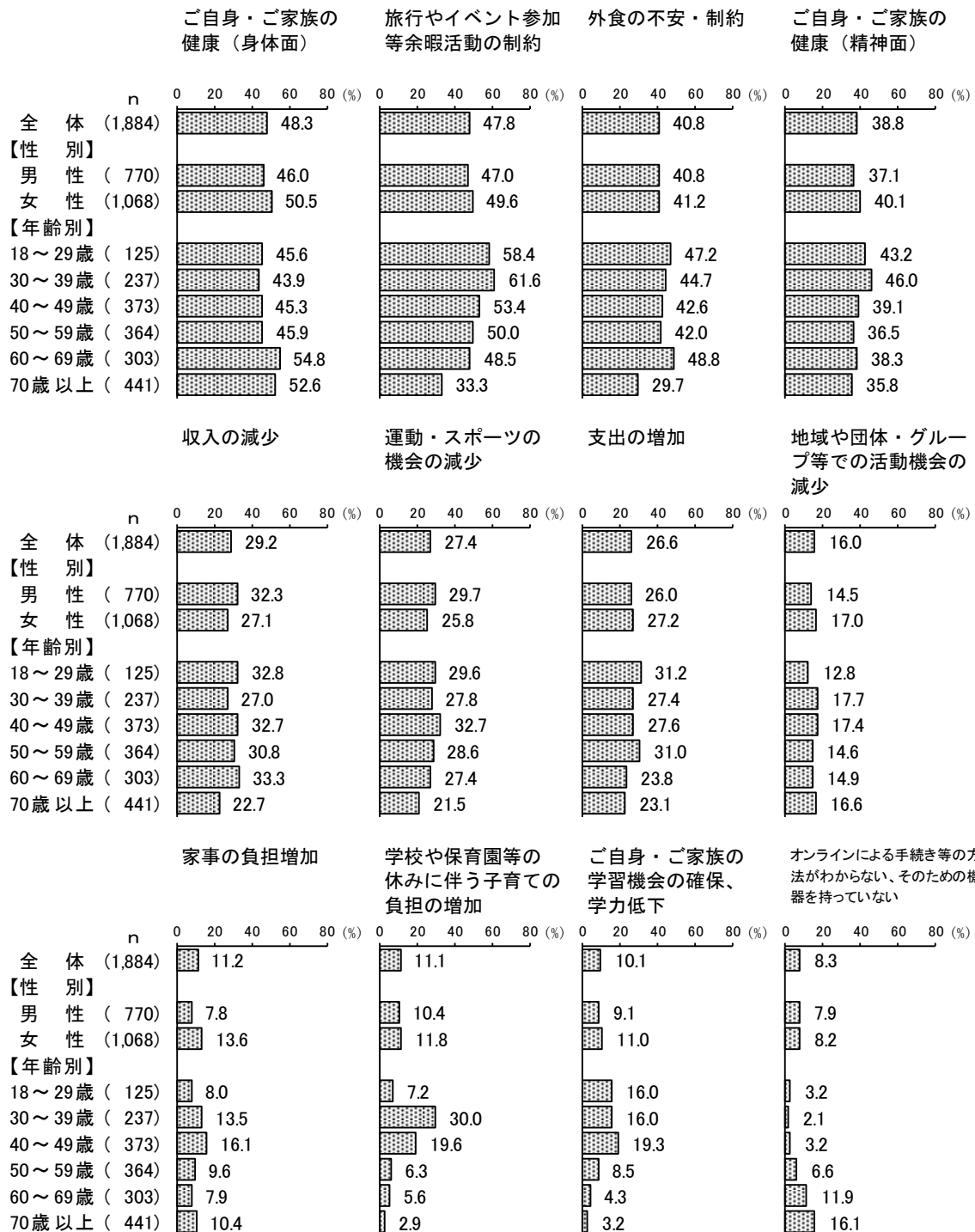


- ※ 「地域や団体・グループ等での活動機会の減少」、「オンラインによる手続き等の方法がわからない、そのための機器 (パソコンやスマートフォン等) を持っていない」は令和3年度調査からの選択肢
- ※ 「マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない」は令和2年度調査だけの選択肢

【性別、年齢別】(上位12項目)

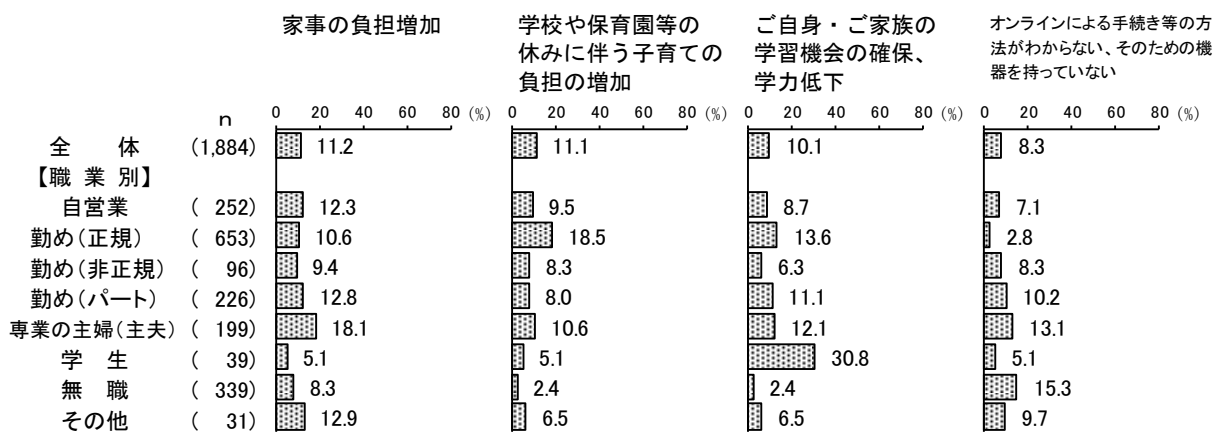
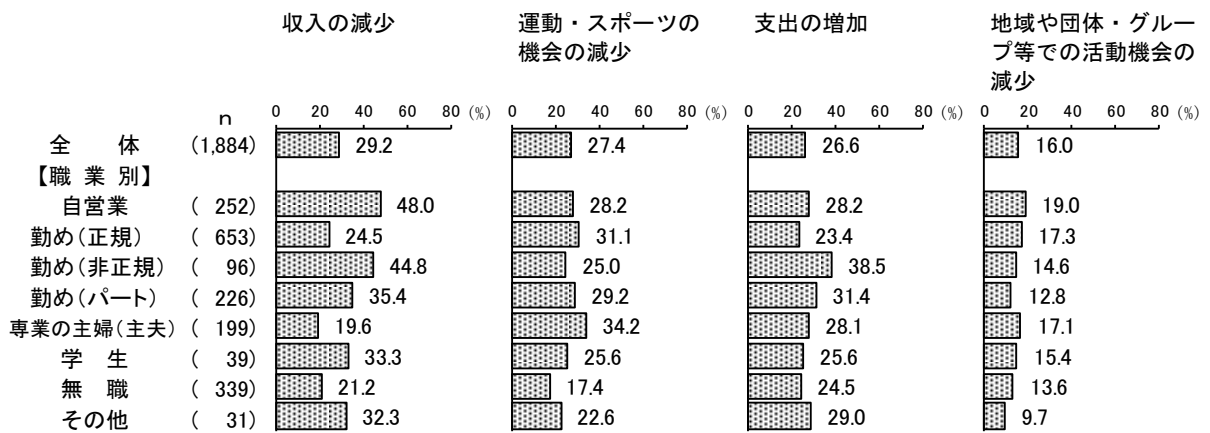
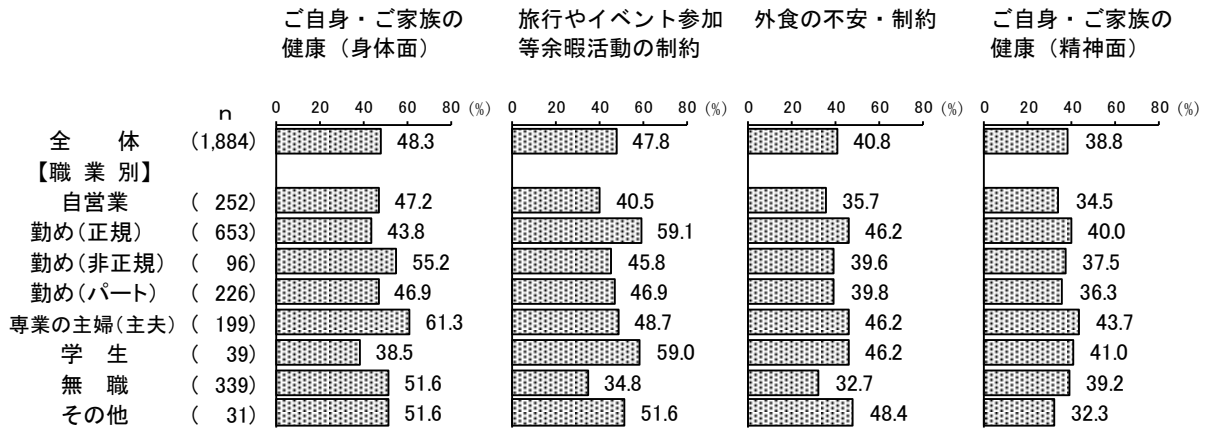
性別でみると、「家事の負担増加」は女性(13.6%)が男性(7.8%)より5.8ポイント、「ご自身・ご家族の健康(身体面)」は女性(50.5%)が男性(46.0%)より4.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「収入の減少」は男性(32.3%)が女性(27.1%)より5.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「ご自身・ご家族の健康(身体面)」は60~69歳(54.8%)、70歳以上(52.6%)で5割台と高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は18~29歳(58.4%)、30~39歳(61.6%)で6割前後と高くなっている。「外食の不安・制約」は18~29歳(47.2%)、60~69歳(48.8%)で5割近くと高くなっている。



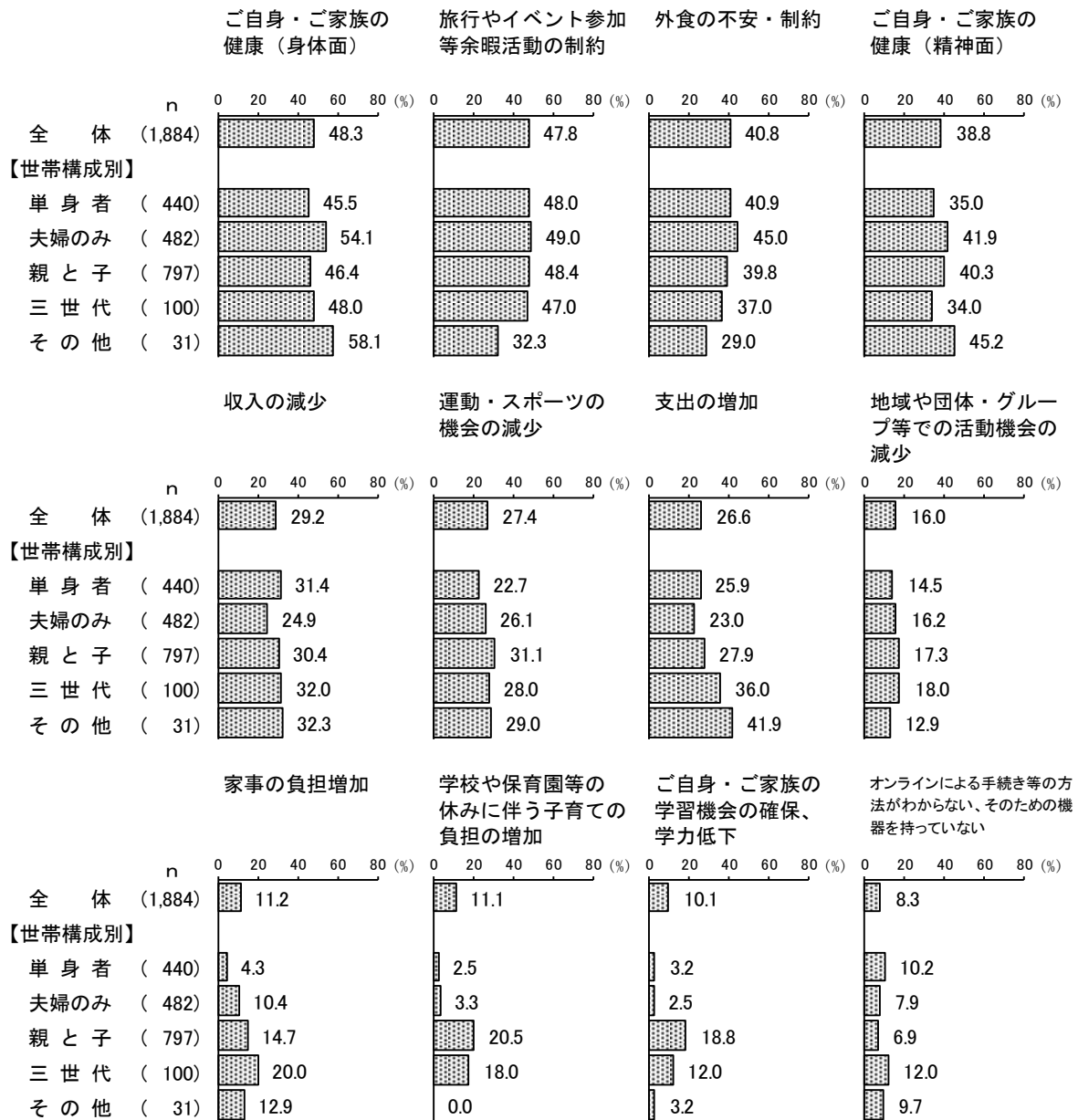
【職業別】（上位12項目）

職業別でみると、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は専業の主婦（主夫）（61.3%）で6割を超えて高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は勤め（全日・正規）（59.1%）、学生（59.0%）で6割近くと高くなっている。「外食の不安・制約」は勤め（全日・正規）（46.2%）、専業の主婦（主夫）（46.2%）、学生（46.2%）で4割半ばと高くなっている。「収入の減少」は自営業（家族従業員含む）（48.0%）で5割近く、勤め（全日・非正規）（44.8%）で4割半ばと高くなっている。



【世帯構成別】（上位12項目）

世帯構成別でみると、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は夫婦のみ（54.1%）で5割半ばと高くなっている。「運動・スポーツの機会の減少」は親子（31.1%）で3割を超えて高くなっている。「支出の増加」は三世代（36.0%）で3割半ばと高くなっている。



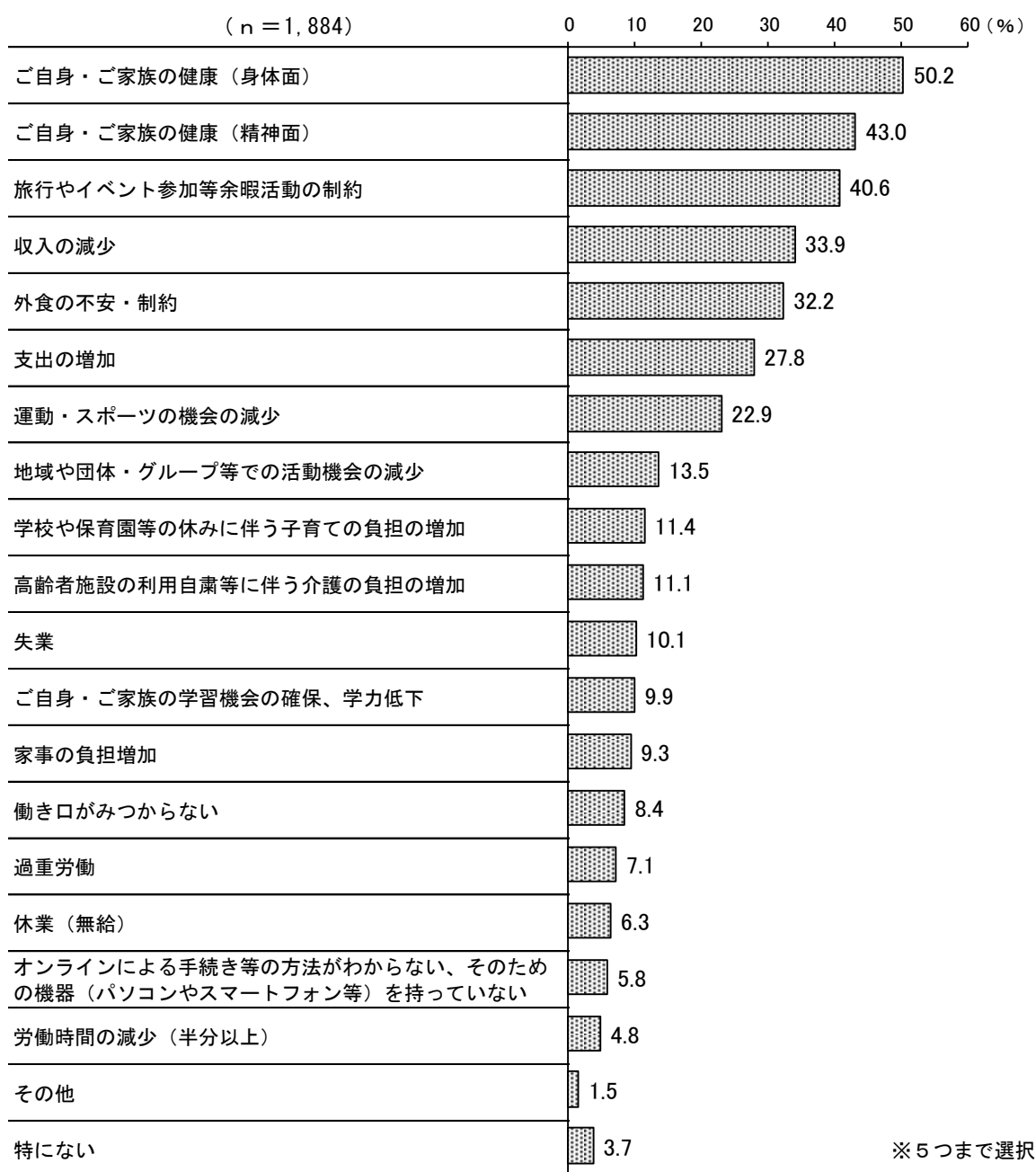


(2) 今後の日常生活での困りごとや不安に思うこと

問30 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。

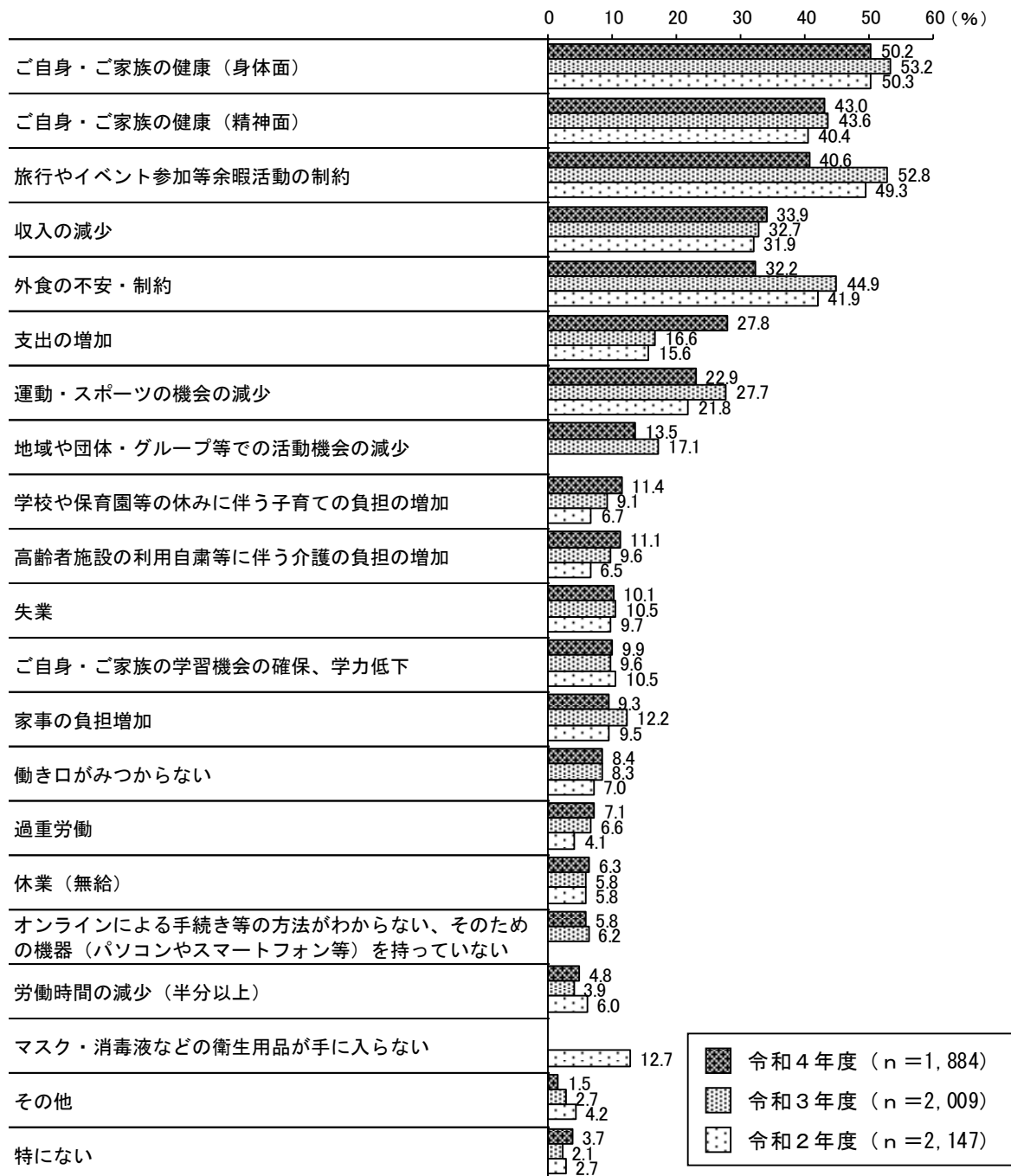
また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

今後の日常生活での困りごとや不安に思うことを聞いたところ、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」(50.2%)が5割で最も高く、次いで「ご自身・ご家族の健康（精神面）」(43.0%)、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」(40.6%)、「収入の減少」(33.9%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、「外食の不安・制約」は令和3年度より12.7ポイント、「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は令和3年度より12.2ポイント、「運動・スポーツの機会の減少」は令和3年度より4.8ポイント、それぞれ減少している。一方、「支出の増加」は令和3年度より11.2ポイント増加している。

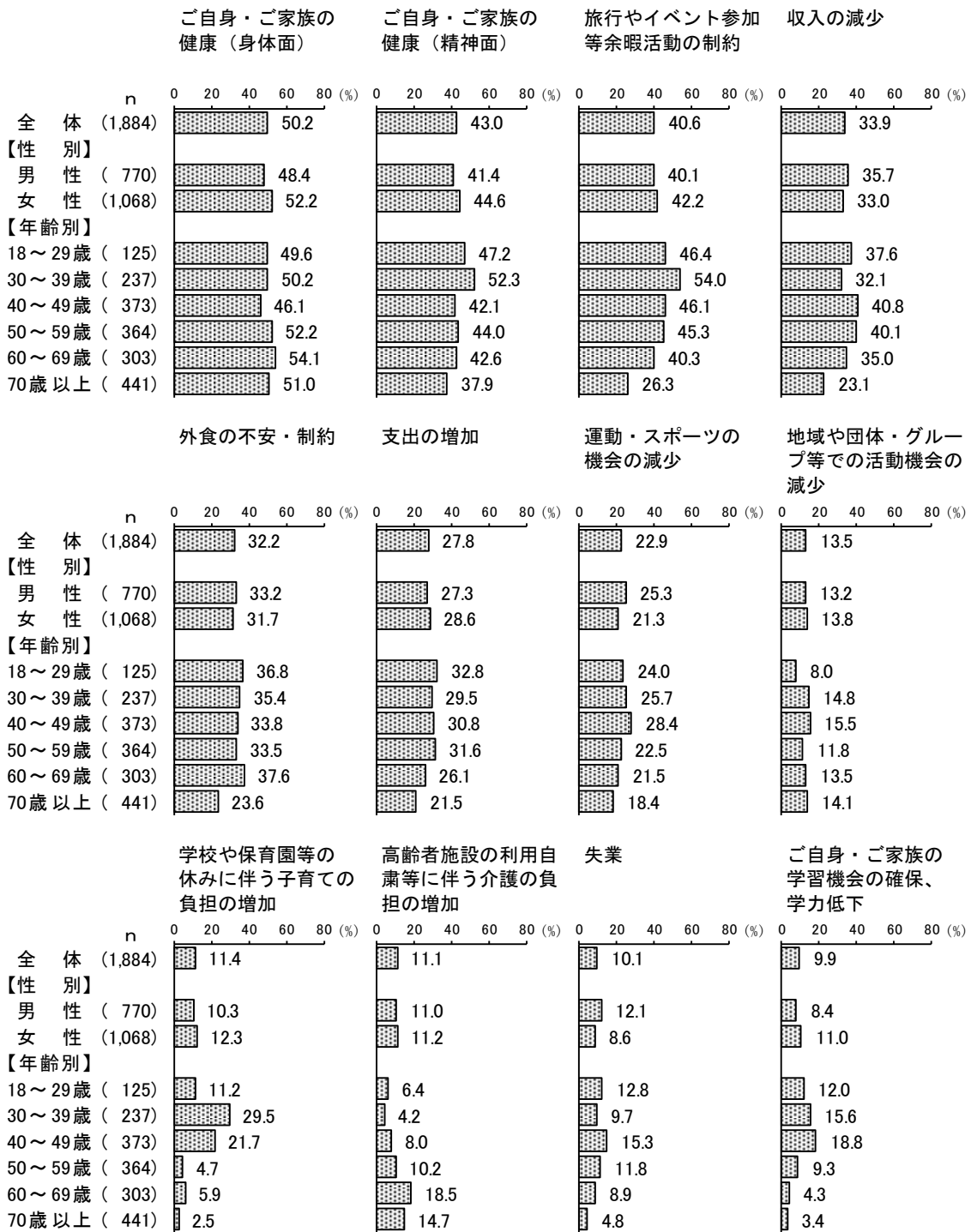


- ※ 「地域や団体・グループ等での活動機会の減少」、「オンラインによる手続き等の方法がわからない、そのための機器 (パソコンやスマートフォン等) を持っていない」は令和3年度調査からの選択肢
- ※ 「マスク・消毒液などの衛生用品が手に入らない」は令和2年度調査だけの選択肢

【性別、年齢別】(上位12項目)

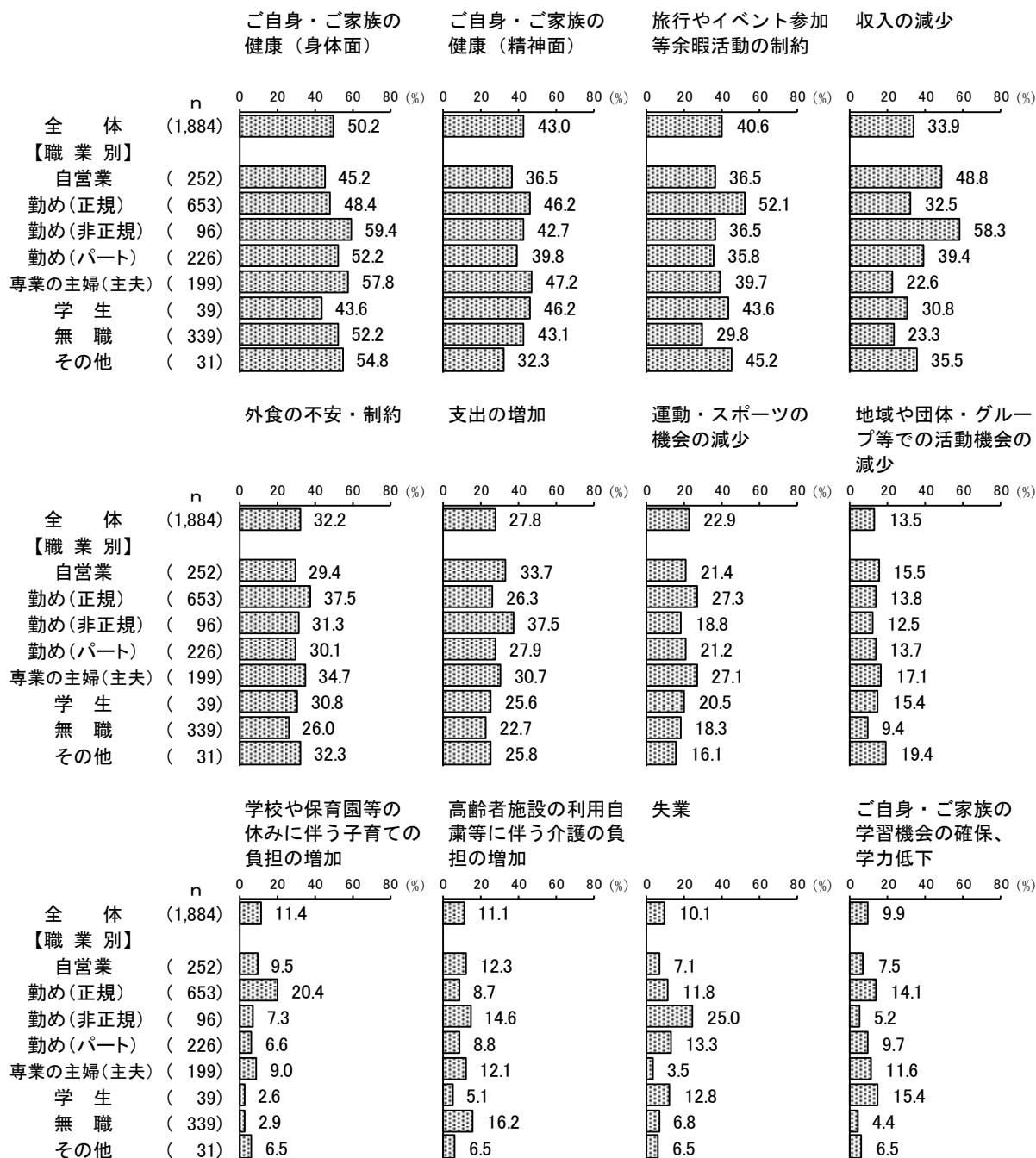
性別でみると、「ご自身・ご家族の健康(身体面)」は女性(52.2%)が男性(48.4%)より3.8ポイント、「ご自身・ご家族の健康(精神面)」は女性(44.6%)が男性(41.4%)より3.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「運動・スポーツの機会の減少」は男性(25.3%)が女性(21.3%)より4.0ポイント、「失業」は男性(12.1%)が女性(8.6%)より3.5ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「ご自身・ご家族の健康(精神面)」は30~39歳(52.3%)で5割を超えて高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は30~39歳(54.0%)で5割半ばと高くなっている。「収入の減少」は40~49歳(40.8%)、50~59歳(40.1%)で約4割と高くなっている。



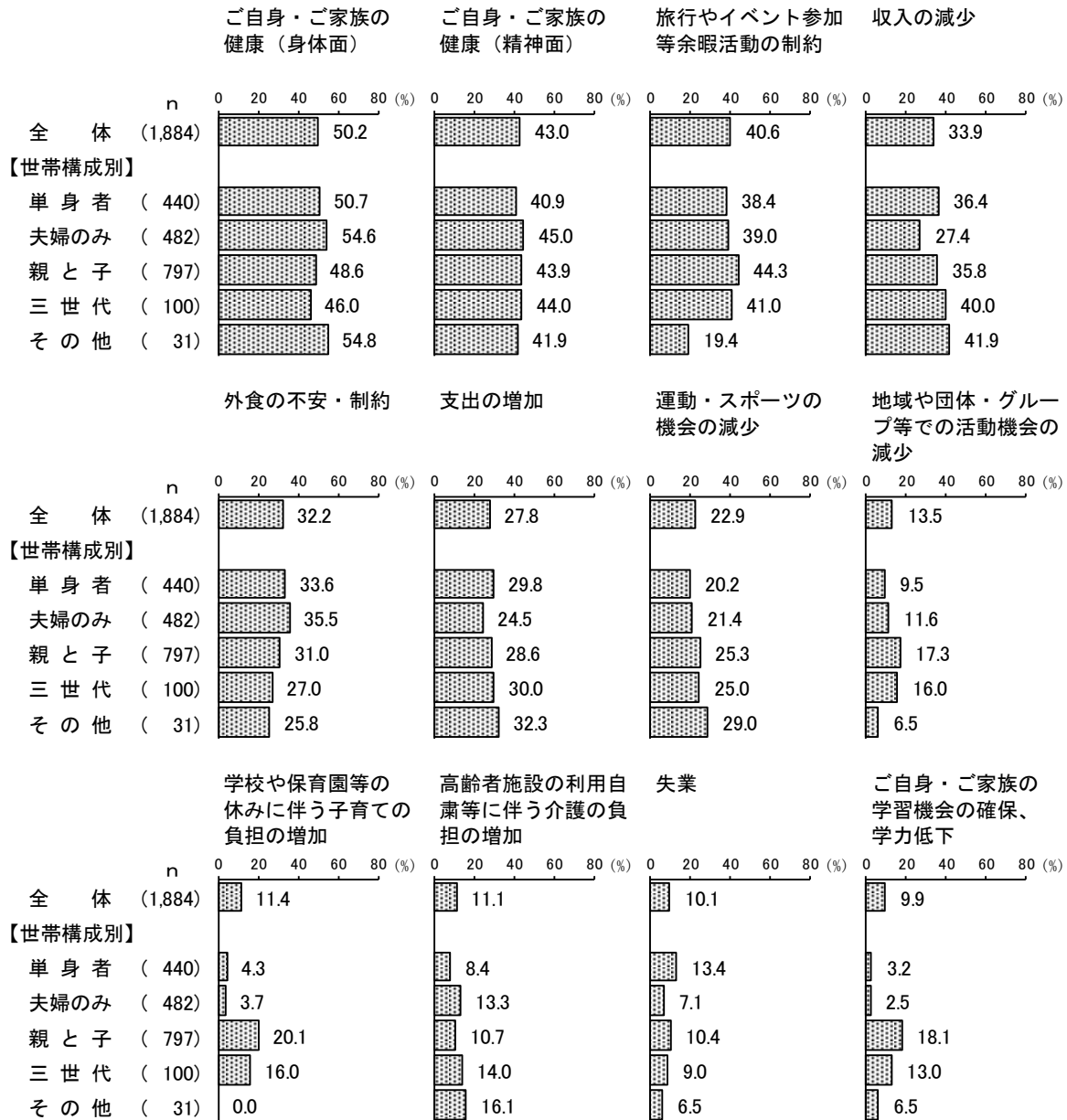
【職業別】（上位12項目）

職業別でみると、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は勤め（全日・非正規）（59.4%）、専業の主婦（主夫）（57.8%）で6割近くと高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は勤め（全日・正規）（52.1%）で5割を超えて高くなっている。「収入の減少」は勤め（全日・非正規）（58.3%）で6割近く、自営業（家族従業含む）（48.8%）で5割近くと高くなっている。「外食の不安・制約」は勤め（全日・正規）（37.5%）で4割近くと高くなっている。「支出の増加」は勤め（全日・非正規）（37.5%）で4割近く、自営業（家族従業含む）（33.7%）で3割半ばと高くなっている。



【世帯構成別】（上位12項目）

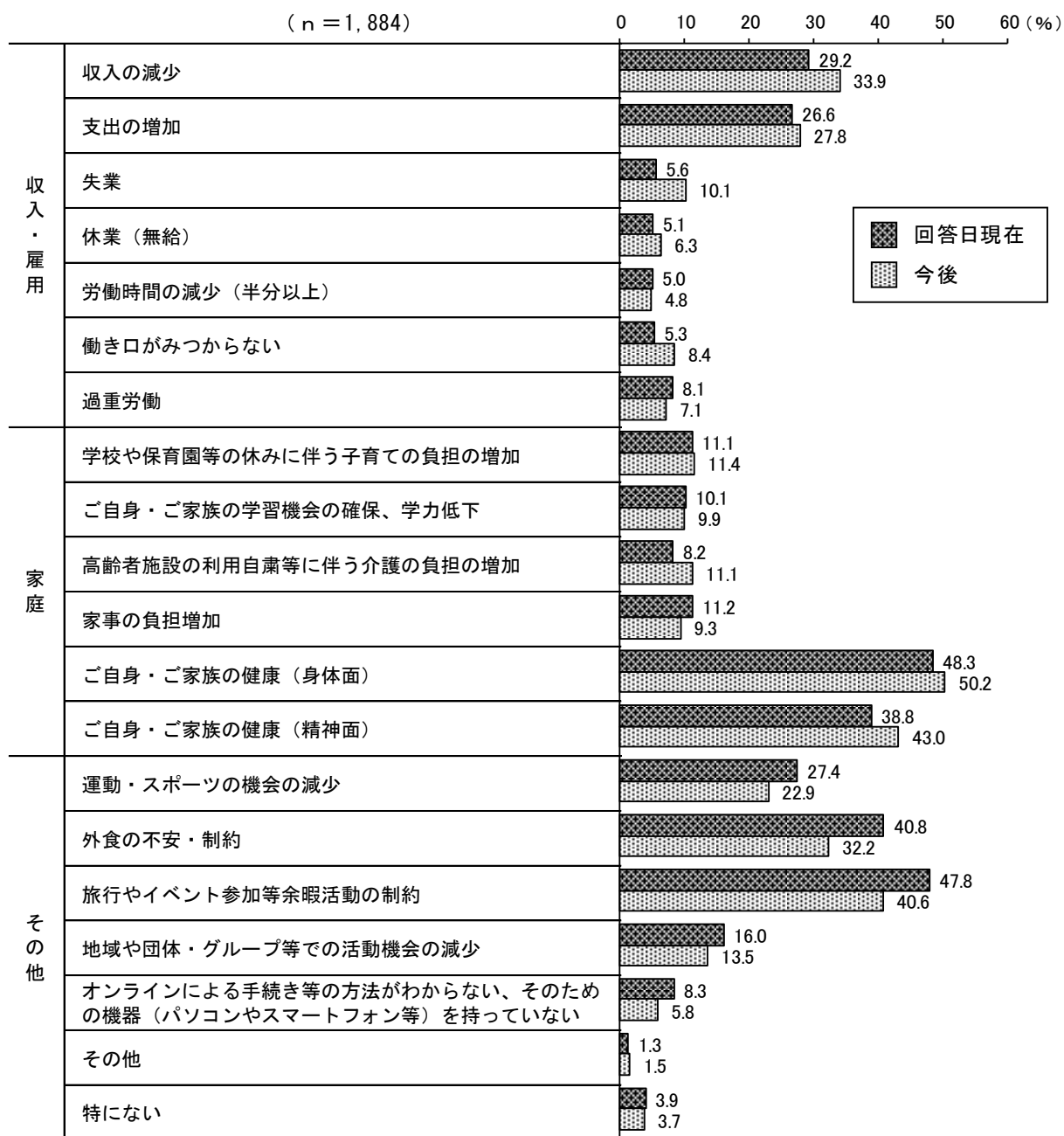
世帯構成別でみると、「ご自身・ご家族の健康（身体面）」は夫婦のみ（54.6%）で5割半ばと高くなっている。「旅行やイベント参加等余暇活動の制約」は親と子（44.3%）で4割半ばと高くなっている。「収入の減少」は三世代（40.0%）で4割と高くなっている。



(3) 日常生活での困りごとや不安に思うことの時系列比較

問30 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。  
 また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(〇はそれぞれ5つまで)

日常生活での困りごとや不安に思うことについて時系列で比較すると、今後の割合が増加している項目で大きいものから「収入の減少」が4.7ポイント、「失業」が4.5ポイント、「ご自身・ご家族の健康(精神面)」が4.2ポイントとなっている。

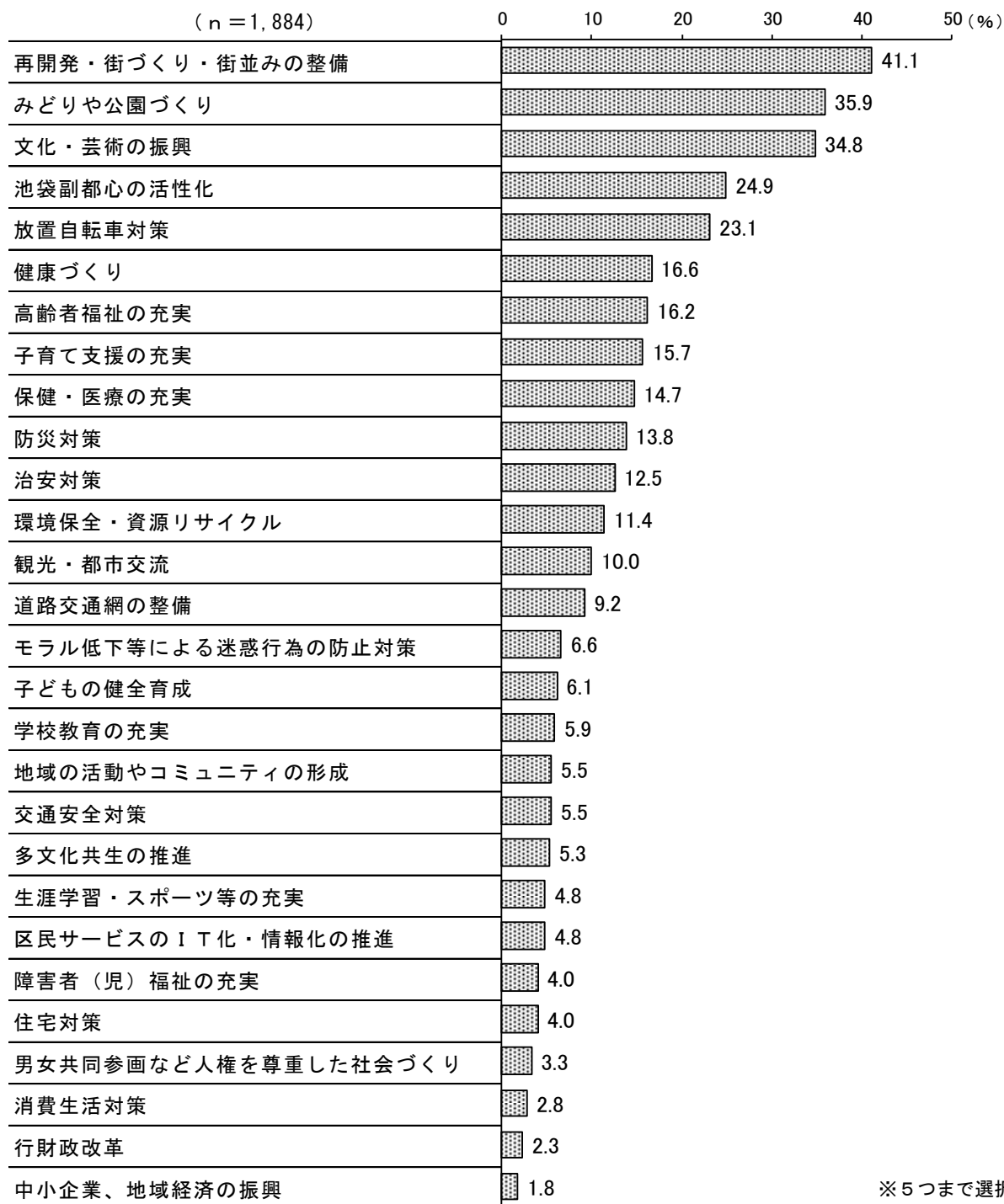


## 10. 区政全般への要望

### (1) 現在、区が力を入れていると思う施策

問31 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。  
(○はそれぞれ5つまで)

現在、区が力を入れていると思う施策を聞いたところ、「再開発・街づくり・街並みの整備」(41.1%)が4割を超えて最も高く、次いで「みどりや公園づくり」(35.9%)、「文化・芸術の振興」(34.8%)、「池袋副都心の活性化」(24.9%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位 10 項目の中で、令和 3 年度より順位が高くなったものは、「高齢者福祉の充実」の 1 項目となっている。

一方、上位 10 項目の中で、令和 3 年度より順位が低くなったものは、「子育て支援の充実」の 1 項目となっている。

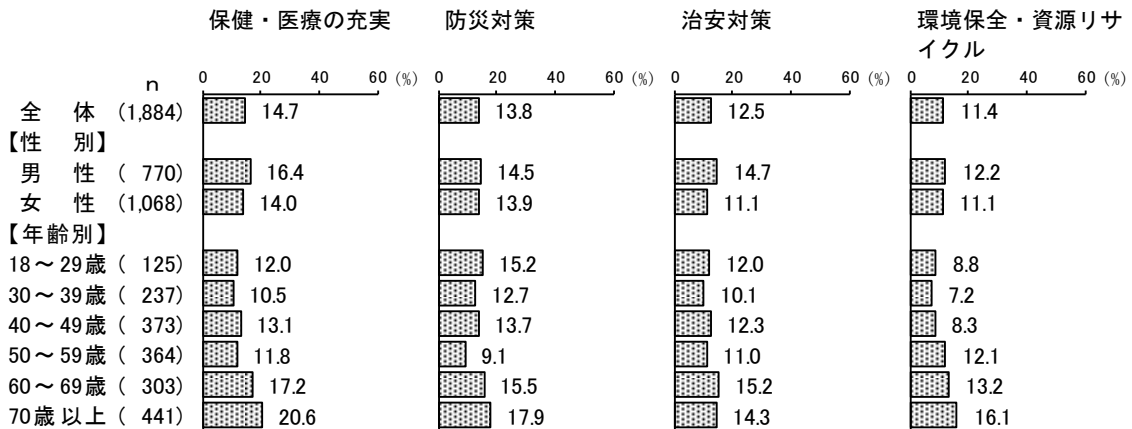
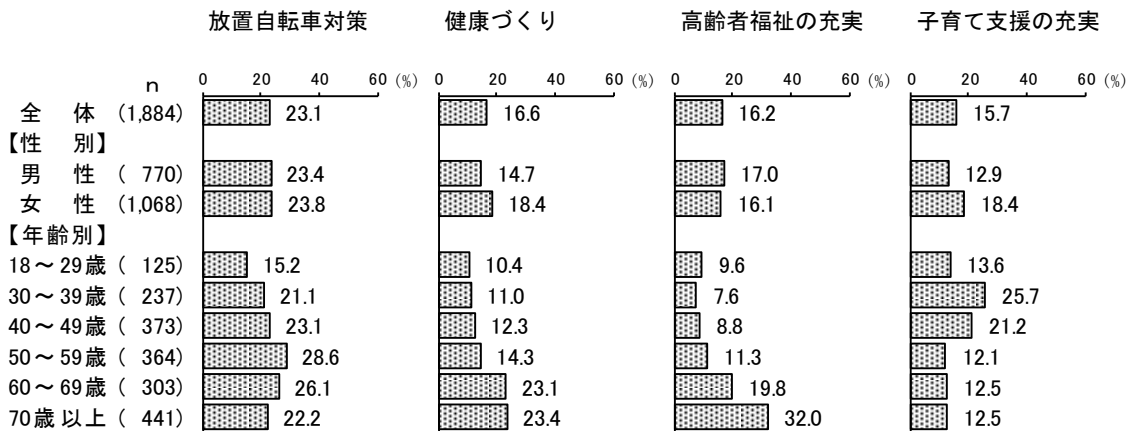
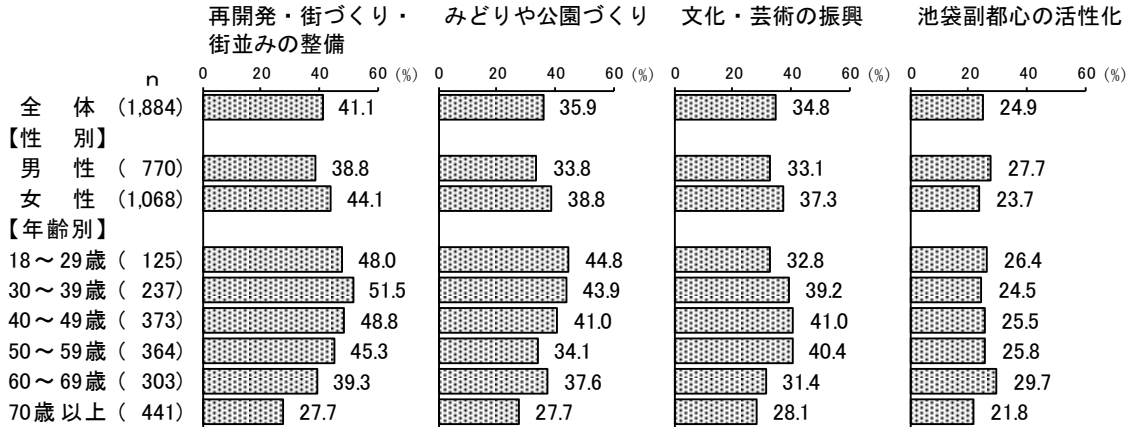
<令和 4 年度>			順位比較	<令和 3 年度>	
順位		%		順位	%
1	再開発・街づくり・街並みの整備	41.1	←-----	1	38.1
2	みどりや公園づくり	35.9	←-----	2	34.8
3	文化・芸術の振興	34.8	←-----	3	32.1
4	池袋副都心の活性化	24.9	←-----	4	26.4
5	放置自転車対策	23.1	←-----	5	25.4
6	健康づくり	16.6	←-----	6	19.0
7	高齢者福祉の充実	16.2	↗-----	8	17.9
8	子育て支援の充実	15.7	↘-----	7	18.5
9	保健・医療の充実	14.7	←-----	9	15.8
10	防災対策	13.8	←-----	10	12.2
11	治安対策	12.5	↗-----	14	10.0
12	環境保全・資源リサイクル	11.4	←-----	12	11.0
13	観光・都市交流	10.0	←-----	13	10.1
14	道路交通網の整備	9.2	↘-----	11	11.3
15	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	6.6	↘-----	16	5.5
16	子どもの健全育成	6.1	←-----	16	5.5
17	学校教育の充実	5.9	↘-----	15	5.9
18	地域の活動やコミュニティの形成	5.5	↘-----	16	5.5
18	交通安全対策	5.5	↗-----	22	4.8
20	多文化共生の推進	5.3	←-----	20	5.3
21	区民サービスの IT 化・情報化の推進	4.8	↘-----	16	5.5
21	生涯学習・スポーツ等の充実	4.8	↗-----	23	3.9
23	障害者（児）福祉の充実	4.0	↘-----	21	4.9
23	住宅対策	4.0	↗-----	24	3.8
25	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	3.3	←-----	25	3.0
26	消費生活対策	2.8	↗-----	27	1.9
27	行財政改革	2.3	↘-----	26	2.3
28	中小企業、地域経済の振興	1.8	←-----	28	1.8



【性別、年齢別】（上位12項目）

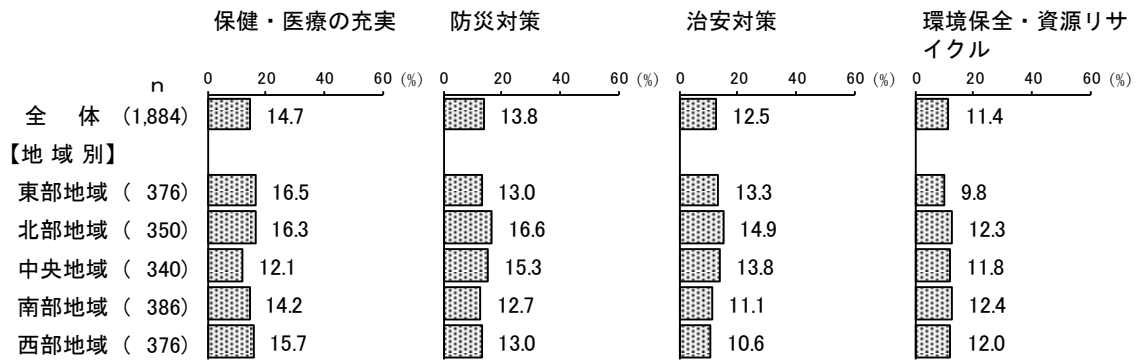
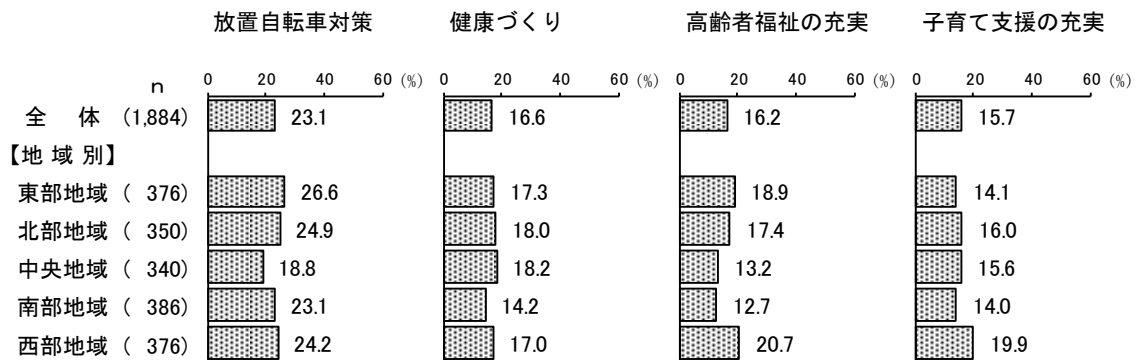
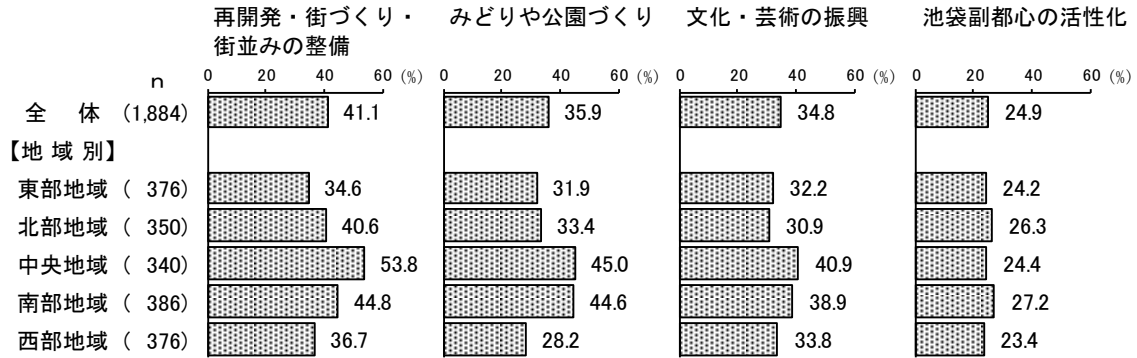
性別でみると、「子育て支援の充実」は女性（18.4%）が男性（12.9%）より5.5ポイント、「再開発・街づくり・街並みの整備」は女性（44.1%）が男性（38.8%）より5.3ポイント、「みどりや公園づくり」は女性（38.8%）が男性（33.8%）より5.0ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は30～39歳（51.5%）で5割を超えて高くなっている。「みどりや公園づくり」は18～29歳（44.8%）、30～39歳（43.9%）、40～49歳（41.0%）で4割台と高くなっている。「文化・芸術の振興」は40～49歳（41.0%）、50～59歳（40.4%）で4割台と高くなっている。



【地域別】（上位12項目）

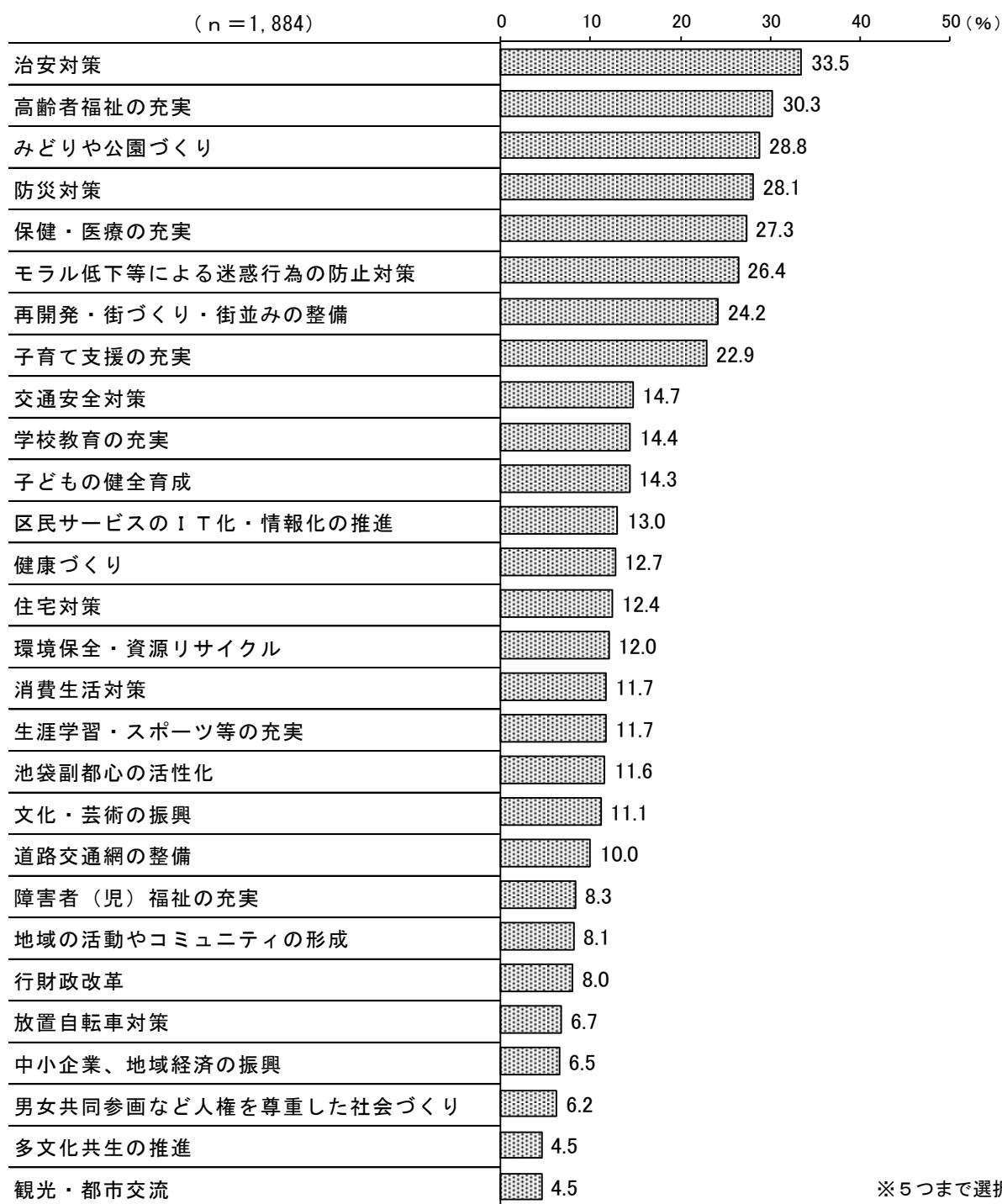
地域別でみると、「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（53.8%）で5割半ばと高くなっている。「みどりや公園づくり」は中央地域（45.0%）、南部地域（44.6%）で4割半ばと高くなっている。「文化・芸術の振興」は中央地域（40.9%）で約4割と高くなっている。



(2) 特に力を入れてほしいと思う施策

問31 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。  
(○はそれぞれ5つまで)

特に力を入れてほしいと思う施策を聞いたところ、「治安対策」(33.5%)が3割半ばで最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」(30.3%)、「みどりや公園づくり」(28.8%)、「防災対策」(28.1%)となっている。



【経年比較】

過去の調査結果と比較すると、上位 10 項目の中で、令和 3 年度より順位が高くなったものは、「みどりや公園づくり」、「防災対策」、「再開発・街づくり・街並みの整備」、「交通安全対策」の 4 項目となっている。

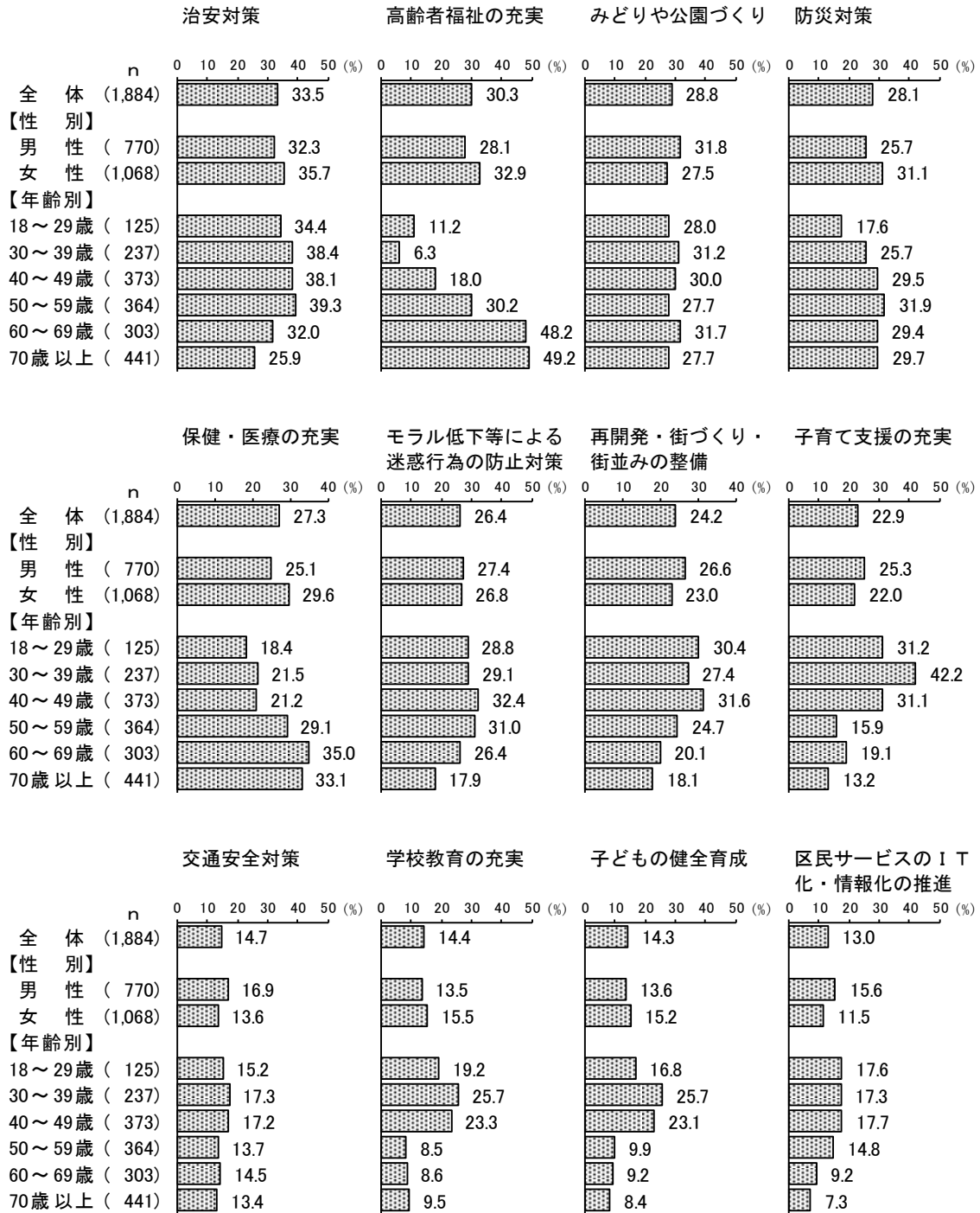
一方、上位 10 項目の中で、令和 3 年度より順位が低くなったものは、「保健・医療の充実」、「子育て支援の充実」、「学校教育の充実」の 3 項目となっている。

<令和 4 年度>			順位比較	<令和 3 年度>	
順位		%		順位	%
1	治安対策	33.5	←-----	1	33.9
2	高齢者福祉の充実	30.3	←-----	2	32.0
3	みどりや公園づくり	28.8	↗	4	29.9
4	防災対策	28.1	↗	5	29.1
5	保健・医療の充実	27.3	↘	3	30.1
6	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	26.4	←-----	6	26.5
7	再開発・街づくり・街並みの整備	24.2	↗	8	21.9
8	子育て支援の充実	22.9	↘	7	22.8
9	交通安全対策	14.7	↗	14	11.9
10	学校教育の充実	14.4	↘	9	18.1
11	子どもの健全育成	14.3	↘	10	16.3
12	区民サービスの IT 化・情報化の推進	13.0	←-----	12	13.3
13	健康づくり	12.7	↗	11	13.8
14	住宅対策	12.4	↗	15	11.6
15	環境保全・資源リサイクル	12.0	↗	13	12.0
16	生涯学習・スポーツ等の充実	11.7	↗	17	10.7
16	消費生活対策	11.7	↗	24	5.9
18	池袋副都心の活性化	11.6	←-----	18	9.9
19	文化・芸術の振興	11.1	↘	16	11.1
20	道路交通網の整備	10.0	←-----	20	8.4
21	障害者（児）福祉の充実	8.3	↘	19	8.7
22	地域の活動やコミュニティの形成	8.1	↗	23	6.6
23	行財政改革	8.0	↘	21	7.3
24	放置自転車対策	6.7	↗	26	4.6
25	中小企業、地域経済の振興	6.5	↘	22	7.2
26	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	6.2	↘	25	5.1
27	多文化共生の推進	4.5	←-----	27	4.3
27	観光・都市交流	4.5	↗	28	4.1

【性別、年齢別】（上位12項目）

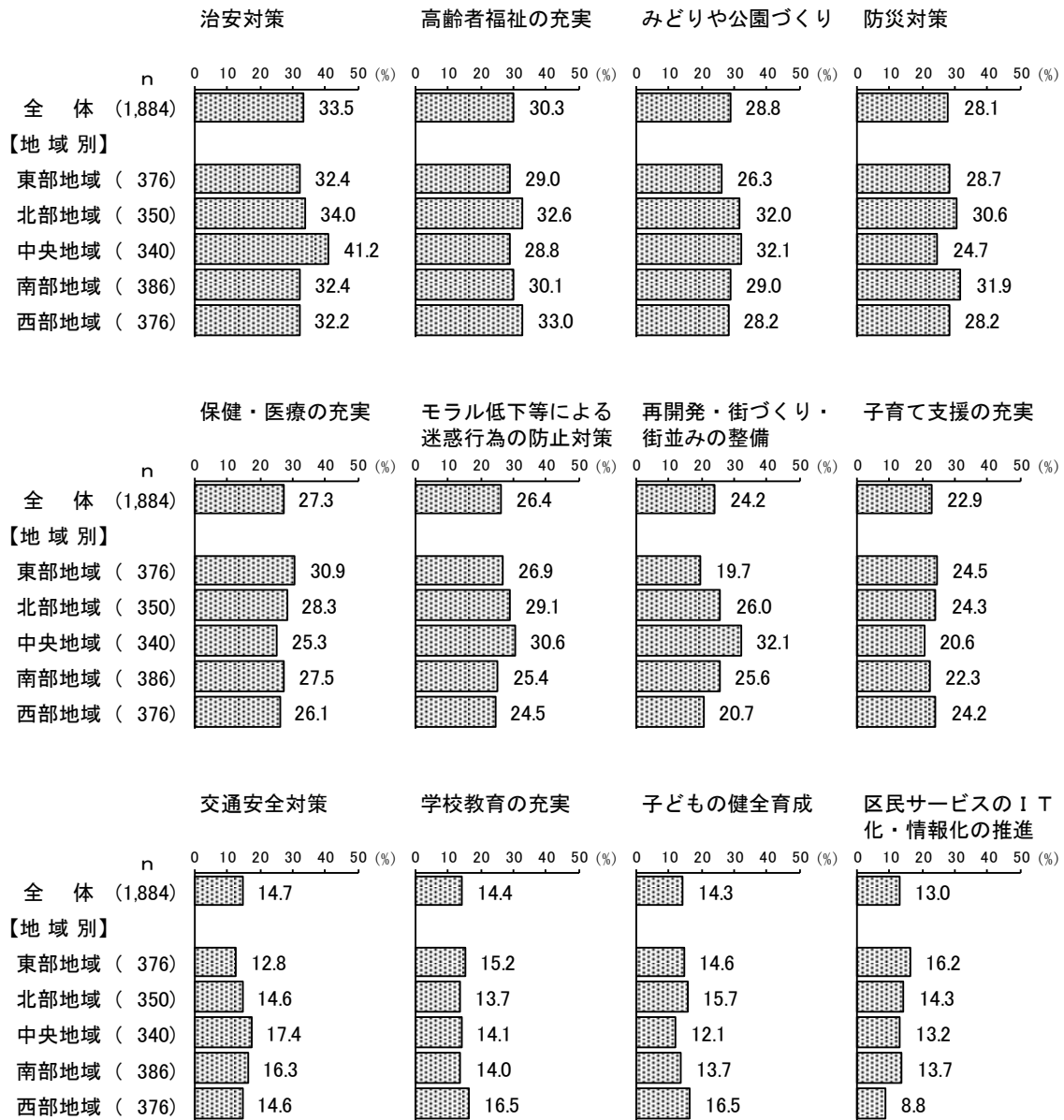
性別でみると、「防災対策」は女性（31.1%）が男性（25.7%）より5.4ポイント、「高齢者福祉の充実」は女性（32.9%）が男性（28.1%）より4.8ポイント、「保健・医療の充実」は女性（29.6%）が男性（25.1%）より4.5ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「治安対策」は50～59歳（39.3%）で約4割と高くなっている。「高齢者福祉の充実」は60～69歳（48.2%）、70歳以上（49.2%）で約5割と高くなっている。「保健・医療の充実」は60～69歳（35.0%）、70歳以上（33.1%）で3割を超えて高くなっている。



【地域別】（上位 12 項目）

地域別でみると、「治安対策」は中央地域（41.2%）で4割を超えて高くなっている。「再開発・街づくり・街並みの整備」は中央地域（32.1%）で3割を超えて高くなっている。



(3) 総合分析

「現在、区が力を入れていると思う施策（現在の評価）」と「特に力を入れてほしいと思う施策（今後の優先度）」の調査結果を下記により数値化し、この2つの評価を軸として、総合分析を行った。また、前回調査（令和3年度）と比較するため、●が今回調査、○が前回調査とし、前回から今回への推移を矢印で表した。

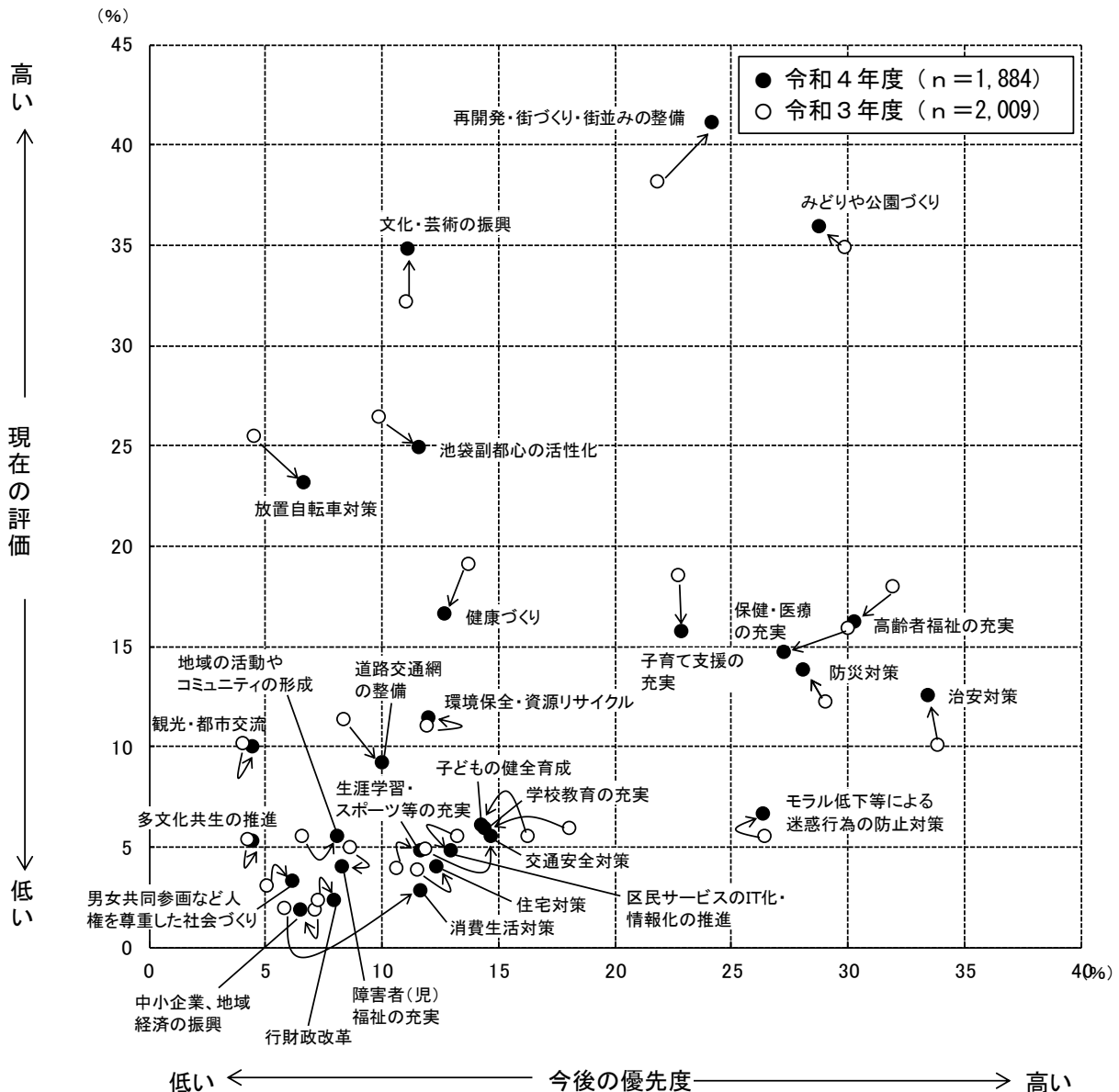
【数値化の方法】

それぞれの設問について、下記のとおり数値化した。

■現在の評価 各項目の回答割合（%）	■今後の優先度 各項目の回答割合（%）
-----------------------	------------------------

このグラフで右下に位置していればいるほど、「現在の評価は低い、今後の優先度は高い」ことになり、改善に向けて力を入れていく必要があるということになる。

現在の評価は低い、今後の優先度は高い項目は、優先度が高い順に「治安対策」、「高齢者福祉の充実」、「防災対策」、「保健・医療の充実」となっている。



## 11. 自由意見

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

これからの豊島区のまちづくりに対する自由意見の整理結果は以下のとおりである。729 人の方から回答を得られた。回答内容によって複数に分けた意見もあるため、全体の意見数は 1,061 件となっている。意見の分類は、問7：地域の生活環境の評価と今後の優先度の項目に沿って行った。

分 類 項 目	件 数
① 参画・協働	28
② 平和・人権	38
③ 福祉	62
④ 健康・保健	36
⑤ 子育て	90
⑥ 教育	24
⑦ みどり・環境	155
⑧ 都市再生・交通	217
⑨ 防災・治安	118
⑩ 商工・観光	38
⑪ 文化	32
⑫ 区政について	108
⑬ その他	70
⑭ 本調査について	45
合 計	1,061



### Ⅲ 調査票



# 令和 4 年度 豊島区 協働のまちづくりに関する区民意識調査

## ～ご協力のお願い～

区民の皆さまには、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。  
豊島区では、一人ひとりの区民の皆さまをはじめ、町会や自治会、NPO、学校など、地域の多様な主体の参加と協働の仕組みづくりに取り組んでいます。

この調査は、日常生活のなかで感じになっている地域の生活環境、区の政策等について、広くご意見・ご要望をおうかがいし、これからの計画づくりや行政サービスのあり方の検討、区民の皆さまとの協働の仕組みづくり等の基礎として、活かしていくために実施するものです。

実施に当たり、区内に2年以上お住まいの18歳以上の方から無作為に5,000名を選ばせていただきました。回答の内容は、全て統計的に処理し、回答者が特定されることはありません。

お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年6月 豊島区長 高野 之夫

### 《ご記入にあたってお願い》

1. 同封のアンケートへのご回答は、原則として封筒のあて名のご本人様が行ってください。  
(ご本人様の回答が困難な場合には、ご家族様にご相談いただいても結構です。)
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問で、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「○は3つまで」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」を選んだ場合や自由回答には、具体的な内容をご記入ください。

◎ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

**2022年7月1日(金)** までに 郵便ポストにご投函ください。

なお、返信用封筒にはバーコードがついていますが、これは返送先（区）の郵便番号を示すもので、個人を特定するものではありません。

記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

【連絡先】 豊島区 政策経営部 企画課 企画調整グループ

【電話】 03-4566-2511 (直通)

【FAX】 03-3980-5093



豊島区 PR キャラクター「としま ななまる」



# 協働のまちづくりに関する区民意識調査 調査票

## I. 豊島区の印象について

### 1. 住み心地

問1 あなたにとって現在お住まいの地域の住み心地はどうですか。(1つに○)

- |                 |                  |          |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 住み良い         | 3. どちらかといえば住みにくい | 5. わからない |
| 2. どちらかといえば住み良い | 4. 住みにくい         |          |

問2 以前と比べて住み心地に変化はありますか。(1つに○)

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1. 以前より住み良くなった  | 3. 変わらない |
| 2. 以前より住みにくくなった | 4. わからない |

《問2で、「1. 以前より住み良くなった」または「2. 以前より住みにくくなった」とお答えの方におたずねします》

問2-1 住み良くなった、または、住みにくくなったと考える理由は何ですか。代表的なことについて1つお答えください。(自由回答)

### 2. 居住の経緯

問3 あなたは生まれてからずっと豊島区にお住まいですか。(1つに○)

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| 1. ずっと住んでいる (一時的に豊島区を離れた人も含む) | 2. 他の地域からきた |
|-------------------------------|-------------|

《問3で、「2. 他の地域からきた」とお答えの方におたずねします》

問3-1 転入するにあたって、豊島区以外の区市町村でもお住まいを探しましたか。(1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 他の区市町村でも探したが、豊島区に決めた   |
| 2. 最初から豊島区に住もうと考えていたので、他の区市町村は探さなかった  |
| 3. 転居先が豊島区内に決まっていた (会社の寮や社宅が豊島区内だった、同居をはじめめる家族の住宅が豊島区内にあった、親などが決めた、子どもの頃に引っ越してきたなど) |

《問3-1で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

問3-2 住む場所として豊島区を選んだ理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 買い物など日常生活に便利だから   | 9. 治安が良いから                 |
| 2. 通勤・通学に便利だから       | 10. 防災面で安全だから              |
| 3. 出産や子育て環境が良いから     | 11. 公共施設が充実しているから          |
| 4. 教育環境が良いから         | 12. 街並みや街の雰囲気が良いから         |
| 5. 文化的な環境が良いから       | 13. 豊島区またはその地域のイメージが良かったから |
| 6. 医療・福祉・介護が充実しているから | 14. 気に入った物件が豊島区内だったから      |
| 7. 住環境が良いから          | 15. 物価が安いから                |
| 8. 自然環境が良いから         | 16. その他 ( )                |

### 3. 定住意向

問4 あなたはこれからも現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. いつまでも住み続けたいと思っている     |
| 2. 当分住み続けたいと思っている        |
| 3. 住み続けたいが転居せざるをえない事情がある |
| 4. 他の地域・区市町村に転居したいと思っている |
| 5. わからない                 |

《問4で、「1」または「2」とお答えの方におたずねします》

▶問4-1 住み続けたい理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 地域になじみがあるから           | 13. 子どもの教育のため、住む必要があるから |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地だから      | 14. 教育環境が良いから           |
| 3. 今の住まいが気に入っているから       | 15. 文化的な環境が良いから         |
| 4. 持ち家だから                | 16. 医療・福祉・介護が充実しているから   |
| 5. 親や子どもと一緒に(近く)に住んでいるから | 17. 住環境が良いから            |
| 6. 親戚が近くに住んでいるから         | 18. 家賃が適当だから            |
| 7. 友人・知人が近くに住んでいるから      | 19. 物価が安いから             |
| 8. 近所づきあいがうまくいっているから     | 20. 自然環境が良いから           |
| 9. 買い物など日常生活に便利だから       | 21. 治安が良いから             |
| 10. 通勤・通学に便利だから          | 22. 防災面で安全だから           |
| 11. 仕事の関係上、住む必要があるから     | 23. 公共施設が充実しているから       |
| 12. 出産や子育て環境が良いから        | 24. その他 ( )             |

《問4で、「3」または「4」とお答えの方におたずねします》

▶問4-2 転居せざるをえない、転居したい理由は何ですか。(いくつでも○)

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 1. 地域になじみがないから               | 15. 出産や子育て環境が良くないから       |
| 2. 先祖代々受け継いでいる土地ではないから       | 16. 子どもの教育のため、転居する必要があるから |
| 3. 今の住まいが気に入っていないから          | 17. 教育環境が良くないから           |
| 4. 持ち家に住みたいから                | 18. 文化的な環境が良くないから         |
| 5. 家が手狭になったから                | 19. 医療・福祉・介護が充実していないから    |
| 6. 親や子どもの近くに住みたいから           | 20. 住環境が良くないから            |
| 7. 親戚の近くに住みたいから              | 21. 家賃が負担だから              |
| 8. 友人・知人の近くに住みたいから           | 22. 物価が高いから               |
| 9. 結婚等で同居するから                | 23. 自然環境が良くないから           |
| 10. 近所づきあいがうまくいっていないから       | 24. 治安が良くないから             |
| 11. 買い物など日常生活に不便だから          | 25. 防災面で不安だから             |
| 12. 通勤・通学に不便だから              | 26. 公共施設が充実していないから        |
| 13. 仕事の関係上、転居する必要があるから       | 27. 他の地域にも興味があるから         |
| 14. 仕事・学校の関係で一時的に居住しているだけだから | 28. その他 ( )               |

## 4. 地域への愛着

問5 あなたは現在お住まいの地域に愛着を感じますか。(1つに○)

1. 愛着を感じている	4. 愛着を感じていない
2. やや愛着を感じている	5. どちらともいえない
3. あまり愛着を感じていない	

問6 あなたは豊島区に住んでいることを誇りに感じますか。(1つに○)

1. 誇りに感じている	4. 誇りに感じていない
2. やや誇りに感じている	5. どちらともいえない
3. あまり誇りに感じていない	

## II. 地域の生活環境の評価と今後の優先度について

問7 以下の設問は、地域の生活環境を11グループに分けた上で、そのグループごとに評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿を表わしたものです。

あなたの生活実感やイメージにもとづき、最も近いと思われるものを選んでください。「現在の評価」欄は、項目ごとに1つずつ○。「今後の優先度」欄は、各グループから今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。

グループ	番号	評価の対象となる(目指すべき)生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度	
			そう思う どちらかという と	い え な い ど ち ら と も	そ う 思 わ な い ど ち ら か と い う と	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。	
① 参画・協働	1	地域の課題に対する関心が高まり、地域活動にも参加しやすい	1	2	3	※1~4の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"><tr><td> </td></tr></table>	
	2	さまざまな地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる	1	2	3		
	3	町会・自治会活動、地域貢献活動への参加が広がっている	1	2	3		
4	地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している	1	2	3			

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
② 平和・人権	5	外国人にとって暮らしやすいまちであると感じる	1	2	3	各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。  ※5～10の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	6	地域で外国人との交流がある	1	2	3	
	7	地域社会において平和と人権が尊重されている	1	2	3	
	8	性別等により、差別されない社会である	1	2	3	
	9	女性が自ら望む形で働ける社会である	1	2	3	
	10	配偶者等からの暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）に関する相談機関が周知されている	1	2	3	
③ 福祉	11	地域の中で、高齢者等を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある	1	2	3	※11～17の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	12	医療や介護、生活支援サービスなどの提供体制が充実し、身近な相談窓口を安心して利用できる	1	2	3	
	13	地域の中で、高齢者や障害者の権利が守られ、質の高いサービスが提供されている	1	2	3	
	14	高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる	1	2	3	
	15	障害者や生活困窮者、ひとり親等の就労困難者が仕事に就きやすい	1	2	3	
	16	高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている	1	2	3	
	17	要介護状態になることを未然に防ぐための、介護予防に関するサービスや情報がある	1	2	3	
④ 健康・保健	18	がん・生活習慣病に関する正しい知識が広がり、がん検診や各種健診が受けやすい環境にある	1	2	3	※18～21の中から2つ選んで、番号を書いてください。  <input type="text"/> <input type="text"/>
	19	ライフステージに合わせた、こころと体の健康づくりに関する支援が充実している	1	2	3	
	20	感染症や食中毒等に不安を感じる事が少ない	1	2	3	
	21	誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる	1	2	3	

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑤ 子育て	22	子どもが自主的・主体的に地域や社会の活動に参加できる機会がある	1	2	3	※22～26の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	23	子育てや家庭に関する悩みに対する相談先や支援事業が充実している	1	2	3	
	24	児童虐待やドメスティック・バイオレンス(配偶者暴力)の影響などから子どもを守る体制が整備されている	1	2	3	
	25	妊娠・出産期からきめ細やかな支援がなされ、安心して子どもを産み育てることができる	1	2	3	
	26	地域の保育需要に応じた保育施設の整備、保育サービスの向上が図られている	1	2	3	
⑥ 教育	27	学校教育を通して子どもに基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている	1	2	3	※27～35の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。 <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	28	学校教育を通して子どもに豊かな心が育まれている	1	2	3	
	29	学校教育を通して子どもに運動に親しみ、健康で過ごす習慣や、安心・安全への態度が育まれている	1	2	3	
	30	特別な配慮を要する子どもへの支援が充実している	1	2	3	
	31	子どもの学びを支える実践的な指導力の高い教員が育成されている	1	2	3	
	32	家庭教育に対する支援が充実している	1	2	3	
	33	学校教育に地域の人材や文化資源が活用されている	1	2	3	
	34	伝統行事や伝統芸能、工芸技術など、地域の文化財への関心を高める環境が整えられている	1	2	3	
	35	幼稚園・保育園から小学校への接続に配慮した幼児教育が行われている	1	2	3	



グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度 各グループの中で、今後優先的に良くしていくべきと思う項目の番号を選んでください。
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	
⑦ みどり・環境	36	近くに好きな公園がある	1	2	3	※36～43の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。  <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	37	街路樹や生垣など、街を歩いていて緑が多い	1	2	3	
	38	CO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している	1	2	3	
	39	多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる	1	2	3	
	40	道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである	1	2	3	
	41	騒音、大気汚染などの公害に悩まされない	1	2	3	
	42	ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている	1	2	3	
	43	ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている	1	2	3	
⑧ 都市再生・交通	44	地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている	1	2	3	※44～52の中から 3つ選んで、 番号を書いて ください。  <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
	45	池袋周辺で、新宿、渋谷などにはない魅力あるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	46	駅および駅周辺が整備され、利用しやすくにぎわっている	1	2	3	
	47	池袋駅を中心として、居心地が良く歩きたくなるまちづくりが進んでいる	1	2	3	
	48	地域に住みつづけるための住宅制度が充実している	1	2	3	
	49	単身向け、ファミリー向けなど、良質な住宅がバランスよく供給されている	1	2	3	
	50	鉄道・バス等の交通が便利である	1	2	3	
	51	身近な生活道路が安全・快適に通行できる	1	2	3	
52	放置自転車が減少し、安全・快適に自転車を利用できるよう、道路や駐輪場が整備されている	1	2	3		

グループ	番号	評価の対象となる（目指すべき）生活環境の姿	現在の評価			今後の優先度
			どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらかという そう思わない	各グループの中で、今後優先的に 良くしていくべき と思う項目の番号 を選んでください。
⑨ 防災・治安	53	建物の耐火・耐震化や、狭い道路の拡幅など、災害に強いまちづくりが進んでいる	1	2	3	※53～59の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	54	家庭、住民一人ひとりの防災意識や災害発生時の行動力が高まっている	1	2	3	
	55	震災時の避難、救援体制など、まち全体として災害への備えができています	1	2	3	
	56	電柱のない道路が増えている	1	2	3	
	57	集中豪雨による都市型水害が発生する不安が少ない	1	2	3	
	58	治安がよく、安心して暮らせる	1	2	3	
	59	交通事故が少ない	1	2	3	
⑩ 商工・観光	60	経営に関する相談体制や支援が充実し、経済活動が活発である	1	2	3	※60～66の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	61	商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている	1	2	3	
	62	消費生活でトラブルに悩まされず、相談窓口も充実している	1	2	3	
	63	豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる	1	2	3	
	64	区の観光情報を提供するための素材を簡単に手に入れられる	1	2	3	
	65	区内で地方の特産品や観光情報などを入手する機会がある	1	2	3	
	66	区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている	1	2	3	
⑪ 文化	67	文化芸術に触れる機会が多くなった	1	2	3	※67～70の中から 2つ選んで、 番号を書いて ください。 <input type="text"/> <input type="text"/>
	68	歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている	1	2	3	
	69	学んだことを地域で生かして活動をしている	1	2	3	
	70	地域でスポーツに親しむ環境や機会がある	1	2	3	

### Ⅲ. 区の情報・区の政策等について

#### 1. 区の情報・区政への参加について

問8 あなたは、これまで区に関する情報をどのような方法で入手していますか。(いくつでも○)

- |                                   |                     |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 新聞折り込みや戸別配達による「広報としま」          | 9. 区の窓口や電話での問い合わせ   |
| 2. 区内店舗や駅などで入手した「広報としま」           | 10. 民間のウェブサイト・SNS   |
| 3. 「広報としま」以外の区のパンフレットやチラシなど       | 11. 新聞・雑誌・テレビ報道     |
| 4. 区のホームページ                       | 12. スマートフォン用ニュースアプリ |
| 5. 区のSNS (LINE、Twitter、フェイスブックなど) | 13. 知人・家族から (口コミ)   |
| 6. 区のメールマガジン                      | 14. その他             |
| 7. 区のテレビ広報番組 (ケーブルテレビ)            | ( )                 |
| 8. 区の掲示板や回覧板                      | 15. 入手したことが無い       |

問9 あなたは、区政情報が伝わっていると思いますか (1つに○)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 十分に伝わっている  | 3. あまり伝わっていない  |
| 2. ある程度伝わっている | 4. まったく伝わっていない |

問10 あなたは、区政に関心がありますか。(1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 関心がある    | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 関心がない    |

問11 あなたは、区の政策に区民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。(1つに○)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 反映されている    | 3. あまり反映されていない |
| 2. 少しは反映されている | 4. 反映されていない    |

問12 あなたは、区に意見を述べる機会や手段、方法に満足していますか。(1つに○)

- |              |            |
|--------------|------------|
| 1. 満足している    | 3. 少し不満である |
| 2. 少しは満足している | 4. 不満である   |

問13 あなたは、区内の経済状況や区民需要の変化に応じた柔軟な区政運営ができていると思いますか。(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

## 2. 地域との関わりについて

問 14 あなたは、日頃、地域の一員として、地域のために何か役立ちたいと思っていますか。(1つに○)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 思っている    | 3. あまり思っていない |
| 2. 少しは思っている | 4. 思っていない    |

問 15 あなたは、お住まいの地域で、町会、自治会などの地域活動に参加していますか。(1つに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 現在、参加している    | 3. 関心はあるが、参加していない  |
| 2. 以前、参加したことがある | 4. 関心がないので、参加していない |

## 3. SDGs (エス・ディー・ジーズ) について

問 16 あなたは、SDGsについて知っていますか。(1つに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 知っている       | 3. 言葉も聞いたことがない |
| 2. 言葉は聞いたことがある |                |

問 17 SDGsに関する取り組みを、企業・団体、個人として行っていますか。または、今後取り組みたいと思いますか。(1つに○)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 既に取り組んでいる   | 3. 予定はないが取り組みたい    |
| 2. 今後取り組む予定である | 4. 特に取り組むことは考えていない |

問 18 SDGsに関して、ご自身の生活の中で取り組んでいるものはありますか。(いくつでも○)

- |                     |                                 |
|---------------------|---------------------------------|
| 1. 自宅にある不要な物を寄付     | 10. 助けが必要な人への積極的なサポート           |
| 2. 栄養バランスが良い食事      | 11. 区民ひろばで世代を超えた交流              |
| 3. 運動を習慣的に実施        | 12. 3R (リデュース、リユース、リサイクル) に取り組む |
| 4. 図書館でSDGsについて調べる  | 13. クールビズ・ウォームビズに心がける           |
| 5. 家事・育児を分担する       | 14. マイバッグ・マイボトルを持ち歩く            |
| 6. お風呂の水を再利用        | 15. 紙資源を再利用し、ペーパーレスを進める         |
| 7. 電気をこまめに消す        | 16. 選挙に行くなど積極的に政治に参加            |
| 8. 働きやすい職場環境をつくる    | 17. SDGs に積極的に取り組む企業を応援         |
| 9. 先進的な取り組みを行う団体に投資 |                                 |

### 豊島区 SDGs 特設ホームページ「としま SDGs アクション！」

○区内で様々な取り組みをされている「人」を通じて、豊島区の持続可能な未来の実現のための精力的な活動や、何気ない日常にあふれるSDGsを紹介していきます！

豊島区ホームページからご覧いただけます→



### としま SDGs チャレンジブック

○豊島区ならではのSDGs実践例をふんだんに盛り込み、いつもの生活に少し工夫を加えてSDGsにチャレンジするための冊子です。

豊島区ホームページからご覧いただけます→



## 4. 女性にやさしいまちづくりについて

問 19 豊島区は、女性が輝き、活躍する社会づくりを積極的に推進していくことで、すべての人にやさしく、暮らしやすいまちづくりにつながる、「女性にやさしいまちづくり」に取り組んでいます。女性にやさしく、暮らしやすいまちだと感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

1. 仕事と生活を両立しやすい環境整備 2. 女性の声を反映する仕組みづくり 3. 見守りや支え合いなど地域力の向上 4. 安心して子どもを産み育てられる環境整備 5. 子育てや介護施策・サービスの充実 6. 子育てや働きながら住み続けられる住まいの充実 7. 女性の健康に関する施策・サービスの充実 8. 女性の起業・創業・就労の支援 9. 文化やスポーツなど多様なニーズに対応した施設・サービスの充実 10. その他 ( )
---

## 5. セーフコミュニティについて

問 20 豊島区は「セーフコミュニティ」の国際認証を取得し、地域全体で安心安全なまちづくりの活動を継続的に行っています。地域で子どもや高齢者、配偶者などへの虐待・暴力を早期発見・防止するためには、私たち一人ひとりが理解を深めていくことが大切です。あなたは、以下について、どのような行為が虐待や暴力にあたるか、心配な状況を発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。(それぞれ該当する番号1つに〇)

	ある程度 具体的に 知っている	部分的には 知っている	あまり 知らない	ほとんど 知らない
(1) 高齢者虐待 [主な通告、相談先] ・区の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター) ・区の高齢者福祉課、警察など	1	2	3	4
(2) 児童虐待 [主な通告、相談先] ・区立子ども家庭支援センター ・児童相談所、警察など	1	2	3	4
(3) DV (ドメスティック・バイレンス) (配偶者やパートナーへの暴力) [主な通告、相談先] ・区立男女平等推進センター ・区の子育て支援課、警察など	1	2	3	4
(4) 認知症の方について [主な通告、相談先] ・区の高齢者総合相談センター(地域包括支援センター) ・区の高齢者福祉課、警察など	1	2	3	4

問 21 豊島区では、環境浄化団体や警察と合同で、定期的に環境浄化パトロール活動を実施しています。あなたは、池袋駅周辺（繁華街）の治安についてどのように感じますか。（1つに○）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. とても安心感がある | 4. やや不安感がある  |
| 2. やや安心感がある  | 5. とても不安感がある |
| 3. どちらともいえない |              |

問 22 あなたは、最近1年間に、区や町会等が実施する防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか。（1つに○）

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 参加したことがある                       |
| 2. 自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある      |
| 3. 訓練が行われることは聞いているが、参加はしていない       |
| 4. 身近な地域で参加できる訓練がない                |
| 5. 訓練がいつどこで行われているのか知らない（情報が届いていない） |

問 23 区ではお住まいの地域ごとに、震災時などの一時的な避難場所として、小・中学校などを「救援センター」として指定しています。あなたは、「救援センター」について知っていますか。（1つに○）

- |  |
|--|
| 1. 自分が避難する「救援センター」はどこか知っている              |
| 2. 「救援センター」があることは聞いたことがあるが、具体的な場所までは知らない |
| 3. 「救援センター」という名前を聞いたことがない                |

問 24 地震の大きな揺れにより、家具や本棚、冷蔵庫、テレビなどが転倒して、けがをすることが想定されます。あなたは、（あなたの家庭では、）どのような対策をとっていますか。（いくつでも○）

- |  |
|--|
| 1. 家具や本棚などを固定し、転倒を防止している                 |
| 2. テレビや冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している               |
| 3. 転倒しやすい家具の周辺では寝ないようにしている               |
| 4. 食器棚や本棚の中のもの飛び出さないように工夫している            |
| 5. 窓ガラスが割れて飛散しないようにしている（強化ガラス、フィルムを貼るなど） |
| 6. 特に対策はしていない                            |

問 25 自転車は便利な乗り物ですが、一つ間違えば大きな事故につながります。最近、あなたのお住まいの地域で、道路交通法で決められている自転車の運転ルールは守られていると感じていますか。（1つに○）

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. よく守られていると思う   | 4. あまり守られていないと思う  |
| 2. だいたい守られていると思う | 5. ほとんど守られていないと思う |
| 3. どちらともいえない     |                   |

問 26 交通事故が発生した場所や注意すべき地点を知っていることで、事故防止につなげることができます。お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることをご存じですか。(1つに○)

1. 複数の具体的な場所を知っていて、注意している
2. 一つは具体的な場所を知っていて、注意している
3. 事故の発生場所を聞いたことはあるが、具体的な場所までは知らない
4. 事故の発生状況については、あまり関心を持っていなかった

## 6. 環境保全活動について

問 27 豊島区内には、清掃・リサイクル活動、公園・広場・小中学校の花壇や植物等のみどりの維持管理活動など様々な環境保全活動に取り組んでいるグループがあります。あなたは、こうした活動に参加したいと思いませんか。(1つに○)

1. 既に参加しており、これからも参加したい
2. 既に参加しているが、今後参加するつもりはない
3. 今は参加していないが、これから参加したい
4. 参加しておらず、今後も参加するつもりはない

《問 22 で、「1」～「3」とお答えの方におたずねします》

▶問 27-1 現在参加している、もしくはこれから参加したいと思っているグループとは具体的に何ですか。(いくつでも○)

1. 学校・PTA
2. 町会・地域団体
3. 自主団体・NPO法人
4. 区内企業・事業者
5. その他 ( )

《問 22 で、「4」とお答えの方におたずねします》

▶問 27-2 参加するつもりがない理由とは具体的に何ですか。(いくつでも○)

1. 忙しくて活動する時間がない
2. 環境保全活動に興味がない
3. グループで活動したくない
4. 活動しているグループを知らない
5. その他 ( )

## 7. 公園の利活用について

問28 あなたは、公園が地域の交流の場として役立っていると思いませんか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

## 8. スポーツについて

問 29 あなた自身は、どの程度スポーツを実施していますか。(1つに○)

※本調査におけるスポーツの定義…ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキング、介護予防のためのトレーニングなどの他に、日常生活の中の階段の昇り降り、気分転換に行う軽い体操やレクリエーションなど、自発的に楽しむ運動をスポーツとして扱います。

1. 週に3日以上	4. 3か月に1～2日
2. 週に1～2日	5. 年に1～3日
3. 月に1～3日	6. 実施していない

## 9. 新型コロナウイルス感染症に関することについて

問 30 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活であなたやあなたの家族が、現在、特に困っていることや不安に思うことを教えてください。また、今後も感染症の影響が続いた場合に、予想される困りごとや不安に思うことを教えてください。(○はそれぞれ5つまで)

困りごと・不安に思うこと		現在 (5つまで)	今後 (5つまで)
収入・雇用	収入の減少	1	1
	支出の増加	2	2
	失業	3	3
	休業(無給)	4	4
	労働時間の減少(半分以上)	5	5
	働き口が見つからない	6	6
	過重労働	7	7
家庭	学校や保育園等の休みに伴う子育ての負担の増加	8	8
	ご自身・ご家族の学習機会の確保、学力低下	9	9
	高齢者施設の利用自粛等に伴う介護の負担の増加	10	10
	家事の負担増加	11	11
	ご自身・ご家族の健康(身体面)	12	12
	ご自身・ご家族の健康(精神面)	13	13
その他	運動・スポーツの機会の減少	14	14
	外食の不安・制約	15	15
	旅行やイベント参加等余暇活動の制約	16	16
	地域や団体・グループ等での活動機会の減少	17	17
	オンラインによる手続き等の方法がわからない、そのための機器(パソコンやスマートフォン等)を持っていない	18	18
	その他( )	19	19
	特にない	20	20



## 10. 区政全般への要望

問 31 区政全体について考えた場合、ここに掲げた項目のうち、あなたが「現在、区が力を入れていると思う施策」、「特に力を入れてほしいと思う施策」はどのようなことですか。

(○はそれぞれ5つまで)

主なSDGs目標	施 策	現在、区が力を入れていると思う施策 (5つまで)	特に力を入れてほしいと思う施策 (5つまで)
	健康づくり	1	1
	高齢者福祉の充実	2	2
	障害者（児）福祉の充実	3	3
	保健・医療の充実	4	4
	子どもの健全育成	5	5
	子育て支援の充実	6	6
	学校教育の充実	7	7
	地域の活動やコミュニティの形成	8	8
	男女共同参画など人権を尊重した社会づくり	9	9
	みどりや公園づくり	10	10
	環境保全・資源リサイクル	11	11
	再開発・街づくり・街並みの整備	12	12
	道路交通網の整備	13	13
	住宅対策	14	14
	交通安全対策	15	15
	放置自転車対策	16	16
	池袋副都心の活性化	17	17
	中小企業、地域経済の振興	18	18
	消費生活対策	19	19
	防災対策	20	20
	治安対策	21	21
	モラル低下等による迷惑行為の防止対策	22	22
	文化・芸術の振興	23	23
	多文化共生の推進	24	24
	観光・都市交流	25	25
	生涯学習・スポーツ等の充実	26	26
	区民サービスのIT化・情報化の推進	27	27
	行財政改革	28	28

#### IV. あなたご自身のことについて（※統計的に分析するために使用します。）

① あなたの自認する性をお答えください。（1つに○）

1. 男性	2. 女性	3. ( ) ※自認する性を記載してください。
-------	-------	-------------------------

② あなたの年齢について、お答えください。（1つに○）

1. 18～19歳	5. 35～39歳	9. 55～59歳	13. 75～79歳
2. 20～24歳	6. 40～44歳	10. 60～64歳	14. 80歳以上
3. 25～29歳	7. 45～49歳	11. 65～69歳	
4. 30～34歳	8. 50～54歳	12. 70～74歳	

③ あなたの職業について、お答えください。（1つに○）

1. 自営業（家族従業含む）	5. 専業の主婦（主夫）
2. 勤め（全日・正規）	6. 学生
3. 勤め（全日・非正規）	7. 無職
4. 勤め（パートタイム）	8. その他（ ）

④ あなたのお住まいの町名について、お答えください。（町名の番号に○印を付け、（ ）内に何丁目かお書きください。） 記入例 ① 駒込（ 2 ）丁目

1. 駒込（ ）丁目	8. 南池袋（ ）丁目	15. 南長崎（ ）丁目
2. 巣鴨（ ）丁目	9. 西池袋（ ）丁目	16. 長崎（ ）丁目
3. 西巣鴨（ ）丁目	10. 池袋（ ）丁目	17. 千早（ ）丁目
4. 北大塚（ ）丁目	11. 池袋本町（ ）丁目	18. 要町（ ）丁目
5. 南大塚（ ）丁目	12. 雑司が谷（ ）丁目	19. 高松（ ）丁目
6. 上池袋（ ）丁目	13. 高田（ ）丁目	20. 千川（ ）丁目
7. 東池袋（ ）丁目	14. 目白（ ）丁目	

⑤ あなたの豊島区にお住まいの年数について、お答えください。（1つに○）

1. 2年以上～3年未満	3. 5年以上～10年未満	5. 15年以上～20年未満
2. 3年以上～5年未満	4. 10年以上～15年未満	6. 20年以上

⑥ 豊島区に住み始めたのはいつですか。お答えください。（1つに○）

1. 生まれた時から	3. 大学・専門学校生の頃	5. 結婚した頃
2. 子どもの頃（高校生まで）	4. 就職した頃	6. その他（ ）

⑦ あなたが豊島区に住む前に住んでいた地域について、お答えください。（1つに○）

1. 生まれてからずっと豊島区に住んでいる	6. 練馬区	11. 神奈川県
2. 新宿区	7. その他の特別区	12. その他の関東
3. 文京区	8. 東京都の市町村	13. その他の国内
4. 北区	9. 埼玉県	14. 外国
5. 板橋区	10. 千葉県	

⑧ あなたの国籍をお答えください。(1つに○)

1. 日本	2. 日本以外
-------	---------

⑨ あなたの世帯の構成について、お答えください。(1つに○)

1. 単身者	3. 親と子	5. その他
2. 夫婦のみ	4. 三世代	( )

《⑨で、「3. 親と子」または「4. 三世代」とお答えの方におたずねします》

⑩ あなたの家族に中学生以下のお子さんは、何人いらっしゃいますか。(1つに○)

1. いない	2. 1人	3. 2人	4. 3人以上
--------	-------	-------	---------

⑪ あなたのお住まいの形態について、お答えください。(1つに○)

1. 一戸建て	3. 集合住宅(賃貸)	5. その他
2. 集合住宅(分譲)	4. 社宅・官舎、寮	( )

⑫ あなたの世帯の年収(税込)について、差し支えなければ、お答えください。(1つに○)

1. 200万円未満	5. 800万円～1,000万円未満
2. 200万円～400万円未満	6. 1,000万円～1,500万円未満
3. 400万円～600万円未満	7. 1,500万円以上
4. 600万円～800万円未満	

最後に、これからの豊島区のまちづくりについて、ご意見やご要望があれば、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただき大変ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて **令和4年7月1日(金)** までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手を貼る必要はありません。)





# 協働のまちづくりに関する区民意識調査 報告書

令和4年(2022)年11月発行  
(令和4年6月調査)

調査主体 豊島区 政策経営部 企画課  
〒171-8422 東京都豊島区南池袋 2-45-1  
電話 03-3981-1111 (代表)

調査実施 一般社団法人輿論科学協会  
〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-8-6  
電話 03-3401-1131 (代表)